



北海道大学

HOKKAIDO UNIVERSITY

【北海道】

日本語・日本文化に関する研究・調査活動に役立つ日本語能力の育成と、研究に必要な基礎知識、方法論・技能等の修得・運用を通じた日本語・日本文化理解を目的とするコースであり、プログラムの中で受講生の日本語能力の向上を図り、また、日研選択科目、多文化交流科目、国際交流科目の履修や、後半においては「自主研究」を履修する学生に対して指導教員が受講生の専攻分野に応じるなど、日本文化・社会についての多様な指導を行う。

■大学紹介

① 大学の特色および概要

北海道大学は、我が国における最初の高等農事教育機関として1876年に開設された札幌農学校に始まります。開設当時、札幌農学校は米国マサチューセッツ農科大学長であるウィリアム・S・クラーク博士を迎え、豊かな教養と高度の知識・技術を教授されました。クラーク博士の“Boys, be ambitious”の言葉に代表されるフロンティア・スピリットは、開学以来130年余にわたって本学の建学精神として受け継がれています。1919年、医学部が設置されると同時に従来の農科大学は農学部となり、その後、工学部、理学部等が設置され理科学系の総合大学へと発展しました。1947年、文科系の学部が設置され初めて現在の「北海道大学」という名称が誕生、2年後の1949年には、新制の北海道大学が発足し、7学部1教養学科が設置されました。1953年には新制の大学院が設置され、現在12学部、18の大学院及び26の研究所・センター等を有する我が国有数の総合大学です。

学部名：

文学部・教育学部・法学部・経済学部・理学部・医学部・歯学部・薬学部・工学部・農学部・獣医学部・水産学部

教員数：2,093名

学生数：学部11,824名、大学院6,250名、研究所等97名、計18,171名



② 国際交流の実績

(2016年5月1日現在)

大学間交流協定数：47カ国・地域、172協定・176機関

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

留学受入実績：2016年 1,735人 (87カ国・地域)

2015年 1,570人 (83カ国・地域)

2014年 1,456人 (80カ国・地域)

日本語・日本文化研修生受入実績：2016年 65人

2015年 52人

2014年 50人

④ 地域の特徴

北海道大学は、日本の北部、豊かな自然に恵まれた北海道にあります。大学のメインキャンパスは札幌の市街地にあり、美しい都市において必要なもののほとんどは、徒歩圏内にあります。港町である函館市にもう一つのキャンパスを持つ北大は、まさに日本の北方圏における革新的なフロンティアです。

○北海道大学へのアクセス：



■コースの概要

① 研修目的

- a) 日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行うもの。
- b) 日本語能力の向上のための研修を主とし、補助的な日本事情・日本文化に関する研修を行うもの。

② コースの特色

日本語・日本文化の双方に関する研究・調査活動に役立つ日本語能力の育成と、研究に必要な基礎知識、方法論・技能等の修得・運用を通じた日本語・日本文化理解を目的とするコースであり、1年間のプログラムの中で受講生の日本語能力の向上を図り、また、後半においては「自主研究」を履修する学生に対して指導教員が受講生の専攻分野に応じて、研究レポート作成及び研究発表遂行を目標とした個別の研究指導を行うことを特色としています。

③ 受入定員

40名 (大使館推薦15名、大学推薦25名)

④ 受講希望者の資格、条件等

受入の資格・条件としては、以下の全ての要件を満たすこととします。

a. 身分及び専攻

外国（日本国以外）の大学に在籍し、日本語・日本文化に関する専攻課程を主専攻として履修している者。（ただし、1年生を除く）

b. 日本語能力

申込時に、中級レベル（日本語能力試験N3以上に合格している者又は同試験の合格者と同等の日本語能力）以上の日本語能力を有する者。具体的には、漢字500字以上を習得し、日常的な場面での自然に近いスピードで話される会話・平易な文章の読み書きができることが必要です。

*日本語が初級レベルの者は出願を認めません。なお、渡日後、日本語能力が初級であると判定された者はコースを修了できないので、注意してください。

c. 学業成績
大学における学習成績が上位の者。

- ⑤ 達成目標
a. 「話す・聞く・書く・読む」のそれぞれの技能において、各自が自己の目標を達成できるような日本語運用力を身につけること。
b. 各自の研究分野において、まとまった成果が発信できるような知見・日本語力を獲得すること。

⑥ 研修期間
2017年9月1日～2018年8月31日
修了式は8月を予定（2016年は8月）

⑦ 研修科目の概要

内容は、日本人学生との共修を目的とした必修科目及び日本語を学習する選択必修科目群と、日本語・日本文化に関する講義や研究レポート作成を含む自主研究から成る選択科目群より構成されます。

※授業科目は、複数の講義題目により行われ、それぞれ一つの授業科目として履修することができます。

1) 必須科目

区分	授業科目	単位
必修科目	異文化研究	2
選択必修科目 (日本語科目)	中級日本語	1又は2
	上級日本語	1又は2

第1期及び第2期を通して必修科目2単位以上、選択必修科目10単位以上を修得してください。

必修科目である「多文化交流科目」（異文化研究に充当）は留学生と日本人が共に学ぶ科目です。

選択必修科目である日本語科目は「一般日本語コース」の中・上級科目を履修します。それぞれ、日本の大学での研究生活に必要な「やりとり」「表現」「理解」のスキルを養うことを目的とし、1週間に6～9コマ（1コマ90分）程度履修します。

選択必修科目のみ、学生が渡日前にオンラインで受験するプレースメントテストによりクラス分けがなされ、日本語能力別に中級レベル及び上級レベルのクラスを受講します。初級レベルと判断された場合は、初級レベルのクラスの受講となるため、修了証書は発行されません。

2) 見学、地域交流等の参加型科目

必修科目の「異文化研究」は、留学生と日本人学生が共に学ぶ「多文化交流科目」が主となります。「多文化交流科目」は、毎学期10科目前後開講されますが、その中には「北海道再発見」「北海道大学を歩く」など、見学を行う科目も含まれています。

選択科目ではありませんが、「ホリデーイン日高」「インターナショナルナイト」など、地域の方や日本人学生と交流するイベントも開催され、多くの日本語・日本文化研修生が参加しています。

3) その他の講義、選択科目等

区分	授業科目	単位
選択科目	日本語研究	2
	日本文化研究	2
	特別講義	1, 2, 3又は4
	自主研究	2

必修科目及び選択必修科目と合わせて24単位以上履修することが必要です。

選択科目には、「日本語の文法」、「日本語の表記」、「日本の歴史」など日本語・日本文化研修生のためだけの講義科目（日本語研究・日本文化研究に充当）、希望者が教員の指導のもと研究レポートを執筆する「自主研究」が含まれます。

また、選択科目については、国際交流科目、全学教育科目又は各学部で開講される専門科目の履修をもって、当該選択科目の履修に代えることができます。

※各科目の授業概要は、下記によりホームページで閲覧が可能です。

- 北海道大学ホームページ
 > 国際教育研究センター
 > コース・プログラム
 > 日本語コース
 > 一般日本語コース
 > 授業概要



- ⑧ 年間行事
 (第1期: 9月～2月)
 9月中旬～10月初旬:
 面接, 新入生オリエンテーション
 10月初旬:
 入学式, 第1期授業開始
 12月末～1月初旬:
 冬季休業
 2月中旬:
 留学生歓迎・送別懇談会

 (第2期: 4月～8月)
 4月10日頃:
 第2期授業開始
 6月第1金曜日～日曜日まで:
 大学祭
 8月:
 修了式・修了祝賀会



⑨ 指導体制

(1) 専任教員

氏名	所属	職名	専攻
山下 好孝	国際教育研究センター	教授	日本語学・スペイン語
小林 由子	国際教育研究センター	教授	日本語教育・学習科学
中村 重穂	国際教育研究センター	准教授	日本語教育・意味論
小河原 義朗	国際教育研究センター	准教授	日本語教育
鄭 恵先	国際教育研究センター	准教授	日本語学・社会言語学
山田 智久	国際教育研究センター	准教授	日本語教育・教師教育論

(2) 個別指導

a. 学業面

コース・コーディネーターが必要に応じて個別指導を行います。第2期(2018年4月～2018年8月)に「自主研究を受講する学生については各学生の指導教員が毎週1回個別指導を行います。

b. 生活面

1年間を通して、国際連携機構のカウンセラーが必要に応じて相談業務に当たります。

⑩ コースの修了要件

第1期及び第2期を通して異文化研究を2単位以上、選択必修科目(日本語科目)から10単位以上を含み24単位以上修得することを修了要件とします。この要件を満たした者には修了証書を授与します。なお、プレースメントテストにおいて初級レベルと判断された者は、初級クラスでの受講となり、修了要件を満たさないため、修了証書は発行されません。

※単位認定、単位互換等について

各期末に学生に対して成績表を交付するとともに、コース終了後、成績証明書を交付します。



■ 宿 舎

北海道大学には、恵迪寮(単身男子)、霜星寮(単身女子)、北大インターナショナルハウス(単身、夫婦、家族)の宿舎があり、日本語・日本文化研修生は上記のいずれかへの入居が可能となっています。

単身用宿舎月額：4,700円～30,000円



■ 修了生へのフォローアップ

修了生は、出身大学の学部に戻り、本コースにおける日本語・日本文化に関する研修成果を生かし、卒業に向けて学習を継続することになります。

本コース修了生の中には、出身大学を卒業後、日本に戻ってくる人も多くいます。日本で就職した者や本学の大学院修士課程の学生として在籍している者も少なくありません。なかには、本学の教員として採用されている者もいます。

大学院進学希望者に対しては、コース在学中に、コーディネーターが相談に応じます。また、日本での就職希望者に対しては、北海道大学のキャリアセンターがセミナーや情報提供を行っています。

また、終了後もSNSなどを通じて交流が続き、「人間関係ができたこと」を成果としてあげる修了生も少なくありません。

■ 問合せ先

大学所在地：

〒060-0815

北海道札幌市北区北15条西8丁目

担当部署：

北海道大学国際部国際教務課

TEL：

+81-11-706-8058

FAX：

+81-11-706-8067

E-MAIL：

jlcspp@oia.hokudai.ac.jp

大学のホームページ：

<http://www.hokudai.ac.jp/>

日研コースのホームページ

http://www.isc.hokudai.ac.jp/www_ISC/cms/cgi-bin/index.pl

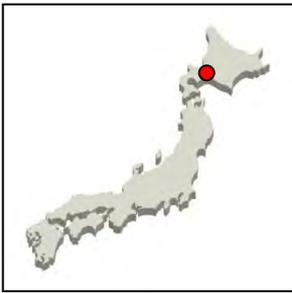
北海道大学国際教育研究センターのホームページ

> コース・プログラム

> 日本語・日本文化研修コース

担当教員：

小林 由子



北海道大学

HOKKAIDO UNIVERSITY

【Hokkaido】

The objectives of this program are:

- (1) to improve students' Japanese language proficiency in order to enable them to interact with Japanese speakers and to conduct research in Japanese;
- (2) to acquire basic knowledge and methodologies for Japanese studies – particularly relating to Japanese general and applied linguistics;
- (3) to gain a deeper understanding of Japanese language, culture and society through various courses – In the second semester (April – August), students can study a research topic in their field of specialty and complete a final report under the guidance of a supervisor.

■ University Overview

1. Outline and characteristics of Hokkaido University

Hokkaido University began as Sapporo Agricultural College, which was founded in 1876 as the first educational institution for agricultural studies in Japan.

The College was also the first institution in Japan to grant bachelor's degrees.

On its establishment the College invited Dr. William S. Clark, then president of Massachusetts Agricultural College in the United States, to be its Vice President. From its inception the College offered an education stressing cultural richness as well as advanced knowledge and skills. The frontier spirit of the time, echoed in Dr. Clark's farewell words "Boys, be ambitious", has been inherited as the spirit of foundation of the University throughout its over 130 years' history.

In 1949 Hokkaido University underwent major reforms to become a university with seven faculties and one department of general education, and it has since developed into one of the most distinguished universities in Japan.

The University currently consists of 12 faculties, 18 graduate schools, and 26 research institutes and centers, and has 2,093 academic staff, 11,824 undergraduate and 6,250 graduate students.



2. International Academic Exchange

(As of May 1, 2016)

Exchange Agreements: 172 Agreements,
176 Universities/Institutions in 47 Countries / Regions

3. Number of Overseas Students

- Total : 1,735 (from 87 countries) in 2016
1,570 (from 83 countries) in 2015
1,456 (from 80 countries) in 2014
- Japanese Language and Culture Studies Students:
65 (2016–2017)
52 (2015–2016)
50 (2014–2015)

4. Characteristics of the area

Hokkaido University is located on the island of Hokkaido, in the northern part of Japan which is rich in nature. The stunning main campus is located in downtown Sapporo, within walking distance of almost everything the beautiful city has to offer. With an additional campus in the coastal city of Hakodate, Hokudai is the frontier of real innovation in northern Japan.



■ Outline of the Program

1. Purpose of the Program

To improve students' Japanese language proficiency and acquire knowledge of Japanese affairs and culture.

2. Characteristic objectives of the program

The objectives of this program are:

- (1) to improve students' Japanese language proficiency in order to enable them to interact with Japanese speakers and to conduct research in Japanese;
- (2) to acquire basic knowledge and methodologies for Japanese studies – especially relating to Japanese general and applied linguistics;
- (3) to gain a deeper understanding both of Japanese language and culture. In the second semester (April – August), students can study a research topic in their field of specialty and complete a final report under the guidance of their supervisor.

3. Number of students accepted Total 40

Embassy 15, University 25

4. Qualifications of applicants:

Applicants must meet the following conditions:

- a. Status and field of specialty:
Applicants must be regular students in an undergraduate program at an overseas university. Applicants must be studying Japanese language or Japanese culture as their academic major. (First-year students are not eligible to apply.)
- b. Competence in Japanese language
Applicants should have N3 (or higher) on the Japanese Language Proficiency Test or the equivalent or higher proficiency in Japanese at the time of application. In particular, applicants should know 500 or more kanji and have the skill to understand conversation spoken at natural speed and read/write simple sentences.

*** Applications from students whose proficiency in Japanese does not meet the requirements will not be accepted. Any students who are found to have inadequate language skills after arrival will not be able to complete the program.**

c. Academic record:
Applicants must possess a good academic record at university level.

5. Course goals:

- a. To acquire sufficient Japanese proficiency for students to achieve their own goals in the skills of “Speaking”, “Listening”, “Writing” and “Reading”.
- b. To acquire sufficient knowledge and Japanese proficiency to be able to convey their study outcome in their own field.

6. Period of program

September 1, 2017 – August 31, 2018
Graduation Ceremony will be held in August 2017.

7. Outline of courses:

The program consists of two types of courses: courses in Japanese language and courses in Japanese linguistics, culture, society and independent study in the students’ field of specialty including a final report.

1) Compulsory Subjects

Type	Course name	Credit
Compulsory courses	Studies in Multiculture	2
Elective compulsory courses	Intermediate Japanese	1 or 2
	Advanced Japanese	1 or 2

Students must take at least 2 credits from “Studies in Multiculture” subjects and 10 credits from elective compulsory courses during the year. Students take 6 to 9 class hours of Intermediate and/or Advanced Japanese language courses per week. The courses will help students acquire sufficient knowledge and Japanese proficiency to be able to convey their study outcome in their own field.

Students will be allocated to Intermediate and/or Advanced Japanese language courses based on the result of the online placement test which students must take prior to their arrival in Japan. Those who are allocated to Introductory level will not be able to receive the Certificate of Completion.

2) Participatory courses

“Co-learning in Multicultural Classrooms” is the main part of “Studies in Multiculture” subjects. Around 10 courses are offered every semester as “Co-learning in Multicultural Classrooms” and they include courses that are followed by short trips. (“Rediscovery Hokkaido in Museum”, “Walk, Look, Think about Hokkaido University” ,etc...)

Also, there are some events such as “Holiday in Hidaka” and “International Night” that are held with the aim of interacting with Japanese students and local people, which are very popular among the students of the program.

3) Other lectures, Elective Subjects

Type	Course name	Credit
Elective compulsory courses	Studies in Japanese Language	2
	Studies in Japanese Culture	2
	Special Lectures	1, 2, 3 or 4
	Independent Study	2

Notes:

1. Students must take at least 24 credits in total throughout the year.

2. Elective subjects include courses opened to only students of the program (“Japanese Grammar”, “Japanese Writing System”, “Japanese History“ ,etc.), and “Independent Study” in which students can study a research topic in their field of specialty and complete a final report under the guidance of their supervisor.

3. Students may take approved subjects offered in “Arts and Sciences Courses in English”, the general education program or in the faculties at Hokkaido University in place of some elective courses.

*Japanese Language course syllabus is available from our homepage. Visit the homepage of Center for International Education and Research>
Course/Program >
Japanese Language Courses >
General Japanese Course



8. Annual schedule:

<1st semester>

From the middle week of September to the first week of October:

- Interview, Orientation
- Beginning of Oct:
Entrance ceremony, Starting Classes
- End of December to beginning of January:
Winter break
- Middle of February:
Welcome/Farewell party

<2nd semester>

- Around April 10th:
Starting Classes
- From the first Friday to Sunday in June:
University Festival
- August:
Graduation ceremony, Farewell party



9. Teaching and guidance:

(1) Teaching staff of Center for International Education and Research

Name	Title	Field Speciality
YAMASHITA, Yoshitaka	Professor	Japanese Linguistics Spanish Linguistics
KOBAYASHI, Yoshiko	Professor	Japanese Language Teaching Learning Science
NAKAMURA, Shigeho	Associate Professor	Japanese Language Teaching Semantics
OGAWARA, Yoshiro	Associate Professor	Japanese Language Teaching
JUNG, Hyeseon	Associate Professor	Japanese Linguistics Social Linguistics
YAMADA, Tomohisa	Associate Professor	Japanese Linguistics Teacher Education

(2) Personal guidance

a. Academic advice:

The course coordinator advises students on academic issues as the need arises. In the second semester, supervisors advise individual students who take Independent study each week.

b. General advice:

A counselor in the Institute for International Collaboration will give advice to students who need help throughout the year.

10. Conditions for completion of the course:

a. Students must take at least 10 credits from elective compulsory subjects throughout the year.

b. Students must take at least 24 credits in total including at least 2 credits from "Studies in Multiculture" subjects throughout the year .

A certificate of completion will be given to students who satisfy all the conditions stated above. Those who are allocated to Introductory level will not be able to receive the Certificate of Completion, since they fail to satisfy the requirements of the program.

○ Credit Transfer:

A list of completed courses and grades will be given to each student at the end of each semester. Students will also receive their transcripts at the end of the program.

■ Accommodation

- Keiteki-ryo (for single male students)
- Sosei-ryo (for single female students)
- Hokudai International House (for single men/women, married couples and families)

Accommodation is available for all students who join this program.

Range of rental costs for a single room: ¥4,700 – ¥30,000



■ Follow-up on our Alumni

After completing the program, students go back to their own universities and continue their studies with the achievement acquired through this program for their graduation.

On occasion, some of the Alumni of this program return to Hokkaido University after graduating from their home universities. We have some examples of those who are currently working in Japan and are studying in a master's program at Hokkaido University. Also one of the Alumni is now teaching at one of our Graduate Schools.

The program coordinator will give advice to students who hope to study in a master's program at Hokkaido University and also Hokkaido University Career Center will hold seminars and provide information to those who are thinking of working in Japan after graduating from their home universities. In addition, not a few of the Alumni keep in touch with each other through social networking systems and tell us that being able to build good relationships with other students can be one of the achievement acquired through this program.

■ Contact

Address :

Division of International Students,
International Affairs Department
Hokkaido University
Kita 15, Nishi 8, Kita-ku, Sapporo 060- 0815JAPAN

TEL :

+81-11-706-8058

FAX :

+81-11-706-8067

E-MAIL :

jlcsp@oia.hokudai.ac.jp

Homepage of Hokkaido University :

<http://www.oia.hokudai.ac.jp>

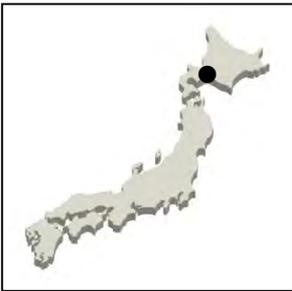
Homepage of JLSC program:

<http://www.oia.hokudai.ac.jp/jlcsp/>

Coordinator :

KOBAYASHI, Yoshiko





北海道教育大学 (北海道)



日本語や日本の文化、教育制度、北海道の先住民であるアイヌ民族の言語や文化についてのさまざまな授業を受けることができます。

◆大学紹介

① 大学の特色と概要

北海道教育大学は、教育学部1学部が5つのキャンパス（札幌、函館、旭川、釧路、岩見沢）に分かれており、日本語・日本文化研修留学生は、札幌キャンパスで学びます。

札幌キャンパスに設置された教員養成課程では、札幌の特色を活かしながら北海道全域にわたって教育現場に密着した教員養成を行います。

また、大学院修士課程には、学校教育専攻、教科教育専攻、養護教育専攻、学校臨床心理専攻、専門職学位課程には、高度教職実践専攻が設置されています。

② 学生数（2016年10月1日現在／5キャンパス合計）

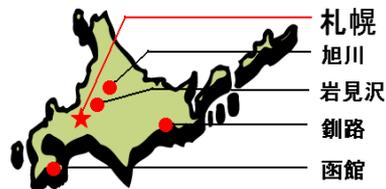
学部学生 5,041名、 大学院生（修士） 222名
大学院生（専門職学位） 78名、 養護教諭特別別科 19名

③ 国際交流の実績（2016年10月1日現在／5キャンパス合計）

留学生数 13カ国/地域 84名 国際交流協定教育機関 15カ国/地域 37大学

④ 日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績（過去3年）

2014年度 大使館推薦3名、 大学推薦2名
2015年度 大使館推薦2名、 大学推薦2名
2016年度 大使館推薦1名、 大学推薦1名



⑤ 北海道の特色

北海道は、日本の最北端に位置し、世界自然遺産の知床をはじめ雄大な自然に恵まれ、食文化も優れていることから、観光地としても有名です。北海道の夏は、台風の影響が少ない上、日本の他の地域に比べると気温が低いいため、とても過ごしやすいです。

また、冬は雪が積もり、気温が -10°C 以下になる地域もあります。スキーや雪祭りなど、冬の楽しみも体験できます。



◆プログラムの概要

① プログラムの研修目的

(b)日本語能力の向上のための研修を主とし、補助的な日本事情・日本文化に関する研修を行うもの

② プログラムの特色

本プログラムでは、留学生向けに用意された、日本語を学ぶ授業と日本文化を学ぶ授業の両方に参加することができます。全ての授業は日本語で行われており、日本語能力に応じて日本人学生向けの授業の受講を許可されることもあります。

大学の授業に加えて、学生サークル(クラブ活動)に参加することで、日本人学生とのさまざまな交流ができます。短期ホームステイへの参加の機会もあり「家庭における日本文化」を体験することができます。また北海道の地域性を生かして、北海道の大自然や先住民であるアイヌ民族文化について学ぶ研修旅行もあります。

③ 受入定員

5名（大使館推薦 3名、 大学推薦 2名）

④ 受験希望者の資格、条件等

日本以外の大学学部にて在学し、日本語・日本文化に関する分野を専攻している者。また、日本語の初級レベルの学習を終了した者。（日本語能力試験N4（3級）取得、もしくは日本語学習時間数300時間以上が望ましいです。）

⑤ 達成目標

日本語での日常会話がほぼ普通に話せるようになること。
具体的には、日本語能力試験N2以上に合格できる能力を身につけることです。

⑥ プログラム期間

2017年10月～2018年8月

⑦ 授業科目の概要

全ての授業が日本語で行われます。Ⅰ)～Ⅴ)は必修科目、Ⅵ)は選択必修科目です。(★ただし日本語能力検定試験N1程度の留学生は、Ⅰ)及びⅡ)の授業を受講しなくてもよい場合があります。)

- Ⅰ) 「日本語・日本事情」 (非N1:10月-2月 180時間) (★ N1:免除)
場面に応じて必要な日本語が使える、社会文化的なトピックについての簡単なディスカッションができるようにコミュニケーション・スキルを習得するとともに、大学での研究に役立つ総合的な日本語能力の習得を目指します。また、日本事情・文化について知るとともに、ディスカッションや自国文化の紹介を通じて、異なる文化を相互に理解する心を育てます。
- Ⅱ) 「アカデミック日本語」 (非N1:10月-2月 60時間) (★ N1:免除)
聴解能力や論文作成能力の向上など、大学での学習・研究活動に必要な技能を修得します。
- Ⅲ) 日本の文化や社会についての留学生向け講座 (非N1+N1:4月-8月 60時間)
日本の文化や社会の特色や特質について、講義・講演を聞いて学びます。内容は年度や学期によって変わります。
- Ⅳ) 留学生向けの体験型講座 (非N1+N1:4月-8月 30時間)
日本の文化や社会について実体験を通じて学びます。内容は年度や季節によって変わります。茶道や田植え、ゆかたの着付けや日本料理などを体験します。
- Ⅴ) 日本語文章作成のための講座 (非N1+N1:4月-8月 60時間)
各自が興味を持つテーマについて、修了時まで小論文を作成します。それに必要な日本語作文の力をつけるための講座です。
- Ⅵ) 一般学生向けの授業からの選択 (非N1: 4月-8月 30時間×2科目以上)
(★ N1:10月-2月 30時間×7科目 4月-8月 30時間×2科目)
一般学生向けの授業の中から必要科目数以上選択して、日本人学生と一緒に受講します。



風呂敷 楽しい!!



お寺で座禅体験

⑧ 指導体制

責任教員：国際交流・協力センター
札幌校センター長

本堂 知彦 (英文学)

協力教員：開設科目担当教員
国際交流・協力センター教員

大賀 京子 (日本語教育)
阿部 二郎 (日本語教育)

⑨ 行事

- ・大学近隣の日本人家庭でのホームステイ体験をします。
- ・学生の国際交流サークルによる季節ごとのイベント等があります。
- ・ホームステイ協会が主催するイベントがあります。
- ・地域の学校を訪問し、日本の学校を実際に見ることができます。
- ・札幌近郊での研修旅行があります。

⑩ プログラムの修了要件、修了証書の発行

決められた日本語教育科目、日本事情・日本文化関連科目の受講、及び修了小論文の執筆を修了要件とし、プログラムを修了した者には、修了証を授与します。

⑪ 単位認定、単位互換等

履修科目において所定の成績をおさめた場合は単位を認定し、成績証明書を発行します。

◆ 宿 舎

大学周辺の民間アパートや札幌国際交流会館等を紹介します。留学生用の寮はありません。

①過去3年間の日研生の宿舍入居状況
大学が紹介した民間アパートか札幌国際交流会館に入居しています。

② 宿舍費 (月額)

民間アパート 26,000円 ~ 60,000円程度 (地域や設備によって異なります)
札幌国際交流会館 27,600円

※光熱水料費、食費及び大学までの通学費等が別途かかります。

◆ 修了生へのフォローアップ

①フォローアップの実績
北海道教育大学大学院への進学説明会を開催し、留学生の相談に乗っています。

②修了後のキャリアパス
帰国後に本国の大学を卒業し、日系企業への就職を果たし、日本語を使用して勤務されている方が多数います。また、本国や日本の大学院へ進学し、日本もしくは日本語に関わる研究をさらに進めている方々もいます。中には日本で就職をしている方や、札幌市の国際交流員を経験した方もいます。

◆ 問い合わせ先

大学所在地： 〒002-8501 札幌市北区あいの里5条3丁目1番3号

担当部署： 学務部 国際課

連絡先： TEL: 011-778-0673 FAX: 011-778-0675

E-MAIL: g-kokusai@j.hokkyodai.ac.jp

ホームページアドレス：<http://www.hokkyodai.ac.jp/>

Hokkaido University of Education (Hokkaido)



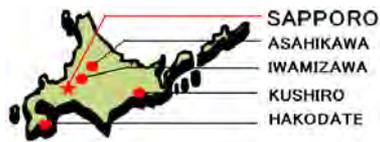
We provide Japanese Studies Students with a variety of classes on Japanese language, culture, Japanese education system, and the language and culture of *Ainu*, the Hokkaido Natives.

◆ Overview of the University

(1) Overview

The Faculty of Education, the sole faculty at the Hokkaido University of Education, has five campuses (Sapporo, Hakodate, Asahikawa, Kushiro and Iwamizawa) and covers all areas of education. Japanese Studies Students will be assigned to Sapporo campus.

As a Teachers Training Department, Sapporo campus offers its unique program to afford students opportunities to learn practical teaching skills they will need in their teaching fields.



The Graduate School of Education offers the following programs:

- a) M.Ed. level: School Education/Subjects Education/School Health Nursing/Clinical Psychology and School Education
- b) Professional Degree level: Advanced Teacher Professional Development Programs

(2) Current enrollment (5 campuses total as of Oct. 1, 2016)

- Undergraduate: 5,041 • Postgraduate: 300
- Special Course for Nurse Teachers: 19

(3) International relations (5 campuses total as of Oct. 1, 2016)

- 84 Students from 13 countries/regions
- 37 Exchange partner universities in 15 countries/regions

(4) Number of Japanese Studies Students (past 3 years)

AY 2014	Embassy nominee: 3	University nominee: 2
AY 2015	Embassy nominee: 2	University nominee: 2
AY 2016	Embassy nominee: 1	University nominee: 1



(5) About Hokkaido

Hokkaido prefecture is located at the north end of Japan and is a popular sightseeing spot for its majestic nature including the World Nature Heritage Site, *Shiretoko*, and fascinating food culture.

Low humidity and minimal damage from typhoon make the summer pleasant, while in the winter, you can enjoy winter sports and snow festivals, though the temperature can go down below -10 °C in some areas.

◆ Program Outline

(1) Program Objective

(b) A course conducted mainly to improve students' Japanese language proficiency with supplementary study about Japan and Japanese culture

(2) Features

In this course we offer both Japanese language classes and Japanese culture classes. All the classes are conducted in Japanese, and with enough Japanese proficiency you will be allowed to take classes conducted for regular Japanese undergraduate students.

Along with these classes, you are free to join extra curriculum student club activities where you will experience intercultural communication with Japanese college students. You can also experience "Japanese culture at home" through a short term home-stay program. We also have a Hokkaido study tour resourcing the regional characteristics so one may experience and learn about diverse nature of Hokkaido and its indigenous people, the Ainu, and their culture.

(3) Number of students to be accepted

5 students (Japanese Embassy nominee: 3, University nominee: 2)

(4) Minimum requirements for applicants

Applicants must be an undergraduate at a non-Japanese university majoring in fields related to the Japanese language or Japanese culture.

In addition, applicants are expected to have studied Japanese at the elementary level or higher: Acquisition of N4 (3rd) level of the Japanese Language Proficiency Test, or approximately 300 hours of Japanese language study experience is desirable.

(5) Achievement Goal

To speak fluent Japanese in everyday conversation

To attain to the N2 or higher level fluency of the Japanese Language Proficiency Test

(6) Period

October 2017 to August 2018

(7) Classes

All the classes are conducted in Japanese.

I) - V) are mandatory, VI) is mandatory elective. (Applicants who have passed the N1 level of Japanese-Language Proficiency Test may be exempted from I and II. *)

I) Japanese Language and Culture :Open Oct.-Feb.

(Non N1 holders: 180 hrs. * N1 holders: may be exempted)

Aims to develop the student's practical skills of the Japanese language.

The students learn well-balanced language skills for academic research at the University, especially communication skills for discussion on social-cultural topics. Students also deepen their knowledge of the Japanese culture and develop the cross-cultural understanding through discussion and presentation of their own cultures.

II) Academic Japanese Language :Open Oct.-Feb.

(Non N1 holders: 60 hrs. * N1 holders: may be exempted)

Aims to improve the student's listening skill and academic writing skill for study and research at the University.

III) Japanese Culture and Society Course for international students :Open April-Aug.

(Non N1 holders and * N1 holders: 60 hrs.)

Aims to study Japanese culture and society through lectures and talks.

Contents may vary every term.

IV) Experience-based Japanese Culture and Society Course for international students :Open April-Aug. (Non N1 holders and * N1 holders: 30 hrs.)

Aims to study Japanese culture and society based on field experiences including tea ceremony, rice planting, yukata dressing, Japanese cooking, and so on.

Contents may vary every term.

V) Academic Japanese Writing Course :Open April-Aug.

(Non N1 holders and * N1 holders: 60 hrs.)

Each student is required to write a research essay in Japanese on a theme of their interest by the end of exchange. It aims to practice academic Japanese writing skills for essay writing.

VI) Elective subjects from HUE Undergraduate Course List :Open Oct.-Aug.

(Non N1 holders: 2 subjects/ 30hrs. April-Aug.)

(* N1 holders: 7 subjects / 30hrs. Oct.-Feb. ; 2 subjects / 30hrs. April-Aug.)

Students are required to register for subjects selected from HUE Undergraduate Course list and attend classes with Japanese students.



Furoshiki Wrapping is amazing!



Zen meditation at a temple!

(8) Faculty

Instructors and advisors:

- **Tomohiko HONDO**, Prof. of English Literature, Director of the Sapporo International Center
- **Kyoko OGA**, Associate Prof. of Japanese, International Center
- **Jiro ABE**, Associate Prof. of Japanese, International Center

(9) Events

- Home stay experience with a Japanese family near the campus
- Seasonal activities of an International Student Club
- Home stay association events
- Local school visits
- Field trip around Sapporo

(10) Certificate of Completion

The Hokkaido University of Education issues a Certificate of Completion to students once they finish their courses of study including the required subjects; Japanese language, Japan studies, Japanese culture, Final project.

(11) Credits

An official academic transcript will be provided to students who successfully completed their studies.

◆ Accommodation

We will help each student to find a place in an off-campus apartment or Sapporo International House. There are not any dormitories for only international students.

- (1) Housing for the Japanese Studies Students (past 3 years)
Off-campus apartment and Sapporo International House
- (2) Monthly rent
Apartment: 26,000yen – about 60,000 yen (depends on the area and facilities)
Sapporo International House: 27,600 yen
※Utilities, meal expenses and commuting costs are not included.

◆ We Follow Up With Completing Students

- (1) In Following Up.....
We hold briefing sessions for exchange students on graduate study in Japan, and provide individual consultation for those who are interested in applying to Graduate Schools of Hokkaido University of Education.
- (2) Career Path after Completing the Course
After going back to their countries and graduating from their universities, many work at Japanese-affiliated companies using Japanese. Some have gone up to graduate schools in their countries or in Japan, pursuing their studies relating to Japan or Japanese language. There are some who are working in Japan, or who have worked as Coordinators for International Relations in Sapporo.

◆ Contact Information

International Section, Hokkaido University of Education
5-3-1, Ainosato, Kita-ku, Sapporo 002-8501 Japan
Phone: +81-(0)11-778-0673 Fax: +81-(0)11-778-0675
E-mail: g-kokusai@j.hokkyodai.ac.jp Web: <http://www.hokkyodai.ac.jp/>



弘前大学 (青森県)



弘前大学

本州の最北端で、日本をまなぶ。

■大学紹介

① 大学の特色および概要

1949年に設立されてから、青森県内および近県の教員、医師、公務員等の人材育成を担ってきた、歴史のある国立大学です。5学部、7研究科で多彩な分野の研究を行っています。

設立：1949年

学生数：合計：6,931人

学部生：6,080人

大学院：851人

留学生数：144人

○学部

人文社会科学部、教育学部、理工学部、
農学生命科学部、医学部

○大学院

(修士課程)	(博士課程)
人文社会科学研究科	地域社会研究科
教育学研究科	理工学研究科
理工学研究科	保健学研究科
農学生命科学研究科	医学研究科
保健学研究科	

② 国際交流の実績

海外協定校29校 (14国)、海外拠点3箇所
(中国2, タイ1)

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留 学生の受入れ実績

2016年：留学生数144人、日本語・日本文化研修留学生1人

2015年：留学生数154人、日本語・日本文化研修留学生2人

2014年：留学生数135人、日本語・日本文化研修留学生3人

④ 地域の特徴

弘前大学がある弘前市は、人口18万の町に4つの大学がある学園都市です。もともと津軽藩の城下町として栄えた由緒ある町ですが市の周囲は農村部で、比較的物価が安く、留学生には住みやすい町であると言えるでしょう。市はコンパクトにまとまり、大学の周囲には学生向けのアパート、食堂や居酒屋などで学生街が形成されています。市の繁華街に歩いて15分～30分程度で行くことができます。学生の主な交通手段は自転車です。

■コースの概要

① 研修目的

日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のために研修を行うもの。

② コースの特色

○様々な分野の勉強が可能な環境

本学の日研究生コースは、自分で既に学びたい分野があり、その基礎を作ったり、さらに深めたいという学生に最適のコースです。

留学生用の日本語日本文化関係科目から、学部の専門科目まで、幅広い分野の授業を受けることができます。そのため、日本語日本文化関係の興味ある分野や周辺分野の基礎を作ることができます。

また、学部の教員が指導教員としてつきますから、日本語能力に応じて日本人と同じ指導を受けることができます。

弘前は地方の小都市ですが、伝統ある城下町で、伝統的な生の日本文化に容易に触れることができます。

○学部に所属して研究室の一員に

日研究生は、人文社会科学部か、教育学部かいずれかの学部に所属し、特に日本語能力が高い学生は日本人学生と一緒にゼミナールに参加、ゼミの行事に参加しています。

(近年、日研究生を受け入れた教員の専門分野は、日本文学、比較文学、日本史、思想史、国語学、言語学、言語教育学、社会学、日本美術学、民俗学、考古学、国際政治などです。)

○充実した実地見学・体験学習

留学生向けの「国際交流科目」は実地体験、体験学習を多く取り入れております。



③ 受入定員

4名 (大使館推薦2名、大学推薦2名)

④ 受講希望者の資格、条件等

このプログラムの受講者は、大使館から推薦された日本語・日本文化研修留学生とし、かつ、以下の要件を満たす者とします。まず、大使館推薦の要項をよく読んでください。

また専門によって以下の条件を加えます。

・日本で調査・研究活動をする予定の学生は、調査・研究活動に必要な言語能力があること

・日本で文献収集を行う予定の学生は、日本語で文献を読む能力があること。

(注意) 日本に関する特定の専門分野（日本文学「古代、中世、近代、現代」、日本語学「古代、中世、近代現代」、日本史「古代、中世、近代」、日本考古学、日本美術史、日本経営、民族学など）を学ぶ希望のある学生は、分野名を願書に明記することが必要です。

また、文学と歴史については、時代を示すことが可能であれば望ましいです。学びたい分野として「日本語」「日本文化」「日本事情」としか書かれていないと、これらは日本の大学では専攻名としては扱われていませんので、専門が違う教員が指導教員になる場合もあります。

⑤ 達成目標

○日本語:より高い総合日本語力(N3~N1超)の獲得。

○研究対象分野:対象分野についてのプロジェクトを行ったりできるようになる。

⑥ 研修期間

2017年10月1日 ~ 2018年8月31日

修了式は8月を予定(2016年は8月)

1:秋学期 10月1日 ~ 2月上旬

2:春学期 4月上旬 ~ 8月上旬 各16週

⑦ 研修科目の概要

一般学生・短期プログラム用の授業を受講しながら個々の専門に応じた資料収集、調査等の指導を受ける。

・日本語科目

(科目名)	(回数)	(内容)
中級A	週2回	総合日本語
中級B/E	週2回	読解
中級C	週1回	作文
中級D	週1回	文法
中上級A	週1回	スピーチ・聴解
中上級B	週1回	読解
中上級C	週1回	作文
中上級D	週1回	文法
上級E	週1回	専門日本語基礎

2) 理論と体験を通して学ぶ日本事情科目 インターンシップ 科目

(科目名)	(回数)	(内容)
日本のスポーツ	週1回	日本の伝統スポーツの理論と実際
津軽の工芸	週1回	津軽工芸の歴史学習と体験実習
津軽近代文化史	週1回	講義と見学で学ぶ地域近代史
インターンシップ	週1回	インターンシップ
地域ツーリズム	週1回	インターンシップ (インターンシップにはN2相当以上の総合日本語力が必要)

3) 主に日本語で開講される専門科目等

教養教育科目(1,2年生用の基礎・教養科目)
学部専門科目等

⑧ 年間行事

10月	秋学期オリエンテーション
10月	総合文化祭
12月	桔梗野餅つき大会
2月	外国人留学生卒業懇談会
4月	春学期オリエンテーション
8月	ねぶた運行参加、桔梗野町会盆踊り

⑨ 指導体制

・日本語担当教員

小山 宣子 国際連携本部 准教授
(日本語教育学)

鹿嶋 彰 国際連携本部 准教授
(日本語教育学)

・日本文化・日本事情担当教員

諏訪 淳一郎 国際連携本部 准教授
(文化人類学)

サワダ・ハンナ 国際連携本部 准教授
(比較文学・文化)

生活面では国際連携本部の専任教員が指導・助言に当たり、学業面においては学部の指導教員が指導・助言に当たります。

⑩ コースの修了要件

○本プログラム修了者には、1年で20単位の修得と修了レポートの提出を条件として、研修修了証書を授与します。

○授業科目を履修した者については、試験の上、合格した者に単位を与えます。

■宿 舎

国費外国人留学生（日研究生を含む）を対象とした宿舎は現在ありません。希望により、市内のアパート（1万5千円~3万5千円程度）を紹介できます。

■修了生へのフォローアップ

○フォローアップ実績の一例

- ・修了レポートを卒業論文につなげるために、弘前大学教員がサポート
- ・再度日本に留学し、大学院に出願している学生へ、弘前大学教員がサポート
- ・母国での研修分野での大学院進学をサポート

○修了後のキャリアパスの一例

- ・母国で日本語教員として就職
- ・母国や日本の企業で専門性を生かした仕事に従事

■問合せ先

(担当部署)

弘前大学国際連携本部

住所 〒036-8560
青森県弘前市文京町1

TEL +81-172-39-3109 (直通)
FAX +81-172-39-3133
E-mail jm3109@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学国際連携本部ホームページ

<http://www.hirosaki-u.ac.jp/kokusai/index.html>

弘前大学ホームページ

<http://www.hirosaki-u.ac.jp/>

日研究生ホームページ

<http://www.hirosaki-u.ac.jp/kokusai/page/jp/page12%20-1.html>



Hirosaki University (Aomori Prefecture)



Study "JAPAN" in Hirosaki.

■ Introducing

① Characteristics and Overview

Hirosaki University is the only National University in Aomori Prefecture. It is now comprised of 5 faculties and 7 graduate schools.

Established: 1949

Number of students : 6,931

Undergraduate : 6,080

Graduate : 851

International students : 144

○ Faculties :

Humanities and Social Sciences, Education,
School of Medicine,
Science and Technology, Agriculture and
Life Science

○ Graduate schools

Humanities and Social Science (M)
Education (M)
Science and Technology (M&D)
Agriculture and Life Science (M)
Medicine (D)
Health Science (M&D)
Regional Studies (D)

② International Exchange

Sister Universities: 29 (14 countries)

Overseas offices: 3 (China 2, Thai 1)

③ Number of Japanese Studies Students in past 3 years (including students recommended by the University)

2016:144 International students, 1 JSSs

2015:154 International students, 2 JSSs

2014:135 International students, 3 JSSs

④ Characteristics of Town

Hirosaki city where Hirosaki University is located is a university town, having 4 universities with a population of 180,000. Hirosaki has been prospered originally as a castle town, used to be ruled by the Tsugaru clan, however it's surrounded by farming areas. The living cost is relatively low, and it's livable for students from abroad.

Students would feel comfortable to live in, because there are many students in this area. You can find apartments, dining, and bars for students around this university area. And you can go to the downtown in about 15-30 minutes on foot. Most students use bicycles as a primary means of transportation.

■ Outline

① Purpose of Course

This course is mainly about Japan and Japanese culture with supplementary study to improve Japanese language proficiency.

② Characteristics of Course

○ Environments making it possible for various subjects of study

This course is suited to students who have an area they wish to do research and deepen their knowledge. The Department of International Education and Collaboration staff will support students' investigations, experiments, and research.

Because they will be assigned an Academic Advisor in a faculty, it is possible for them to receive the same supervision as Japanese students, depending on their level of Japanese proficiency.

Though Hirosaki city is local and small, you can experience conventional, real Japanese culture in this traditional castle town.

○ Join faculty and become a member of a laboratory

As students who belong to Faculty of Humanities and Social Sciences or Faculty of Education, those who have high Japanese language proficiency can attend seminars and use the facilities like the Japanese students. They can take part in events organized by seminars, such as trips.

(Specialized fields of recent accepted Japanese Studies Students are: Japanese Literature, Comparative Literature, Japanese History, History of Thought, Japanese Philology, Linguistics, Language Education, Sociology, Japanese Arts, Folklore, Archeology, International Politics)

○ Fulfilling field trips, hands-on experiences

Many of "International Exchange courses" feature field trips and hands-on experiences.



③ Number of students to be accepted: 4 people (University recommendation = 2) (Embassy recommendation = 2)

④ Conditions for eligibility

Students should be recommended by the Japanese Embassy in their country as students in our Japanese Studies Program and should meet the requirements below. Please read the guidelines for the scholarship program carefully.

- For students researching/studying in Japan:
Adequate language proficiency in order to carry out investigations and conduct research
- For students acquiring documents in Japan:
Adequate language proficiency in order to read academic papers

Please Note:

Students planning to study specific areas concerning Japan are required to define their fields of study as clearly as possible.

For example, Japanese Literature (Ancient, Middle, Modern, and Postmodern), Japanese Linguistics (Ancient, Middle, Modern, and Postmodern), Japanese History (Ancient, Middle, and Modern), Archeology, History of Art, Japanese Management, Japanese Folklore, etc.

Japanese Language, Japanese Culture, and Japanese Affairs are not considered as course names, so without further specification, students may be assigned to an Academic Advisor outside their preferred field.

⑤ Course Goals

- Japanese: Should aim to improve Japanese skill (N3~N1 or above)
- Research subjects: Should aim to be able to work on a project.

⑥ Duration

Oct. 1,2017 ~ Aug. 31,2018
 1: Fall semester Oct. 1 ~ Early Feb.
 2: Spring semester Early Apr. ~ Early Aug.
 (16 weeks each)
 Commencement will be held on Aug.

⑦ Outline of trainee subject

Students are provided guidance regarding collecting materials and conducting research in their field while taking classes for regular students and the Short-Term Student Exchange Program course.

1) Japanese

Subject	Schedule	Content
Intermediate A	twice a week	General Japanese
Intermediate B/E	twice a week	Reading
Intermediate C	once a week	Writing
Intermediate D	once a week	Grammar
UpperIntermediate A	once a week	Speech Listening
UpperIntermediate B	once a week	Reading
UpperIntermediate C	once a week	Writing
UpperIntermediate D	once a week	Grammar
Advanced E	once a week	Foundation of basic Japanese

2) Japanese Culture subjects learning by theories and experiences, and internship

Subject	Schedule	Content
Japanese sports	once a week	Traditional Japanese Sports
Tsugaru arts	once a week	Traditional Tsugaru Art study
Modern Tsugaru History	once a week	Modern history of Tsugaru
Internship	once a week	Internship
Regional tourism	once a week	Internship

3) Other Subjects

General education (for freshman and sophomore), special subjects of departments

⑧ Annual Event

- Oct. Fall term orientation
- Oct. University Festival
- Dec. Kikyono Community rice cake-making party
- Feb. International student graduation and completion celebration
- Apr. Spring term orientation,
- Aug. Participation in the Neputa festival and Kikyono community bon dance

⑨ Teaching Staff

• Staff in charge of Japanese language courses:

Nobuko Oyama, Associate Professor,
Department of International Education and
Collaboration,
specializing in Japanese language pedagogy

Akira Kashima, Associate Professor,
Department of International Education and
Collaboration,
specializing in Japanese language pedagogy

• Staff in charge of Japanese cultures and affairs:

Junichiro Suwa, Associate Professor,
Department of International Education and
Collaboration,
specializing in Anthropology

Hannah Sawada, Associate Professor,
Department of International Education and
Collaboration,
specializing in Comparative literature and culture

Academic advisors and teachers in the
Department of International Education and
Collaboration are in charge of providing advice
regarding life in Japan and all teachers in the
department are in charge of providing guidance
regarding study.

⑩ Requirements for completing the program

○ A certificate of completion is awarded for students
completing this program with 20 credits in a year and
submitting a report of completion.

○ Students receive credits when they take class subjects and
pass the exam.

■ Housing

There are no specific accommodations for national scholarship
students. The Department of International and Collaboration
will help the students find apartments (¥15,000–¥35,000 per
month) .

■ Follow-ups for completed students

○ Example of the follow-up

- Support by teachers of Hirosaki University to guide the
students' report of completion in their thesis
- Support by teachers of Hirosaki University for students who
wish to continue their study and apply for a graduate school in
Japan

○ Example of career path

- Japanese language teacher in students' home countries
- Work for companies of Japan or students' countries by
utilizing their specialties

■ For further information

Hirosaki University
Department of International Education and
Collaboration
Bunkyo-cho 1
036-8560 Hirosaki City
Aomori Prefecture Japan

Tel.: +81-172-39-3109

Fax: +81-172-39-3133

E-mail: jm3109@hirosaki-u.ac.jp

Department of International Education and
Collaboration Home Page Address:

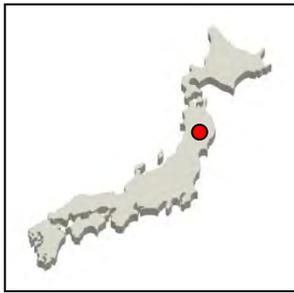
[http://www.hirosakiu.ac.jp/
kokusai/index.html](http://www.hirosakiu.ac.jp/kokusai/index.html)

Hirosaki University Home Page Address:

<http://www.hirosaki-u.ac.jp>

Website for Japanese Studies Students:

[http://www.hirosaki-
u.ac.jp/kokusai/page/jp/page12%20-1.html](http://www.hirosaki-u.ac.jp/kokusai/page/jp/page12%20-1.html)



岩手大学 (岩手県)



知識、体験、分析を融合させた知的発見による学びの場を提供

■大学紹介

① 大学の特色および概要

岩手大学は、宮沢賢治の母校として、また、東日本大震災以降は特に地域の復興に取り組み、地域の持続的な発展に寄与することを目的として「震災復興・地域創生」「グローバル人材育成」「イノベーション創出」の3つを柱とした持続可能な地域社会に貢献する「地域密着型」の大学である。

1949年に学芸学部、工学部、農学部からなる新制大学として発足し、2016年4月から学部として人文社会科学部、教育学部、理工学部及び農学部へ改組された。2017年4月には大学院修士課程は総合文化学専攻、地域創成専攻、理工学専攻、農学専攻からなる総合科学研究科として改組予定である。また、大学院博士課程として工学研究科（博士後期課程）と連合農学研究科を有している。

学内共同教育研究施設としては、教育推進機構（グローバル教育センター）、情報基盤センター、保健管理センターなどが設置されている。

岩手大学は学生数約5,500名、教職員約750名（うち教員約480名）の大学である。4つの学部がすべて同じキャンパスに設置され、10分以内でキャンパスのどこへでも移動でき、皆が集まれるのも大変便利である。

本学には約50万点の資料や標本等がある。これらの財産を学内で教育研究に用いるだけでなく、一般市民にも活用してもらう目的で、大学全体を総合博物館として“岩手大学ミュージアム”の名称で一般公開している。中には植物園、自然観察園、獣医学科標本室等の施設や重要文化財に指定されている農業教育資料館、旧門番所・旧正門があり、市民の憩いの場ともなっている。

② 国際交流の実績

2016年5月1日現在で、中国・ロシア・モンゴル・タイ・アメリカ等15カ国1地域、49の大学・研究機関等と国際交流協定を締結している。

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

	2014	2015	2016
留学生数	209	219	207
日本語・日本文化 研修留学生	6	5	3

④ 地域の特色

本学の位置する盛岡市は、北東北の交通の中心地であり、豊かな自然に囲まれた人口30万の教育・文化都市である。

岩手は、宮沢賢治・石川啄木・野村胡堂・萬鉄五郎・田中館愛橘・金田一京助など、学術・文化に貢献した多くの人材や、後藤新平、新渡戸稲造ら国際的に活躍した人物を生み出した土地である。総理大臣も4人輩出している。県南部に位置する平泉はかつて奥州藤原氏が栄華を誇った土地で、2011年6月にユネスコの世界遺産に登録された。2015年7月に、ユネスコ世界文化遺産に登録された橋野鉄鉱山も釜石市にある。また、県中央部の遠野は、多くの民話や伝承が残り、民俗学者 柳田國男の『遠野物語』で有名である。

さらに、2011年3月の東日本大震災では沿岸地域に甚大な被害を被ったが、盛岡をはじめ内陸地域から被災地支援が継続的に行われ、地域一体となって復興を目指している。

こうした豊かな文化や歴史を有し、また大きな自然災害を経験した岩手の、県都盛岡の中心部に位置する岩手大学で学ぶことは、即ち日本の文化や風土を理解し、災害を含め自然と人間との共存について知るのに適した地域であると言えるだろう。世界各国の有為の若者の訪れを期待している。



■コースの概要

① 研修目的

(a)日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行う。

② コースの特色

本コースのねらいは、日本語及び日本の諸事情、即ち日本の文化・歴史・地理・政治・経済・社会・教育等について、理解を深めさせることにある。教室内の学習にとどまらず、日本文化体験、地域住民との文化交流活動、ボランティアなど様々な体験学習が豊富に用意され、体験を通して「日本語」「日本文化」どちらも学べるのが本学のプログラムの特色である。なお、歴史、文化については英語による授業も準備され、日本人学生との共修により理解を深めることができる。

また、滞在中を通じてひとつのテーマについて修了論文をまとめる「個別研究」を通じて、実践的な研究力を高め、卒業論文の基礎研究とすることができる。

③ 受入定員

5名（大使館推薦2名、大学推薦3名）

- ④ 受講希望者の資格、条件等
このコースを受講する者は、次の1), 2) を満たしていることを要件とする。

- 1) 中級以上の日本語学習歴を持ち、日常生活に必要な会話能力、文章の読み書き能力を有する。
- 2) 日本語・日本文化に関する分野を専攻している、または他の分野を専攻しながら日本語・日本文化に関する分野も学習している。

- ⑤ 達成目標
本コースの達成目標は以下の通りである。
- 1) 日本語によるアカデミックな文章作成力、口頭発表力を習得する。
 - 2) 日本や岩手について体験に基づく幅広い知識を獲得し、理解、解釈する能力を得る。

- ⑥ 研修期間
2017年10月1日 ~ 2018年8月31日
修了式は8月を予定

- ⑦ 研修科目の概要
本コースは、
- 1) 日本語・日本事情等に関する授業
 - 2) 各自の研究テーマに関する専門の授業（日本人学生とともに参加）
 - 3) 個別研究
- の3つで構成される。

指導教員の助言のもとに、留学生向け科目のみならず、本学の教養教育科目、専門科目の中から各自の能力、関心に応じて選択し、履修することができる。自由度の高いカリキュラムを活用することにより、独自の日本語・日本文化の研究を深めることが可能となる。

「個別研究」では日本語・日本文化に関するテーマを選択し、文献分析、調査などにより研究を進め、その成果は口頭ならびに小論文で発表を行う。

本学で開講されている日本語・日本事情関係の授業科目は、以下の通り（1コマ=90分）である。

日本語科目	
国際教育科目	中級日本語Ⅱ文法
	中級日本語Ⅱ会話
	中級日本語Ⅱ作文
	中級日本語Ⅱ漢字
	中級日本語Ⅱアカデミック
	上級日本語アカデミック
	上級日本語ビジネス
教養教育科目	上級日本語A（口頭発表）
	上級日本語B（読解1）
	上級日本語C（理系1・文系1）
	上級日本語D（論文作成1）
	上級日本語E（口頭表現）
	上級日本語F（読解2）
	上級日本語G（理系2・文系2）
	上級日本語H（論文作成2）

日本事情科目・参加型科目	
教養教育科目	日本事情A
	日本事情B
	多文化コミュニケーションA
	多文化コミュニケーションB
国際教育科目	Iwate Studies（岩手学）A
	Iwate Studies（岩手学）B

日本文化・日本研究科目（国際教育科目）
Japanese History A・B
Comparative Japanese History A・B
Japanese Traditional Culture A・B
やさしい日本語で語る日本の古典文学
School Internship I, II
国際合宿
個別研究

- 1) 必修科目
 - ①日本語科目：各学期4単位以上
 - ②日本事情科目：各学期2単位
 - ③日本文化・日本研究科目2単位以上
 - ④個別研究
- 2) 見学、地域交流等の参加型科目
 - ①岩手学：周辺の名所・旧跡等を訪ねたり、博物館等の文化施設で研修を行なう。
 - ②多文化コミュニケーション：合宿研修が組み込まれた、留学生と日本人学生との交流型授業である。

その他、学内・学外のイベント、ボランティア活動等に積極的に参加して、関係者や市民との交流を深める。大学祭、さんさ踊り（地域の祭り）、スキーツアー、着物体験会など季節毎の催しが学外諸団体の協力のもとに数多く実施され、留学生がこれらを通して日本文化を実体験できる。小中高などに招かれて交流会等に参加することも多い。

- 3) その他の講義、選択科目等
人文社会科学部、教育学部、理工学部、農学部で開講されている専門教育科目の中から、各自の能力、関心に応じて講義を選択することができる。

⑧ 年間行事

- 10月 開講式・オリエンテーション
不來方祭（文化祭）
- 11月 北東北国立三大学合同合宿研修
- 12月 生け花体験、着物体験
- 1月 フィールドスタディ（スキー）
- 6月 留学生と市民のガーデンパーティー
- 7月 個別研究発表
- 8月 盛岡さんさ踊り
プログラム修了式
フィールドスタディ（見学旅行）



フィールドスタディ（見学旅行）



フィールドスタディ（スキー）

⑨ 指導体制

留学生の専門分野や興味・関心にマッチする専攻の教員が、指導教員としてあたる。また、日本語指導や生活・就学上の相談などについては、グローバル教育センターの教員が担当する。

グローバル教育センターの専任教員は、次の通りである（2017年度予定）。

職名	氏名
教授	松岡 洋子
准教授	尾中 夏美
准教授	アンデス カールキビスト
准教授	平井 華代
准教授	主演 祐二
特任助教	ウィリアム ブラネン

⑩ コースの修了要件

修了判定＝必修科目を全て履修した者について、履修科目の成績により判定する。また、成績等の条件を満たした場合、各履修科目について単位修得証明書を発行する。

着物体験



ガーデン
パーティー

■ 宿 舎

キャンパス内に位置する国際交流会館（単身用30室、夫婦用3室、研究員用3室）や日本人学生と混住の学生寮、あるいは大学が借り上げている民間アパートに入居が可能である。

http://iuic.iwate-u.ac.jp/01_hope/hope_05/index.html



国際交流会館

■ 修了生へのフォローアップ

帰国後の進路等について、継続的に連絡をとり、情報交流や必要な支援を行う。

また、日本での就職希望者について、キャリア支援課と協力し、ガイダンス等の支援を行う。

■ 問合せ先

（担当部署）

岩手大学学務部国際課

住所 〒020-8550

岩手県盛岡市上田三丁目18-34

TEL +81-19-621-6927（直通）

FAX +81-19-621-6290

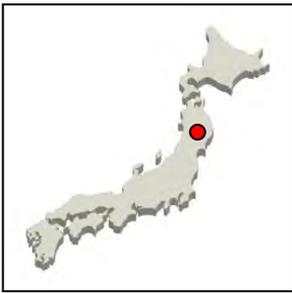
E-mail gryugaku@iwate-u.ac.jp

岩手大学グローバル教育センターホームページ

<http://iuic.iwate-u.ac.jp/>

岩手大学ホームページ

<http://www.iwate-u.ac.jp/>



Iwate University (in Iwate Prefecture)



We provide intellectual discoveries integrating knowledge, experience, and analysis.

■ Profile of Iwate University

① Profile of Iwate University

Located in the prefectural capital Morioka, Iwate University is known for being the alma mater of the famous author and poet, Kenji Miyazawa. The university's main missions are: Disaster Recovery-Vitalization of Local Areas, Development of Global Human Resources, and Fostering Innovation. To this effect, Iwate University has become known as a leader for recovery of areas affected by the Great East Japan Earthquake in 2011. Thus, it is a "locally-oriented university," contributing to a sustainable local community.

Iwate University was founded in 1949 with the Faculties of Liberal Arts, Engineering, and Agriculture, and continues to grow to this day. As of April 2016 our four undergraduate faculties have been reorganized into Humanities and Social Sciences, Education, Science and Engineering, and Agriculture, with a master's program in each Faculty. These programs will be integrated into the Graduate School of Arts and Sciences in April 2017, offering divisions in Interdisciplinary Cultural Studies, Regional Development and Creativity, Science and Engineering, and Agriculture. The university also offers a doctoral program in the Faculty of Engineering and the United Graduate School of Agricultural Sciences.

In addition, we have many interdisciplinary departments and affiliated institutions to support our academic activities, such as the Center for Teaching, Learning, and Career Development (Global Education Center); Super-Computing and Information Sciences Center; and Health Administration Center.

There are approximately 5,500 students enrolled

at Iwate University, with 480 teaching faculty members and 270 administrative staff to support them. Located in the center of Morioka, all four faculties are on the same campus and are only a few minutes' walk from each other.

Iwate University is proud of its collection of nearly 500,000 valuable materials and relics provided by the hard work of past and present faculty members and students.

Access to the university's resources are not limited to students and staff; we have initiated the "Iwate University Museum" concept, enabling the entire university to become a virtual museum, granting the public access to facilities and cultural treasures such as the University Botanical Garden, Nature Center, Center for Veterinary Study, and the Historical Museum for Agricultural Education, which is designated as an Important Cultural Property.

② International Exchange Agreements

As of May 1, 2016 Iwate University has exchange agreements with 49 institutions abroad in 15 countries and 1 region.

③ International Students (2014-2016)

	2014	2015	2016
Foreign Students Enrolled	209	219	207
Japanese Studies Students Enrolled	6	5	3



Historical Museum for Agricultural Education

④ About Iwate

With a population of 300,000, Morioka City is the largest community in Iwate Prefecture, and serves as the cultural and economic center of the region. Morioka has an abundance of nature, and is known for its charm, history, and culinary delights.

There are many people from Iwate who have played important roles in the areas of scholarship, culture, and politics. Among them include Kenji Miyazawa, the poet Takuboku Ishikawa, and author and international administrator Inazo Nitobe. In addition, Iwate is home to four former Prime Ministers.

Hiraizumi, located in southern Iwate, was the center of prosperity of the Fujiwara clan in historical times. Hiraizumi was registered as a UNESCO World Heritage site in June 2011, followed by the Hashino Iron Mining and Smelting Site in Kamaishi in July 2015. Tohno, well-known for its folkloric culture, is located in the center of Iwate Prefecture and home to the famous folklorist, Kunio Yanagida who wrote the classic, Tales of Tohno.

In March 2011, many of Iwate's coastal areas were devastated by the Great East Japan Earthquake. Morioka, as well as numerous other communities in Iwate, have continued to provide support for the disaster-affected areas.

Iwate has a rich culture and history, yet has also experienced a great natural disaster. Studying at Iwate University is most suitable for those wanting to understand Japanese culture, and how nature and humans impact each other. We at Iwate University always look forward to inviting talented minds from around the world to enjoy life and learning on our campus.

■ Program Outline

① Purpose

This program offers international students the opportunity to learn about Japanese culture and society with supplemental language courses to improve their Japanese-language skills.

② Profile

The program focuses on Japanese language and society as a whole: culture, history, geography, politics, economics, society, and education.

In order to enhance international students' understanding of Japan, they engage in hands-on experiences outside the classroom, such as kimono workshops, tea ceremonies, and Japanese calligraphy, among others. There are also classes on Japanese history and culture taught in English, where international students can learn with other Japanese students.

In addition, international students are required to write an academic report focusing on a topic of their selection related to Japanese culture.

③ Maximum Enrollment: 5

(Recommended by a Japanese Embassy: 2)
(Recommended by Iwate University: 3)

④ Qualification for Enrollment

To apply for this program, international students must meet the following requirements:

- 1) An intermediate or advanced level of Japanese proficiency, and the ability to carry on daily conversation and read simple passages in Japanese.
- 2) A major or minor in Japanese language, Japanese culture, or a Japan-related field at their home institution.

⑤ Goals and Objectives

- 1) Students will acquire academic writing and presentation skills in Japanese.
- 2) Students will acquire a wide-range of knowledge based on their experiences in Iwate and Japan, and the skills to understand and expand on these experiences.

⑥ Program Period:

October 1, 2017 – August 31, 2018

⑦ Outline of Courses

The course of study has three main components: Japanese language and culture classes, classes in international students' areas of study to be taken with Japanese undergraduates, and independent studies.

International students are assigned an adviser who will help them decide the number of classes to take. They can register for courses (based on availability) which have been specially designed for international students, as well as general education courses and specialized subjects. Thus, international students are able to focus on their specific area of interest.

Those taking Independent Studies are required to research a topic related to Japanese language and culture, and report their findings in an academic report and oral presentation.

Courses encompassing the study of the Japanese language and society are listed on this page. (One class lasts 90 minutes). International students in the Japanese Language & Culture Studies Program (JLC) are able to take interdisciplinary courses and supplementary courses.

Introductory Major Courses
Japanese History A•B
Comparative Japanese History A•B
Japanese Traditional Culture A•B
Japanese Classical Literature in Easy Japanese
School Internship I, II
International Seminar
Independent Studies



Kimono
Workshop

Japanese Language Courses	
International Education Courses	Intermediate Japanese II Grammar
	Intermediate Japanese II Conversation
	Intermediate Japanese II Composition
	Intermediate Japanese II Kanji
	Intermediate Japanese II for Academics
	Advanced Japanese for Business
General Education Courses	Advanced Japanese A (Presentations)
	Advanced Japanese B (Reading 1)
	Advanced Japanese C (JSP for Science/Social Science 1)
	Advanced Japanese D (Writing 1)
	Advanced Japanese E (Oral Communication)
	Advanced Japanese F (Reading 2)
	Advanced Japanese G (JSP for Science/Social Science 2)
	Advanced Japanese H (Writing 2)

Japanese Affairs & Participatory Courses	
General Education Courses	Japanese Culture & Society A
	Japanese Culture & Society B
	Multicultural Communication A
	Multicultural Communication B
International Education Courses	Iwate Studies A
	Iwate Studies B

1) Required Courses

- ① Japanese Language:
Minimum 4 credits per semester
- ② Japanese Culture and Society
2 credits per semester
- ③ Japanese Culture and Research
Minimum 2 Credits
- ④ Independent Studies

2) Courses for Active Participation

- ① Iwate Studies:
Students visit museums and other places of interest to learn about the history of Iwate.
- ② Multicultural Study Camp
Students explore multicultural communication through community collaboration with junior high school and other university students.

Additionally, international students are encouraged to participate in university and locally sponsored cultural events, such as the cherry blossom viewing party, bus tours, camps, summer festivals, *mochi* making, skiing and hot spring visit, Girl's Doll Festival, Kimono workshop, and more. These hands-on experiences are excellent opportunities to learn about Japanese culture. International students are also invited to local schools for cultural exchange.

3) Other Courses

International students can choose classes, depending on their own skills and interests, from various specialized subjects related to Japanese language and culture from any of the faculties: Humanities and Social Sciences, Education, Science and Engineering and Agriculture.



Field Study

⑧ Annual Events

- Oct. Opening Ceremony and Orientation, University Festival
- Nov. International Camp for Multicultural Communication Training
- Dec. Ikebana and Kimono Workshop
- Jan. Ski Trip
- Jun. Garden Party
- Jul. Final Presentation
- Aug. Morioka Sansa Odori Festival, Field Study, Closing Ceremony,

⑨ Teaching Staff

Advisers are assigned to individual students to help them in their respective fields of study. In addition, faculty members from the Global Education Center assist international students with their Japanese language study as well as academic and daily life.

Global Education Center faculty members:

Professor	Yoko Matsuoka
Associate Professor	Natsumi Onaka
Associate Professor	Anders Carlqvist
Associate Professor	Hanayo Hirai
Associate Professor	Yuji Shuhama
Specially Appointed Assistant Professor	William Brannen

⑩ Requirements for a Certificate of Completion

International students who have completed all required courses are screened according to their academic scores. Credits are earned if academic scores meet credit requirements. A Certificate of Completion and official transcripts will be issued to those who have successfully completed the program.



Ski Trip

■ Resident Facilities

The International House is an on-campus housing facility for international students. It has 30 single units, 3 units for couples, and 3 units for researchers. International students can live in the International House for up to 1 year. There are additional dormitories and university-managed apartments near the campus.

http://iuc.iwate-u.ac.jp/english/01_hope/hope_05/index.html



International House

■ Follow-up for Graduates

International students can receive continued support after completion of the program about their career paths through consultation with the university's Career Support Office.

■ Contact Address

International Office, Iwate University
3-18-34 Ueda, Morioka, Iwate 020-8550
TEL : +81-19-621-6927 (direct line)
FAX : +81-19-621-6290
Email : gryugaku@iwate-u.ac.jp
URL : <http://www.iwate-u.ac.jp>
<http://iuc.iwate-u.ac.jp/>



東北大学 (宮城県)



自主的な学習・研究活動を好む学生に向けたプログラムである。多数の日本語の授業に加えて、日本思想史、日本文学関連の授業を常時開講している。また、授業での発表のしかた、報告の書き方などアカデミック・スキルの指導にも力を入れている。

■大学紹介

① 大学の特色および概要

1) 東北大学は日本で3番目の国立大学として1907年に創設された。現在、10の学部、16の大学院研究科、3つの専門職大学院及び6つの研究所がある。伝統の「門戸開放の精神」と「研究第一主義」にもとづき、国際級の大学として、教育・研究上重要な役割を果たしている。

2) 学部名、教員数、学生数は次のとおりである。
(平成28年5月)

学部: 文学部、教育学部、法学部、経済学部、
理学部、医学部、歯学部、薬学部、
工学部、農学部

教員数: 3, 193名

学生数: 学部学生 11, 052名
大学院生 6, 799名 計 17, 851名

② 国際交流の実績

留学生数: 1, 942名 (93カ国) (2016年5月現在)
外国人研究者数: 2, 658名 (2015年度受入実績)

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2016年: 留学生数1,942人、日本語・日本文化研修留学生5人
2015年: 留学生数1,663人、日本語・日本文化研修留学生6人
2014年: 留学生数1,532人、日本語・日本文化研修留学生10人

④ 地域の特徴

宮城県は東北地方に属している。東部は太平洋に面し、仙台平野をはさんで西部は山地となっており、漁業、農業等がさかんである。東北大学のある仙台市(人口約100万)は城下町として栄えた都市で、現在は東北地方の経済・文化の中心として重要な役割を果たしている。昔から「杜の都」と言われ、日本の中でも美しく住みやすい都市の一つとして知られている。首都の東京からは新幹線で1時間40分の距離である。

■コースの概要

① 研修目的

日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行うもの。

② コースの特色

東北大学日本語・日本文化研修プログラム

本プログラムは、多様な日本語・日本文化関係の授業の中から、当人のレベル・目的に適合した授業を選択して受講する方式になっている。自主的な学習・研究活動を好む学生に向けたプログラムである。多数の日本語の授業に加えて、日本思想史、日本文学関連の授業を常時開講している。また、授業での発表のしかた、報告の書き方などアカデミック・スキルの指導にも力を入れている。

③ 受入定員

10名(大使館推薦9名、大学推薦1名)

④ 受講希望者の資格、条件等

本プログラムへの応募者は、原則として次の条件を満たすことが求められる。

- 1) 中級以上の日本語能力（国際交流基金が実施している日本語能力試験の2級以上の能力）を有すること。
- 2) 原籍大学において、日本語・日本文化に関する分野を主専攻としていること。

⑤ 達成目標

日本語能力の向上、および日本・日本文化に対する理解を深める。

⑥ 研修期間

2017年10月1日 ～ 2018年9月30日
修了式は9月を予定（2016年は9月）

⑦ 研修科目の概要

1) 関連科目

留学生のために開講されている右記の授業科目を中心に受講する。授業は1回90分である。

レベル	授業種別	学習内容	期間
中級後期	文法	中級後期の文法を学ぶ。	15週
	聴解	ニュースなどの聴解練習を行い、日本社会に関する知識を得る。	〃
	聴解	e-learning システムを利用して聴解練習を行う。	〃
	会話	ゼミ形式で会話練習を行う。報告、発表、討論などの方法を学ぶ。	〃
	読解	解説文や論説文の読解を通して、学術的な文章の表現や構造を学ぶ。	〃
	作文	学術的文章の作成の技法を身につける。学期末に小論文を書く。	〃
	応用	応用練習。日本人学生をまじえたコミュニケーションのクラス。	〃
	漢字	大学で使う基本的な語彙を重点的に学習する。	〃
	日本文化	日本の歌を素材として日本語・日本文化を学ぶ。	〃
	日本文化	日本研究ゼミ。論説文の概要を報告し、内容について討論する。	〃
上級	日本文化	日本の企業で働くために必要な日本語表現やマナーを学ぶ。	〃
	日本文化	経済学・経営学の分野で使われる日本語を学ぶ。	〃
	文法	上級前期の文法を学ぶ。	〃
	読解	日本の社会や文化についての文章の読解により学術的表現を習得する。	〃
	応用	応用練習。研究のための日本語の総合的な力をつけることをめざす。	〃
	漢字	大学での勉学・研究に必要な漢字語彙を学習する。	〃
	映像	映画やTVドラマを見て、日本語と日本文化を学ぶ。	〃
	多文化	日本人学生とともに現代日本社会について考える。	〃
	日本思想	江戸時代までの歴史を、思想を中心に学習する。	〃
	日本思想	明治時代以降の歴史を、思想を中心に学習する。	〃
近代・現代文学	日本文化	著名な日本文化論を読み、意見交換を行う。	〃
	日本研究	日本研究ゼミ。論説文の概要を報告し、内容について討論する。	〃
	近代・現代文学	明治時代から現代までの文学作品からテキストを選んで読み、内容について話し合う。	〃

2) 見学、地域交流等の参加型科目

全学の留学生のうち、希望者を対象とする特別講義を年5回行う。特別講義は、日本の伝統文化についての実演をかねた授業である。華道、和菓子作り、茶道、和太鼓など。

3) その他の講義、選択科目等

全学の学部学生を対象とした全学教育科目や、各部署で開講している学部学生向けの授業も、担当教員の許可を得て履修又は聴講することができる。

⑧ 年間行事

オリエンテーション、開講式、インターナショナル・アワー（年8回程度：日本人学生や他の留学生との交流行事）、国際祭り など。

⑨ 指導体制

担当教員：安藤 晃 教授

（高度教養教育・学生支援機構

言語・文化教育センター長）

日本語教育部門スタッフ：39名

事務責任者：我妻建史 教育・学生支援部留学生課長

※ 研修生には指導教員がつく。

⑩ コースの修了要件

研修生は各学期7科目以上の授業を履修しなければならない。

■ 宿 舎

施設及び所在地

- ・ 国際交流会館三条第一会館
仙台市青葉区三条町19-1
- ・ 国際交流会館三条第二会館
仙台市青葉区三条町10-15
- ・ 国際交流会館東仙台会館
仙台市宮城野区東仙台6-14-15
- ・ ユニバーシティ・ハウス三条
仙台市青葉区三条町19-1
- ・ ユニバーシティ・ハウス三条Ⅱ
仙台市青葉区三条町19-1
- ・ ユニバーシティ・ハウス片平
仙台市青葉区一番町1-14-15

【ホームページ】

<http://sup.bureau.tohoku.ac.jp/housing/index.html>



■ 修了生へのフォローアップ

プログラム終了後の参加者に本学教員が行うサポートは、基本的にはメール等の通信手段を用いたものとなるが、担当教員が派遣元大学を直接訪問する形で参加者への事後の指導を行う機会を用意する。また、派遣元大学と本学との学術交流を促進すべく協議する。

■ 問合せ先

東北大学教育・学生支援部留学生課国際教育係
住所 〒980—8576

宮城県仙台市青葉区川内41

TEL +81-022-795-7817

FAX +81-022-795-7826

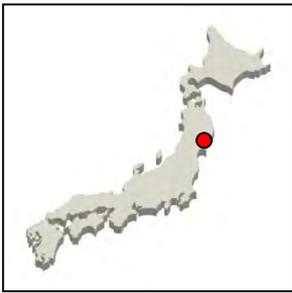
E-mail sed2@grp.tohoku.ac.jp

東北大学グローバルラーニングセンターホームページ

<http://www.insc.tohoku.ac.jp/>

東北大学ホームページ

<http://www.tohoku.ac.jp/>



TOHOKU UNIVERSITY (Miyagi Prefecture)



This program is aimed at students who have a strong motivation and interest in independent research activities. In addition to a number of Japanese language courses, the program regularly offers classes in the history of Japanese thought, Japanese literature, etc. A focus of the program is to train students in academic skills for class presentations and report writing.

■ University Overview

① University Overview

Tohoku University was founded in 1907 as the third national university in Japan. It consists of 10 undergraduate faculties, 16 graduate schools, 3 professional graduate schools and 6 research institutes. Based on the principles of “research-first” and “open-door” policies, it is committed to playing a vital role in international cooperative research and educational endeavors as a world-famous university.

2) Departments: (as of 1 May, 2016)

Arts and Letters, Education, Law, Economics, Science, Medicine, Dentistry, Pharmacy, Engineering, Agriculture

Number of students, etc.

Faculty members: 3,193

Undergraduate students: 11,052

Graduate students: 6,799 total : 17,851

② International exchange track record

International students: 1,942

(from 93 nations and areas) (as of 1 May, 2016)

International visitors & researchers: 2,658

(April, 2015–March, 2016)

③ Students accepted in recent years

International students in 2016: 1,942

Japanese and Japanese Culture Training Course students: 5

International students in 2015: 1,663

Japanese and Japanese Culture Training Course students: 6

International students in 2014: 1,532

Japanese and Japanese Culture Training Course students: 10

④ Characteristics of the Region

Miyagi Prefecture belongs to the Tohoku (northeastern) district of Japan. The eastern part of the prefecture faces the Pacific Ocean while the western part is mountainous. Between them lies the Sendai Plain. Fishery and agriculture are the chief industries in the prefecture. Tohoku University is located in Sendai City, which has a population of about 1,000,000. The city once prospered as a castle town and still plays an important role as the economic and cultural center of the Tohoku district. Sendai has been called the “City of Trees” and is widely known as one of the most beautiful and environmentally pleasant cities in Japan. It is about 1 hour and 40 minutes by Shinkansen (super express) from Tokyo.

■ Program Overview

① Training Goals

The main goal of the program is to educate students about Japan and Japanese culture, and provide supplementary training to improve their Japanese language skills.

② Features of the course

Characteristics of the Japanese Language & Japanese Culture Studies Program at Tohoku University

This program is aimed at students who have a strong motivation and interest in independent research activities. The students can take classes of their choice from a large variety of Japanese language and culture courses offered at Tohoku University.

In addition to a number of Japanese language courses, the program regularly offers classes in the history of Japanese thought, Japanese literature, etc. A focus of the program is to train students in academic skills for class presentations and report writing.

③ Quota: 10 students

Embassy Recommendation: 9

University Recommendation: 1

④ Qualifications and Requirements for Applicants

Applicants must satisfy the following conditions.

1) Applicants are expected to have passed level 2 (or higher) of the Japanese Language Proficiency Test provided by the Japan Foundation, or have equal or higher proficiency.

2) Applicants must be studying Japanese language or Japanese culture as their academic major at their home universities.

⑤ Goals and Objectives

Improvement of Japanese ability, and understanding of Japan and Japanese culture.

⑥ Program Duration

October 1, 2017 – September 30, 2018

Closing ceremony is scheduled for September.

⑦ Classes

1) Related Subjects

All classes meet for 1.5 hours per week. The following table is a list of Japanese language and culture related classes for international students.

Level	Class type	Educational content	Weeks
Intermediate	Grammar	Learn intermediate level Japanese grammar	15
	Listening	Practice listening to news about Japanese society	"
	Listening	Practice listening comprehension using CALL	"
	Conversation	Practice seminar-style conversation : reporting, presenting and discussion	"
	Reading	Learn to read academic papers and articles in Japanese	"
	Composition	Learn to write academic papers and articles in Japanese	"
	Practice	Practice communication with Japanese students	"
	Kanji	Learn college-level Kanji	"
	Culture	Learn Japanese language and culture through songs	"
	Culture	Read about and discuss culture and society in Japanese	"
Advance	Culture	Learn expressions and manners for business situations in Japan	"
	Culture	Learn Japanese used in economics and management	"
	Grammar	Learn advanced-level Japanese grammar	"
	Reading	Learn academic expressions by reading books on Japanese society and culture	"
	Practice	Learn comprehensive academic Japanese skills	"
	Kanji	Learn Kanji characters necessary for college-level study	"
	Culture	Learn about Japanese language and culture through films and TV programs	"
	Culture	Consider Japanese society together with Japanese students	"
	Culture	Learn about Japanese history up to the Edo period	"
	Culture	Learn about Japanese history after the Meiji period	"
Culture	Read famous articles on Japanese culture and discuss them in class	"	
Culture	Read and discuss language and culture in Japanese	"	
Culture	Read modern Japanese literature selectively and discuss it in class	"	

2) Workshops on Japanese Culture

The program also offers workshops on Japanese culture (flower arrangement, making Japanese sweets, tea ceremony, Japanese drums, etc.)

3) Other lectures, electives, etc.

Besides the classes for international students, program students may, with the permission of the instructor, take or audit undergraduate classes in other departments (e.g. Faculty of Arts and Letters).

⑧ Events

Orientation, Opening Ceremony, International Hours, International Festival, etc.

⑨ Support System

Academic advisor : ANDO, Akira

(Professor in Center for Culture and language education Institute for Excellence in Higher Education), and 39 others

Administrative officer : WAGATSUMA, Takeshi

(Director of Student Exchange Division)

※ An academic advisor will be assigned to each student.

⑩ Requirements for Course Completion, Conferral of Certificate

Students in the program are required to take a Minimum of 7 classes per week each semester.

■ Dormitories

Dormitories and Locations

- International House Sanjo 1
19-1 Sanjomachi Aobaku Sendai 981-0935
- International House Sanjo 2
10-15 Sanjomachi Aobaku Sendai 981-0935
- International House Higashi-Sendai
6-14-15 Higashisendai Miyaginoku Sendai 983-0833
- University House Sanjo
19-1 Sanjomachi Aobaku Sendai 981-0935
- University House Sanjo II
19-1 Sanjomachi Aobaku Sendai 981-0935
- University House Katahira
1-14-15 Ichibancho Aobaku Sendai 983-0833

【Website】

http://sup.bureau.tohoku.ac.jp/housing/index_en.html



■ Follow-up for Alumni

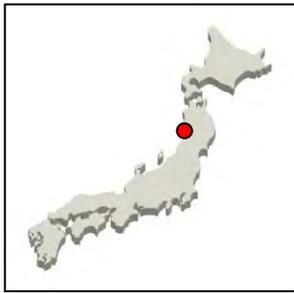
In general, support for participants after they complete the program will be conducted by Tohoku University instructors via email and other communication methods. However, we will also plan opportunities for instructors to visit the students' home universities in person to provide post-program guidance. In addition, we will discuss ways to promote academic exchange with the participants' home universities.

■ Contact

International Education Section
Student Exchange Division, Tohoku University
Address :
41 Kawauchi, Aoba-ku, Sendai, 980-8576 JAPAN
Phone : +81-22-795-7817
Fax : +81-22-795-7826
E-mail sed2@grp.tohoku.ac.jp

Global Learning Center, Tohoku University
<http://www.insc.tohoku.ac.jp/>

Tohoku University Homepage
<http://www.tohoku.ac.jp/en/>



秋田大学 (秋田県)



秋田の豊かな自然と風土に立脚し、秋田独自の視点から日本文化および地域文化を十分に学ぶことができます。

日本人学生との交流、異なる文化背景を持った他留学生との交流の機会が数多くあり、体験的に日本語・日本文化を習得できるコースです。

■大学紹介

① 大学の特色および概要

秋田大学は、教育文化学部、医学部、理工学部、国際資源学部の4学部（研究科を除く）からなる総合大学で、約5,000人の学生が学んでいます。

日本語・日本文化研修留学生を受け入れる教育文化学部の歴史は古く、今日まで120有余年にわたり教員養成と地方文化の拠点として幾多の人材を教育、学芸、文化の各方面に送り出してきました。



秋田大学
外観

② 国際交流の実績

大学間協定を58大学（30カ国・地域）、部局間協定を16学部等（9カ国）と結び、留学生の受入れや日本人学生の派遣などを活発に行っています。

③ 過去3年間の受入れ留学生数 及び

日本語・日本文化研修留学生の受入実績
(毎年度10月1日実績)

年度	留学生数	日研生
2014	195	4
2015	229	5
2016	200	2

④ 地域の特徴

秋田市は秋田県の県庁所在地で、東北地方に位置し、人口は約32万人、東北地方の主要都市の一つです。

秋田県は、世界自然遺産である「白神山地」、日本の深さを誇る湖「田沢湖」などがあり、自然の美しさに溢れた地域です。自然豊かな山に囲まれ、各シーズンを通して、登山や温泉などを楽しむことができます。



秋田駒ヶ岳



田沢湖

また、「かんとう」「なまはげ」「かまくら」などの伝統的な行事が多数受け継がれているほか、小京都と呼ばれる「角館」など、史跡も数多く、そこでは人々の心のあたたかさにつれることができます。



夏：かんとう



冬：かまくら

■コースの概要

① 研修目的

日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行います。

② コースの特色

秋田大学日本語・日本文化研修プログラムは、日本の大学での勉強に必要な日本語能力を習得し、秋田地域独自の視点から日本文化を理解・研究するためのプログラムです。

●「日本語」授業

講義を理解してノートを取り、試験やレポートを書ける、ゼミなどで専門的な討論に参加し自分の意見を発表できる、交友を広げるための異文化コミュニケーション能力の技能習得等をめざします。

●「日本文化」授業

最大の特長は、全て日本人学生と共に受講することができる点です。秋田の文化を深く知ることをめざした「日本文化入門」などの学生参加型授業だけでなく、日本語の古典の思想について古典文法の知識がなくとも学ぶことのできる「日本の古典文学」など専門的知識を学ぶこともできます。

●「課題研究」

「日本語」および「日本文化」授業で学んだ成果と、秋田・日本での生活経験から得た問題意識を研究レポートとしてまとめる「課題研究」を必修としています。「課題研究」では少人数でじっくり考えながら研究テーマを決め、それぞれの受講生にあった研究方法を教員が助言します。

③ 受入定員

大学推薦：2名 大使館推薦：2名

④ 受講希望者の資格、条件等

●必要な日本語レベル

日本語能力試験N2レベル。
やや高度な文法・漢字(1,000字程度)・語彙(6,000字程度)を習得し、日常生活についての会話ができ、読み書きできる能力を求めます。

●日本語学習歴および専攻の条件

外国の大学で日本語・日本文化に関する教育を行う学部・学科に在籍し、日本語を600時間程度学習し、中級日本語コースを修了した者を対象とします。

⑤ 達成目標

●日本語学習

日本語で学術的内容のレポートを作成し、その内容について口頭で発表でき、また質疑にも日本語で答えられる能力の習得を目指します。

これは、日本語能力試験1級(N1)合格相当にあたりますが、自分の問題意識を他者に伝えるための日本語能力習得を重視します。

●日本文化学習

一般的な日本文化理解にとどまることなく、日本人と合同の授業やさまざまな課外活動の経験、また秋田県での日常生活を通じ自らの課題を見つけ、それに基づいて、日本文化とは何か、秋田の文化とは何かを考察できるようになる地点をめざします。

⑥ 研修期間

秋semester: 2017年10月~2018年2月
春semester: 2018年4月~2018年8月
(各学期15週間+テスト 1コマ90分)

●修了式は8月を予定

⑦ 研修科目の概要

1) 必須科目

研究課題 (90×15回)	日本語・日本文化科目での学習、および秋田での生活を通して発見したことに基づき、論文を作成する
------------------	--

2) 選択必修科目

i) 日本語科目

日本語4-I/II (各90分×30回)	大学生活に必要な会話能力 および漢字を身につける
日本語4-III/IV (各90分×30回)	大学生活に必要な読解と作文 能力を身につける
日本語4-V/VI (各90分×15回)	中級レベルの文法・語彙・表現の 運用能力を総合的に高める
日本語5-I/II (各90分×15回)	論文やレポートなどの高度な書き方 を習得する
日本語5-III/IV (各90分×15回)	日本語によるプレゼンテーション能力 を身につける
日本語5-V/VI (各90分×15回)	大学の勉学や就職に必要な発表の 技法を身につけ、口頭表現力を向上させる
日本語5-VII/VIII (各90分×15回)	上級レベルの文法・語彙・表現の 運用能力を総合的に高める
日本語5-IX (90分×15回)	日本語でさまざまなスタイルの文章 を書く
日本語5-X (90分×15回)	論文の読解の仕方を学ぶ

ii) 主な日本文化科目 (選択必修)

※日本人学生との合同授業
掲載されている授業以外にも、授業が用意されています。

日本文化入門 I/II (各90分×15回)	日本や秋田の文化について学ぶ
日本の古典文学 (90分×15回)	古典文学を通じ、日本文化の背景について理解を深める
日本文学概論 (90分×15回)	近代日本文学史を学び、おもな近代文学の作品を読む
日本語教育学入門 I/II (各90分×15回)	日本語教育学の歴史的背景、日本語教育観、評価観の現状に関して考察する
日本語文化論 (90分×15回)	日本語文法に潜む盲点について、助詞の問題を中心に、具体例に沿いながら、分析・検討する。
日本の近代文学 (90分×15回)	夏目漱石『こころ』全編を10回に分けて精読する
多文化コミュニケーション 入門 I/II (90分×15回)	グループワークをとおして、長い文章を書く

3) 参加型科目 ※日本人学生との合同授業

日本社会入門 I/II (90分×15回)	日本や秋田の文化について農業体験や施設見学を通じて学ぶ
多文化交流論 I/II (各90分×15回)	日本人学生と討論し、コミュニケーション力を向上させる
社会教育課題研究	まちづくりに関し地域での現地調査を行い、研究成果を発表する

4) 実技(選択) ※日本人学生との合同授業 (90分×15回)

柔道	サッカー
----	------

⑧年間行事（2015年実績）

- 2月 卒業・修了パーティ
冬の伝統行事体験/スキー合宿
- 7月 夏の見学旅行（羽後町）
- 10月・11月 秋田の農家民泊体験
- 12月 もちつき

このほかにも、地域のボランティアの方々に協力をいただき、着物や茶道、生け花の体験なども行っています。



もちつき



スキー合宿

⑨指導体制

国際交流センター専任教員
市嶋 典子 准教授
E-mail: ichis@gipc.akita-u.ac.jp

国際交流センター専任教員
佐々木 良造 助教
E-mail: ryocho@gipc.akita-u.ac.jp

国際交流センター専任教員
平田 未季 助教
E-mail: mihirata@gipc.akita-u.ac.jp

留学生の学習や生活上の問題解決の手助けをするため、国際交流センターの担当教員が個別指導や補講を行っています。

⑩コースの修了要件、修了証書の発行

◆修了要件：
コース期間中、日本語・日本文化科目を各 Semester7コマ以上受講し、課題研究の小論文を提出すること

◆修了証書の発行：期間修了時（2016年8月予定）

■宿 舎

- 留学生用宿舎等（単身用）
 - ①留学生会館（27室）
 - ②国際交流会館 A棟（10室）
 - ③国際交流会館 B棟（18室）

※室数が限られているため、希望者全員が希望の宿舎に入居できるとは限りません。宿舎に入居できない場合は、生協を通じてアパートを探すことができます。

- 過去3年間の日研生の宿舎入居状況
 - ・2014年度 大学借上アパート4名
 - ・2015年度 大学借上アパート5名
 - ・2016年度 国際交流会館B棟2名
- ※借上アパートは2016年度で廃止

- 宿舎費（単身用・月）
 - ①②5,900円 ③15,000円
 （ガス・水道・電気などの光熱費は含まない）

●各個室の設備等
ユニットバス・トイレ、冷蔵庫、キッチン、ベッドなど。各部屋にエアコンも完備。
※ふとん、食器などは各自用意願います。

- 通学時間：①徒歩15分 ②③徒歩5分
- 参照ホームページ
http://www.pcix.akita-u.ac.jp/inter/in_guide.html



■修了生へのフォローアップ

- 研究レポートを日研生のウェブサイトに掲載し、他の研究者から問い合わせがあった場合は、速やかに修了生に連絡して、研究の進展を支援しています。
- 研究レポートを卒業論文作成へとつなげるために、帰国後も「課題研究」担当教員が卒業論文執筆援助を行います。

●キャリアパスの例

- 1) 母国の出身大学に就職し、留学生関係の仕事に従事。
- 2) 日本のホテルに就職し接客業務に従事。
- 3) 母国の日本国大使館に就職。



忠犬ハチ公で有名な秋田犬

■問い合わせ先（担当部署）

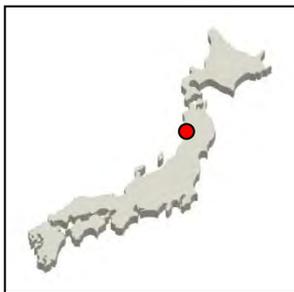
秋田大学 国際課 留学生交流・支援担当

住所 〒010-8502
秋田県秋田市手形学園町1-1
TEL +81-18-889-2258
FAX +81-18-889-3012
E-mail ryugaku@jim.u.ac.jp

●秋田大学ホームページ
<http://www.akita-u.ac.jp/honbu/index.html>

●秋田大学国際交流センターホームページ
<http://www.pcix.akita-u.ac.jp/inter/index.html>

●日研生ホームページ
http://www.pcix.akita-u.ac.jp/inter/in_class.html



Akita University



Japanese Studies Students at Akita University can deepen their understanding of Japanese culture and local culture from a unique view point of Akita. They can also experience Japanese language, culture and other views through interaction with Japanese students and other international students of various cultural backgrounds.

■ University's Overview

1. History and Features

Akita University is a comprehensive university comprising four faculties, namely, Faculty of Education and Human Studies, Faculty of Medicine, Faculty of Engineering Science and Faculty of International Resource Sciences.

The Faculty of Education and Human Studies has a long history. Up to the end of the past 120 years, as a center of teacher's training and local culture it has produced a lot of talented people for the fields of education, liberal arts and culture.



2. Academic agreements

The international exchange is very brisk in Akita University. We have inter-university agreements with 57 universities in 29 countries and regions. We also have inter-faculty agreements with 17 faculties of universities in 9 countries as of October 1, 2015.

3. Number of International students

Japanese studies program students

2014: International Students	195
Japanese studies program	4
2015: International Students	229
Japanese studies program	5
2016: International Students	
Japanese studies program	2

※as of October 1 each year

4. Environments of Akita

Akita City is in the central part of Akita Prefecture, located on the western side of Tohoku District (the Northeastern Part of Mainland).

Akita is rich in natural beauty of the seasons. Students can enjoy hiking and hot springs through every seasons.



Mt. Komagatake



Tazawa Lake

There are also numerous places of historical interest as well as traditional festivals in and around Akita. People in this area are friendly and warmhearted, as you will find.



Kanto Festival



Kamakura Festival

■ Outline of Japanese Studies Program

◆ Purpose of the training

Learning of Japanese language and culture, to improve the Academic Japanese skills.

◆ Contents of the Course

This program is for those students from other countries who are regular students that wish to improve their Academic Japanese skills to pursue their academic goal in university. We also accept students who have interested in starting their research about Japan from an unique view point of Akita area.

The aims of **Japanese Language course** are as follows;

- (1) To be able to understand lectures in Japanese and take notes in Japanese.
- (2) To be able to write papers and technical reports in Japanese.
- (3) To be able to participate in discussions in Japanese in upper level seminar classes.

The aims of **Japanese Culture course** are to get basic knowledge of the latest Japanese cultural studies analyzed through local viewpoint. Students will attend Invitation to Multi-cultural Communication and Studies on Japan, and so on.

At the end of the one-year-course, all Japanese studies students are required to write short papers as final reports.

◆ Number of Students to be accepted :

- Recommendation by university: 2

◆ Qualifications and Conditions of Applicants

Those who wish to apply for our program should at least have mastered basic grammar of the language, should be able to take part in everyday conversation and should be able to read and write nontechnical papers.

To specify, the applicants must be enrolled in the university out of Japan in a faculty or department that offers studies related to Japanese language and culture. Those who are going to apply for our program should have studied Japanese longer than 600 hours and have learned more than 6,000 words and 1,000 Kanji (Chinese characters) with a minimum level of JLPT N2.

◆ Objectives

● Study Japanese

We will support those advanced international students who are going to conduct academic research in Japanese. Courses are designed to teach students how to make presentations in Japanese.

We will put much emphasis on communicative Japanese abilities to express own interests properly as well as equivalent abilities with JLPT N1.

● Study Japanese Culture

You will acquire general knowledge of Japan and specific knowledge of the local language and culture of Akita prefecture through various experience and highly specialized lectures.

◆ Period of the Course (Semester)

- Term 1: October 2017—February 2018
- Term 2: April 2018—August 2019

Each term lasts 16 weeks on which the last is the exam week. The completion ceremony will be held in August.

■ Class Descriptions (Each classes 90 minutes long)

1. Required (90min×15)

Research Paper	Writing a paper based on knowledge learned in Japanese Language classes and Japanese Culture classes, and daily life in Akita.
----------------	--

2. Elective Required (90min×15)

i) Japanese Language

4-I/ II (90min × 30)	Intermediate level grammar and communicative skills on campus
4-III/IV (90min × 30)	Reading and writing skills for academic life
4-V/VI	Integrated project-work class to improve Intermediate level Japanese competence
5- I / II	Advanced writing skills for research papers
5-III/IV	Public speaking skills: Discussion/oral presentation skills
5-V/VI	Learning current Japanese
5-VII/VIII	Advanced level grammar and communicative skills
5-IX	Writing skills of various Japanese style
5-X	Basic reading skills research papers

ii) Japanese Culture (Conducted with regular Japanese students)

Introduction to Japanese Society I/II	I :Introducing minorities in Japan II:Introductory Japanese Linguistics
Classical Literature in Japan	Understanding of classical literature through reading classical literatures
Introduction to Japanese literature	Learning Modern Japanese Literature History and reading Modern Literature.
Introduction to Japanese Language Education	Examine the historical context of Japanese language education, purpose and problems of practical research, and philosophy and evaluation of language education.
Japanese Culture	Learning about postpositional particle
Modern Japanese literature	Reading the “Kokoro” of Soseki Natsume.
Introduction to Multicultural Communication I / II	Finding micro-cultures next to you through discussing with Japanese students and writing a Paper.

3. Participatory (Elective Required, conducted with regular Japanese Students) (90min×15)

An Introduction to Japanese Culture I/II	Understanding culture in Japan and Akita thorough lectures by off campus activities, firm stay, and so on.
Invitation to Multicultural Communication I/ II	Finding micro-cultures next to you thorough discussing with Japanese students and writing a paper
Field Study for Social Education	Conducting presentation/field trip based on a regional town development

◆ Activities (Academic year 2015)

February: Farewell Party

Winter Cultural Experience Trip/Ski Trip

June: Farm Stay in Yokote

July : Summer School Trip(Osarizawa Mining)

October/November : Farm Stay in Senboku

December: Making Mochi Party

Other activities are also offered such as Kimono, tea ceremony and Japanese flower arrangement.



Mochi Party



Ski Trip

◆ Faculty members

• Associate Professor ICHISHIMA Noriko
(International Exchange Center)
E-mail : ichis@gipc.akita-u.ac.jp

• Assistant Professor SASAKI Ryoza
(International Exchange Center)
E-mail: ryozo@gipc.akita-u.ac.jp

• Assistant Professor HIRATA Miki
(International Exchange Center)
E-mail: mihirata@gipc.akita-u.ac.jp

The International Exchange Center offers counseling services and support for various issues regarding daily life, health and study.

■ Certificate

Certificates of Japanese studies are given at the end of the course when the students have satisfactorily met the requirements.

● Issuing certificates

Upon completing your research period
(to be issued in August, 2016)

■ Accommodations

● Number of Single rooms

① Int' l Student House : 27 ② Int' l House Building A : 10

③ Int' l House Building B : 18

Not all applicants will be able to get the accommodations due to the limited number of rooms available.

If the accommodations are not available, you can find the apartment through University coop.

● Actual number of availability

for Japanese studies program students

•2014 Leased apartment: 4

•2015 Leased apartment: 5

•2016 Int' l House Building B: 2

● Monthly rent. ※Utility fees are not included

①② 5,900 JPY ③ 15,000 JPY

● Each room is equipped with:

Bathroom, refrigerator, kitchenette, bed, desk, bookshelf.

③ also has an air-conditioner.

*Need to prepare your own bedding and kitchen utensils

● Distance from campus on foot

①15 min. / ②③ 5 min.

● Web-site

http://www.pcix.akita-u.ac.jp/inter/in_guide.html



International Student House



International House

■ Follow-up for graduates

We upload your research paper on our website so that other researchers can access it and can contact you.

In order to develop your research paper into a graduate thesis, we will continue helping you to complete it even after you return your home country.

○ Examples of career paths

- 1) To engage in international affairs at a partner university of Akita University
- 2) To engage in trade between Japan and China at a company in Akita
- 3) To open Japanese Language School at home country



Akita dog

■ Contact

International Student Support
International Affairs Division

● Address:

Akita University , Tegata-Gakuenmachi 1-1
Akita City, 010-8502 Japan
TEL +81-18-889-2258 / FAX +81-18-89-3012
E-mail ryugaku@jimu.akita-u.ac.jp

● University Web-site

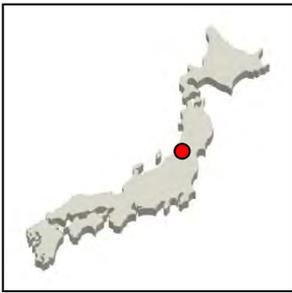
<http://www.akita-ac.jp/english/index.html>

● International Exchange Center Web-site

<http://www.pcix.akita-u.ac.jp/inter/index.html>

● Japanese studies program students

http://www.pcix.akita-u.ac.jp/inter/in_class.html



山形大学 (山形県)



言葉の世界を探検し、日常会話から古典文学作品まで学んでみませんか？

■大学紹介

① 大学の特色および概要

山形大学は1949年に創設されたが、その歴史は、19世紀、1878年の山形師範学校創立に遡る。今日の山形大学は、6学部、6研究科、1教育院から成る。教員約850人、総学生数約10,000人を有し、山形県内に設置されている主たる総合大学として、研究・教育の中心となる役割を果たしている。その教育理念は、総合大学としての特徴を活かし、自然科学、人文・社会科学が連携した専門教育と幅広い教養教育を行うとともに、地域社会に根ざし国内はもとより国際的にも活躍できる人材を育成することである。また、優れた研究成果を生み出すことにより、「自然と人間との共生」という目標を実現し、社会に貢献することを目指している。

② 国際交流の実績 (2016年10月1日現在)
海外機関との交流協定数：41カ国・地域175機関

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績
2016年：留学生数221人、日研究生2人
2015年：留学生数214人、日研究生3人
2014年：留学生数202人、日研究生3人

④ 地域の特徴
山形県は、四季に恵まれ、自然を身近に感じることができる。県内全域にわたって温泉を楽しむことができ、温かい人々とふれあうことができる。

■コースの概要

① 研修目的

日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行う。

② コースの特色

山形大学には、日本語・日本文化に関する幅広い領域の科目があり、充実したコースが組まれている。日本語科目は、研究に必要な基礎となる言語能力を伸ばすよう授業が構成されている。多文化交流科目と各専門科目では、言語学、文学、歴史、異文化交流、社会学、地理、経済、政治、音楽、美術、教育など様々な角度で日本文化を学ぶことができる。また、1年計画で自らの選択したテーマに沿って研究プロジェクトを行うことが本プログラムで特に力を入れている点である。口頭発表をし、修了論文を書くことのできる日本語力をつけることを達成目標としている。

③ 受入定員 大使館推薦・大学推薦 各2名

④ 受講希望者の資格、条件等

- 1) 主専攻あるいは副専攻が日本語・日本文化に関する分野であること。
- 2) 日本語能力試験 N2合格以上またはそれに準ずる日本語力を有することが望ましい。日本語を使って自分の考えが表現でき、日本人と話し合うことのできる日本語力を持つこと。

⑤ 達成目標

生きた日本語が使われている環境で、山形の人々との交流を通して、地域に根ざした日本文化への理解を深める。また、専門科目を受講して日本語による学術的な内容の理解力を養い、同時に自ら行う研究プロジェクトを通して、その運用力を身につける。

⑥ 研修期間 2017年10月1日～2018年9月30日

宿舎には2017年9月下旬に入居できる。修了証授与は2018年9月。

⑦ 研修科目の概要

授業は前期・後期各15週開講される。授業にはⅠ、Ⅱ、Ⅲの三つの種類がある。Ⅰは留学生向け日本語科目で、Ⅱ、Ⅲは日本人学生とともに学ぶ科目である。

このプログラムを修了するには12科目以上の履修が必要である。そのうち6科目以上は、Ⅰ、Ⅱの分野から選択するものとする。

- 1) 必須科目：Ⅰの分野の研究プロジェクトを必修とする。
- 2) 参加型科目：Ⅱの科目では、地域の人々と交流する。
- 3) 選択科目：Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの各科目は、Ⅰの研究プロジェクト以外、すべて選択科目である。

※〔前期〕：4～8月開講科目〔後期〕：10～2月開講科目

Ⅰ 日本語科目

a. 基盤教育日本語科目

日本語中級1「総合」(北川綱代・鈴木寛子) 中級前半〔前期・後期〕

日本語中級1「読む」(内海由美子) 中級前半〔前期・後期〕

日本語中級1「書く」(薄井宏美) 中級前半〔前期・後期〕

日本語中級2「総合」(菅原和夫・横沢由実) 中級後半〔前期・後期〕

日本語中級2「読む」(薄井宏美) 中級後半〔前期・後期〕

日本語中級2「書く」(内海由美子) 中級後半〔前期・後期〕

漢字4(横沢由実) 中級漢字〔前期・後期〕

日本語上級1「読む」(黒沢晶子・園田博文) 上級前半

一般書の抜粋や新聞記事から情報を読み取り、自国と他国との比較対照を行う。〔前期・後期〕

日本語上級1「話す」(内海由美子) 上級前半〔前期・後期〕

日本語上級1「書く」(黒沢晶子) 上級前半：日本語でレポート・論文などの学術的文章を書くのに必要な、基礎的な力を養う。〔前期・後期〕

日本語上級1「聞く」(内海由美子) 上級前半〔前期・後期〕

日本語上級2「読む」(遠藤義孝) 上級後半：文法の復習や読解を行う。〔前期・後期〕

日本語上級2「話す」(菅原和夫) 上級後半：大学生活で必要な聞いたり話したりする力を伸ばすことを目標とする。〔前期・後期〕

日本語上級2「書く」(渡辺文生・内海由美子) 上級後半：大学の授業を受講する上で必要となる日本語力の向上を目指す。特に大学の学習・研究活動に必要とされる「書く力」の養成を目指して練習を行う。〔前期・後期〕

研究プロジェクトⅠ：〔後期〕

研究プロジェクトⅡ：〔前期〕

本プログラムの必修科目。指導教員の個別指導を受けて選んだテーマについて、日本語で研究レポートを書く。学期の最後には、各自のテーマについて最終発表を行う。

b. 人文社会科学部専門日本語科目

日本語（一）（二）（中澤信幸・渡辺文生）

N1対策・スピーチ〔前期〕、読解・聴解・作文〔後期〕

日本語コース授業時間数

- ・日本語中級1・2：各学期 210時間
- ・日本語上級1：各学期 120時間
- ・日本語上級2：各学期 90時間
- ・研究プロジェクトⅠ・Ⅱ 各学期 30時間
- ・日本語（一）（二） 各学期 30時間

Ⅱ 日本文化・多文化交流・地域学科目

日本文化入門（尤 銘煌）

地域のリソースを活かし、茶道、こけし絵付け、平清水焼き、座禅、温泉などの日本文化を体験しながら学習する。〔前期・後期〕

多文化交流Ⅰ（尤 銘煌）

日本の通過儀礼：日本人が妊娠、誕生、生育、成人、結婚などの折節に行う冠婚葬祭を通して日本文化・日本社会を理解することを目的とする。〔前期〕

多文化交流Ⅱ（内海由美子）

在住外国人の日本語教育：外国語として日本語を学ぶことの意味を考える。また、留学生と日本人学生のディスカッションを通して、他文化を知り、自文化を理解し、自己を再認識することも目的とする。〔前期〕

多文化交流Ⅲ（尤 銘煌）

日本人の死生観：通過儀礼の中で最も重要で、伝統的であり、最も複雑な葬送儀礼を通して、日本人の死生観を探り、日本文化・日本社会を理解することを目的とする。〔後期〕

多文化交流Ⅳ（ラインホルト・グリンド）

ヨーロッパと日本：ヨーロッパと日本の文化に焦点を当てる。〔後期〕

フィールドワーク共生の森もがみ

山形県北部の最上地方で地元の達人を講師に、森と関わる暮らしや独特の祭りの山車作り等を体験する。

〔前期・後期〕



山車作り

Ⅲ 人文・社会科学科目

a. 人文社会科学部教員担当科目 * 基盤教育科目

日本語学特殊講義（中澤信幸）

日本語の歴史について、特に文献研究の立場から考察を進める。〔後期〕

ことばの分析（言語学）*（渡辺文生）

言語学の基礎的知識について解説する。〔前期〕

日本語音韻史入門（言語学）*（中澤信幸）

日本語音韻の歴史の変遷について解説する。〔後期〕

日本語学概論（中澤信幸）

日本語と日本語教育について解説する。〔前期〕

日本語学文法講義（渡辺文生）

現代日本語の記述的文法を解説する。〔後期〕

日本語学特殊講義（渡辺文生）

現代日本語の語用論的な研究について解説する。〔前期〕

日本語学講読（中澤信幸）

日本語の歴史分野に関する文献を読み進める。〔後期〕

映像学講義（大久保清朗）

映画の分析論。日本映画の分析を含む。〔前期〕

日本古典文学講義（宮腰直人）

主に室町期から近世初期までの物語・説話などを読む。

〔後期〕

日本現代文学講義（森岡卓司）

明治以降平成までの小説、詩、評論などを読む。〔後期〕

仏教入門（文化論）*（松尾剛次）

仏教とは何かについて日本仏教に注目しながら論じる〔前期〕

中世都市鎌倉の風景（歴史学）*（松尾剛次）

日本中世の武士の「首都」鎌倉の実体を語る。〔後期〕

中国文学文化演習（福山泰男）

漢文を日本語の文法にしたがって読む。（漢文訓読の学習）

〔前期〕



お花見

地誌学（山田浩久）

地域で観察されるさまざまな現象と歴史的、自然的風土との関係を理解する。〔後期〕

基礎講義（文化解釈学）（人文学部教員）

文化研究の基礎概念と方法を概観し、それらを文学、映画、美術、映像芸術、マンガ等々の様々な対象の解釈、さらには、国家、共同体、諸文化の相互関係に関する諸問題の考察に適用する仕方を紹介する。

〔後期〕

文化交流史（伊藤豊）

明治期の日米文化交流についてフェノロサと岡倉天心に焦点を当てて論じる。〔前期〕

日本外交史（松本邦彦）

明治以降の日本外交史を映像資料、文献資料をもとに概観し現代の視点で追体験してゆくことで、今後の日本の外交政策を考えて行く上で必要な歴史知識を得てもらう。〔前期・後期〕

日本経済史（岩田浩太郎）

鎌倉時代から明治時代の経済史を講じ、日本社会の特質をあきらかにする。〔後期〕

b. 地域教育文化学部教員担当科目

国語学概論A（園田博文）

音声・音韻、書記、語彙、方言を中心に日本語の概要を解説する。〔前期〕

国語学概論B（園田博文）

文法、敬語、日本語の歴史を中心に日本語の概要を解説する。〔後期〕

日本語学概説（園田博文）

日本語学の基礎的な事柄について解説する。〔後期〕

日本語教育演習（園田博文）

日本語教育に関するさまざまな問題を取り上げ討議する。〔前期〕

c. 基盤教育院教員担当科目

日本語教育入門*（黒沢晶子）

学習者の文法上の問題を通して日本語を分析する。〔後期〕

⑧ 年間行事

日本の家庭訪問やホームステイ、日帰り旅行、見学旅行、地元の祭り(例:花笠祭り)などを通じて、地域の人々と知り合い、日本文化を体験することができる。そのほか、茶道、生け花、こけし絵付け、座禅、着付けなどへの参加を予定している。

- 10月 日帰り旅行
- 11月 奥の細道マイスター養成講座
- 11~12月 留学生懇談会(学部別)
- 12月 多文化交流コンサート
ー山形から世界へー
- 2月 山形県留学生スピーチ・コンテスト
- 7月 実地見学旅行
- 8月 留学生日本語発表会
花笠祭り

⑨ 指導体制

1) プログラム実施責任教員:
黒沢晶子 基盤教育院教授 言語学

2) 協力教員:
内海由美子 基盤教育院教授 日本語教育
尤銘煌 基盤教育院教授 社会学

3) 指導教員

人文学部、地域教育文化学部、または基盤教育院の教員が研究プロジェクトのための個別指導を行う。研修生は指導教員の部局に所属する。

⑩ コースの修了要件、修了証書の発行
コース概要⑦の要件を満たし、本プログラムを修了した者には、修了証が発行される。



先輩日研生が講演に來訪



漫才(地域の国際芸能祭で)



南京玉すだれ(多文化交流コンサート)



花笠祭り

■ 宿 舎

短期留学生は90名まで山形大学国際交流会館などの宿舎に入居できる。宿舎からは自転車などで通学できる。

(例:香澄町国際交流会館)

- 1) 宿舎費(1ヶ月)+共益費(1ヶ月)+保証積立金
- ・単身室 5,900円+4,000円+30,000円
 - ・夫婦室 11,900円+4,000円+36,000円
 - ・家族室 14,200円+4,000円+45,000円

2) 宿舎設備・備品(単身室の場合)

ベッド、机と椅子、エアコン、ガスFF暖房機、冷蔵庫、食器戸棚、本棚、洋服ダンス、ミニ・キッチン、シャワー、トイレ

大学近くのアパートの場合、家具・食事付きの部屋で50,000円~65,000円、家具なし・風呂トイレ付きの部屋で30,000円~50,000円、家具なし・風呂トイレ共同で15,000円~30,000円ぐらいである。さらに、入居のときに、敷金として1~2ヵ月分の家賃程度の金額を支払う必要がある。

■ 修了生へのフォローアップ

これまで10年間の修了生たちと、本学で指導に当たった教員たちとの間では継続して連絡がとられている。修了生は、ほとんどが日本か母国で大学院に進学し、さまざまな分野でキャリアを積み始めている。一人は、山形大学で修士号を取得後、国際交流の仕事に携わりたいと山形大学職員に応募し、採用された。その仕事を経て、現在は、中国でトヨタ自動車に勤めている。また、別の一人は、フィンランドで修士課程在学中に自ら翻訳会社を立ち上げている。2012年には翻訳に携わった本について、本学で講演会を行った。シンガポールの大学を卒業後、日本へ戻り、JTで働き始めた修了生は、2014年、本学の留学生懇談会で後輩たちに経験を語り、交流を深めた。

■ 問合せ先

山形大学教育・学生支援部国際交流課国際交流室

所在地:〒990-8560 山形市小白川町1-4-12

電話: +81-23-628-4017

FAX: +81-23-628-4051

E-mail: rgkokusai@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

大学ホームページ:

<http://www.yamagata-u.ac.jp/index-j.html>

プログラム責任教員: 黒沢晶子

E-mail: akuros@kdw.kj.yamagata-u.ac.jp



Yamagata University (Yamagata Prefecture)



Explore the world of language, literary classics, everyday speech, and more!

■ Yamagata University

① About Yamagata University

Yamagata University came into being in 1949 but its origin goes back to the nineteenth century with the founding of Yamagata Normal School in 1878. Today the university consists of 6 faculties and 6 graduate schools, together with 1 institute. It plays a central role in education and research in Yamagata Prefecture as a major comprehensive national institution with some 850 academic staff and approximately 10,000 students. Its idea of education is to offer specialized programs of natural sciences, humanities, and social sciences closely connected to each other as well as a wide range of liberal arts programs, and to foster global citizens who will play leading roles both in home and around the world. The university's academics aim to pursue and achieve excellence in a wide range of research activities and scholarship, and to contribute to development in the global and local communities.

② International Exchange (Oct 1, 2016)

Number of academic exchange agreements:
175 (41 territories)

③ Number of international students and Japanese Studies Program students during the past three years:

2016: 221 (Nikkensei: 2)
2015: 214 (Nikkensei: 3)
2014: 202 (Nikkensei: 3)

④ Yamagata Prefecture

Yamagata Prefecture is blessed with four distinct seasons and an abundance of nature close at hand. Hot springs can be found throughout the prefecture and you will experience the warmth and genuine hospitality of the people in Yamagata.

■ Contents of the course

① Purpose of Study

A course conducted mainly about Japan and Japanese culture with supplementary study to improve Japanese language proficiency

② Language and culture courses

Yamagata University offers an excellent range of courses on Japanese language and culture. Japanese language courses are designed for students to develop a language competence, which lays the essential foundation for study. Multicultural studies courses and specialized courses cover a broad spectrum of Japanese culture, including such aspects as linguistics, literature, history, multicultural relations, sociology, geography, economics, politics, art and education. The program focuses on the Independent Studies Project, whose objective is to develop the ability to write an essay in Japanese and present it.

③ **Number of students to be accepted:** two each for both Embassy recommendation and University recommendation categories.

④ Qualifications and conditions of applicants

- 1) Applicants are expected to have majored or minored in Japanese language and/or Japanese studies.
- 2) Applicants are expected to have a good command of Japanese, an equivalent of Level 2 or N2 of the Japanese Language Proficiency Test. They are expected to have the ability to express their opinions and interact with Japanese people using Japanese.

⑤ The aim of the course

The aim of the course is to deepen understanding of the Japanese culture rooted in the local communities through exchanges with people in Yamagata. Students are also expected to develop one's intellect by taking specialized courses and to learn how to carry out a study project in Japanese.

⑥ **Period of the course:** from October 1, 2016 to September 30, 2017. A certificate of completion will be awarded in September.

⑦ Outline of the courses

Courses run for 15 weeks each Spring and Fall Semester. They are divided into three categories: I, II, and III. Category I contains Japanese language courses for international students while courses in categories II and III are open to both Japanese and international students. To complete the program, students must take twelve or more courses, with six or more from categories I and II below.

- 1) Independent Study Project I & II in category I are compulsory.
- 2) II contains participatory courses in which students have lots of opportunities to meet local people.
- 3) All the courses except Independent Study Project are elective.

I Japanese Language Courses

※[Sp]: Spring Semester, [Fa & Sp]: Fall Semester
Japanese Language Courses for Undergraduates at the Institute of Arts and Sciences

The aim of Japanese courses is to help students acquire the knowledge, strategies and skills to read authentic materials, develop an argument, and effectively interact in Japanese with faculty, staff and other students in the academic environment.

INTERMEDIATE JAPANESE 1&2 [Fa & Sp] 210 credit hours per semester:

Integrated skills (grammar, speaking and listening), **Reading, Writing, and KANJI 4**

ADVANCED JAPANESE 1 [Fa & Sp] Lower advanced, 120 credit hours per semester

Reading, Writing, Speaking, and Listening

ADVANCED JAPANESE 2 [Fa & Sp] Upper advanced, 90 credit hours per semester:

Reading, Writing, & Speaking

INDEPENDENT STUDY PROJECT I & II [Fa & Sp] : 30 credit hours per semester.

Compulsory to all students of this program. Students write an essay in Japanese on a topic agreed in conjunction with the advisor. They will present a paper on their topic at the end of the course.

b. Japanese language courses at the Faculty of Humanities and Social Sciences
30 credit hours.

JAPANESE FOR INTERNATIONAL STUDENTS I & II (NAKAZAWA Nobuyuki, WATANABE Fumio)

Prep for JLPT N1 and speech training [Sp]
Advanced reading, listening and writing [Fa]

II Multicultural and Regional Studies
(General Education courses)

JAPANESE CULTURE I & II (YU Ming-Hwang) This course utilizes local resources in Yamagata for international students to experience aspects of the Japanese culture such as tea ceremony, flower arrangement, Zen meditation, and hot springs. [Sp & Fa]

MULTICULTURAL STUDIES I (YU Ming-Hwang) Life events in Japan: The purpose of this course is to understand Japanese culture and society through important life events such as pregnancy, giving birth, bringing up a child, and wedding ceremonies. [Sp]

MULTICULTURAL STUDIES II (UTSUMI Yumiko) Foreign residents in Japan and Japanese Language Education: The aim of this course is to promote understanding of the meaning of studying Japanese as a second language, appreciation of diverse cultures, and to develop critical consciousness through discussion. [Sp]

MULTICULTURAL STUDIES III: (YU Ming-Hwang) The Japanese perspective on life and death: The purpose of this course is to understand the Japanese perspective on life & death through the most important and traditional ceremony, the funeral. [Fa]

MULTICULTURAL STUDIES IV (GRINDA Reinhold) Europe and Japan: This course focuses on cultures of Europe and Japan [Fa]

FIELDWORK IN AREA CUMPUS MOGAMI (REGIONAL STUDY)* Learns from local experts such things as a way of life by woods, to make floats for a unique festival. [Sp & Fa]

III Courses in Humanities and Social Sciences

a. The following courses are taught by academic staff at the Faculty of Humanities and Social Sciences .

* : Introductory courses offered as a part of general education for undergraduates

TOPICS IN JAPANESE LINGUISTICS (NAKAZAWA Nobuyuki) :Explicates philology of Japanese language. [Fa]
INTRODUCTION TO LINGUISTICS

(LINGUISTICS)*(WATANABE Fumio): Explicates basic knowledge of linguistics. [Sp]

INTRODUCTION TO JAPANESE HISTORICAL PHONOLOGY* (NAKAZAWA Nobuyuki) : Explicates history of Japanese phoneme. [Fa]

INTRODUCTION TO JAPANESE LINGUISTICS AT AN ADVANCED LEVEL (NAKAZAWA Nobuyuki)
Explicates Japanese linguistics and the education as a foreign language. [Sp]

TOPICS IN JAPANESE GRAMMAR (WATNABE Fumio)
Explains the descriptive grammar of modern Japanese. [Fa]

TOPICS IN JAPANESE LINGUISTICS (WATNABE Fumio)
Explains studies of pragmatics in modern Japanese. [Sp]

DIRECTED READING IN JAPANESE LINGUISTICS (NAKAZAWA Nobuyuki): A reading of literatures of historical Japanese linguistics. [Fa]

STUDIES OF VISUAL IMAGES (OKUBO Kiyooki): Analysis of Visual images (Movie, Video, Animation). Including some critical comments on Japanese Cinema. [Sp]

JAPANESE LITERATURE-CLASSICAL (MIYAKOSHI Naoto):
A close reading of classical Japanese narrative works. [Fa]

JAPANESE LITERATURE-MODERN(MORIOKA Takashi): A close reading of modern Japanese novels, poems, and other narrative works. [Fa]



zazen

INTRODUCTION TO BUDDHISM (CULTURE)*

(MATSUO Kenji): An introduction to Buddhism, focusing on Japanese Buddhism. [Sp]

CITYSCAPE OF KAMAKURA IN THE MIDDLE AGES (HISTORY)* (MATSUO Kenji): Discusses the real state of Kamakura as the metropolis” of Japanese samurai in the middle ages. [Fa]

UNDERGRADUATE SEMINAR IN CHINESE LITERATURE AND CULTURE (FUKUYAMA Yasuo): A reading of classical Chinese literature according to Japanese grammar. [Sp]

REGIONAL GEOGRAPHY (YAMADA Hirohisa): This course aims to clarify the relationship between various phenomena in a specific region and its historical and natural environment. [Fa]

FUNDAMENTALS OF CULTURAL INTERPRETATION (Staff): This course will trace and teach fundamental concepts and methods of cultural studies, applying it to the analysis of literature, cinema, picture, photograph, cartoon and so forth, and also of such problems as nation, state, community, mutual relation between cultures and so on. [Fa]

HISTORY OF CULTURAL EXCHANGE (ITO Yutaka): This is a course on the cultural exchange between America and Japan, focusing on Earnest F. Fenollosa and Tenshin Okakura. [Sp]



snow monsters in Zao

JAPAN'S DIPLOMATIC HISTORY (MATSUMOTO

Kunihiko): This course will survey the diplomatic history after the Meiji period through visual and documentary materials and helps students to acquire the knowledge necessary to consider Japan's foreign policy in the future. [Sp & Fa]

JAPANESE ECONOMIC HISTORY (IWATA

Koutaro): This course will trace the Japanese economic history from the 13th to 19th century, clarifying the characteristics of Japanese society. [Fa]

b.The Faculty of Education, Art and Science

INTRODUCTION TO JAPANESE LINGUISTICS A

(SONODA Hirofumi): An Introduction to Japanese linguistics, focusing on phonology, the writing system, lexicon, and dialects. [Sp]

INTRODUCTION TO JAPANESE LINGUISTICS B

(SONODA Hirofumi): An Introduction to Japanese linguistics, focusing on grammar, the honorific system, and history. [Fa]

INTRODUCTION TO JAPANESE LINGUISTICS

(SONODA Hirofumi): An overview of Japanese linguistics. [Fa]

SEMINAR IN JAPANESE LANGUAGE

PEDAGOGY (SONODA Hirofumi): A case study on Japanese language pedagogy. [Sp]

c. The Institute of Arts and Sciences

AN INTRODUCTION TO JAPANESE LANGUAGE TEACHING*

(KUROSAWA Akiko): This course analyzes the Japanese language by exploring learners' problems in grammar. [Fa]



kimono

⑧ Annual Events

Students will have the opportunity to meet locals by staying with or visiting a family in Yamagata, through day trips, a field trip, and local festivals (e.g. Hanagasa Matsuri). They can also participate in activities such as a tea ceremony, flower arrangement, kokeshi doll painting, Zen meditation, and kimono wearing.

Oct	Day Trip
Nov	A course for training 'Meisters' of <i>Oku no Hosomichi</i> or <i>Backroads To Far Towns</i> by Matsuo Basho
Nov-Dec	Departmental round table meetings for international students
Dec	Multicultural Concert: Yamagata to the World
Feb	Yamagata Japanese Speech Contest for International Students
July	Field Trip
Aug	International students' meeting for the presentation in Hanagasa Festival (Yamagata City)

⑨ Academic advisors

- 1) Program coordinator (Institute of Arts and Sciences)
KUROSAWA Akiko (Professor in Linguistics)
- 2) Supporting academic staff (Institute of Arts and Sciences)
UTSUMI Yumiko (Professor in Japanese Language Teaching)
YU Ming Fang (Professor in Sociology)
- 3) Academic advisor: Each student is assigned to an academic advisor from the Faculty of Literature and Social Sciences, the Faculty of Education, Art and Science, or the Institute of Arts and Sciences, to be supervised in completion of the essay project in weekly tutorial sessions. Students will belong to the faculty/institute of his/her advisor.

⑩ Certificate

The students who fulfill the necessary requirements in ⑦ *Outline of the courses* can obtain a certificate of completion at the end of the program.



speech contest

■ Accommodation

Yamagata University International Houses are located within biking distance from the main campus and available to up to 90 students.

- 1) Monthly rent with communal services fee, Security deposit (for Kasumi-cho)
 - Studio apartment: ¥5,900 + ¥4,000, ¥30,000
 - One bedroom apartment: ¥11,900 + ¥4,000, ¥36,000
 - Two bedroom apartment: ¥14,200 + ¥4,000, ¥45,000

2) Facilities (Studio apartment)

a bed, desk, chair, air conditioner, gas FF heater, refrigerator, kitchenette, kitchen shelf, bookshelf, wardrobe, shower and toilet.

For private accommodation near the campus, the monthly rent for a furnished room with half board comes to ¥50,000 to ¥65,000; for an unfurnished room with bath and toilet ¥30,000 to ¥50,000; and for an unfurnished room with shared bath and toilet ¥15,000 to ¥30,000. On moving in, a deposit equivalent to one to two month's rent will have to be paid as guarantee money.

■ Alumni

Students who had completed the program in the past ten years keep in touch with us. Most of them have gone on to graduate schools, pursuing their career either in their home countries or Japan. One of them joined Yamagata University as an administrative staff after her master's degree, and now working for Toyota Motor Corporation in China. Another student has started a translation company while doing his master's degree in Finland. He came back to Yamagata for a talk on Finland in 2012. Another one who had started working for JT in Tokyo came to talk to current international students at Yamagata in 2014.

■ Contacts

International Exchange Department
Address: 1-4-12, Kojirakawa-machi
Yamagata-shi, Yamagata Prefecture,
990-8560 JAPAN

TEL : +81 23 628 4017

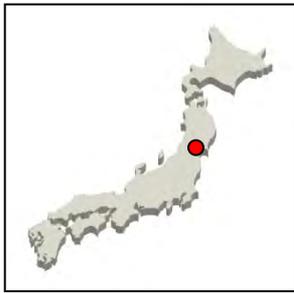
FAX : +81 23 628 4051

E-mail: rgkokusai@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

URL: <http://www.yamagata-u.ac.jp/index-j.html>

Program coordinator: Dr. Akiko KUROSAWA

E-mail: akuros@kdw.kj.yamagata-u.ac.jp



宮城教育大学 (宮城県)



地域と学校で日本語・日本文化を学ぶ

■大学紹介

① 大学の特色および概要：小さな総合大学

1) 歴史と特色

宮城教育大学は、日本の東北地方、仙台市にある教員養成大学です。学部、大学院（修士課程）あわせて学生総数約1,600人の小規模な大学ですが、あらゆる分野の専門家を擁し、小さな総合大学とすることができます。大学全体の家庭的な雰囲気と優秀な指導体制は、大規模大学にない本学の特色となっています。仙台の街は緑ゆたかで、物価も比較的安く、文化施設も豊富で暮らしやすいです。留学生は世界各地から16名が学んでいて、教育の分野を中心として、帰国後は各方面で活躍しています。また、豊かな宮城の環境の中で、持続発展教育（ESD）とユネスコスクールの活動を推進していることで有名です。

2) 教員・学生数等

教授	准教授	講師	助手
71	33	4	2
附属学校教諭	養護教諭	栄養教諭	職員
89	5	1	77

教育学部（学士課程）	1,518人
教育学研究科（修士課程）	101人

(2016年10月1日現在)

② 国際交流の実績

大学間交流協定機関：8カ国・地域10件

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2016年：留学生数 16人、日本語・日本文化研修留学生 1人
 2015年：留学生数 32人、日本語・日本文化研修留学生 4人
 2014年：留学生数 33人、日本語・日本文化研修留学生 5人

④ 地域の特徴

仙台市は人口100万人の、東北地方の中核都市です。大都市でありながらも自然と調和のとれた町です。多くの歴史のある大学が存在し「学都」として知られます。

2011年3月11日の東北地方太平洋沖地震により津波の深刻な被害を受けた沿岸部に対し、内陸部は比較的軽微な被害にとどまっており、地震以前の暮らしを取り戻しています。

また、福島原子力発電所の事故による放射線数値にも顕著な上昇は見られず、仙台市は震災の復興の拠点としても機能しています。

■コースの概要

日本語能力の向上のための研修を主とし、補助的に日本事情・日本文化に関する研修をおこなうもの

① コースの特色

宮城教育大学は、教員養成を目的とする大学で、その専門分野は、文科系・理科系から、芸術体育系まで幅広い分野にまた

がっています。そのため、日本語・日本文化研修留学生は、日本語・日本文化関係の授業だけでなく、多様な講義を受講できます。少人数で密度の高い指導を受けることができます。留学生の諸行事を通じて、日本人学生との交流も活発です。さらに、ユネスコスクールを中心とする学校現場を訪問して、国際理解の活動をしたり、環境教育を中心とした持続発展教育（ESD）について学ぶことができます。

② 受入定員

8人（大使館推薦4名、大学推薦4名）

③ 受講希望者の資格、条件等

日本語学習時間600時間以上相当の日本語力があることが望ましい。日本語・日本文化関係の学部・学科・専攻等に所属しているか、日本語・日本文化関係の科目を履修済みであることが必要です。なお大学1年生については対象外としています。

④ 達成目標

- ・日本語の高い運用能力を身に付ける
- ・日本、日本文化への理解を深める
- ・日本語や日本文化に関連したテーマを調査する能力、調査結果を発表する能力を身に付け、成果を口頭発表、論文発表する。

- ⑤ 研修期間
2017年10月1日 ～ 2018年9月30日
修了式は実施しない予定です。

⑥ 研修科目の概要

「日本語」だけでなく、関連科目も指導教員、授業担当教員と相談しながら履修でき、日本に関して総合的に学習できる研修です。

1) 必修科目

「日本語」-少人数で親切な指導
学習者のレベルにあわせて、上級または中級10のクラスを用意しています。他の国からの留学生とともに少人数クラスで学びます。

上級クラス（日本語学習歴900時間以上の者を対象） ・1時間：90分				
科目名	内容	単位数	履修時間	
			前期	後期
上級1A	実践的読解・作文	1	15	15
上級1B	実践的聴解・発話	1	15	15
上級2A	論作文	1	15	15
上級2B	実践的論作文発表	1	15	15

中級クラス（日本語学習歴300時間以上の者を対象） ・1時間：90分				
科目名	内容	単位数	履修時間	
			前期	後期
中級1A、2A、3A	聴解・発話	1	15	15
中級1B、2B、3B	読解・作文	1	15	15

「特別研究・論文作成」-論文発表ができます

指導教員の下で学習指導と論文指導を受けます（特別研究・必修2単位）。またその研究成果を論文としてまとめて提出します（修了論文・必修2単位）。

特別研究・修了論文				
科目名	内容	単位数	履修時間	
			前期	後期
特別研究	指導教員の下での研究・論文指導	2	-	
修了論文	研究成果のまとめ	2	-	

* 研究の成果の発表の場として「日本語・日本文化研究発表会（2018年7月）」、論文発表の場として、『留学生教育報告書 PHILIA』があります。

2) 見学、地域交流等の参加型科目

「国際理解教育活動」

宮城教育大学は、仙台市の宮城県の教育委員会と協力して学校現場の国際理解教育活動を支援しています。留学生は、地域や学校現場で国際理解教育活動に参加して、自国文化を紹介したり日本文化を学んだりする機会があります。

「ユネスコ・スクールと持続発展教育（ESD）」

宮城教育大学は、ユネスコスクールネットワークの中心として、地域に30以上あるユネスコスクールと連携しています。また、宮城は国連から環境教育のモデル認定をうけた地域です（仙台広域圏RCE）。留学生は、ユネスコスクールを訪問したり、持続可能な開発のための教育（ESD）について学んだりすることができます。

3) その他の講義、選択科目等

専門に応じて、学部開講の関連する授業を履修し、単位を取得することが可能です。（以下は選択科目として考えられる一例です。）

他選択必修科目（日本語学習歴600時間以上の者を対象）の例 ・1時間：90分				
科目名	内容	単位数	履修時間	
			前期	後期
比較日本文化論	日本文化を海外の文化と比較しながら考察	2		15
多文化理解入門	日本国内の多文化化の現状や課題について学ぶ	2		15
日本語教育概論	日本語教員としての基礎的な知識や技能を学ぶ	2		15
国語理解	国語の教科書を分析し、表現する力を身につける	2		15
日本の言語と文化	日本語のしくみについて、基本的な性質を学ぶ	2	15	
書道演習	書道の用筆方法を学ぶ	2	15	
工芸基礎	工芸の基礎的技術の収録	2	15	15
日本の芸能	日本古来の民族芸能を学ぶ	2	15	15

こうした学部開講の授業を受講する場合には、一般的に600時間以上の日本語を学習していることと、あらかじめ授業担当教員に相談することが必要です。

⑦ 年間行事

本学には多くの留学生関係行事があり、参加を募っています。

行事名	内 容
春期研修 (5月)	日本の自然に触れるとともに 日本文化も体験。
実地見学研修 (7月)	日本国内で研修旅行に行き、 日本文化を体験。
グローバル・カフェ (10月)	大学祭で、お国の飲み物・お 菓子を出す喫茶店を出店。
日本語スピーチコンテスト (12月)	日本語学習の成果をコンテスト で披露。
留学生を囲む会 (12月)	留学生を中心に教職員と日本 人学生との懇談。
冬季研修 (2月)	東北固有の冬の自然・文化を 体験。

⑧ 指導体制

1) 留学生部会委員

委員の氏名	所属講座	連絡先	
		@staff.miyakyo-u.ac.jp	+81-22-214-214
高橋亜紀子	日本語教育	akiko12	3371
市瀬 智紀	日本語教育	ichinose	3381
田中 良英	社会科教育	y-tanaka	3384
児玉 忠	国語教育	tkodama	3376
溝田 浩二	環境教育実践研究センター	mizota	3515
リース・エイドリアン	英語教育	adrian	3488

留学生部会は、留学生の生活や学習面でのサポートをします。困ったことがあれば、何でも相談できます。

2) 指導教員と日本人チューター

指導教員が、主に研究指導・論文指導を行います。また、日本人チューターから宿題や、日常会話を通じた日本語力の向上等を手伝ってもらうことができます。

⑨ コースの修了要件

修了には、日本語科目を含む10単位以上を履修した上で、指導教員の下で研究活動を行い、その研究成果を修了論文としてまとめて提出することが必要です。また、履修した科目は、単位を認定し、「成績証明書」を交付するので、それらを母国での単位認定に利用することができます。

■ 宿 舎

東北大学国際交流会館への入居を予定しています。

(<http://www.insc.tohoku.ac.jp/cms/?pg=130515141317>)

しかし、近年交流会館が満室のため、入居が難しくなっています。その場合、民間アパート（月家賃約6万）や、学生寮（2名1室/月額約2万）等に入居する必要があります。

宿舍入居状況

年 度	宿 舎
2016年度	東北大学国際交流会館：1名
2015年度	東北大学国際交流会館：0名 民間アパート：4名
2014年度	東北大学国際交流会館：0名 民間アパート：5名

■ 修了生へのフォローアップ

多くの留学生が、修了後もインターネットを通じ、指導教員、留学生部会委員から継続して日本語等の学習指導を受けています。また、さらなる日本での勉強の継続を希望する留学生には進路相談に応じます。

■ 問い合わせ先

宮城教育大学教務課大学院教務係（留学生担当）

住所 〒9800845

宮城仙台市青葉区荒巻字青葉149

TEL +81-22-214-3654

FAX +81-22-214-3621

E-mail ryugaku@adm.miyakyo-u.ac.jp

大学のホームページアドレス：

<http://www.miyakyo-u.ac.jp/index.html>

留学生のためのホームページアドレス：

<http://ryugakusei.miyakyo-u.ac.jp/index.html>



Miyagi University of Education (Miyagi Prefecture)



Study Japanese in the district and Schools

■ Introduction to the university

① General Guidance of the university

(1) Characteristics and History

Miyagi University of Education (MUE) is a teachers' college in Sendai City in the Tohoku district. Sendai has an abundance of nature, and the cost of living is low. The total population of our university is about 1,600 students including undergraduate and graduate schools (master's courses). We have specialists in all fields. A homely atmosphere and excellent instruction system are special features of our university. Now 16 international students are studying in this environment. Our university is also famous for promoting UNESCO School network and Education for Sustainable Development

(2) Total number of teachers and students

Professors	Associate Professors	Lecturers	Research Associates
71	33	4	2
Teachers at Affiliated schools	School Nurses	Nutritional Health	Officials
89	5	1	77
Undergraduate Students			1,518
Graduate Students			101

(2016.10.1)

② International Exchange

Overseas Partner Institutions : 10 institutions (8 countries / districts)

③ Number of International Students

Y2016 : 16

(1 student from this program)

Y2015 : 32

(4 students from this program)

Y2014 : 33

(5 students from this program)

④ Characteristics of Sendai City

Sendai is a city with a population of one million, and is the political, economic, and academic center of Japan's Tohoku (northeast) Region. Because many established universities are located in Sendai, it is famously known as the "Gakuto-Academic City".

The Sendai coastal area was hit by a massive tsunami caused by a big earthquake on Mar.11th 2011. However, damage in the inland area, including the heart of Sendai City and MUE, were relatively small.

People's life is back on track again.

The Fukushima Nuclear Accident doesn't severely influence Sendai, which is well within the safe zone. The city works as the FOB (Forward Operation Base) for resilience from damages in the coastal Tohoku region.

■ Outline of the course

The main purpose of the course is to improve students' abilities of Japanese language. Its secondary purpose is to give lessons to students about Japanese culture, history and other issues.

① Characteristics of this course

MUE trains teachers. We have a variety of majors such as Liberal Arts, Natural Science, Gymnastics and Art. Japanese and Japanese Culture Training Course students can attend various lectures including such courses. Moreover, students can receive high quality education in small classes and attend many cultural exchange activities with Japanese students.

Since our university has a network of UNESCO schools, students can acquire hands-on experience of attending cultural exchange activities and studying through the Education for Sustainable Development (ESD) program.

② Number of students to be accepted

Eight students each year

(Four by University Recommendation, Four by Embassy Recommendation)

③ Eligibility of applicants

Applicants are requested preferably to have studied Japanese for over 600 hours. Applicants must be enrolled in courses or programs for studying Japanese language or Japan. Students in the first year of university are not eligible.

④Goals

- To acquire high Japanese language proficiency
- To deepen Japan/culture understanding.
- To acquire research skills on a Japan-related theme and presentation skills on it.

⑤Period of the course

From October 1, 2017 to September 30, 2018.

There will be no Graduation Ceremony.

⑥ Overview of the classes

Students can comprehensively study Japan-related subjects. Teachers can give advice when choosing classes.

(1)Japanese language education (Compulsory)

According to the student's level, there are 10 classes from advanced to intermediate levels. The course runs for one year, and students can learn with a small number of foreign students.

Intermediate Class(For students who have studied Japanese over 300 hours.)				
*1 class hour:90 minutes				
Name	Contents	Credit	Total Class hours	
			1st Semester	2nd Semester
Middle-class 1A,2A,3A	Speaking and Listening	1	15	15
Middle-class 1B,2B,3B	Reading and Writing	1	15	15

Upper Class (For students who have studied Japanese over 900 hours.)				
*1 class hour:90 minutes				
Name	Contents	Credit	Total Class hours	
			1st Semester	2nd Semester
Upper-class1A	Practical Speaking and Listening	1	15	15
Upper-class1B	Reading and Writing	1	15	15
Upper-class2A	Composing a paper	1	15	15
Upper-class2B	Practical paper presentation	1	15	15

(2) Research activity/Final report(Compulsory)

Students research a Japan-related theme with the assistance of their Advisory Teacher for 1 year, and write a final report as a research outcome for submission.

Research Activity,Final Report				
Name	Contents	Credit	Total Class hours	
			1st Semester	2nd Semester
Research Activity	Research activity with the assistance of Advisory Teacher for one year	2	-	
Final Report	Research outcome Paper	2	-	

Students will give a presentation on their research at “The Japanese Cultural Studies Exhibition (July, 2018).” They will write a “Foreign Students’ Educational Report”.

(3) Field Study

Our university supports international understanding educational activities. Foreign students have the opportunity to participate in international understanding educational activities.

(4)UNESCO school and ESD(Education for Sustainable Development)

MUE collaborates with more than 30 regional UNESCO schools as a center of the UNESCO school network. Miyagi Prefecture has been certified as a model by the U.N. because of its rich environmental resources. Students can access these resources and learn ESD.

(5)Special subjects (selection)

Examples of Special subjects				
(Students can select subjects depending on their Japanese ability)				
*1 class hour:90 minutes				
Name	Contents	Credit	Total Class hours	
			1st Semester	2nd Semester
Comparative Studies in Japanese Culture	Comparing Japanese culture with foreign cultures	2		15
Introduction of Multiculturalism	Learn about the present conditions and a problem of many enculturation in Japan	2		15
Introduction of Japanese Education	Learn the basic knowledge and skill as the Japanese teacher	2		15
Reading and comprehension	Analyze a textbook of Japanese language and acquire power to express	2		15
Language and Culture in Japan	Learn a basic property About Japanese structure	2	15	
Calligraphy : Seminar	Fundamental techniques in calligraphy	2	15	
Handicrafts Basic	Foundations of Japanese folk dance and drums	2	15	15
Japanese Folk Dance and Drum	Foundations of ceramic art	2	15	15

Students can select subjects depending on their Japanese language ability if they have already studied more than 600 hours.

It is necessary to get permission in advance from the lecturer of the subject you want to choose.

⑦Events

There are many pleasant events to be offered

Name	Date	Contents
Spring training	May	Getting into nature and enjoying Japanese culture.
Practical visit training	July	Short trip to Japanese Traditional spots.
Global Cafe	October	Foreign students open one-day cafe.
Japanese speech contest	December	Foreign students speak about their experience in Japan.
Year end's party	December	Join a party for foreign students, Japanese students and the staff of the university.
Winter training	February	Snow trekking and visiting a hot spring resort.

⑧Teaching system

(1)Foreign student committee

The committee support students in every aspect.

Foreign student committee	Affiliation lecture	Contact	
		@staff.miyakyo-u.ac.jp	+ 81-22-214-
Akiko TAKAHASHI	Japanese Language Education	akiko12	3371
Tomonori ICHINOSE	Japanese Language Education	ichinose	3381
Yoshihide TANAKA	Social Studies Education	y-tanaka	3384
Tadashi KODAMA	Japanese Education	tkodama	3376
Koji MIZOTA	Environmental Education	mizota	3515
Adrian LEIS	English Language Education	adrian	3488

(2) Supervising professor and tutor of Japanese students.

⑨Requirements for completion

The requirements for completion of this course are to obtain more than 10 credits including at least 1Japanese language credit , and submit a final research paper. Through the results certificate , the credits earned at MUE will be transferred to the students' home institution.

■Housing

Students will live in the international student house of Tohoku University. See below.

[http://www.insc.tohoku.ac.jp/cms/index-](http://www.insc.tohoku.ac.jp/cms/index-e.cgi?pg=130527113858)

[e.cgi?pg=130527113858](http://www.insc.tohoku.ac.jp/cms/index-e.cgi?pg=130527113858)

But recently, it gets tougher to secure rooms in it.

In this case, a private apartment (¥60,000/ average rent) or Student Dorm(¥20,000/average rent will be offered. One room shared by two persons)

Year	Housing
2016	1 (International Student House of Tohoku University)
2015	0 (International Student House of Tohoku University) 4 (private apartment)
2014	0 (International Student House of Tohoku University) 5 (private apartment)

■Caring Graduates

Many former students have been taught by the Supervisor and Foreign students committee even after finishing the course. If they want further their academic career in Japan, they can consult with the Supervisor and Foreign students committee.

■Inquiries

International Exchange Section

Address: 149 Aramaki-aza Aoba, Aoba-ku Sendai City,

Miyagi Pref, Japan 9800845

Phone: +81-22-214-3654

FAX: +81-22-214-3621

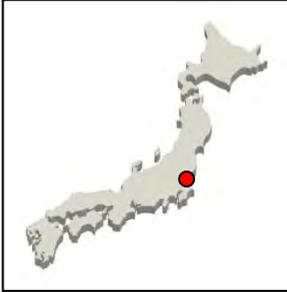
E-mail: ryugaku@adm.miyakyo-u.ac.jp

Miyagi University of Education home page:

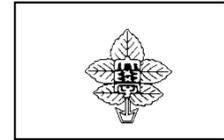
<http://www.miyakyo-u.ac.jp/>

Home page for foreign students:

<http://ryugakusei.miyakyo-u.ac.jp/index.html>



茨城大学 (茨城県)



研修生は留学生のためのクラス及び日本人学生と同一のクラスで学び、更に日本社会で生活することにより、日本語・日本文化を体験的に学ぶことができる。

■大学紹介

①大学の特色および概要

(1) 特色と歴史

本学は昭和24年新制大学としてスタートし、現在は人文社会科学・教育・理・工・農の5学部と人文社会科学・教育学・理工学・農学研究科の4大学院を有する総合大学として発展している。教育の伝統は、少人数によるゼミナール形式授業の重視、現代的・地域的課題に取り組む実学研究の重視等である。

(2) 教員及び学生数

2016年現在の教員数は、632名、学生数は、正規生のみで、学部生7,012名、大学院生は1,132名となっている。

②国際交流の実績

茨城大学は、海外15ヶ国の39大学等と交流協定を結んでおり、多数の外国人研究者と留学生を受け入れている。

③過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生受入実績

2016年留学生数	(学部レベル) 157 (大学院レベル) 131
2015年留学生数	(学部レベル) 178 (大学院レベル) 113
2014年留学生数	(学部レベル) 182 (大学院レベル) 94

2016年度日本語・日本文化研修留学生 1名
2015年度日本語・日本文化研修留学生 4名
2014年度日本語・日本文化研修留学生 3名

④水戸市の特色

東京から北東100kmに位置する水戸市は、茨城県の政治・経済・文化の中心地として古くから発展してきた都市である。市の中心地には日本3名園のひとつ、徳川家ゆかりの「偕楽園」があり、春になると梅を楽しむ人々で賑わう。広大な緑地や千波湖は、市民の憩いの場として親しまれている。

■コースの概要

①研修目的

日本語能力の向上のための研修を主とし、補助的な日本事情・日本文化に関する研修を行うもの。

②コースの特色

研修生は留学生のためのクラス及び日本人学生と同一のクラスで学び、更に日本社会で生活することにより、日本語・日本文化を体験的に学ぶことができる。コース形態は下記のとおりである。
日本語・日本事情：留学生センター・教養科目で開講される主に留学生のための日本語・日本理解のための授業
日本文化：日本人学生と日本について学ぶ教養科目
日本関連科目：人文社会科学部で開講される授業

③受入れ定員：1名（大使館推薦0名、大学推薦1名）

④受講希望者の資格、条件等

来日前に日本語の学習歴を有し、日本語で行われる授業の参加に必要な日本語能力を備えていることが望ましい。

⑤達成目標

日本語・日本文化を学びながら、同世代の日本人学生と積極的にコミュニケーションを図れることで、より一層日本への関心や興味を持ち、理解を深めていく事を達成目標とする。

⑥研修期間：2017年10月1日

～2018年9月30日

⑦研修科目の概要

授業は原則として、前期(4月～8月上旬)と後期(10月～2月上旬)各16週(内1週はテスト)開講される。

(1) 必修科目

①日本語

日本語レベルにより、a. またはb. の授業から選択

- a. 教養科目「学術日本語」「学術日本語基礎」
 - ・日本語上級(聴解、読解、口頭発表、レポート作成、総合)
- b. 留学生センター開講科目
(これらのクラスは、「単位」には関係ありません。)
 - ・日本語中級～上級
 - ・レベル3: 総合、口頭表現、中級漢字
 - ・レベル4: 総合、上級会話、上級漢字、日本事情

②日本人学生と学ぶ教養科目

- ・異文化理解
日本人と留学生が討論を通して、互いの文化や様々な文化についての理解を深める。
- ・異文化と日本の出会い
日本の生活文化について、日本人学生と留学生が話し合う。
- ・異文化としての日本
留学生と日本人学生により、日本文化の理解を深める。



茨城大学 (茨城県)



研修生は留学生のためのクラス及び日本人学生と同一のクラスで学び、更に日本社会で生活することにより、日本語・日本文化を体験的に学ぶことができる。

(2) 選択科目

人文社会科学部で開講される日本語・日本文化に関連する科目及び日本を理解する上で役立つ他の科目の中から、留学生が指導教員と相談の上、授業科目を選択し受講する。

⑦行事等

(1) 全学の留学生とともに、関東地方又は東北地方方面への国際交流合宿研修を実施する。

(2) 留学生支援団体及び地域住民等との懇談会・交流会を実施する。

⑧指導体制

(1) プログラム実施委員長

古賀 純一郎 (人文社会科学部教授)

(2) 指導体制

当該の留学生の関心領域に近い専門の教員が指導教員となり、日本文化及び関連分野についての勉学が進むように指導する。

また、国際交流等に関心の高い日本人学生をチューターとして付け、勉学面のみならず、生活面に渡るまでサポート体制を取り組む。

⑨コースの修了要件、修了証書の発行

所定の科目を履修した者に、コース期間修了後「修了証明書」を交付する。

⑩単位認定、単位互換等

留学生センター開講の授業は、単位を出さないが、人文社会科学部開講の授業は、単位を認定する。単位互換は、当該学生の出身大学の判断による。

■ 宿舎

国際交流会館

○ 宿舎数

- ・ 単身用38室 (A, B棟)、12室 (D棟)、23室 (EFGHI棟)
- ・ 夫婦用2室 (C棟) ・ 世帯用2室 (C棟)

○ 家賃 (月額)

- ・ 単身用 5,900円 (A, B棟)、20,400円 (D棟)、20,400円 (EFGHI棟)
- ・ 夫婦用、世帯用 14,200円 (C棟)

○ 宿舎周辺の生活情報、通学時間

国際交流会館から本学までは徒歩15分位で、入居期間は1年以内である。

■ 修了生へのフォローアップ

修了後の研究に対し、要請に応じたEメール等を通じて協力助言する。

■ 問い合わせ先

住所：〒310-8512

茨城県水戸市文京2-1-1

担当：学務部留学交流課

TEL：029-228-8056

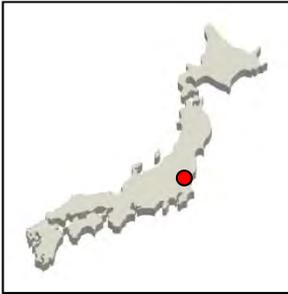
FAX：029-228-8594

茨城大学ホームページ

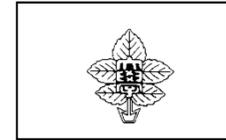
<http://www.ibaraki.ac.jp/>

茨城大学留学生センターホームページ

<http://www.isc.ibaraki.ac.jp/>



Ibaraki University (Ibaraki Pref.)



The program is offered to improve both the students' Japanese communicative competence and the understanding of Japanese culture and way of life through studying with Japanese students and living in Japanese society.

■ University Overview

1. Characteristics and Outline

(1) Characteristics and History

Ibaraki University was established in 1949 and has been developing as an university with five colleges (Humanities and Social Sciences, Education, Sciences, Engineering, and Agriculture) and four graduate schools (Humanities, Education, Natural Sciences and Engineering, and Agriculture). Emphasis is put on practical teaching about current and local issues.

(2) Faculty and Students (as of May 1, 2016)

Faculty members:	632
Undergraduate Students:	7,012
Graduate Students:	1,132

2. International Exchange

Ibaraki University has international exchange agreements with 39 universities and institutions of 15 countries. The university has accepted a large number of scholars and students from abroad, which include Japanese studies program students (3 in 2016, 4 in 2015, and 3 in 2014).

3. Number of International Students

2016 Total:	288
Undergraduate:	157
Graduate:	131
2015 Total:	291
Undergraduate:	178
Graduate:	113
2014 Total:	276
Undergraduate:	182
Graduate:	94

4. General Information about Mito City

Mito City, in 100 km northeast of Tokyo, is the political, economic, and cultural center of Ibaraki Prefecture. The city has rich historical and cultural sites such as Kairakuen, a plum tree garden constructed in the Edo period.

■ Outline of the Japanese Studies Program

1. Purpose of the training

Aimed at mainly the improvement of student's Japanese skills, and secondarily learning Japanese affairs and Japanese culture.

2. Characteristics

The program is offered to improve overseas students' communicative competence in Japanese and understanding of Japanese culture and life through studying with Japanese students and living in Japanese society. The program is composed as follows:

- Japanese and Japanese Affairs (International Student Center):

Especially designed for overseas students to learn Japanese language and understand Japanese society.

- Japanese Culture (Liberal Arts):

Learning Japanese culture with Japanese students.

- Japan-related matters (the College of Humanities and Social Sciences)

3. Number of Students Accepted: Three students

- Embassy recommendation 0
- University recommendation 1

4. Application Requirements

It is desirable that the applicants have studied Japanese and have sufficient proficiency to understand lectures and take part in seminars as well to read materials and write reports in Japanese.

5. Program Objectives

Through the program, overseas students can not only study Japanese language and culture but also deepen their understanding and concerns on Japanese society. Positive attitude toward establishing relationship with Japanese students help them achieve the objectives easier.

6. Program Period: From October 1, 2017 to September 30, 2018

7. Program Description

Academic year has two semesters: the first semester from April to the early August, the second semester from October to the early February. Each semester has sixteen weeks, including an examination week.

(1) Compulsory courses

① Japanese language

Choose (a) or (b) in the below according to the Japanese language proficiency level.

a. Academic Japanese, Basic Academic Japanese (liberal arts subjects)

- Academic Japanese (listening, reading, oral presentation, academic writing, general)

b. Courses offered at International Student Center (No credit is given for the following courses.)

- Intermediate & Advanced Japanese

Level 3 (general, oral expressions, intermediate kanji)

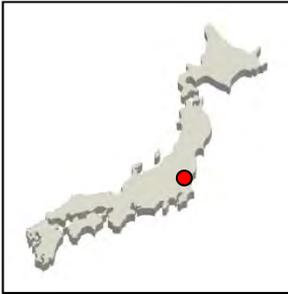
Level 4 (general, advanced conversation, advanced kanji, Japanese studies)

② Courses offered as Liberal Arts subjects

- Cross-cultural understanding

- Cross-Cultural Communication in Japanese culture and Foreign cultures

- Rediscovery of Japanese culture, from the ethnological perspective



Ibaraki University (Ibaraki Pref.)



The program is offered to improve both the students' Japanese communicative competence and the understanding of Japanese culture and way of life through studying with Japanese students and living in Japanese society.

(2) Elective Courses:

Among courses of the College of Humanities and Social Sciences, students may enroll courses useful to understand Japan as well as courses related to Japanese language and culture. Their advisors assist them to select those courses.

7. Events

- (1) A field trip to the Kanto or Tohoku area together with other overseas students.
- (2) International exchange activities with organizations supporting overseas students and the people in the local communities.

8. Academic Supporting System

(1) Program Coordinator
Prof. Junichiro Koga, Faculty of Humanities and Social Sciences

(2) Academic Advisors

A faculty member whose specialization fits in with the area of interest of the overseas student is assigned as his/her academic advisor.

(3) Tutoring

A Japanese student who is interested in international exchange is assigned as a tutor to help a overseas student adapt to the new environment at/outside of the campus.

9. Program Completion and Issuance of Certificate

After completing required courses, students are given a certificate of completion.

10. Credit Certification and Credit Transfer

Except for those subjects offered at the International Student Center, credits are given upon completion of course requirements. Credit transfer depends on the policy of the student's home university.

■ Accommodations

Japanese Studies Program students are given priority to live at International House.

In the past three years all Japanese Studies Program students lived in the Ibaraki University International House.

The International House

• Number of rooms

Single: 38 (Building A,B), 12 (Building D), 23 (Building EFGHI)

Couple: 2 (Building C)

Family: 2 (Building C)

• Rent (per month)

Building A,B 5,900yen

Building DEFGHI 20,400yen

Building C 14,200yen

• Information for daily life and commute time

The maximum period of stay is one year

About 15-minute walk from the university

A private apartment for single costs about 30,000 – 40,000 yen per month.

■ Follow-up after Completion

Upon request, the teaching staff will extend advice and cooperation to the research of the graduates after their completion of the program by email, etc.

■ Contact Office

Student Exchange Division

Address: 2-1-1 Bunkyo, Mito City, Ibaraki, 310-8512 Japan

Phone: +81-29-228-8056

Fax : +81-29-228-8594

URL: <http://www.ibaraki.ac.jp/>

URL: <http://www.isc.ibaraki.ac.jp/>

宇都宮大学 (栃木県)



世界遺産の日光、最先端のテクノポリス、豊かな自然が身近にある環境での研修です



■大学紹介

① 大学の特色および概要

宇都宮大学は栃木県の中央にある宇都宮市にある大学で、5つの学部と4つの研究科(大学院)からなる総合大学である。大きな大学ではないので、種々の面で学生に対してきめ細やかに対応しており、学部や研究科間を連携した教育・研究活動も行いやすい。

●教員数と学生数 (2016年10月1日現在)

教員数 : 353名

学生数 : 4,873名

(学部生 4,058名, 大学院生名 815名)

●学部と研究科

<地域デザイン科学部>

2016年4月に新たに発足の学部。地域の魅力を引き出して、より良い地域を形成するために必要な、幅広い知識と専門技術を総合的に学ぶ。

<国際学部・国際学研究科>

国際的な視野から社会と文化の総合的な教育研究を行い、世界で活躍できる人材の育成を行っている。海外からの留学生、海外に留学する学生がともに多い。

<教育学部・教育学研究科>

教員養成に長い歴史を持ち、学校教育をはじめ、多方面で活躍できる人材を養成している。

<工学部・工学研究科>

自然環境及び人工環境と人間の共生をめざした先端的研究を行っている。

<農学部・農学研究科>

宇都宮高等農林専門学校からの長い伝統を持つ一方、バイオテクノロジーや国際協力などの先端的研究分野で大きな成果をあげている。

② 国際交流の実績

留学生の数: 256名 (32か国)

研究者の数: 5名 (4か国)

大学間等交流協定校の数: 63大学

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2016年: 留学生数 256人 日本語・日本文化研修留学生 3人

2015年: 留学生数 277人 日本語・日本文化研修留学生 7人

2014年: 留学生数 282人 日本語・日本文化研修留学生 9人

④ 地域の特徴

本学のある宇都宮市は東京の北100km(新幹線で約50分)に位置している。宇都宮市は人口約52万人で、東には鬼怒川(きしかが)、北には那須山地、西には世界遺産の観光地日光など、美しい環境に恵まれている。日本最古の大学、足利(アシカガ)学校に代表される学問の伝統や日本で1、2位を競ういちごなど農産物の開発やテクノポリスを構成する工業技術などアカデミズム・先端的科学技術の発信地となっている。



■コースの概要

① 研修目的

日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行うもの。

② コースの特色

本コースは、宇都宮大学留学生・国際交流センターが全学の協力を得て行う研修プログラムで、以下の二つの研修を行う。

・日本の文化や社会についての研究

研究テーマを設定し、そのテーマに相応しい指導教員の下に研究を行い、その成果を研修論文としてまとめ、発表し、提出する。

・日本語能力の向上

研究と並行して、日本語の授業や日本語で行われる大学の授業を受講し、自らの日本語能力の向上を図る。

③ 受入定員

10名(大使館推薦5名、大学推薦5名)

④ 受講希望者の資格、条件等

以下の(1)、(2)を二つとも満たすことが条件である。

(1) 専攻分野

母国の大学において日本語・日本文化に関する分野を専攻としていること。

(2) 日本語能力

中上級レベル(日本語能力試験N2合格程度)以上の日本語能力を持っていること。

⑤ 達成目標

本コース研修留学生は研修終了時に自らの調査・研究の成果を日本語でまとめた研修論文を作成、提出すること、またその成果を「日研生論文発表会」で口頭発表することを目標とする。

⑥ 研修期間

2017年10月 ~ 2018年9月

⑦ 研修科目の概要

- ・開講部局は留学生・国際交流センター、基盤教育(全学共通の基礎科目)、各学部である。
- ・授業時間は90分、全科目15回30時間である。
- ・必修科目を4科目、選択科目を8科目



1) 必須科目 (留学生・国際交流センター開講科目、各2単位)

「日本語・日本文化Ⅰ」「日本語・日本文化Ⅱ」
「日研生特別研究Ⅰ」「日研生特別研究Ⅱ」

2) 見学、地域交流等の参加型科目

- ・見学や、留学生を対象とした地域との交流行事等を予定する。(⑧を参照)



3) その他の科目、選択科目等

(留学生・国際交流センター・基盤教育・各学部の開講科目)

- ・選択科目は12科目の受講が必要である。ここに挙げているのは受講を推薦する科目の例であり、日本語能力と研究テーマに応じて他の授業科目を選択できる。
- ・本学の授業科目の2017年度の時間割とシラバスは、本学ホームページ(後述)で確認することができる。

○ 選択科目Ⅰ：上級レベル日本語科目の例 (各1単位)

「日本語アカデミック・リーディングⅡ」
「日本語アカデミック・プレゼンテーション」
「科学技術系のための専門日本語」
「人文社会系のための専門日本語」

○ 選択科目Ⅱ：日本文化関連科目の例 (各2単位)

「日本事情」「日本語の表記」「日本語論」
「日本語史」「対照言語学」「日本文化論」
「多言語コミュニケーション学A」
「多言語コミュニケーション学B」
「異文化間コミュニケーション」
「日本文学史」「日本文学概説A」
「Japanese Communication Arts」
「Globalization and Society」
「グローバル教育論」
「移民と多文化教育」

⑧ 年間行事 (他の留学生も参加する)

- 10月 10月来日留学生歓迎パーティー
ホームステイ
 - 2月 地域との交流会
 - 7月 七夕の集い(地域留学生対象)
- その他、校外学習も予定している。



⑧ 指導体制

本コース研修留学生は本学留学生・国際交流センターに所属し、プログラム担当教員と指導教員の連携による指導を受ける。

○プログラム担当教員：

本コースのコーディネーターとして全学的な協力の下に研修留学生が充実した研修を行えるよう指導教員等と連携をとりながら指導・助言を行う。

- ・ 戚 傑 (留学生・国際交流センター)
- ・ 湯本 浩之 (留学生・国際交流センター)

○指導教員：

研修留学生の研修テーマに応じて専門分野の研究指導を行う。指導教員は、来学後に研テーマに基づいて全学の教員の中から決定される。

⑨ コースの修了要件

以下の(1)～(3)を全て満たすことを修了要件としコース修了者には修了証書を与える。

- (1) 必須科目4科目を履修すること
- (2) 選択科目12科目(本プログラムに関連した内容の科目)を履修すること
- (3) 研修論文を作成するとともに、研修論文の内容を「日研生研修論文発表会」で発表すること

■ 宿 舎

本学には、外国人留学生用の宿舎として国際交流会館があるが、全員が入居できない状況である。

そのため、国費留学生は民間アパートに入居する可能性が高い。

〈参考〉

○民間アパートに入居する場合、最初にかかる諸費用

- ・ 居室料(単身用・月額) 30,000円前後
- ・ 敷金(居室料の1ヶ月分)
- ・ 礼金(居室料の1ヶ月分)
- ・ 手数料(居室料の1ヶ月分)
- ・ ガス開栓等の手数料 15,000円前後
- ・ 保険料 4,500円～9,000円 前後

合計 10万円～15万円前後

○設備等

- ・ エアコンが設置されたアパートは比較的多い。
- ・ その他は来日後、各自で購入等の必要がある。

■ 修了生へのフォローアップ

研修修了後も、希望者には進路や研究内容等について、メールなどにより、随時相談・助言等を行っている。

○過去の修了生の進路の例：

- ・ 本学大学院進学
- ・ 本学以外の日本の大学院進学
- ・ 母国での通訳
- ・ 母国での大学教員
- ・ 日系企業への就職



■ 問い合わせ先

(担当部署)

宇都宮大学学務部留学生・国際交流課

住所 〒321-8505

栃木県宇都宮市峰町350

TEL +81-28-649-8166 (直通)

FAX +81-28-649-5115

E-mail

ryuugak1@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

宇都宮大学ホームページ

<http://www.utsunomiya-u.ac.jp/>

宇都宮大学留学生・国際交流センターホームページ

<http://intl.utsunomiya-u.ac.jp/>





Utsunomiya University (Tochigi Pref.)



Close to Nikko as a World Heritage, the most advanced Technopolis, and natural beauty. Students of the program can study a variety of topics in this ideal environment.

■ University Overview

① Outline

Utsunomiya University is comprised of 5 faculties, 4 graduate schools and 12 Institutes for education and research.

The Faculty of Regional Design, established newly in 2016, teaches practical knowledge, methods and technics for a better design of regional communities. The Faculty of International Studies, being the only faculty in all national universities in Japan, promotes comprehensive studies of international societies and cultures. The Faculty of Education has a long history of training educators and offers specialized programs that include practical skills training. The Faculty of Engineering conducts leading-edge research and serves as a core facility for the industrial center. The Faculty of Agriculture has a long tradition, but it is also producing remarkable results in new fields such as biotechnology and international cooperation.

② Number of Faculty and Students (as of October 1, 2016)

- Faculty 353
 - Students
 - Undergraduates 4,058
 - Graduates 815
- total 4,873

③ The data of International Exchange

- Number of International students: 256 (from 32 countries)
- Number of International visiting scholars: 5 (from 4 countries)
- Number of Exchange Agreements with overseas universities: 63
- Number of Students in the Japanese Studies Program in past 3 years
 - 20149
 - 20157
 - 20163

④ Local Environment

Utsunomiya University is located in the City of Utsunomiya (population: about 500,000), about 100 km north of Tokyo (about 50 min by Shinkansen).

Utsunomiya is surrounded by natural beauty, with the Kinugawa River to the east, the Nasu Mountain Range to the north, and world-famous Nikko to the west. With a strong academic tradition, as suggested by its proximity to the Ashikaga School, Japan's earliest-known university, Utsunomiya University has become renowned for cutting-edge technologies such as those being developed at the Technopolis Center.

■ Outline of the Program

① Program Purpose

Main purpose is the research study about Things Japanese and Japanese Culture, auxiliary purpose is to improve their Japanese skills.

② Program Feature

This course is offered by the Center for International Exchange of the Utsunomiya University in cooperation with the faculties, aiming to help students to improve and develop their Japanese language skills and to deepen their specialized knowledge of Japanese language, culture and society.

③ Quota

- 10 students
- University recommendation5
- Embassy recommendation5

④ Requirements for Applicants

Followings are requirements for this program, and both should be satisfied by the applicants.

- Applicants should be majoring in a field related to Japanese language or culture at their home university.
- Applicants should have the intermediate or higher level of Japanese proficiency (higher than N2 level of JLPT) that will enable them to pursue the program and study with Japanese students.



⑤ Goal

- To improve and develop their Japanese language skills.
- To deepen their specialized knowledge of Japanese language, culture and society.
- To write an academic report and give an oral presentation on the research at the end of the program.

⑥ Course Duration

October 2017 to September 2018

⑦ Outline of Subjects

1) Required Subjects :

The following 4 subjects are those only for the Japanese Studies Course. (30 hours for each subject)

- Japanese Language and Culture I …2 credits
- Japanese Language and Culture II …2 credits
- Special Seminar in Japanese Language and Culture I …2 credits
- Special Seminar in Japanese Language and Culture II …2 credits

2) Elective Subjects:

The following subjects are those given at the Liberal and General Education Center, Faculty of International Studies and the Faculty of the Education, in which the students of the Japanese Studies course are supposed to take together with regular students.

Each student may take other subjects in accordance with their research topic, if necessary. And the total number of required elective subjects is 12. (30 hours for each subject)

《 Subjects of Advanced Japanese Language 》

- Academic Japanese for Reading II ……………1 credits
- Academic Japanese for Presentation ……………1 credits
- Academic Japanese for Human Science and Social Science
……………1 credits
- Academic Japanese for Science and Technology ……………1 credits

《 Model Subjects of Related to the Japanese studies 》

- Things Japanese ……………2 credits
- The Japanese Writing System ……………2 credits
- Japanese Linguistics ……………2 credits
- History of the Japanese Language ……………2 credits
- Japanese Culture ……………2 credits
- Comparative Study of Cultures ……………2 credits
- Multilingual Communication A ……………2 credits
- Multilingual Communication B ……………2 credits
- Cross-Cultural Communication ……………2 credits
- Introductory Japanese Literature A ……………2 credits
- History of Japanese Literature…………2 credits
- Japanese Communication Arts…………2 credits
- Globalization and Society ……………2 credits
- Global Education ……………2 credits
- Multicultural Education and Immigration ……………2 credits

3) Participation-based study and events

There are various extra-curricular intercultural activities for international students offered by the Utsunomiya University (see ⑧).



⑧ Extracurricular Activities

Students may participate in a wide range of extracurricular activities, including opportunities to interact with local residents.

⑨ Academic Guidance System

(1) Course Advisors and Coordinators

Jie Qi (Center for International Exchange)
Hiroyuki Yumoto (Center for International Exchange)

Course advisors are responsible for organizing the Japanese Studies Course, and help each student to make their study plan and/or decide their research topic. They also coordinate the course at the whole university level.

(2) Research Supervisors

Research supervisors give students academic advice according to their research topic, and are decided after their arrival.

⑩ Course Requirements

Each student is required to take both required subjects (4 credits) and elective subjects (12 subjects or more), and give an oral presentation on their academic report at the end of the course.

■ Housing

● Condition

There is an international student dormitory at Utsunomiya University. However, unfortunately it is always fully occupied, so all the MEXT scholarship students are advised to rent a room at their own expense.

● Room rent (on average)

1-bed room 30,000yen/month

● Other costs

You may have to pay triple the amount of money for cleaning deposit, reward and handling charge.

You may have to deposit 15,000yen to your gas company to use the gas.

Sign up for house insurance, which costs 4,500–9,000yen.

In total you need 100,000–150,000yen to settle down here.

● Room facilities

Many rooms are air-conditioned but you have to buy heaters, stoves, kitchenware, microwaves, washing machines etc at your own expense.

■ Follow-up for graduates

Opportunities will be offered to graduates to take advice about your going to higher school in Japan after completing.

■ For more information, please contact

International Student and Exchange Division, Student Affairs Department,
Utsunomiya University

Address: 350 Mine-machi, Utsunomiya, Tochigi 321-8505 JAPAN

Tel: +81-28-649-8166

Fax: +81-28-649-5115

E-mail: ryuugak1@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

Or visit our web site at: www.utsunomiya-u.ac.jp/





群馬大学 (群馬県)



日本語・日本文化、教育学、社会情報学を学び、地域社会の視点から日本の文化を考察する。

■大学紹介

① 大学の特色および概要

(1) 特色と歴史

群馬大学は1949年に設立。東京から北西に約100kmに位置し、教育学部、社会情報学部、医学部、理工学部、生体調節研究所、附属図書館、医学部附属病院、国際教育・研究センター等の各部局で構成している。

教育学部は、グローバルに物事をとらえながら、未来社会を支える人間を育成するために、人間の発達と成長を主な対象として教育の目的、方法、および内容などについて理論的・実践的な教育・研究を進めている。教育学部には、教員養成を主たる目的とする課程があり、5系・13専攻に分かれながら、深い専門性と実践的な指導方法を身に付ける。

社会情報学部では、社会と人間を「情報」という視点から捉えた「社会情報学」を学ぶ。社会情報学の目標は、人間のコミュニケーションを取り巻いている社会のシステムを分析し、今後の課題を明らかにしていくことである。そこで、情報科学と人文・社会科学を融合し、学際的、国際的な教育・研究を進めている。

国際教育・研究センターでは、留学生のための日本語・日本事情科目を開講し、学習相談を実施している。また日本研究のため「武道」「日本美術」「邦楽」という実践科目も履修でき、総合的に日本理解ができるプログラムが用意されている。

(2) 教員・学生数等 (2016年5月1日現在)

教員数：938人

学生数：学部5,121人、大学院1,362人

② 国際交流の実績 (2016年5月1日現在)

留学生在籍数：225人 (21カ国 1地域)

海外の大学との交流協定：124件 (34カ国 1地域)

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2016年：留学生数225人、日本語・日本文化研修留学生5人

2015年：留学生数215人、日本語・日本文化研修留学生5人

2014年：留学生数231人、日本語・日本文化研修留学生6人

④ 地域の特徴

関東平野の北に位置し、美しい山々に囲まれ、温泉も多く、1年を通じて四季折々の自然豊かな景色・産物が楽しめ、東京近郊から電車で約2時間ほどである。

一方、外国人が急増し、その多文化共生のため様々な活動を群馬大学が実施し重要な役割を果たしている。

■コースの概要

① 研修目的、コースの特色

本コースは、日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行うものである。

本学では日本語・日本文化研修プログラムを通称「Jプログラム」として、日本語の能力や技能を高めながら、日本を研究対象とする諸研究を行うのに必要な知識を身につけることを目指す。プログラム期間中に行われる諸活動に参加することで、日本語や日本文化、日本社会についての理解を深めることができる。

本人の希望する専門分野により、教育学部又は社会情報学部のいずれかの研究室に所属し、更なる日本語能力の向上と並行して、専門性をより高めることを目的としている。

また、例年、当プログラムが行われる荒牧キャンパスには多数の交換留学生在籍しており (2016年度は5協定校から14名)、日本語能力試験N1級レベルや大学院レベルの交換留学生もあり、短期留学生在籍が多様なレベルで存在している。

そのため、交換留学生のための日本の伝統文化を学ぶプログラムも用意されており、武道 (柔道)、日本画、邦楽 (琴、三味線) の実技を専門家から学ぶ機会もあり、日本文化をより深く学ぶことが出来る。

② 受入定員

5名 (大使館推薦3名、大学推薦2名)

③ 受講希望者の資格、条件等

(1) 一般的な会話や読み書きができ、専攻する科目について日本語による授業科目の内容を理解する者。日本語能力試験N2級以上相当が望ましい。

(2) 日本語・日本文化に関する分野を専攻する者、または他の学問分野を専攻しつつ日本語・日本文化に関する分野を学習している者。

④ 達成目標

修了時に、日本語で研究論文を作成し、自分の研究について口頭発表や質疑応答ができるようになること。

⑤ 研修期間

2017年10月1日～2018年9月30日

⑥ コース形態

日本語及び日本事情の授業は国際教育・研究センターの教員が行う。専門科目については学部で開講している講義やゼミナールに参加することができる。

⑦ 授業科目の概要

授業は原則として、前期・後期各15週開講する。日本語、日本事情、伝統文化実践科目、学部・教養科目から履修する。必修科目は以下のとおり、全体で510時間が必要となる。

(1) 修了要件

授業の種類	第1期(10-3月)	第2期(4-9月)
日本語	4クラス(120時間)	4クラス(120時間)
学部・教養教育科目	6クラス(180時間)	
J特別講義*1	1クラス(30時間)	
課題研究(個別指導)*2	1クラス(30時間)	1クラス(30時間)

*1: 「日本における研究」をテーマに、学内教員によるオムニバスの特別授業(協力教員14名/半期)

*2: 課題研究は指導教員による論文指導である。第2期の終わりにプレゼンテーションをして、論文を提出しなければならない。



図書館

科目名	学期	時間数	授業内容
日本語A(口頭表現)	秋・春	60	聴解・会話、発表演習
日本語B(総合)	春	30	読解、作文、プレゼンテーション
日本語C(読解)	秋	30	論説・論文の読解・要約
日本語D(総合)	春	30	時事日本語
日本語E(作文)	秋	30	レポート・論文作成
日本語F(読解)	秋・春	60	専門書読解、要約・作文練習
日本語G(読解)	秋・春	60	専門書読解、要約・作文練習
日本語H(作文)	春	30	文章表現、レポート作成
日本語I(口頭表現)	春	30	聴解・会話、発表演習
日本事情A	春	30	日本文化論講座
日本事情B	春	30	日本の科学技術
スポーツ実習	秋・春	30	柔道
邦楽器演習	秋・春	各60	三絃・琴演習
日本美術演習	秋・春	各60	日本画演習

(2) 選択科目

教育学部と社会情報学部で開設される専門科目の授業、教養科目授業から選択する。

(3) 見学

年に1回、留学生と日本人学生合同で、近隣の研修旅行(1泊2日)を予定している。その他、日本美術の一環で、東京や千葉、県内の美術館等への日帰り見学を定期的に行う。

(4) 地域交流

群馬県内の小学校や中学校から国際理解講座の授業への留学生派遣依頼があり、Jプログラムの学生が積極的に訪問するよう働きかけを行い、選択科目の「日本語B」と連携し、効果的なプレゼンテーションの実技指導を行っている。

また前橋市の国際交流協会が実施するホスティングプログラムやイベントへの講師派遣にも積極的に参加・協力している。

⑧ 指導体制

(1) コーディネーター: 野田岳人准教授

(2) 指導体制:

学部の指導教員と国際教育・研究センターの教員が、研究指導及び修了研究のための指導を行う。その他、国際教育・研究センター教員(生活相談を含む)やチューターの日本人学生が日本語学習や日常生活の支援する。



邦楽器演習

⑨コースの修了要件、修了証書の発行

コースの修了にあたっては、必修科目420時間、選択科目等60時間以上を受講し、日本語による論文発表会を行い、口頭試問の上、成績優秀な者については修了証書を発行する。

成績判定にあたっては、学部指導教員と国際教育・研究センター教員による修了判定委員会で総合的に判断される。

⑩行事等

- 10月 新入学留学生受入式
オリエンテーション
留学生相談会
チューターオリエンテーション
留学生特別健康診断
- 12月 各学部留学生懇談会
- 1月 伝統文化実践科目邦楽演奏会
- 3月 茶道、書道、華道の伝統文化体験
- 4月 全学健康診断
- 7月 インターナショナルキャンプ（予定）
- 8月 Jプログラム研究報告会
伝統文化実践科目邦楽演奏会
- 9月 Jプログラム研究論文提出

⑪単位認定、単位互換

必要があれば、各所属学部で成績証明書の発行可能。単位互換は、在籍大学の判断による。



Jプログラム研究報告会

■宿 舎

キャンパスから4 km離れたところに群馬大学国際交流会館（前橋）がある。単身室22室があるが、常に学部、大学院留学生等により満室状態である。

大学は、原則日研生のために、キャンパスに近い民間アパートを準備する。おおよそ30,000円/月程。その他、公共料金（電気、ガス、水道、インターネット、携帯電話）が10,000～20,000円/月程必要となる。同時期に来日する交換留学生用のアパートと同様の扱いを行う。

■修了生へのフォローアップ

Jプログラム修了生のデータベースを作成する。また、日本への大学院進学などについて、助言・相談を実施する。

インターナショナルキャンプ



2015-2016年度 日研生、交換留学生

■問合せ先

（担当部署）
群馬大学学務部国際交流課
住所 〒371-8510
群馬県前橋市荒牧町四丁目2番地
TEL +81-27-220-7637（直通）
FAX +81-27-220-7630
E-mail g-exchange@jimu.gunma-u.ac.jp

担当教員 国際教育・研究センター
准教授 野田岳人
E-MAIL nodat@gunma-u.ac.jp

群馬大学ホームページ
<http://www.gunma-u.ac.jp/>

群馬大学国際教育・研究センターホームページ
<http://www.cier.gunma-u.ac.jp/>



Gunma University



Promoting the Understanding of Local Japanese Society through Education and Social & Information Studies

◇ Overview of Gunma University

① Outline

(1) Outline and History

Gunma University was established in 1945 and is located roughly 100 km northwest of Tokyo. It consists of the Faculty of Education, Faculty of Social and Information Studies, Faculty of Medicine, School of Science and Technology, Institute for Molecular and Cellular Regulation, University Library, University Hospital, Center for International Education and Research, and so on.

The Faculty of Education aims to educate students who can think globally and develop the society in the future. In order to realize that, it advances both theoretical and practical education/research on objectives, methodology, and contents of education concerning human growth and development. The Faculty of Education provides teacher training courses, and its students are divided into five fields and 13 majors and attain professional knowledge and technique as school teachers.

The Faculty of Social and Information Studies promotes the interdisciplinary field of social and information studies, which looks at an individual and society as a whole from the perspective of "information". The goal of the studies is to analyze the social system surrounding the human communication and to clarify the future issues of the information society. In order to do this, the Faculty has advanced cross-disciplinary, international education and research, striving for the integration of humanities, social sciences and information sciences.

The Center for International Education and Research provides international students with

Japanese language, Japanology and advises them about their studies. In addition, students are able to understand more about Japan through the study of the martial arts, Japanese painting, and traditional Japanese music.

(2) Number of faculties members and students (as of May 1, 2016)

Faculty members	938	Undergraduate students	5,121
		Graduate students	1,362

② International Exchange Data (as of May 1, 2016)

International students: 225 (21 countries and 1 region)
Academic Exchange agreements: 124 (34 countries and 1 region)

③ The number of students attended this program

International students / Japanese Studies students
<u>2016 yr. 225 / 5</u> <u>2015 yr. 215 / 5</u> <u>2014 yr. 231 / 6</u>

④ Feature of Maebashi City

Surrounded on three sides by majestic mountain ranges, Maebashi City is located in the northeast corner of the Kanto Plain. Within a beautiful landscape, there are many hot springs and beautiful natural scenery throughout the four seasons. It takes two hours by train from Tokyo. The population of foreign residents has been increasing rapidly in the last ten years and Gunma University plays an important role in promoting activities involving these multicultural societies.

◇ Contents of the "J Program"

① Aim and feature of the "J Program"

In this course, students mainly study about Japanology and receive training of Japanese language supplementarily. Gunma University offers the "J Program" for Japanese Studies students. The aim of this program is to provide students with the knowledge needed to learn about Japan while also raising their level of Japanese language proficiency. By attending various classes and events, the students are presented with opportunities to deepen their understanding of the Japanese language, culture, and society. The students are enrolled at either the Faculty of Education, or the Faculty of Social and Information Studies, where they can also pursue and advance their own specialized fields of study.

There are many exchange students (14 students from five partner universities in 2016). Some of them possess level N1 of the JLPT while others are Graduate school level students. Gunma University provides practical classes such as martial arts (Judo), Japanese painting, and traditional Japanese music (Koto & Shamisen) led by specialists in those areas.

② Enrollment quota: 5 students

(3 students from the Japanese Embassy,
2 from Gunma University)

③ Qualifications and Conditions of Applicants

(1) Students who have the Japanese language ability to understand lectures in their fields of specialization. Students are expected to have the ability to pass the JLPT at Level N2 or Level N1.
(2) Students who have majors related to Japanese Language and/or Japanese Culture, or who major in other fields but also study fields related to Japanese Language and/or Japanese Culture.

④ Goal of students

At the final stage, students are expected to be able to make a research report in Japanese and make a presentation and debate regarding their own research.

⑤ Period

October 1, 2017—September 30, 2018

⑥ On-Campus Network

CIER coordinates the Japanese curriculum while each student's supervisor in the faculty guides their major subjects.

⑦ Outline of Classes

Classes are conducted for 15 weeks in both a 1st and 2nd term time frame. Students attend the classes relating to Japanology, Traditional Culture, General Education and Undergraduate Faculty courses. The required classes, which amount to 510 hours are listed as follows:



Main Campus Library

(1) Required Classes

Title	Fall Semester (October–March)	Spring Semester (April–September)
Japanese	4 credits (120 hours)	4 credits (120 hours)
General Education and Undergraduate Faculty	6 credits (180 hours)	
Special Lecture Japanology*1	2 credits (30 hours)	
Research Work *2 (Individual guidance)	2 credits (30hours)	2 credits (30hours)

*1: 14 professors have a special lecture from the perspective of their major and Japanese Studies.

*2: Students have to present their research and submit a final paper at the end of the 2nd term.

Title	Semester	Number of hours	Outline
Japanese A	fall / spring	60	Listening, Communication, Presentation Practice
Japanese B	spring	30	Reading, Writing
Japanese C	fall	30	Reading
Japanese D	spring	30	Modern Japanese
Japanese E	fall	30	Academic Writing
Japanese F	fall / spring	60	Academic Japanese Reading
Japanese G	fall / spring	60	Academic Japanese Reading
Japanese H	spring	30	Academic Writing
Japanese I	spring	30	Listening, Communication, Presentation Practice
Japanology A	spring	30	Japanese Culture and Society
Japanology B	spring	30	Japanese Science and Technology
Sports Science	fall / spring	30	Judo
Practical Study	fall / spring	60	Traditional Japanese instruments
Practical Study	fall / spring	60	Japanese Painting

(2) Selective Classes

Students must attend their specialized subject classes in the Faculty of Education and/or Faculty of Social and Information Studies, or General Education classes.

(3) Visits

We will have an Excursion for International and Japanese students in the Gunma region, which runs for two days with an overnight stay. As part of Practical Study of Japanese Painting, we also have a day trip to museums in Tokyo, Chiba and within Gunma.

(4) Exchange with local citizens

J program students can attend lectures conducted in the local Gunma region as part of the “Japanese B” class, where students will learn effective presentation methods.

Students can also join a Hosting program and international events conducted by the Maebashi International Association.

⑧ Instruction System

(1) Coordinator: Prof. Takehito NODA

(2) Supervisors: Students can receive academic advice and individual guidance regarding their research conducted by lecture and seminar. In cooperation with related faculties, students organize a plan of their research work. In addition, teaching staff and tutors of the Faculty, Japanese language and Japanese Studies, cooperate together in the program and assist students.



Traditional Japanese instruments

⑨ Requirements for Completing the Course

A Certificate of Completion will be issued after completing 420 hours of required classes, more than 60 hours of selected classes, making an excellent final presentation, and by maintaining a perfect attendance record. At the end of the course, a committee chaired by CIER professors and administrators evaluate, judge and render the final decision regarding the students' completion of the course and overall performance.

⑩ Annual events

- Oct. Opening ceremony, Orientation
Tutor orientation
Special health check for international students
- Dec. Exchange party for international students
- Jan. Japanese traditional music concert
- Mar. Japanese traditional culture: Experiencing the tea ceremony, calligraphy, flower arrangement
- Apr. Health check
- Jul. Excursion for international students (to be announced later)
- Aug. Presentation of the J Program
Japanese traditional music concert
- Sep. Submission of the thesis

⑪ Credits

The students can receive an academic certificate describing the subject's evaluation and credit. The students can submit the certificate to their home university for credit transfer.



Presentation of a J Program Student

◇ Accommodation

It may be possible to make a reservation for a single room at Gunma University's International House, which is located approximately 4km from the main campus. As the rooms are often fully occupied by undergraduate and graduate students, a reasonably priced rental apartment near campus will be made available to students. Single room cost is 30,000 yen per month. Students will also need to also consider paying an additional 10,000-20,000 yen per month for service charges such as electricity, gas, water, Internet, and mobile phone.

◇ Follow-up

We will make a database of alumni graduates.
We will offer support for graduates who wish to continue their studies and apply for graduate school in Japan.

Study tour for international students



Japanese Studies & Exchange students 2015/16

◇ Inquiries

International Exchange Office, Gunma University
Address: 4-2 Aramaki-machi, Maebashi,
Gunma, 371-8510, JAPAN
TEL: +81 27-220-7637
FAX: +81 27-220-7630
E-MAIL: g-exchange@jimu.gunma-u.ac.jp

Academic Coordinator:
Mr. Takehito Noda, Associate Professor
Center for International Education and Research (CIER)
E-MAIL: nodat@gunma-u.ac.jp
Gunma University: <http://www.gunma-u.ac.jp>
Gunma University CIER <http://www.cier.gunma-u.ac.jp/>



埼玉大学 (埼玉県)



「多様な日本語・日本文化科目を提供します。」

■大学紹介

① 大学の特色および概要

埼玉大学は、東京圏に位置した総合大学としての使命を果たしている。本学は、旧制の浦和高等学校、埼玉師範学校ほかを母体として1949年に創設されてから60余年が経過し、教育・研究の場の整備を着実に進めており、地域の学術交流の拠点に成長しつつある。昨年度の留学生数は540人を超え、一段と国際交流が活発化している。

また、海外からの研究者の受入れや本学教員の国際的研究活動も増加している。本大学は5つの学部とさらに高度な教育・研究を推進するための3つの大学院研究科を設置しており、修士課程(博士前期課程)、博士課程(博士後期課程)が設置され、充実した大学院教育・研究が行える。特に大学院理工学研究科では国立研究開発法人理化学研究所と協力して博士後期課程を組織し、他大学に先駆けた新しい形の大学院教育を展開している。

日本語教育センターは埼玉大学の外国人留学生に教育・指導・助言を行うことを目的として、全学における国際的教育・研究交流の支援にあたっている。また、多様な文化背景をもつ留学生に日本語、日本文化を学習する機会を提供している。

教養学部は、人文と社会にわたる多様な専門分野を含み、それぞれの専門の研究を基盤としながら、同時に各分野を有機的に関連づける総合的研究並びに各分野間の境界領域を探索する学際的研究を特に重視しているのが特色である。専門性と総合・学際性の調和を図ることで、現代に相応しい教養、柔軟に思考力、総合的判断力を備えた人材を養成することが教養学部の基本方針である。

経済学部は、社会科学を複眼的思考で学べるよう、経済分析、国際ビジネスと社会発展、経営イノベーション、法と公共政策という4つのメジャーを設置し、またグローバル展開力を身につけるため英語による専門科目や「日本研究」も開設している。少人数教育を重視し、同時に社会人や留学生、高校生という多様なメンバーも参加する「開かれた場」としての学習環境を提供することで、既成の概念にとらわれず、自ら問題を発見、分析、解決することができる人材の育成を目指している。

教育学部は、グローバルに物事を捉えながら、次世代の社会を生み出す教育を担う人材の育成をめざしている。学校教員及び生涯学習指導者として優れた教育実践を行うための専門的な教養・理論・技術を修得する。「教育による解決」これは一見遠回りのようなのであるが、最も確実な生産的方法である。教育に携わることは、日本が、また世界が直面している課題と向かい合うことでもある。



② 国際交流の実績

2016年7月1日現在、87件の大学間学術交流協定と53件の部局間学術交流協定を締結している。

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2016年	留学生数	549人、
	日本語・日本文化研修留学生	7人
2015年	留学生数	527人、
	日本語・日本文化研修留学生	5人
2014年	留学生数	532人、
	日本語・日本文化研修留学生	6人

④ 地域の特徴

埼玉県は、関東平野の中央に位置する内陸県で人口はおよそ726万人、東京に隣接し、電車で約1時間の位置にある。東日本の交通の要衝であり、首都機能の一翼を担う県として大きく躍進している。埼玉大学があるさいたま市は、東京から北方へ20km、人口127万人を擁する県都、江戸時代からの伝統を受け継ぐ、文教・文化都市として発展しており、また、住みやすい住宅都市とも言われる程交通機関がよく整備され、緑豊かな環境とあいまってスポーツの振興も盛んに行われている。



■コースの概要

① 研修目的

(a) 日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行うもの

② コースの特色

10月～3月(第1期)は日本語を中心に学び、4月～9月(第2期)は、日本語学習を継続しながら、学生の専門領域に当たる日本文化の知識を高め、日本と母国の架け橋になる国際人を育成するためのプログラムである。

③ 受入定員

9名(大使館推薦6名、大学推薦3名)

④ 受講希望者の資格、条件等

このコースを受講希望する者は、次の1)及び2)を満たす者とする。

1) 日本語能力を有する者

一般的な事柄について会話や読み書きができ、専攻する科目について日本語による授業科目を聞き取りながら、内容を理解する能力を有する者。
(財)日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験N2級以上に合格していることが望ましい。

2) 日本語・日本文化に関する分野を専攻する者又は、他の専攻分野に在学しつつ日本語・日本文化等に関する分野を学習している者。

⑤ 達成目標

- 1) 日本語と日本文化に関する技能や教養、自らの専門分野の知識を高めながら、日本語で情報収集ができ、日本語による高度な口頭発表や文章作成が行えるようになること。
- 2) 将来、母国における日本関係のエキスパートになるための基盤を養うこと。
- 3) 首都圏にある都市「さいたま」の文化や特色を学ぶこと。

⑥ 研修期間

2017年10月1日～2018年9月30日
修了式は9月を予定(2016年は9月)

⑦ 研修科目の概要

- ・ 学生自身の日本語能力や研究領域、関心等に合わせた内容の科目が受講できる。
- ・ 埼玉大学の各学部、日本語教育センター、教育機構等で開講している科目の内、各チーム7コマ以上、年間14科目以上を自由に履修できる。
- ・ 学生の専門領域に当たる各学部専任教員が、指導教員として指導を行う。

1) 必須科目

学生の日本語能力や興味等に合わせて科目を履修するので、必須科目は設けない。

2) 見学、地域交流等の参加型科目

教養学部で開講している専門科目を履修すると、日本文化を学ぶために、江戸東京博物館、吉原の源池(浅草)、歌舞伎座(木挽町)訪問等に参加できる。

3) その他の講義、選択科目等

埼玉大学日本語・日本文化研修留学生の多くが受講している科目等を以下に例示する。

a 受講できる受講科目

i) 日本語科目

- ・ 集中日本語コース
(初級Aクラス～上級Eクラス)
- ・ 学部「日本語」科目
(読解・作文・聴解・文章作成)

ii) 基盤科目として開設される

- 人文・社会系科目
(例) ・ 日本史・日本語学・日本文学
・ 文化と教育・経済学入門

iii) 教養学部、教育学部、経済学部にて開設される日本語・日本文化等に関する授業科目

上記 i、ii、iiiの中から週7コマ以上、年間14科目以上受講する。

b 時間数

- 1科目は試験を含めて16コマ
※1コマは90分

c 指導の概要

日本語・日本文化研修留学生は、日本語のプレースメントテストを受験し、その結果に基づいて履修する日本語科目が決まる。また、指導教員の助言により、埼玉大学に開設された科目を履修する。

⑧ 年間行事

- 1) 埼玉大学祭「むつめ祭」 (11月)
- 2) 埼玉大学附属中学校等で留学生講師として自国文化を紹介 (5月頃)
- 3) ホストファミリー制度
(ホームステイ・ホームビジット)
(時期は年度によって異なる)
- 4) 全学留学生会 (ISSSU) に加入した学生は各種イベントに参加できる。



⑨ 指導体制

- 1) 責任教員：所属学部指導教員
- 2) 協力教員：留学生担当教員、日本語教育センター教員、開設科目担当教員
- 3) 担当事務：所属学部事務室・国際室

⑩ コースの修了要件

受講した科目については、出席数・試験等規定を満たした場合単位を与える。

上記⑦3) a 受講できる授業科目 i)、ii)、iii)の中から14科目以上の修得を修了要件とし、修了者には修了証書を交付する。

■ 宿 舎

埼玉大学国際交流会館には、単身室98室、夫婦室55室、家族室19室が用意されており、約170名を収容できる。
日本語・日本文化研修留学生は優先的に入居することができる。

(参考) 埼玉大学国際交流会館使用料
(2016年4月1日現在)

単身室 使用料月額：5,900円、
共用経費月額：6,440円、
管理費月額：1,500円、
保証金：12,000円×5か月、
退去時清掃費：25,000～30,000円
寝具レンタル月額：3,600円



■ 修了生へのフォローアップ

埼玉大学では、2010年から卒業生の同窓会組織が立ち上がった。

日本語・日本文化研修留学生プログラム修了生についても帰国後のフォローアップを整備していく。

また、facebookを活用した情報提供も行っている。

■ 問合せ先

(担当部署)

埼玉大学国際室

住所 〒338-8570

埼玉県さいたま市桜区下大久保255

TEL: +81-48-858-3011 (直通)

FAX: +81-48-858-9675

E-mail: ryugaku@gr.saitama-u.ac.jp

埼玉大学ホームページ

<http://www.saitama-u.ac.jp>



Saitama University (Saitama Prefecture)



“We offer a wide variety of subjects to choose from.”

■ University Overview

1. Summary

Located in the Tokyo metropolitan area, Saitama University fulfills its mission as a medium-sized national university. The current academic term marks the 67th year since the university's founding in 1949 as a mother school for Urawa High School, Saitama Teachers College and other affiliated institutions under Japan's former educational system. The university is steadily expanding its facilities for education and research, as it continues to grow at the heart of the scientific exchange in the region. As host to over 540 international students during the prior fiscal year, the university also helps further stimulate international exchange. The number of researchers from other countries, as well as participation by the university's instructors in international research activities are also increasing. In addition to five faculties, Saitama University has established three master's programs to further promote advanced education and research, including master's programs and courses leading to a Ph.D., where candidates for advanced degrees can engage in advanced graduate school education and research. The university has also organized a post-doctorate program, through cooperation between the Graduate School of Science and Engineering and RIKEN, a National Research and Development Institute, and is leading the way for other universities in developing new forms of graduate school education.

The Center for Japanese Language Education provides support to education, guidance and advice for international students and also gives opportunities with diverse cultural backgrounds to study Japanese, Japanese culture and heighten their understanding of Japan.

The Faculty of Liberal Arts, which includes diverse specialized fields in the humanities and social sciences, is characterized by an emphasis on interdisciplinary studies that probe and expand the boundaries between various fields of knowledge while simultaneously encouraging integrated research that is organically related to each field and providing the foundations for research in each respective field. The fundamental policy of the Faculty of Liberal Arts is to educate individuals who will be prepared with the education, flexible thinking and integrated decision-making capabilities suited to today's world, by balancing special expertise with a comprehensive, interdisciplinary outlook.

The Faculty of Economics offers 4 major courses (Economic Analysis, Global Business and Social Development, Business Innovation, and Law and Public Policy), each of which teaches some core subjects in English, as well as a study focus of 'Japanese Studies' within Social Science.

Our degrees are designed to equip students with the skills to identify, analyse and solve problems, in a unique learning environment with student diversity and low student-to-teacher ratio.



The Faculty of Education aims at fostering the individuals who will be responsible for the education leading to the next-generation society while being able to understand global developments. Students can learn the specialized education, theory and techniques needed to utilize superior educational practices as school educators and life-long learning instructors.

Although “solving problems through education” may seem to be a roundabout method, it is the most certain, productive approach. Being involved in education is also one way to address the myriad issues confronting Japan and the world.

2. International exchange program

Saitama University has international exchange agreements with 87 universities and 53 departments.

3. Number of International students and Japanese Language and Culture Studies students accepted for the past 3 fiscal years

2016: International students: 549

Japanese Language and Culture Studies: 7

2015: International students: 527

Japanese Language and Culture Studies: 5

2014: International students: 532

Japanese Language and Culture Studies: 6



4. Characteristics of Saitama Prefecture and Saitama City

With a population of about 7.26 million, Saitama Prefecture is an inland prefecture located at the center of the Kanto Plain bordering Tokyo, which can be reached in one hour by Train. As a strategic transportation hub of eastern Japan, Saitama has experienced expansive progress as a prefecture supplying many of the key functions for Japan's capital.

The prefecture capital is Saitama City, located 20km north of Tokyo. With a population of about 1.27 million, Saitama has developed as a city of education and culture of inheriting the tradition from the Edo era and is frequently noted as an urban residential center offering convenient, comfortable living, with a well maintained transportation system, a lush green environment and active promotion of sports activities.

■ Outline of the Course

1. Purpose of the Course

(a) A course conducted mainly about Japan and Japanese culture with supplementary study to improve Japanese language proficiency.

2. Characteristics of the Course

This course seeks to study mostly Japanese language between October and March as the first semester. And the students continue to study Japanese between April and September as the second semester, and expand knowledge of Japanese culture which is their specialized field. The course emphasizes fostering advanced specialists such as internationally-minded people who become a bridge between Japan and their home countries.

3. Number of students to be accepted: 9

(Embassy recommendation 6,
University recommendation 3)

4. Applicant qualifications and conditions

Applicants who wish to attend courses must fulfill the following requirements (1) and (2).

(1) Japanese language proficiency

Applicants must be able to discuss, read and write about general topics, and must be able to comprehend the content of the courses in which they will major while listening to class subject material in Japanese.

Applicants preferably will have passed at least the N2 level of Japanese Language Proficiency Test conducted by the Japan Educational Exchanges and Services.

(2) Individuals who will major in Japanese Studies, or individuals who will study in fields related to Japanese Studies while pursuing a major in another field.

5. Course aims

Students expand their specialized knowledge and skills related to Japanese language and culture. Moreover, they will be able to gather information in Japanese and get more advanced writing and presentation skills in Japanese.

Students seek to lay a strong foundation as a Japan-related expert in their home countries in the future.

Students learn a local character and culture of the town of SAITAMA.

6. Course term

-Term 3: Oct 2017 to Nov 2017

-Term 4: Nov 2017 to Mar 2018

-Term 1: Apr 2018 to Jun 2018

-Term 2: Jun 2018 to Sep 2018

We issue diplomas on September 2018.

7. Outline of Course subjects

(1) Students are able to take subjects which match their Japanese language skills, specialized fields and interests.

(2) Students are to take more than 7 subjects in a week and 14 subjects in a year offered by each faculties, Japanese Education Center, Education and Student Services Bureau.

(3) A supervisor who belongs to a faculty related to student's specialized field or academic interests will give advice for your registration and course selections.

○ Required subjects

There are no particular required subjects because students can freely take subjects that match their Japanese level and interests.

○ The subjects containing educational field trips in the region

Students are given an opportunity of a field trip to study Japanese culture if they take a major subject offered by the faculty of Liberal Arts. For instance, visit to Edo-Tokyo Museum, Yoshiwara (Asakusa) and Kabuki-za theatre (Ginza, former Kobiki cho quarters) , etc.

○ Another subjects

The followings are the subjects which most Japanese Language and Culture Studies Students take as an example.

a) Course subjects students can attend

① Intensive Japanese Course

Japanese Education Center provides comprehensive courses on the Japanese language. Level of your proficiency will be determined based on the result of the placement test which you take during the orientation period.

② Humanities, and Social Science Subjects as General Education

(Examples) Japanese History; Japanese Language; Japanese Literature; Culture and Education; Introduction to Modern Economics

③ Subjects related to Japanese/Japanese culture offered by the Faculty of Liberal Arts, Faculty of Education and Faculty of Economics

Students must attend at least 7 subjects each term (at least 14 subjects in a year) mainly from the courses in ①, ② and ③.

b) Total course hours

1 subject is composed of 15 classes during each term. (16 classes including the exam)
※ Each class is 90 minutes.

c) Guidance

Japanese Language and Culture Studies Students will be required to take a placement test administered by the university, and be advised based on that results.

The students will complete courses offered at Saitama University under the guidance of their supervisors.

8. The annual events

·Saitama University Festival “Mutsume sai” in November

·Students introduce their home country and culture as a lecturer at Saitama University Junior High School.

·Home stay and Home visit
(the time depends on the academic year)

·Students can attend any exchange events offered by International Student Society of Saitama University (ISSSU) after enrollment.

9. Faculty advisor system and concerned professors

·Responsible Professor: Supervisor

·Cooperating Professors: Professors in charge of international students in the faculties, professors in the Japanese Education Center, and professors in charge of subjects offered.

·Administration: Office of each Faculty and the Office of International Affairs

10. Course completion requirements, issue of Certificate of Completion and course credits

· Saitama University will award course credits for subjects attended when students have satisfied all course requirements, including number of classes attended and examination results.

· The university will also confer a Certificate of Completion to students who complete 14 or more subjects.

■ Accommodations

Saitama University's International House includes 98 rooms for single students, 55 rooms for married couples and 19 rooms for families, and can accommodate about 170 individuals.

Japanese Studies Students are given priority to live at International House.

■ A follow-up to the students who completed the program

The Alumni association of Saitama University was organized in 2010.

The university will adjust a follow-up as well as Japanese Language and Culture Studies Program students who completed and returned their home countries.

Inquiries

Office: Office of International Affairs,

Saitama University

Address: 255 Shimo-Okubo, Sakura-ku,

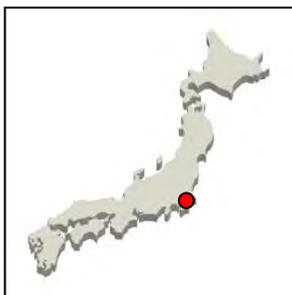
Saitama City, Saitama 338-8570, Japan

Tel: +81-48-858-3011 (Direct)

Fax: +81-48-858-9675

E-mail: ryugaku@gr.saitama-u.ac.jp

University URL: <http://www.saitama-u.ac.jp>



千葉大学 (千葉県)



日本人学生との協働学習、地域における実践的な体験、修了レポートの作成を通して、日本の言語、文化、社会の多様性・普遍性を理解し、グローバルな観点から日本を捉えられるようになることを目指しています。

■大学紹介

① 大学の特色および概要

1) 1949年に発足した総合大学で、規模、内容とも国立大学法人の上位にあります。文学、法政経、教育、工学、園芸、理学、医学、薬学、看護の9学部に加え、2016年4月には国立大学としては初めての国際教養学部が開設されました。また、大学院として人文社会科学、教育学、理学、工学、園芸学、融合科学、看護学の各研究科および医学薬学府、専門法務研究科が置かれています。

- ・学部学生定員：9,878名
- ・大学院学生定員：2,905名
- ・教授、准教授、講師、助教、助手：1,335名

2) 2014年に日本社会のグローバル化を牽引する「スーパーグローバル大学」に選ばれ、文部科学省の重点支援を受けています。留学生の受入れや派遣を積極的に行っており、2016年5月現在、約800名の留学生が学んでいます。留学生の日本での生活をサポートするインターナショナル・サポートデスクも設置されています。

<http://www.chiba-u.ac.jp/international/isd/index.html>

3) 幅広い視野、批判的思考力、豊かな人間性を養うことを目指して行われる教養教育が充実しており、アクティブラーニング、協働学習を取り入れた授業が多数開講されています。

② 国際交流の実績

千葉大学は35カ国159校と大学間交流協定を結び、活発に交流を行っています。2016年5月現在、協定校からの留学生が100名以上在籍しています。

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

	留学生数	日本語・日本文化研修留学生
2016年	787人	6人
2015年	787人	9人
2014年	819人	10人

④ 地域の特徴

日本語・日本文化研修留学生が学ぶ西千葉キャンパス（千葉市）は、東京から電車で約1時間、成田国際空港から車で約45分のところにあります。人口約96万人を有する千葉市は、気候が温暖で物価も比較的安く、生活しやすいところです。また、千葉県は水と緑の豊かな自然に恵まれています。地域の環境については千葉県のホームページも参照してください。<http://www.pref.chiba.lg.jp/>

■コースの概要

① 研修目的

(a) 日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行うもの

② コースの特色

1) プログラムの位置づけ

日本語・日本文化を専攻し、将来にわたって日本研究を続ける意思のある学部留学生のためのプログラムです。アカデミックな日本語能力を養いながら、日本に関する専門的な知識を習得し、研究能力を高めることを目的としています。

また、実地見学や日本人との交流を通して日本理解を深めることにも力を入れています。

2) 日本語学習

各自の日本語能力のレベルに応じた日本語コースに参加し、総合的に日本語能力の向上を図ることができます。

3) 日本文化・日本社会に関する学習

日本事情や日本語に関する様々な授業が履修できます。ほとんどが日本人学生との協働授業のため、異なる視点や認識が交わる中で理解を深めることができます。授業の中には、フィールドワークやインターンシップの活動が組み込まれたものもあります。

また、こうした学習と並行して、各自のテーマについて約10カ月かけて調査・研究を行う修了レポートが全員に課されます。

③ 受入定員

大使館推薦7名、大学推薦3名

④ 受講希望者の資格、条件等

1) 資格

大学において最低2年間の日本語教育を受けており、日本語・日本文化に関する教育を行う学部・学科に在学していること。

2) 条件

日本語能力試験N2合格程度以上の日本語力があり、以下のような運用能力を有することが条件です。

- ・日本語で行われる留学生向けの基礎的な講義や演習を理解することができる。
- ・自分が興味のある一般的な話題で会話を続けることができる。
- ・漢字1000字以上を習得し、一般的な日本語の文章を、辞書を使いながら読むことができる。
- ・一般的な話題で1000字程度の説明文、意見文を書くことができる。

日本に関係する特定の分野について研究上の関心を持ち、帰国後も研究を継続する意思のある学生、日本に留学した経験のない学生を積極的に受入れます。

⑤ 達成目標

日本の言語、文化の多様性を理解し、それらをグローバルな観点から捉えられるようになること、基礎的な学術日本語の運用力を習得することが目標です。

⑥ 研修期間

2017年10月1日～2018年8月31日（11ヶ月）
 ・秋学期：2017年10月1日～2018年2月中旬
 ・春学期：2018年4月上旬～2018年8月上旬
 （千葉大学はターム制を取っており、学年暦は4月から始まるため、秋学期は第3ターム＋第4ターム、春学期は第1ターム＋第2タームとなります）
 修了式は8月中旬を予定（2016年は8月5日）

⑦ 研修科目の概要

下記の研修科目を中心に、18単位以上履修しなければなりません。各タームは8週間の授業があります。科目名の後の〔 〕内の数字は、授業時間数です。

1) 必須科目

特別研究（文系）A・B〔各30〕：各自の研究テーマで修了レポート（6000字以上）を作成していくための授業で、演習形式で行われます。4名の授業担当教員から指導を受けることができます。7月にはレポートの公開発表会を開催し、その成果はレポート集として刊行します。

これまでのレポートのテーマの一例

- ・お笑いのツボ：日本のお笑い芸人が使う、人を笑わせるテクニック
- ・現代のメディアにおける織田信長のイメージ
- ・現代日本語の謝罪表現の使い分けについて
- ・J-POPの作詞方法：表記のバリエーションとその効果

2) 見学、地域交流等の参加型科目

特別研究（文系）C・D〔各30〕：日本の歴史や民俗文化が表象されている博物館を、海外から訪問した人たちがどのような見方や考え方で観賞するとよいかについて考察する。その考察に基づいて展示案内（ワークシート）を企画し、それを母語で作成する。

言語文化交流演習〔30〕：千葉大学で開講される外国語の授業に母語話者として参加する。自分の言語、文化への理解を深めることができる。

3) その他の講義、選択科目等

以下の1)日本語科目、2)日本を学ぶ（人文科学系）、3)日本を学ぶ（社会科学系）を中心に、各自の日本語能力や専攻に合わせて履修科目を選択します。

(1)日本語科目

中級以上の4つのレベルのいずれかに入り、各学期3科目以上受講します。通常、2学期目には一つ上のレベルに進みます。

日本語 500 中級	総合〔90〕・口頭表現1〔30〕・口頭表現2〔30〕・文章表現〔30〕・文法〔30〕・漢字〔30〕
日本語 600 中級後半	読解1〔30〕・読解2〔30〕・口頭表現1〔30〕・口頭表現2〔30〕・文章表現〔30〕・文法〔30〕・漢字〔30〕
日本語 700 上級前半	読解〔30〕・口頭表現1〔30〕・口頭表現2〔30〕・発表資料作成〔30〕 読解〔30〕・聴解〔30〕・レポートの書き方〔30〕・文法詳解〔30〕
日本語 800 上級	口頭表現〔30〕・レポートの書き方1〔30〕・レポートの書き方2〔30〕・発表資料作成〔30〕 読解〔30〕・口頭表現1〔30〕・口頭表現2〔30〕・レポートの書き方〔30〕・文法詳解〔30〕

※日本語500、600は各学期同じクラスが開講されます。日本語700、800は上段が1学期目、下段が2学期目のクラスです。



(2)日本を学ぶ（人文科学系）

日本人の精神・伝統文化A〔15〕：日本の文化・社会・宗教などを題材にした講義。その題材に基づく、教員、学生とのディスカッションも行う。

現代日本人の生活様式A〔各15〕：日本社会において見かける（あるいは経験する）であろう社会生活上の慣習を概説し、日本人の精神的な部分を考えるきっかけをつかむ。

日本イメージの交錯A・B〔各15〕：留学生と日本人学生が、「日本」をめぐるイメージについて様々な素材・角度によって議論を行う中で、物事を相対的に考える視座を身につける。また、日本人のもつ外国へのイメージなどの検討も加味する。

日本アジア文化交流史A・B〔各15〕：日本とアジア諸地域との文化交流を歴史的に振り返る中で、その意義・役割を検討し、今後の関係性を模索するための素材とする。

日本語の文法〔30〕：日本語の品詞における語形変化や文法的カテゴリーについて学習し、受講生の様々な疑問に答える。

日本語の諸相〔30〕：日本語を、空間的な広がり、時間的な奥行きなどから多角的に認識し、さらには近隣諸言語との関わりを考察する。

(3)日本を学ぶ（社会科学系）

時事から日本を考えるA・B・C・D（＝日本事情7・8）〔各15〕：新聞や週刊誌などに載った記事を取り上げ、記事の内容が日常生活にどう関わっているかを講義する。その後、その題材をもとに日本人学生と留学生が混ざったグループで、自由に意見交換を行う。

※以下の学部専門科目は、日本語・日本文化研修留学生を積極的に受け入れています。*を付した一般学生用の科目以外は、留学生向けまたは留学生に配慮した日本人学生との合同授業です。

文学部専門科目

日本研究入門〔30〕、多言語多文化接触論a・b *〔各30〕

教育学部専門科目

国際理解教育演習Ⅰ・Ⅱ〔各30〕、日本の教育事情Ⅰ・Ⅱ〔各30〕、教育記事を読むⅠ・Ⅱ〔各30〕、異文化とコミュニケーション〔30〕、国際社会の情報教育〔30〕

これ以外の千葉大学で開講されている一般学生向けの授業も、担当教員の許可が得られれば受講することができます。

(2)、(3)の科目はウェブページで詳しい情報を見ることができます。

<http://www.chiba-u.ac.jp/campus-life/syllabus/>

⑧ 年間行事

10月	ウェルカム・パーティー
11月～1月	日本文化紹介プログラム：浴衣を着る、婚礼衣装の紹介、折り紙、茶道体験、書道体験
11月	見学旅行〔房総のむら・佐原・成田山〕
12月	ホーム・ビジット
1月	ホーム・ステイ（1泊2日）
6月	歌舞伎鑑賞教室
8月中旬	修了式



※このほかにも、大学主催の「ユニバーサル・フェスティバル」（留学生による文化紹介の催し）や、小学校などで行われる国際交流活動に参加して、自分の言語や文化を紹介する機会があります。
※サークル活動や大学内で行われる留学生のための行事にも参加することもできます。

⑨ 指導体制

国際教養学部所属する以下の教員がガイダンスや個別指導を通して学業面、生活面のサポートを行います。

吉野 文（専門：日本語教育学、応用言語学）
西住 奏子（専門：日本語教育、語用論）

研究テーマがあり、専門指導を受けたい場合には、その分野の教員を紹介するなど、できる限り配慮します。

⑩ コースの修了要件

研修科目の概要に掲げた授業科目を中心に18単位以上履修し、修了レポートを提出して合格と認められた者に修了証書を授与します。学習時間は概ね480時間以上になります。

受講科目を登録し、一定の成績を修めた科目については、単位修得証明書を発行します。参加者への送付は、2018年10月中旬になります。

■ 宿 舎

千葉大学国際交流会館（単身用）に優先的に入居できます。過去3年間日研究生は全員が入居しています。寄宿料・共益費（インターネット接続料金込）は月額19,000円（光熱水料等は除く）です。このほかに、入館の際に15,000円必要です。国際交流会館のある稲毛から西千葉キャンパスまでは電車（一駅）です。徒歩または自転車でも通学できます。

■ 修了生へのフォローアップ

日本語・日本文化研修留学生プログラムの修了者に対しては、個別に進路相談などに対応しています。修了生の中には国の大学を卒業後、日本の大学院に進学する人が少なくありません。

卒業後は、日本で就職している人、国の日系企業で翻訳・通訳に従事している人、大学で日本語、日本文学の研究者となっている人など、何らかの形で日本と関わりを持っている人がほとんどです。

■ 問い合わせ先

担当部署 千葉大学学務部留学生課

住所：〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33

Tel： +81-43-290-2193

Fax： +81-43-290-2198

E-mail: mext-scholarship@chiba-u.jp

<https://www.facebook.com/cu.ryuugakuseika>

千葉大学ホームページ

<http://www.chiba-u.ac.jp/>

千葉大学国際教育センターホームページ

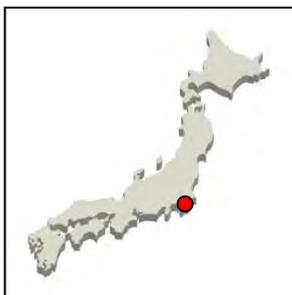
<http://cie.chiba-u.ac.jp/>

<http://cie.chiba-u.ac.jp/index-e.html>

コース内容に関する照会先

吉野 文 国際教養学部准教授

E-mail: ayoshino@faculty.chiba-u.jp



Chiba University (Chiba Pref.)



Japanese Studies Program aims to broaden your view of Japan through studying with Japanese students, visiting local museums and schools as well as other forms of cultural exchange and writing a research paper as a final report. The expected achievement is to learn and understand various aspects of language and culture in Japan and to see Japan from a global perspective.

■ University introduction

1. Outline and characteristics of Chiba University

Chiba University is a comprehensive university founded in 1949. It is ranked high both in terms of size and quality among national universities in Japan. Including the newly established (April 2016) College of Liberal Arts and Sciences, there are currently 10 undergraduate faculties at Chiba University: Faculty of Letters, Faculty of Law, Faculty of Education, Politics and Economics, Faculty of Science, Faculty of Engineering, Faculty of Horticulture, School of Medicine, Faculty of Pharmaceutical Sciences and School of Nursing. There are also a number of graduate schools: Graduate School of Humanities and Social Sciences, Graduate School of Education, Graduate School of Science, Graduate School of Engineering, Graduate School of Horticulture, Graduate School of Advanced Integration Science, Graduate School of Nursing, Graduate School of Medical and Pharmaceutical Sciences and the Law School. There are 9,878 students in the undergraduate program, 2,905 students in Master and Doctoral Programs, and 1,335 faculty members.

Chiba University has been chosen to participate in the *Top Global University project*, and will receive extra funding to promote the globalization of academic education in Japan. International Support Desk takes care of more than 800 international students studying at Chiba University, and helps them adapt to life in Japan on and outside the university campus. Further details can be found on the following website:

<http://www.chibau.ac.jp/international/isd/english/index.html>

Liberal Arts education at Chiba University aims at broadening perspectives, developing critical thinking ability and enriching student personality. A wide range of academic subjects which incorporate active and collaborative learning are offered in order to achieve this goal.

2. International student exchange

Chiba University has university level student exchange agreements with 159 universities in 35 countries and host over 100 students from our partner institutions abroad (as of May, 2016).

3. Number of international students

	International Students	Students in the Japanese Studies Program
2016	787	6
2015	787	9
2014	819	10

4. Characteristics of the area

Classes in the Japanese Studies Program are offered on the main campus at Nishi Chiba in Chiba City, and can be reached by train in less than an hour from either Narita International Airport or Tokyo.

Chiba City with its population of about 960,000 is the largest city and the capital of Chiba Prefecture and lies on Tokyo Bay. Its closeness to the ocean results in a mild climate throughout the year. Prices in Chiba are relatively cheap which makes it an easy place to live. Further details on Chiba Prefecture and its environment can be found on the following website:

<http://www.pref.chiba.lg.jp/english/index.html>

■ Course summary

1. Aims

(a) The main purpose of this program is to learn about culture and society in Japan. Japanese language courses are offered to help attain this goal.

This program is designed for those international students who specialize in Japanese language or Japanese culture at their universities, and who wish to keep studying about Japan in the future. The students are expected to attain a high level of competence in Japanese, particularly for academic purposes; to acquire specialized knowledge about Japan; to master basic research skills in order to pursue future studies; and to deepen understanding of Japan through field trips and activities with Japanese students and the local community.

2. Features of the course

(1) Japanese culture and society courses

A variety of classes in Japanese culture and society designed to promote interaction between Japanese and international students and creating a unique international study environment are offered. Some of the courses provide an opportunity of fieldwork and internship.

While studying Japanese students also pursue their research projects in their specialized fields. They are required to submit a final report in Japanese language at the end of spring semester.

(2) Japanese language courses

An array of Japanese language courses commensurate with the student's level of proficiency are offered.

3. Number of students to be accepted

7 students by embassy recommendation, 3 students under the interuniversity exchange agreement(s)

4. Qualifications and requirements

At the time of application and arrival in Japan, applicants must be enrolled as undergraduate students in faculties or schools which offer majors in Japanese language or Japanese culture.

At least two years of study of the Japanese at their home institutions is essential as a prerequisite. Applicants should have language proficiency equivalent to at least N2 of the Japanese Language Proficiency Test and must:

- understand basic lectures and seminars in Japanese which are designed for international students,
- be able to speak on general topics of their interest, know approximately 1000 kanji
- be able to read texts of general interest with dictionaries,
- be able to write a short composition (explanatory text or opinion on general topics) of about 1000 characters.

Note: Priority will be given to students whose academic interest is in the field of Japanese Studies, who have the intention to continue their research after returning to their home country, and who have not studied in Japan before.

5. Achievement

The expected achievement is to learn and understand various aspects of language and culture in Japan, to see Japan from a global perspective and to gain the practical use of basic academic Japanese.

6. Course Period

From October 1, 2017 to August 31, 2018

- Fall semester: October 1, 2017 to mid-February, 2018
- Spring semester: early April 2018 – early August, 2018 (Chiba University has introduced a term system. Because the academic year begins in April, the Fall Semester corresponds to Term 3 and Term 4, and the Spring Semester corresponds to Term 1 and Term 2.) Closing ceremony will be held in mid-August.

7. Overview of courses

Students should select from the courses listed below and accumulate more than eighteen credits. Each term has 8 teaching weeks. Numbers in square brackets [] show the total number of tuition hours per course.

(1) Compulsory subjects

Research Work (Humanities) A/B [30/30]

Students are required to write a research paper (at least 6,000 characters) as their final report. Four teachers with different areas of expertise will be available to give academic instruction and advice in order to complete this task. In July there is a session at

which students present their research papers, which are later collected and published.

Examples of previous research paper topics:

- Sense of humor: Japanese comedian's techniques which make people laugh
- Image of *Oda Nobunaga* in the modern media
- Usage of an expression of apologizing in modern Japanese
- How J-pop lyrics are written: orthographical variation and its effect

(2) Participatory subjects

Research work (Humanities) C/D [30/30]

This course will focus on how to gain the most when visiting Japanese history and folklore museums. In their coursework students will design a museum exhibition guide in the Japanese Language, which they will later translate into their own languages.

Language and culture exchange [30]

Students will participate in foreign language courses provided by Chiba University as native speakers. This course aims to deepen their understanding and awareness of their own language, culture and language education.

(3) Elective and other subjects

Students should select courses from categories 1) to 3) listed below on the basis of their major field of study and Japanese language proficiency level.

1) Japanese courses

Students in the Japanese Studies Program will be assigned to one of the following levels (intermediate and above). They need to take more than three courses in each term at the level commensurate with their Japanese proficiency, and will normally be expected to proceed to the next level in the second semester of their study.

Japanese 500 Intermediate	Integrated Course [90] , Oral Expression 1 [30] , Oral Expression 2 [30] , Grammar [30], Composition [30], Kanji [30]
Japanese 600 Upper Intermediate	Reading Comprehension 1 [30] , Reading Comprehension 2 [30], Oral Expression 1 [30], Oral Expression 2 [30], Grammar [30], Report Writing [30], Kanji [30]

Japanese 700 Pre-Advanced	Reading Comprehension [30], Oral Expression 1 [30], Oral Expression 2 [30], Preparing presentation handouts [30]
	Reading Comprehension [30], Listening Comprehension [30], Grammar [30], Report Writing [30]
Japanese 800 Advanced	Oral Expression [30], Report Writing 1 [30], Report Writing 2 [30], Preparing presentation handouts [30]
	Reading Comprehension [30], Oral Expression 1 [30], Oral Expression 2 [30], Report Writing [30], Grammar [30]

*Courses in the upper rows of Japanese 700 and 800 are provided in the fall semester and courses in the lower columns in the spring semester.

2) Japanese Studies: Humanities

Japanese Traditional Culture: The Spirit of Japan A [15]

The focus is on Japanese culture, society and religion, with frequent discussions.

Contemporary Japanese Lifestyles A [15]

The focus is on customs observed in Japanese society, which will serve as a basis for understanding the psychology of the Japanese people.

Images of Japan A/B [15 each]

Images of Japan held by both Japanese and international students will be discussed based on a variety of subjects and points of view in order to achieve a more objective perspective. Images that the Japanese have of other countries will also be considered in order to broaden the perspective and deepen cross-cultural understanding.

History of Cultural Relations between Japan and Asia A/B [15 each]

The relationship between Japan and Asian countries and with their historical background and their future implications for cultural links and exchange will be discussed.

Japanese Grammar [30]

The focus of the course is on grammatical categories and word inflection in Japanese.

The Japanese Language in Its Diversity [30]

The Japanese language will be viewed from different angles in its geographical diversity, historical background and its relationship to the neighboring Asian languages.

3) Japanese Studies: Social Sciences

Japan Seen through Current Events A/B/C/D [15 each]

Every week an article from a newspaper or weekly magazine and its relevance to daily life will be discussed.

※The following specialized courses at the Faculties of Letters and education have been specially designed with international students in mind. The courses marked with * are primarily intended for regular degree students, but welcome international students, too.

• Faculty of Letters:

Introduction to Japan Studies [30], Multilingual-Multicultural Contacts a/b * [30 each]

• Faculty of Education:

Seminar on International Education I/II [30/30], Education Affairs in Japan I/II [30/30], Reading Articles on Education I/II [30/30], Cross-cultural Communication [30], Instruction on the role of Information in Global society [30]

※Students can also attend classes offered under regular curricula subject with the relevant teacher's approval.

Details of the courses in 2) and 3) will be found at the following web page:

<http://www.chiba-u.ac.jp/campus-life/syllabus/index.html>

8. Year in Japan

Oct. Welcome Party

Nov. – Jan.

Programs of Introduction to Japanese Culture (wearing a *yukata*, explanation of wedding costume, *origami*, tea ceremony, calligraphy)

Nov. Field trip (*Bōsō* village, *Sawara* and *Naritasan*)

Dec. Home visits

Jan. Home stay (overnight)

Jun. *Kabuki* demonstration and performance

Aug. Closing Ceremony



International students will also be given an opportunity to introduce their own countries and cultures at the Chiba University Universal Festival, and to meet Japanese children at elementary schools to learn about each other's culture. They are also welcome to participate in a variety of circle/club activities and a number of on-campus events designed for international students.

9. Academic and Personal Advice

The following teachers at the College of Liberal Arts and Sciences are program coordinators and will provide both academic and personal advice. They will also conduct guidance and homeroom regularly.

Aya YOSHINO (Japanese language education, Applied linguistics)

Kanako NISHIZUMI (Japanese language education, Pragmatics).

Should international students already have their specific research topics, we will do our best to find academic supervisors for them.

10. Certificate of Completion

Chiba University issues Certificates of Completion to those who successfully complete their courses accumulating at least eighteen credits and write a final research essay. Total tuition time exceeds 480 contact hours on the average. Students will be given a certificate showing their acquisition of credits for classes in which they have enrolled, subject to their satisfactory performance. Certificates of Completion will be mailed to the students in mid-October 2018.

■ Accommodation

Single rooms at Chiba University International House will be provided for the students in this course. The dormitory fee is ¥19,000 per month, inclusive of common expenses and the Internet access fees, but excluding electricity, heating, water and sewage charges. Additionally, a one-time payment of ¥15,000 is required when moving in. The International House is located in Inage, one train station from the Nishi Chiba campus, or a short distance on foot or by bicycle.

■ Follow-up after completion of the course

We provide individual counseling regarding future educational and career choices to students who have completed this course. Many course participants continue their study and research at graduate school, teach Japanese at universities or work as translators or interpreters in Japanese companies in or outside Japan.

■ Chiba University address

Office:

International Student Division, Department of Student Affairs, Chiba University

Address: 1-33 Yayoi-cho, Inage-ku, Chiba 263-8522 Japan

Tel: 81-43-290-2193 Fax: 81-43-290-2198

E-mail: mext-scholarship@chiba-u.jp

<https://www.facebook.com/cu.ryuugakuseika>

Chiba University: <http://www.chiba-u.ac.jp/>

Center for International Education:

<http://cie.chiba-u.ac.jp/>

<http://cie.chiba-u.ac.jp/index-e.html>

You may contact the following contact person about the contents of the course.

Aya YOSHINO, Associate Professor, College of Liberal Arts and Sciences: ayoshino@faculty.chiba-u.jp





横浜国立大学 (神奈川県) YNU

緑と国際性豊かなキャンパスで日本語と日本学を学ぶ

■大学紹介

① 大学の特色および概要

横浜国立大学 (YNU) は、横浜師範学校(1876年設置)、神奈川県立実業補習学校教員養成所(1920年設置)、横浜高等商業学校(1923年設置)及び横浜高等工業学校(1920年設置)を前身として1949年に誕生しました。

YNUは、現実の社会との関わりを重視する「実践性」、新しい試みを意欲的に推進する「先進性」、社会全体に大きく門戸を開く「開放性」、海外との交流を促進する「国際性」を、建学からの歴史の中で培われた精神として掲げ、21世紀における世界の学術研究と教育に重要な地歩を築くべく、努力を重ねています。



学部(5) (2017年4月1日予定) : 教育学部、経済学部、経営学部、理工学部、都市科学部

大学院(5) : 教育学研究科、国際社会科学府、工学府、環境情報学府、都市イノベーション学府

学生数 (2016年5月1日現在) : 学部生7,438名、大学院生2,403名
常勤教職員数 (2016年5月1日現在) : 教員596名、職員297名

② 国際交流の実績

交流協定締結校数 (2016年5月1日現在) : 43カ国・地域127大学

③ 過去3年間の受入留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入実績 (2016年5月1日現在)

2016年 : 留学生数 828名、日本語・日本文化研修留学生 4名
2015年 : 留学生数 830名、日本語・日本文化研修留学生 3名
2014年 : 留学生数 843名、日本語・日本文化研修留学生 4名

本学の全学生のうち、留学生が占める割合は約8.5%と大変高い比率となっています。日本語・日本文化研修留学生の受入れは2014年に開始しました。

④ 神奈川県・横浜市の特徴

横浜国立大学の学部・大学院はすべて横浜市にある常盤台キャンパスに集約されています。

横浜は東京から電車で30分のところに位置し、人口370万人を誇る日本第二の都市です。200年以上にわたる江戸幕府の鎖国政策が終わり、世界に開かれた港が作られたのが横浜でした。したがって日本の近代化・国際化は横浜から始まったと言えます。現在は異国情緒のあるオシャレな街として、若者を中心に人気の観光スポットになっています。また、日本初の幕府があった古都鎌倉からも近く、非常に魅力的な立地です。

■コースの概要

① 研修目的

日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行うもの

② コースの特色

充実した日本語プログラムで日本語力を高め、世界各国から集まる留学生及び日本人学生とともに日本学関連科目を学び、少人数のゼミで自分の研究テーマを深めることができます。

③ 受入定員

5名 (大使館推薦4名、大学推薦1名)

④ 受講希望者の資格、条件等

以下の全ての要件を満たしている者を対象とします。

- 日本語・日本文化に強い関心を持ち、継続的に学習している者。
- 「日本語能力試験」N2以上または同等の日本語能力を有する者。
- 在籍大学における学業成績が上位の者。



⑤ 達成目標

・達成目標は以下のとおりです。

- a. 研究分野において、質の高い成果を発信できる知見と日本語力を得ること。
- b. 日本人学生及び地域コミュニティとの交流を通じて日本の理解を深めること。

⑥ 研修期間

2017年10月 ～ 2018年8月
修了式は8月初旬を予定

⑦ 研修科目の概要

必修科目は、レベルに応じた日本語科目、論文作成を中心とする「日本学プロジェクト」、及び日本人学生との多言語交流イベントを中心とする「多言語コミュニケーション」から成っています。



1) 必須科目

1. 日本語科目

アカデミック・ライティング

新書を1冊読む

討論・ディベート

待遇表現・日本語話者の意識調査

ビジネス日本語

メディア・リテラシー

神奈川学

震災について知る・学ぶ・考える

現代日本文学

多文化共生・民族とアイデンティティ など

2) 見学、地域交流等の参加型科目

小学校ESL（近隣の小学校、特別支援学校等を訪問して英語教育国際理解教育に携わる）

ホームレスネス（寿町におけるホームレス支援実習）

3) その他の講義、選択科目等

日本の就職事情

グローバル横浜学

国際交流史

日本語をめぐる国際交流史

日本の社会と文化

日本型生産管理

世界と日本の音楽

Japanese Socio-economic Context

Social, Economic, and Political Encounters with the World
Community Studies

研究テーマ及び日本語レベルによっては学部の授業及びゼミに参加できる場合があります。

⑧ 年間行事（2016年の場合）

- 10月 秋学期開講、オリエンテーション
観月の会
- 11月 ホームステイ、常盤祭
- 2月 秋学期修了



- 4月 春学期開講、オリエンテーション
- 5月 清陵祭
- 6月 ホームステイ
- 8月 世界遺産富岡製糸工場見学旅行
春学期修了・修了式



⑨ 指導体制

プログラム担当教員

小川 誉子美（国際戦略推進機構教授）

長谷川 健治（国際戦略推進機構准教授）

その他サポート

●留学生オリエンテーション

学期のはじめに新入生に対してオリエンテーションを行っています。留学生活に必要なこと、日本語学習に関すること、留学生向けの事務手続き等について説明します。

●チューター制度

必要に応じて日本人学生（場合によっては先輩留学生）がチューターとして留学生の手助けをします。日本語や専門の勉強に関する手伝いの他、生活上の相談にも乗ります。

●ホームステイの案内

国際教育センターでは、例年6月と11月に1泊2日のホームステイプログラムを実施しています。

⑩ コースの修了要件

毎学期必須科目を含む12単位以上取得



■ 宿 舎

大学の宿舎への入寮を希望する国費外国人留学生は、250名の日本人学生と留学生が混住する大岡インターナショナルレジデンス（2010年設置）に優先的に入居することができます。

大岡インターナショナルレジデンス	所要経費	¥41,000(月額)
設備	ベッド、机、椅子、クーゼット、洗面台、トイレ、エアコン、本棚、冷蔵庫 (シャワー、台所は室外共用)	
所在地	横浜市営地下鉄 弘明寺駅から徒歩3分	



<http://www.int-residence.jp>

宿舎のある地区は、アーケード商店街に恵まれた古い町です。弘明寺駅からキャンパス至近の三ツ沢上町駅までの所要時間は18分です。

※通学定期の学割は適用されません。

■ 修了生へのフォローアップ

YNUでは約150名の国費外国人留学生を受け入れています。修了生が、派遣元大学卒業後に本学への正規留学（国費外国人留学生（研究留学生）を含む）を希望する場合には相談に応じます。

■ 問合せ先

（担当部署）
横浜国立大学学務部国際教育課
住所 〒240-8501
神奈川県横浜市常盤台79-8
TEL +81-45-339-3176
FAX +81-45-339-3189
E-mail iao@ynu.ac.jp

横浜国立大学国際教育センターホームページ
<http://www.isc.ynu.ac.jp/>
横浜国立大学ホームページ
<http://www.ynu.ac.jp/>





YOKOHAMA NATIONAL UNIVERSITY **YNU**

(Kanagawa Prefecture)

Hone your Japanese skills and deepen your knowledge on Japan at our dynamic and verdant campus.

■ University Overview

① Characteristics and history

Yokohama National University (YNU) was established in 1949, merged from Yokohama Normal School, Kanagawa Prefectural Training Institution for Teachers of Supplementary Vocational Education, Yokohama High School of Commerce and Yokohama Higher School of Technology.

A highly internationalized university located on a verdant campus overlooking the port of Yokohama, YNU is an ideal setting to undertake Japanese studies.



Undergraduate Colleges (as of April 1, 2017):

Education, Economics, Business Administration, Engineering Science, and Urban Sciences

Graduate Schools:

Education, International Social Sciences, Engineering, Environment and Information Sciences, and Urban Innovation

Number of Students (as of May 1, 2016):

Undergraduate Students: 7,438 Graduate Students: 2,403

Number of full-time Faculty and Administrative Staff

(as of May 1, 2016):

Faculty: 596 Administrative Staff: 297

② International Exchange

Number of Academic Exchange Agreement Concluded:

127 Universities/Institutions from 43 countries/regions

③ Number of International Students Enrolled in the past 3 years

(as of May 1, 2016)

2016: 828 (4) 2015: 830 (3) 2014: 843 (4)

() : Number of Japanese Studies Students

④ Characteristics of Yokohama and Kanagawa

All colleges and graduate schools of YNU locate in Tokiwadai campus in Yokohama.

Located only 30 minutes away from Tokyo, Yokohama is the second largest city in Japan with the population of 3.7 million. Yokohama has been Japan's gateway to the world since its port was opened in the modern period. Today, Yokohama is recognized as a fashionable city with an exotic mood and attracts many visitors. It is also easily accessible to Kamakura, the ancient samurai capital.

■ Outline of the Program

① Program Purpose

Primary purpose: to deepen students' knowledge on Japanese Studies

Secondary purpose: to improve students' Japanese language ability

② Characteristics of the program

In this program you will be able to develop your Japanese language skills in a solid language program, study Japanese studies with a diverse group of students, and develop your research projects in a small seminar style class.

③ Number of Japanese Studies Students accepted

·5 students Embassy recommendation: 4,

University recommendation: 1

④ Application Requirements

·Applicants must meet the following requirements:

- Studying, and have a strong interest in, Japanese language and Japanese studies.
- Level N2 of the Japanese Language Proficiency Test or equivalent.
- Be in good academic standing.



⑤ Goals and Objectives

- a. To acquire the knowledge and language skills needed to complete high-level research projects in the student's field.
- b. To deepen the student's understanding of Japan through joint activities with Japanese students and local communities.

⑥ Program Period

October 2017 to August 2018
(Closing ceremony planned for the beginning of August)

⑦ Subjects

Compulsory subjects include Japanese language courses, the writing seminar "Project in Japanese Studies," and "Multilingual Communication," centered around a weekly multilingual event with Japanese students.



1) Compulsory Subjects

1. Japanese Language

Academic Writing
Reading a shinsho
Debate
Attitudinal Expressions, Surveying the Mindsets of Japanese Language Speakers
Business Japanese
Media Literacy
Kanagawa Studies
Thinking about Earthquake Disasters
Contemporary Japanese Literature
Multiculturalism, Race, and Identity

2) Participatory subjects such as field trips and regional exchanges

- Primary School ESL (Teach English and assist in international education activities at local primary and special education schools)
- Homelessness (Participate in homeless assistance activities in Kotobukicho)

3) Other Classes, Optional Subjects, etc

Job-hunting and the Workplace in Japan
Urban Dynamism of Yokohama
History of International Exchange
International History of the Japanese Language
Japanese Society and Culture
Japanese Production Management
Music of the World and Japan
Japanese Socio-economic Context
Social, Economic, and Political Encounters with the World
Community Studies

Depending on their research interests and Japanese level, students may also join in classes and seminars in one of the undergraduate colleges.

⑧ Annual Events (in case of 2016 FY)

- October Start of Fall semester, Orientation
Moonviewing Party:
hosted by President Hasebe
- November Homestay program, Tokiwa-Festival
- February End of Fall semester



- April Start of Spring semester
- May Seiryō Festival
- June Homestay program
- August Study Trip:
World Heritage Tomioka Silk Mill
End of Spring semester



⑨ Supporting System

Yoshimi Ogawa

(Professor, International Student Center)

Kenji Hasegawa

(Associate Professor, International Student Center)

Other Supports

Orientation for International Students

An orientation is held in April and October for new international students. Various matters such as everyday living for international students, Japanese language education, and precautions when completing official procedures will be explained.

Tutoring System

A Japanese student (or a senior international student) will help the international student as a tutor. The tutor offers consultation on aspects of everyday living as well as assistance for the studies of the Japanese language and specialized subjects.

Home-stay Information

The International Student Center conducts overnight home-stay programs in June and November.

⑩ Evaluation of Completion

Students need to complete a minimum of 12 credits including required classes.



■ Accommodation

Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship Students who wish to stay in the university accommodation can stay at YNU Ooka International Residence (est. 2010)

Ooka International Residence	Rent etc.	¥41,000/month
Equipment	Bed, Desk, Swivel Chair, Closet, Sink, Toilet, bookshelf	
	Air-conditioner, refrigerator (common kitchen and shower)	
Address	3minutes on foot from Gumyoji Subway Station	



Accommodation is located in the old commercial town of Gumyoji. An 18 minute subway ride takes you through Yokohama to Mitsuzawa-Kamicho station, the nearest station to YNU.

■ Student Follow-up

Some 150 Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship Students are enrolled at YNU. The university encourages Japanese Studies Students to return to YNU for graduate studies.

■ Contact

International Admissions Office

Yokohama National University

79-8 Tokiwadai, Hodogaya-ku

Yokohama 240-8501, Japan

Tel: +81-45-339-3176

Fax: +81-45-339-3189

Email: iao@ynu.ac.jp

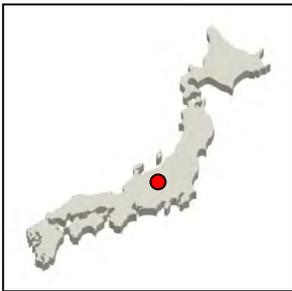
YNU International Student Center Website

<http://www.isc.ynu.ac.jp/English/>

Yokohama National University Website

<http://www.ynu.ac.jp/english/>





信州大学 (長野県)



きめ細やかな指導体制、充実した地域とのふれあい行事。実践に則した日本語の習得が可能です。

■大学紹介

①大学の特色および概要

信州大学は1949年に設立された総合大学で、松本・長野・上田・伊那の4つの地域に8学部（人文、教育、経法、理、医、工、農、繊維）、6大学院研究科（人文科学、教育学、経済・社会政策科学、総合理工学、医学系、総合工学系）があり、学部学生9,100名、大学院生1,809名が学んでいます。その他にグローバル教育推進センター、山岳科学研究所、カーボン科学研究所などの教育・研究施設があり、教員数は1,194名となります。

本学は「信州」という日本国内で有名な山岳リゾートに位置しているため、上高地など美しい自然と清冽なイメージに惹かれて全国から学生が集まる大学です。キャンパスのある各地域は、豊かな自然環境と伝統ある教育環境に恵まれ、独自の発展をみせています。信州大学は、それぞれの地域の発展のために教育的にも経済的にも大きな働きをしており、日本の大学ランキングの「地域貢献度」では2012年から4年連続で日本一になりました。各キャンパスはネットワークシステムによって結ばれ、大学の一体化と研究情報の効果的な活用が図られています。



上高地 (Kamikouchi)

②国際交流の実績 (2016年5月1日現在)

海外の大学との学术交流協定
大学間協定：87大学 (27か国)

③過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2016年：留学生数 351人、日本語・日本文化研修留学生 1人
2015年：留学生数 329人、日本語・日本文化研修留学生 3人
2014年：留学生数 307人、日本語・日本文化研修留学生 2人



④地域の特色

長野県は日本国内でも有数の観光地で、日本のほぼ中央に位置します。日本語・日本文化研修留学生（以下、日研生）が学習する松本キャンパスから東京までは電車で2時間半、名古屋までは2時間、京都までは2時間40分と大都市への移動も簡単です。



授業の様子

また、アルプスの山々と高原に囲まれ、四季折々の景色が美しく自然豊かな地域です。そのため、国立公園や高原、山々など、自然の中に簡単に入って楽しむことができます。歴史を感じさせる古城や神社仏閣が多くあるほか、豊富な温泉も長野県の大きな特徴の一つです。また、1998年に冬季オリンピックが開催されたように、冬はウィンタースポーツの中心地としても有名です。ぜひ信州に来て登山やスキー、スノーボードなどを楽しんだり、歴史のある街の散策を満喫してください。



松本キャンパスの中央図書館

■コースの概要

①研修の目的

日本語能力の向上のための研修を主とし、補助的な日本事情・日本文化に関する研修を行うもの

②コースの特色

信州大学では日本語や専門について丁寧な指導をするだけでなく、日本社会、日本文化についても学習指導を行っています。特に日本人と一緒に参加するイベントが多くあり、体験を通じて日本文化への理解を深める方針です。また日研生が自国の紹介を行うことにより、日本人学生の国際理解進展につながり、多文化に関するディスカッション等お互いに刺激しあっています。それにより日研生の出身国に留学する日本人学生が増え、また日研生が信州に戻るなど好影響が見られます。これからの日研生にも同様の活躍を期待しています。



③受入定員

4名（大使館推薦2名、大学推薦2名）

④受験希望者の資格、条件等

- ・日本人と一緒に授業が受けられる人
- ・辞書を引きながら日本語の資料が読める人
- ・自分の専門分野について日本語で説明できる人
- ・日本人と積極的に関わる人
- ・日本人に自国の文化を紹介する意志がある人

⑤達成目標

- ・自分の専門分野について日本語でのスピーチができること
- ・日本語で論文執筆ができること

⑥研修期間

2017年9月中旬～2018年8月中旬
修了式は8月を予定（2016年は8月5日）

図書館で調べ物をする日研生(中央)



⑦研修科目の概要

日本語能力が十分であれば、専門の授業を受けられます。また、一般の留学生と同様に日本語や日本事情の授業も受けられます。

以下は、日本語関連科目の説明です。

1) 必須科目

- ・作文（日本語）（16週32時間）：専門に関する日本語論文執筆支援のための授業。論文専門の語彙、表現や日本語の論文構成などを指導。
- ・2学期目に教養科目、専門科目（日本人学生と一緒に受ける授業）の中から3科目以上受講。

2) 見学、地域交流等の参加型科目（16週32時間）

- 日本社会と日本人：日本の企業の紹介など
- 武道伝統文化実習：茶道、琴、剣道、空手など



国際交流と多文化共生の祭り

3) その他の講義・選択科目等

日本語・日本事情科目

日本語が中上級または上級レベルの学生を対象としたコース。中上級～上級レベルの日本語学習の他、日本のビジネス社会などについて学びます。

・授業科目例（16週32時間）

- 読解、聴解、会話、日本語表現・文型、ビジネスジャパニーズ、科学技術日本語他
- ・スピーチ及び論文指導

日研生は帰国前に、自分の専門分野について多くの日本人の前でスピーチをする修了発表会を行います。このスピーチは、構想段階から丁寧に指導され、ハイレベルの発表会が行われています。



2015年 前期修了発表会

グローバル教育推進センターが開講する授業については以下ホームページから詳しく調べることが可能です。

<http://www.shinshu->

[u.ac.jp/institution/gec/globaleducation/global-learning/japanese-related-subjects.php](http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/gec/globaleducation/global-learning/japanese-related-subjects.php)

⑧年間行事

- 2月 後期修了発表会
- 2月 信州でのスキー・ツアー
- 4月 松本市内見学のバス・ツアー
- 6月 国際交流と多文化共生の祭り
- 6月 全学国際交流旅行（1泊）
- 8月 前期修了発表会
- 10月 浅間温泉たいまつ祭り（日本三大奇祭の一つ）
- 11月 国際交流同窓会
- 12月 多国籍料理パーティー

安曇野での日本人との交流会



⑨指導体制

・指導教員

日研生はグローバル教育推進センターの所属となり、専任教員が学業面・生活面について個別指導を行っています。

専任教員： 佐藤友則

・協力教員等

人文学部等、専門分野の協力教員と連携して多岐にわたる専門の学習をサポートしています。

・チューター

日本人学生をチューターとして用意しています。チューターは、来日時の煩雑な手続きや学習面、生活面の相談相手、週末と一緒に旅行するなど日研生を幅広くサポートします。

⑩コースの修了要件

通年で12科目14単位以上を取得し、2学期目の修了時に修了発表をすることが修了要件です。8月の修了判定をクリアした修了者には修了証書と成績証明書を発行し、単位認定をします。



国宝松本城と留学生たち



■宿 舎

①宿舎状況

大学が管理するアパートを用意しており、キャンパスまで徒歩10分程度のところにあります。エアコンが設置され、インターネット環境も整っています。

②宿舎費

32,000円/月（インターネット無料、光熱費は別）

入居時初期費用：約30,000円/年（共益費他）

*費用は変更の可能性があります。

③設備

家具・家電製品・ガスコンロ等がついています。身の回りのものだけ持ってくれば生活ができます。自炊可能です。



キャンパスを歩く留学生と日本人学生

■修了生へのフォローアップ

信州大学の日研生プログラム修了生とは、国際交流同窓会を通じて連絡を取り合っています。また、メールやニュースレターで情報のやり取りをし、世界各地で開催されている国際同窓会に招待しています。同窓会の本部は松本、支部は、韓国、中国（北京&上海）、タイ、モンゴルにあり、将来的にはベトナム、米国、インドネシアなどにも展開が予想されています。

修了生の中には大学教員になっている人もおり、その修了生の勤務する欧州の大学と信州大学の大学間交流協定締結が実現するなどの成果があがっています。



2015年度 国際交流同窓会・松本

■問い合わせ先

○コース内容について

グローバル教育推進センター 佐藤友則

E-mail: stomo@shinshu-u.ac.jp

○宿舎等その他について

信州大学国際交流課

〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1

TEL +81-263-37-2198

FAX +81-263-37-2181

E-mail: abroad-go@shinshu-u.ac.jp

グローバル教育推進センターホームページ

<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/gec/>

信州大学ホームページ

<http://www.shinshu-u.ac.jp/>

※ホームページからの問い合わせも可



Shinshu University (Nagano Prefecture)



Shinshu University provides individualized academic instruction for everyone, and also rich opportunities to participate in cultural events. Students can acquire practical Japanese.

University Overview

① Outline of Shinshu University

Shinshu University was founded in 1949 as a national university. We have 5 campuses in 4 cities in Nagano Prefecture. The University consists of 8 faculties (Arts, Education, Economics and Law, Science, Medicine, Engineering, Agriculture, Textile Science and Technology) and 6 graduate schools, as well as many educational and research institutes, including the Global Education Center, the Institute of Mountain Science, the Institute of Carbon Science and Technology. There are 9,100 undergraduate students, 1,809 graduate students, and 1,194 teaching staff.

Shinshu is known as one of the best mountain resorts in Japan, and Shinshu University attracts many students for its favorable campus environment. Each campus shows unique advancement in beautiful nature and long-established educational environment, and contributes to regional development. The University has been ranked first in its regional contribution level out of nationwide universities for 4 years consecutive since 2012. Campuses are connected by a network system which facilitates effective communication and use of research information in the university as a whole.



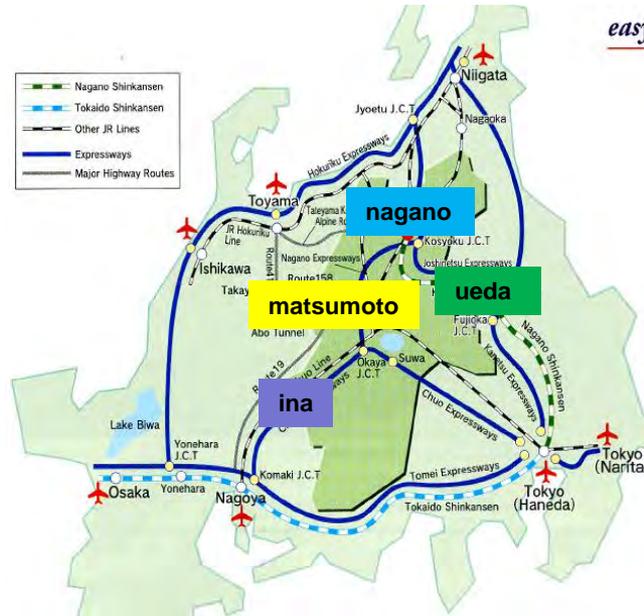
Kamikouchi

② International Exchanges (as of May 1, 2016)

Partnership Agreement Between Universities 87 universities in 27 countries.

③ Number of International Students and Program Participants for the past 3 years

- [2016] International Students 351 : Program Participants 1
- [2015] International Students 329 : Program Participants 3
- [2014] International Students 307 : Program Participants 2



easy

④ Nagano Prefecture (our Location)

Nagano Prefecture is one of the most well-known tourist resorts in Japan. Matsumoto Campus, where program participants study, is located in the center of Japan and is easily accessible to major



Classroom situation during a lecture

cities such as Tokyo (by train 2h 30min.), Nagoya (by train 2 hours), and Kyoto (by train 2h 40min.). Nagano is blessed with four distinct seasons, beautiful natural scenery, high mountains which are part of the famous Japanese Alps, carious plateaus, and hot springs which attract many visitors. Furthermore, one can easily sense the culture and history of this area by being able to see many small old castles, shrines and temples. Nagano Prefecture is also famous for winter sports. In fact, the Winter Olympic Games were held here in 1998. We believe students can enjoy climbing mountains, winter sports, field trips etc.



Central library in Matsumoto campus

■ Outline of the Program

① Objective of the study

A course conducted mainly to improve students' Japanese language proficiency with supplementary study about Japan and Japanese culture.

② Features of the Program

We provide not only high quality Japanese education, but also a wide variety of opportunities to learn about Japanese Society and Culture.

Participants study with Japanese students to gain a better understanding of Japanese culture through experiences of various events. It is motivational for both Japanese students and the participants. Many students keep in touch with each other afterwards. Some participants come back to Shinshu, and some Japanese students study abroad in the participants' home country.



③ Program Quota

4: 2 (Embassy recommendation)
2 (Shinshu University recommendation)

④ Requirements for Applicants

- Being able to understand lectures in Japanese with Japanese students.
- Being able to read handouts in Japanese with the help of a dictionary.
- Being able to describe their own major in Japanese.
- Being willing to communicate with Japanese people.
- Being willing to introduce their own countries and cultures.

⑤ Goals and Objectives

- To be able to make a speech about their own majors in Japanese.
- To be able to write a thesis in Japanese.

⑥ Duration of the Program

From mid-September, 2017 to mid-August, 2018,
End-of-program Presentation is scheduled in August. (August 5, 2016)

Japanese studies student researching in the library
(Person in the middle)



⑦ Outline of Classes

Students with advanced Japanese language skills are allowed to take their own major subjects and provided research advice. Participants will attend both the classes for all international students and the ones only for this programs participants.

Japanese related subjects

1) Required Subjects

- Japanese Writing (16 weeks, 32 hrs) : To prepare for writing a thesis related to their specialized theme.
- During the second semester, participants must take at least 3 subjects from general education subjects or education subjects or major subjects.

2) Participatory Classes (16 weeks, 32 hrs)

- Japanese Society and People: Introduce Japanese companies, factories, etc.
- Japanese Martial Arts and Traditional Culture : Tea Ceremony, Harp, Kendo, Karate, etc.



Multi-cultural Festival

3) Japanese Language and Japan Studies Classes for advanced level.

Classes for upper-intermediate or advanced level Japanese learners. Students study not only Japanese

but also the business society in Japan.

- Example of Classes (16 weeks, 32 hrs)
Japanese Reading, Japanese Listening, Japanese Conversation, Japanese Expression and Grammatical Structure, Business

- Japanese, Scientific and Technical Japanese, etc.

- Speech and Thesis writing

Participants must make a speech about their specialized field at the end of the course. Detailed instructions are given from a planning stage, which leads to high-level performance.



End-of-program presentation
(spring semester 2015)

○ For more details, check the syllabi on the website.

<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/gec/globaleducation/global-learning/japanese-related-subjects.php>

⑧ Annual Events

Feb: Presentation for Fall semester

Feb: Ski Tour in Nagano prefecture

Apr: Sightseeing bus tour in Matsumoto city

Jun: Multi-cultural Festival

Jun: Field trip (two-day and one-night)

Aug: Presentation for Spring semester

Oct: Taimatsu (torch) festival at Asama hot spring
(one of Japan's three major odd festival)

Nov: Alumni reunion for international students

Dec: Multi-national cuisine party

Azumino



Housing

①Types of housing

Shinshu University has a University Apartment for participants. It is located within 10 minutes walk from the Matsumoto campus. A room fitted air-conditioner and wired LAN internet connection.

②Accommodation Fee

32,000yen/month (including internet fee, excluding utility charges)

Initial costs is about 30,000yen/year (common fees, room cleaning expenses and neighborhood association fee, etc.)

*Fees are subject to change.

③Furnishing

All rooms are furnished with basic electric appliances, cooking stoves and furniture so that participants can start a new life in Japan with minimum carry-in luggage.



International students and Japanese students walking in campus

Follow-up for Graduates

We keep in touch with each other via internet. The Global Education center send s “News Letter” on a regular basis. We invite students who have completed this course to an alumni party held in various parts of the world. Headquarter of the alumni is located in Matsumoto, other branches are located in South Korea, China, Thailand, Mongolia. We are considering to hold it in Vietnam, USA, Indonesia, etc. in the future.

One of the students who completed this program became a teaching staff in a university in her own country. We have made a partnership agreement between Shinshu University and her university in Europe.



International alumni party in Matsumoto (2015)

Contact

○About contents of program
SATO Tomonori (Global Education Center)

E-mail: stomo@shinshu-u.ac.jp

○About housing and others
Division of International Exchange

Address: 3-1-1 Asahi, Matsumoto, Nagano, Japan,
390-8621

TEL +81-263-37-2198 / FAX +81-263-37-2181

E-mail: abroad-go@shinshu-u.ac.jp

Shinshu University Global Education Center

<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/gec/english/>

Shinshu Univeristy

<http://www.shinshu-u.ac.jp/>

⑨Instruction System

•Academic Advisors

Each student will have an academic advisor who is to give advice on the student's academic and daily life matters.

Dedicated teaching staff: Prof. SATO Tomonori

•Teaching and Supporting Staff

Other university staff, for example, the Faculty of Literature, also support the students depending on their needs.

•Tutor

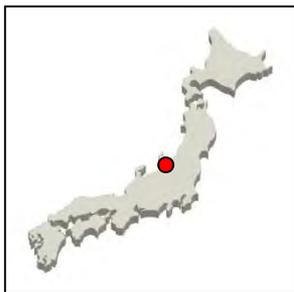
Tutors will help the students with complicated public procedures, study, and daily life.

⑩Requirements of the Course Completion and Transcript

Participants must take at least 12 subjects and gain at least 14 credits a year, and also give a speech at the end of the second semester. The Global Education Center issues certificate and an official transcript of credits earned with grades for those that passes all the requirements of the Course Completion in August .



Matsumoto Castle, a national treasure



新潟大学 (新潟県)



日本語力を磨いて、リアルな日本を体感しよう！

■大学紹介

① 大学の特色および概要

新潟大学は1949年に設立され、10学部、6大学院研究科、医歯学総合病院を有し、約12,500人の学生と約3,000人の教職員を擁しています。日本海に面している県にある大学としては、最大規模の大学です。新潟市にふたつのキャンパスがあります。市の中心部に位置する旭町キャンパスには、医学部、歯学部および教育学部附属新潟小学校、中学校、特別支援学校があり、市の西部にある五十嵐キャンパスには、8学部があります。

② 国際交流の実績

大学間交流協定：21カ国・地域 53件
学部間交流協定：28カ国・地域223件



③ 過去3年間の受入れ留学生数（2016年は5月現在）及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2016年：留学生数 457人、日本語・日本文化研修留学生 1人
2015年：留学生数 476人、日本語・日本文化研修留学生 6人
2014年：留学生数 471人、日本語・日本文化研修留学生 7人

④ 地域の特徴

新潟県は質の良いお米と日本酒の産地であり、また、豪雪地帯として有名です。新潟大学の所在地である新潟市は、あまり雪は降りませんし、東京と比べて物価が安く生活費が多くかかりません。ですから日本語と日本人の生活を学びたい学生にとっては、ちょうど良いところです。夏は大学の近くにある海で海水浴、また、冬はスキーやスノーボードといった雪国らしい楽しみ方もできます。

■コースの概要

① 研修目的

日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行うもの

② コースの特色

留学生だけの日本語のクラスで日本語を学ぶのではなく、日本人との共修科目（例：アクティブラーニングA/B/C）の中で、実際に使用しながら日本語を学ぶ機会を設定しています。共修科目では、広く日本の文化について、日本人とできるだけ意見交換をしながら、中から見る日本と、外から見る日本を比較することで、より深く日本を理解してもらうことを狙っています。もちろん留学生向けの日本語のクラスの中でも学ぶことが可能です。

ここでいう日本の文化とは、歴史や宗教などに限らず、アニメや若者文化といった、現代日本文化についても含まれます。さらに新潟という地域の特徴的な文化も学ぶことができます。新潟は日本でも有数の米どころ、酒どころです。また世界でも有数の豪雪地帯でもあるので、独自の雪文化などを学ぶこともできます。

また、実地見学旅行、ホームステイなどに参加する機会も設けています。これらに積極的に参加することによって、本物の日本を肌で感じてもらいたいと思っています。

③ 受入定員

10名（大使館推薦8名、大学推薦2名）

④ 受講希望者の資格、条件等

このプログラムに参加を希望する学生は、新潟に来る前に日本語能力試験N2に合格しているか、あるいは講義内容を理解するに必要な日本語能力を有していなければなりません。また学業に専念してもらうために原則として家族と一緒に来日することはできません。

⑤ 達成目標

日本語で調べた日本について、日本語でプレゼンテーションできる力をつけることを目標とします。

⑥ 研修期間

2017年10月1日 ～ 2018年8月31日

⑦ 研修科目の概要

毎日の日本語クラスの受講と、論文作成指導を柱に、各自の興味にしたがって、日本のあらゆる文化について学びます。また、学習成果発表会で、日本語で各自のテーマについて発表し、その内容をまとめたものを論文として提出します。

1) 必須科目

秋期には課題研究Ⅰが、春期には課題研究Ⅱが必須科目となります。

◆ 課題研究Ⅰ・課題研究Ⅱ

論文作成のため、演習形式で行われます。担当教員から論文作成や発表会に向けて指導を受けます。

2) 見学、地域交流等の参加型科目

授業の一部として見学、合宿実習等を行う予定です。

◆ 各種日本語科目

日本語能力検定試験のN1対策授業や、N2レベルの読解／聴解／作文のクラスが受講できます。ほかには少しレベルの高い、社会人の日本語という科目があり、これは将来日本で就職したり、仕事として日本／日本人と関わることが希望する人向けに設定された授業科目です。

3) その他の講義、選択科目等

一般学生が受講する科目には、日本語・日本文化研修留学生も同じように受講できる科目が多くあります。授業を通じて日本人学生との交流を図ることができます。地域に根ざした文化を学べる授業もありますので、新潟をよりよく知ることができます。

● 必修・選択科目（予定）

科目名	単位	時間数	必須/選択
課題研究Ⅰ／Ⅱ	各2	30	必須科目
N2読解／聴解／作文	各1	15	選択科目
社会人の日本語・オーラルコミュニケーション	各1	15	
社会人の日本語・作文	各1	15	
JLPT-N1	1	15	
漢字・語彙	1	15	
各種日本事情科目	1／2	15／30	

● その他の選択科目（予定）（一部抜粋）

科目名	単位	時間数
コメ産業論	2	30
新潟から考える雪の科学と分野	2	30
日本近代文学C	2	30
地域から文化を考える	2	30
新潟学-地域編-	2	30
アクティブラーニングA/B/C	各1	各15

⑧ 年間行事（予定）

- 1月 もちつき大会
- 2月 地域住民との交流会
- 4月 ウェルカムパーティー / 花見
- 5月 留学生研修旅行
- 6月 松竹大歌舞伎 / ホームステイ
- 7月 学習成果発表会 / ホームステイ
- 8月 地域の祭り
- 10月 入講式 / ウェルカムパーティー
- 11月 留学生研修旅行 / ホームステイ
- 12月 学習成果発表会
温泉まちあるきツアー



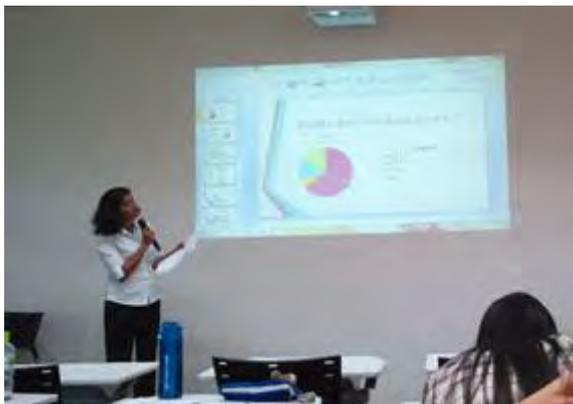
研修旅行

⑨ 指導体制

本プログラムでは、担当指導教員による個人指導を必ず受けます。個人指導の内容は主に、論文作成に向けての学業指導です。必要に応じて生活指導も行います。

⑩ コースの修了要件

プログラムを修了すると、修了証書を発行します。修了要件は、年間20単位以上(最低10単位/期)の履修、修了論文の提出・合格です。



学習成果発表会



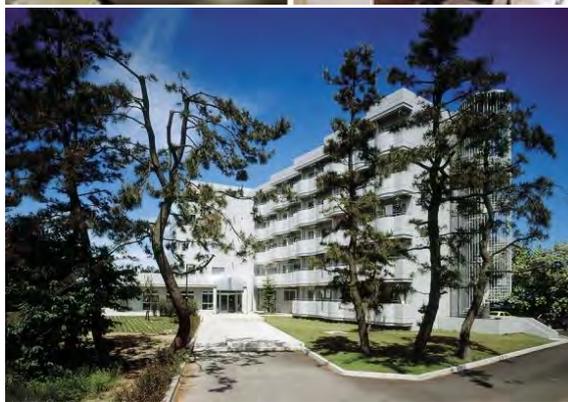
もちつき大会 (留学生と新春を祝う会)

■宿 舎

- ・新潟大学国際交流会館
設備：バス、トイレユニット、キッチンユニット、給湯設備、冷暖房用空調設備
備品：ベッド、机、椅子、書棚、洋服タンス、食器棚(テーブル付)、食卓イス、ガスコンロ、冷蔵庫、電子レンジ、消火器

外国人研究者および留学生のための宿舎としてキャンパス内に国際交流会館があります。

また、大学近くのアパートを借り上げ、「外国人留学生借上宿舎」として、国際交流会館に準じた条件で留学生に提供しています。



国際交流会館

■修了生へのフォローアップ

日研生担当教員が修了生とフェイスブックなどで常に連絡を取り合っています。

また、入試説明会などで当該国に行く場合には修了生に協力してもらっています。日本の大学院への進学を希望する修了生に対して相談に応じています。

■問合せ先

(担当部署)

新潟大学グローバル教育センター / 留学交流推進課

住所：〒950-2181

新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050番地

TEL : +81-25-262-6246 (直通)

FAX : +81-25-262-7519

E-mail : intl-scholarship@adm.niigata-u.ac.jp

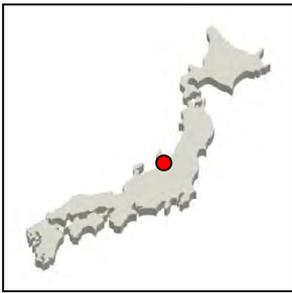
新潟大学ホームページ

<http://www.niigata-u.ac.jp/>

国際交流・留学情報ホームページ

<http://www.niigata-u.ac.jp/campus/international/>





Niigata University



Let's improve your Japanese-language skills and find real Japanese life

■ Overview of Niigata University

① About Niigata University

Niigata University was established in 1949 in Niigata City as the center for higher education and research in the areas along the Sea of Japan. The University has ten faculties – College of Creative Studies, literature, school education, law, economics, natural sciences, medicine, dentistry, engineering, agriculture – six graduate schools and Medical and Dental Hospitals, where about 12,500 students receive undergraduate and graduate education and about 3,000 research staff and officers work.

② About International Exchange

Overseas Partner Institutions:

53 institutions (21 countries / districts)

Agreements on the faculty level:

223 cases (28 countries/ districts)



③ Number of International Students

Y2016: 457 (1 student from this program)

Y2015: 476 (6 student from this program)

Y2014: 471 (7 student from this program)

④ About Niigata

Niigata prefecture is usually known as a place for good rice and heavy snow. Niigata city itself does not have heavy snow. In addition, the cost of living is much cheaper than that in Tokyo. The size of Niigata city (where our university is) is just right for foreign students who wish to study Japanese and people's life in Japan. You can enjoy winter sports such as skiing and snowboarding at nearby mountains and summer sports on beaches.

■ Course Summary

① Course Description

Students mainly study Japanese culture and Japanese affairs and secondarily improve their Japanese language skills.

② Features of course

Firstly, students study Japanese language with not only other international students but also Japanese students, by speaking Japanese and talking about Japanese culture in the combined classes. We consider it very efficient way to deepen their understanding of Japanese culture and Japanese affairs. Of course, students can take the Japanese classes for international students only.

Secondly, they are offered courses to study Japanese culture which include not only history or religion but also contemporary Japanese culture such as Japanese Anime or Japanese subcultures, as well as study of local culture and life in Niigata. Thirdly, students have opportunities to find real Japanese life by joining events such as study tours or homestay program.

③ The number of students in the program will be: maximum of 10

Embassy recommendation 8

University recommendation 2

④ Course Requirement:

All the students applying for this program must have passed Japanese Proficiency Test N2 or have Japanese ability to understand lectures enough before coming to Niigata. In order to concentrate on their study, students are not encouraged to bring their families.

⑤ Goal:

The aim of this course is to gain presentation skills in Japanese.

⑥ Period of the program:

October 1, 2017 – August 31, 2018.

⑦ Out line of the Program

Students take Japanese classes and lessons for writing reports. They give a presentation in Japanese recital and submit a report based on their personal research.

1) Compulsory Subjects

Fall Semester :

Individual Research and Essay Writing I

Spring Semester :

Individual Research and Essay Writing II

◆ Individual Research and Essay Writing I

◆ Individual Research and Essay Writing II

This class aims to make out a research paper in Japanese. Classes will be held under the direction of individual advising professor.

2) Study Tours and Involvements in the local community

Field study camp is planned as a part of courses.

◆ Various Japanese language classes

Students can take JLPT-N1, N2, Reading, Listening and Composition class.

In addition, we have the Social Skills in Writing/Oral Communication class which is for those who want to get the job in Japan in the future.

● Compulsory Subjects / Elective Courses

Subject	Credit	hours	Compulsory subjects / Electives
Individual Research and Essay Writing I / II	2 each	30	Compulsory Subjects
N2 Reading / Listening / Composition	1 each	15	Elective Courses
Social Skills in Oral Communication	1 each	15	
Social Skills in Writing Communication	1 each	15	
JLPT-N1	1	15	
Kanji & Vocabulary	1	15	
Other various Japanese classes	1/2	15/30	

● Other electives

Subject	Credit	hours
Rice Industry	2	30
Studies on Science and Culture of Snow in Niigata	2	30
Modern Japanese Literature C	2	30
Studies of Culture on Niigata	2	30
Niigata study	2	30
Active Learning A/B/C	1 each	15 each

⑧ Annual Events

- January Rice-cake making event
- February Party with local people
- April Welcome party, Hanami
- May One day study trip
- June KABUKI, home stay program
- July Japanese recital, home stay program
- August local festival
- October enrollment ceremony, welcome party
- November One day study trip, home stay program
- December Japanese recital, Iwamuro hot spring walking tour



One day study trip

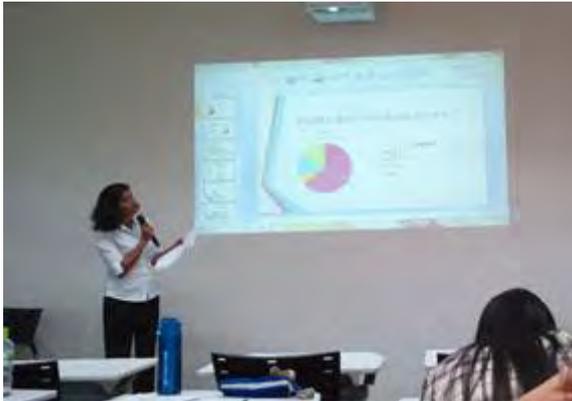
⑨ Organization of the program

Each student has an academic adviser. They have a time to meet with an academic supervisor every week to make out a report under his/her guidance.

⑩ Certificate of Completion

A certificate of course completion will be issued after finishing the program.

Students are required to get 20 credits in a year (10 credits in a semester) and to submit a report.



Japanese recital



Rice-cake making event

■ Accommodation

Niigata University International House (*Niigata-Daigaku Kokusai Koryu Kaikan*).

Facilities: Bath and toilet unit, kitchen unit, hot water facilities, air-conditioning and heating equipment.

Equipment: Bed, desk, chair, bookshelf, wardrobe, cupboard with table, gas cooking unit, refrigerator, microwave oven, and fire extinguisher.

It is located in campus. Also, university has six apartments for international students outside of campus with almost the same condition of International House.



International House

■ Follow up for Graduate

We keep in contact with students who have completed the course on Facebook.

When we have a course guidance in their home country. We ask for their help.

We give some advice and guidance to completed students who want to go to Japanese graduate school.

■ Contact

Niigata University Global Education Center
International Office

ADDRESS : 8050Ikarashi Ninocho Nishi-ward
Niigata City, 950-2181 Japan

TEL : +81-25-262-6246

FAX : +81-25-262-7519

E-mail : intl-scholarship@adm.niigata-u.ac.jp

Website :

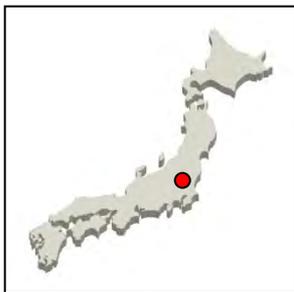
Niigata University

<http://www.niigata-u.ac.jp/>

International office

<http://www.niigata-u.ac.jp/campus/international/>





筑波大学 (茨城県)



University of Tsukuba

■大学紹介

① 大学の特色および概要

筑波大学は、東京教育大学の移転を契機に、そのよき伝統と特色を生かしながら、今日の大学に対する内外からのいろいろな要請にこたえるため、わが国ではじめて抜本的な改革を行ない、昭和48年10月に総合大学として発足しました。本学の特色である「教育と研究の新しい仕組み」「新しい大学自治」「開かれた大学」は、各方面の注目を集め、大学改革の先導的役割を果たしています。

学生数等（2016年5月1日現在）

学部名：人文・文化学群、社会・国際学群、人間学群、生命環境学群、理工学群、情報学群、医学群、体育専門学群、芸術専門学群

教員数：教授、准教授、講師、助教、助手

計 2,051名

学生数：学群生9,909名、大学院生 6,743名

計 16,652名



② 国際交流の実績

留学生在籍数：2,326名/110か国（2016年5月1日現在）

大学間交流協定数：328（2016年9月1日現在）

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2016年：留学生数 2,326名、日本語・日本文化研修留学生 6名

2015年：留学生数 2,062名、日本語・日本文化研修留学生 14名

2014年：留学生数 1,889名、日本語・日本文化研修留学生 14名

④ つくば市の特色

つくば市は、東京の北東60km、新東京国際空港のある成田の北西40km、北に筑波山（標高876m）を仰ぎ、東に霞ヶ浦をのぞむ自然環境豊かな地域に位置している。この中に筑波研究学園都市がある。国の試験研究機関・大学を中心とし、民間の研究・教育機関等を加え、国の施策により総合的・組織的な研究学園都市として作られている。また、筑波研究学園都市と東京都心はつくばエクスプレスで結ばれ、最短45分で行き来できる。

■コースの概要

① 研修目的

(a) 日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上の為の研修を行うもの。

② コースの特色

(a) 日本語・日本文化研修留学生向けの多くの授業科目を設けている。その他の科目でも、研修留学生の興味に応じた授業を履修することができる。

(b) 日本語と日本文化について、教室内外での実習による学習を重視している。

(c) 修了論文（研究論文、もしくは研究ノート）の執筆を課している。（修了論文は、毎年、日本語・日本文化研修留学生修了論文集『異文化との出会い』として刊行している。）

(d) 複数の指導教員と研修留学生ごとのチューターによる、親身できめ細かい指導を行なう。

③ 受入定員

14人（大使館推薦：12人 大学推薦：2人）

④ 受講希望者の資格、条件等

受講希望者の資格及び条件

日本語・日本文化研修留学生となることを希望する者は、以下の条件を満たす者とする。

i) 資格

来日時点で外国（日本以外）の大学の日本語・日本文化に関する教育を行う学部・学科に在籍する者。ただし、1年生は対象外とする。

ii) 日本語能力

日本語による授業を理解し、日本語の参考文献を読み、日本語でレポートを書き、口頭発表を日本語で行なう能力のある者。日本語能力試験N2以上が望ましい。

⑤ 達成目標

日本語の運用能力を高める。それに加えて日本の言語と文化について幅広く学び、日本についての理解を深める。

⑥ 研修期間

2017年10月1日～2018年9月30日（1年間）
修了式は9月を予定（2016年は9月9日）

⑦ 研修科目の概要

1)～4)は日本語・日本文化研修留学生カリキュラムで、本プログラムのために特別に開設されている科目である。1)～3)は日本語・日本文化学類教員が担当し、聴講する学生は日本語・日本文化研修留学生だけである。4)はグローバルコミュニケーション教育センター(CEGLOC)のコースに参加する。

1) 必修科目

・「日本語・日本文化特別研究」Ⅰ、Ⅱ：研修留学生の専門テーマを決定し、年間を通して研究を進め、修了論文（研究論文、もしくは研究ノート）を提出する。

・「日本語・日本文化自由研究」：日本語・日本文化実験実習に向けて、その事前調査をし、実習後には報告書を提出する。

2) 見学、地域交流等の参加型科目

・「日本語・日本文化実験実習」：
野外実習を通して、日本文化に身近に接する。

3) 専門科目

年度によって開講しない科目もあるが、開講されるものは原則として履修すること。

・「日本の地理」：現地の見学を行い、景観から日本の地理的特徴を考える。

- ・「日本の歴史」：日本現代史（敗戦直後から90年代までを中心に）を取り上げる。
- ・「日本の慣習」：日本の生活文化と慣習について、民俗学の立場から講義する。
- ・「日本の政治と社会」：日本の近現代の政治と社会について日本人学生と討議する。
- ・「日本の文学」：日本の文学について、日本人学生とともに調べて、発表することで理解を深める。
- ・「日本語による文化伝達Ⅰ」：日本の文化が感じられる言葉や表現を通して、言語から文化を考察する。
- ・「日本語による文化伝達Ⅱ」：日本の現代の社会問題について調べたりビデオを見て、討論を行う。
- ・「日本語による文化伝達Ⅲ」：日本人学生とともに、日本語・日本文化にかかわるテーマについて討論・対話・共同研究を進める。
- ・「日本人の言語生活」：日本語慣用句の実例を見ながら、話し言葉・書き言葉における慣用句の機能・効果を考える。

4) その他の講義

「日本語」（中級～上級）
研修留学生の能力に応じ、日本語の読む、聞く、書く能力を高める。アカデミック日本語等の上級レベル日本語の授業も含む。プレースメントテストの結果に基づいて、日本語能力別のクラス分けをする。

5) 選択科目

研修留学生は1)～4)の科目以外に、5)選択科目として日本語・日本文化学類や他学類の開設する科目を、担当教員の許可を得た上で聴講することができる。ただし、日本語で授業されるもののみがコースの修了要件に含まれる。



【授業科目及び授業時間数】

	授 業 科 目	時間数 (秋学期)	時間数 (春学期)	計
(a)	日本語・日本文化特別研究Ⅰ	15		15
	日本語・日本文化特別研究Ⅱ		90	90
	日本語・日本文化実験実習	15		15
	日本語・日本文化自由研究	15		15
(b) **	日本の地理	15		15
	日本の歴史		15	15
	日本の慣習	15		15
	日本の政治と社会		15	15
	日本の文学	15		15
	日本語による文化伝達Ⅰ	15		15
	日本語による文化伝達Ⅱ		15	15
	日本語による文化伝達Ⅲ	15		15
(c)	日本人の言語生活	15		15
	日本語（中級～上級）			*
(d)	選択科目			*

* 選択した科目によって時間数が異なる。

** 年度によって開講しない科目もある。

⑧ 年間行事

i) 行事

グローバル・コモンズ機構主催

・国費留学生全体オリエンテーション（10月）

学類主催

・日本語・日本文化研修留学生オリエンテーション（10月）

・日本語・日本文化研修留学生歓迎会（11月）

・修了論文テーマ発表会（12月）

・修了論文中間発表会（4月）

・修了論文発表会（7月）

・修了式（9月）

ii) 実地見学

「日本の地理」地域見学実習(11月)

⑨ 指導体制

i) 責任教員のなかで担任教員と副担任教員が決められ、親切に指導する。

ii) 各研修留学生に日本語・日本文化学類学生が1人ずつチューターとして学業面と生活面を手助けする。

iii) 修了論文を執筆する時期には、各研修留学生に、担任教員とは別に専門に応じた指導教員とチューター（大学院生）が指導をする。

⑩ コースの修了要件、修了証書の発行

合計300時間以上履修し、修了論文（研究論文、もしくは研究ノート）を提出した者には修了証明書を授与する。



日研究生修習室の和室でのお茶会

■ 宿 舎

全員が筑波大学の単身用宿舎に入ることができる。また、希望すれば、大学周辺の民間アパートを借りることもできる。

■ 修了生へのフォローアップ

・日研究生からの近況報告や、教員からのメッセージを載せた『日研究生 E-だより』を年1回発行し、これまでの日研究生全員にメール送付している。

・日本語・日本文化学類ホームページやSNSを利用し、情報発信や交流を図っている。



日本語・日本文化実験実習のひとつ

■ 問合せ先

◆ 筑波大学の日本語・日本文化研修留学生については、下記のHPも参考にして下さい。

<http://www.japanese.tsukuba.ac.jp/jss/>

筑波大学日本語・日本文化学類長 竹沢 幸一

住所 〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1

Tel : +81-(0)29-853-6764

Fax : +81-(0)29-853-6839

E-mail : ono.masaki.ga@u.tsukuba.ac.jp

(担当教員 小野 正樹)

筑波大学学生部学生交流課長 柳田 なみ子

住所 〒305-8577 茨城県つくば市天王台 1-1-1

Tel : +81-(0)29-853-6090

Fax : +81-(0)29-853-6204

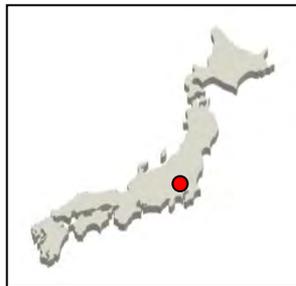
E-mail : isc-short-term@un.tsukuba.ac.jp

※プログラム内容については日本語・日本文化学類、

事務連絡については学生部学生交流課へ



チューターと共に



University of Tsukuba (Ibaraki)



筑波大学 (茨城県)

■ Introduction of the University of Tsukuba

① Distinctive characteristics and overview of the university

The University of Tsukuba was established in October of 1973, maintaining the distinctive character and traditions of its predecessor, the Tokyo University of Education, while at the same time carrying out extensive reforms—the first of their kind in Japan—in response to a variety of internal and external demands on modern Japanese universities. The distinctive characteristics of this university—“new systems for education and research,” “new autonomy,” “an open university”—have attracted widespread attention and contributed to the leading role this university has played in the reform of higher education in Japan.

Academic community (as of May 1, 2016)

– **Undergraduate colleges:** School of Humanities and Culture, School of Social and International Studies, School of Human Sciences, School of Life and Environmental Sciences, School of Science and Engineering, School of Informatics, School of Medicine and Medical Sciences, School of Health and Physical Education, School of Art and Design.



–Number of faculty members:

Professors, Associate Professors, Assistant Professors,
Research Associates Total: 2,051

–Number of students:

Undergraduate (9,909), Graduate (6,743) Total: 16,652

② International exchange

–Number of international students:

2,326 from 110 countries (as of May 1, 2016)

–Number of exchange agreements to other University:

328 (as of Sep 1, 2016)

③ Number of international students in the Japanese Studies Program in past 3 years

2016年: 2,326 International Students and 6 Japanese Studies Program Students

2015年: 2,062 International Students and 14 Japanese Studies Program Students

2014年: 1,889 International Students and 14 Japanese Studies Program Students

④ Other information about Tsukuba City

Tsukuba is located 60 km northeast of Tokyo and 40 km northwest of the New Tokyo International Airport (Narita). With Mount Tsukuba (876 m) to the north and Lake Kasumigaura to the east, the surrounding area is rich in natural beauty.

Tsukuba Science City was established (in Tsukuba) by the national government in the early 1970's, in order to create a structured hub for research and education outside the Tokyo metropolitan area. At that time, many national research institutes and institutes of higher learning were relocated to or newly constructed in Tsukuba. A number of private research and educational institutions followed as well.

The Tsukuba Express train connects Tsukuba Science City to central Tokyo in 45 minutes.

■ Overview of Program

① Training objective

To principally provide training in Japanese issues and Japanese culture and to supplementarily provide training for the improvement in Japanese language proficiency.

② Program features

(a) This program offers many courses designed specifically for the international students in the Japanese Studies Program. Students may also take other courses, according to their individual interests.

(b) This program places special emphasis on learning about Japanese language and culture through outside the classroom.

(c) Students are required to write and submit a final thesis (research paper or research note).

(These are published annually in the collection *Ibunka to no Deai* (“Intercultural Encounters”))

(d) Students receive personal attention and individual guidance from several advisors and tutors.

③ Enrollment quota

14 participants (12 consulate recommendations and 2 university recommendations)

④ Qualifications and conditions for applicants

Applicants to the Japan Studies Program must satisfy the following conditions.

I) Qualifications

Applicants must, at the time of arrival in Japan, be enrolled in an overseas (non-Japanese) university in a faculty or department that offers studies related to Japanese language and culture. First-year students are not eligible to apply.

II) Japanese language proficiency

Applicants must be able to understand lectures, read reference materials, write papers, and make oral presentations in Japanese. Applicants should have a level of Japanese proficiency equivalent to or higher than N2 of the Japanese Language Proficiency Test.

⑤ Accomplishing goal

The aim of this program is to help students improve their Japanese language ability.

In addition, this program provides students with the opportunity to deepen their understanding of Japan through the study of a broad range of subjects related to Japanese language and culture.

⑥ Training period

October 1st 2017 to October 1st 2018 (1year)

The graduation ceremony is scheduled in September.

⑦ Overview of the training subject

The curriculum for the Japanese Studies Program includes the courses in (1) to (4).

Courses in (1) to (3) are offered by the College of Japanese Language and Culture specifically for the Japanese Studies Program. Participation in these courses is limited to international students in the program. The Japanese language courses in (c) are offered by the Center for Education of Global Communication (CEGLOC).

1) Compulsory courses

- Special Studies in Japanese Language and Culture I, II: Students choose a topic in their area of interest, research it over the course of the year, and submit a final thesis (research paper or research note).

- Independent Study in Japanese Language and Culture: Students do preliminary research to prepare for the Experimental Fieldwork course described above. They must also submit a report after completing the fieldwork.

2) Experimental Fieldwork in Japanese Language and Culture:

Students experience Japanese culture firsthand during field trip.

3) Specialized subjects (taught by the faculty of the College of Japanese Language and Culture)

Some of the following courses are not offered every year. As a general rule, program participants are expected to take those courses that are offered during their stay.

- Japanese Geography: Students carry out field investigations and consider the geographical characteristics of Japan from the perspective of landscape.
 - Japanese History: This course covers modern Japanese history with emphasis on the post-war period up to the 1990s.
 - Japanese Customs: This is a lecture course on Japanese customs and lifestyle from the point of view of folklore.
 - Japanese Politics and Society: Students discuss modern Japanese politics and society with Japanese students.
 - Japanese Literature: Students will deepen their understanding of Japanese poetry by considering its relationship with nature, expressions that show a sense of the seasons, etc.
 - Intercultural Communication in Japanese I: This course explores culture through language by focusing on words and expressions closely linked to Japanese culture.
 - Intercultural Communication in Japanese II: Students will research and discuss contemporary Japanese social issues. Video materials will also be used as a basis for discussion.
 - Intercultural Communication in Japanese III: Students work with Japanese students to discuss, debate, and research topics related to Japanese language and culture.
 - Language Lifestyle of the Japanese: This course explores the function and effects of Japanese idioms in spoken and written language.
- 4) Other lectures
Japanese (Intermediate-Advanced)
The aim of these courses is to help students improve their Japanese reading, listening, and writing ability. These include advanced classes such as academic Japanese. Students will be assigned to classes based on their level of proficiency according to the results of a placement test.

5) Electives

Students may, with the permission of the individual instructor, take other courses offered by the College of Japanese Language and Culture as well as other colleges on campus. However, only classes offered in Japanese will count towards the program-completion requirements.

【Number of credit hours】

	Course	No. of hours (Fall)	No. of hours (Spring)	TOTAL
(a)	Special Studies in Japanese and Japanese Culture I	15		15
	Special Studies in Japanese and Japanese Culture II		90	90
	Experiment Fieldwork in Japanese and Japanese Culture	15		15
	Independent Study in Japanese and Japanese Culture	15		15
(b) **	Geography of Japan	15		15
	Japanese History		15	15
	Japanese Custom	15		15
	Japanese Politics and Society		15	15
	Japanese Literature	15		15
	Japanese Language and Cultural Transmission I	15		15
	Japanese Language and Cultural Transmission II		15	15
	Japanese Language and Cultural Transmission III	15		15
(c)	Language Lifestyle of the Japanese	15		15
	Japanese (Intermediate-Advanced)			*
(d)	Electives			*

* Number of credit hours will depend on the courses chosen by each program participant.

** Some of these courses are not offered every year.



⑧ Campus calendar

I) Special events

Organized by Global Commons:

- orientation for government-sponsored international students (October)

Organized by the faculty:

- orientation for Japanese Studies international students (October)
- welcome party for Japanese Studies international students (November)
- final thesis topic presentations (December)
- final thesis mid-term presentations (April)
- final thesis presentations (July)
- Closing Ceremony (September)

II) Field trips

Field trip/fieldwork for the course Japanese Geography (November)

⑨ Advisor system

I) A faculty advisor and an associate faculty advisor will be assigned to each student from the above list, to provide him/her with personalized guidance.

II) An undergraduate student from the College of Japanese Language and Culture will be assigned to each international student as a tutor, to assist with his/her studies and lifestyle needs.

III) For the final thesis, each student will be assigned an academic advisor (in addition to the faculty advisors described above), as well as a thesis tutor (a graduate student). Assignments will be based on the student's topic of interest.

⑩ Program-completion requirements and certificates

A certificate of completion will be given to students who have satisfied the following two criteria.

- taken a total of 300 or more credit hours from the courses.
- submitted a final thesis (research paper or research note).



A tea ceremony at the Japanese room of Nikkensei

■ Housing

All applicants are eligible to live in the student residence hall for single type rooms at the University of Tsukuba. Alternatively, students can rent privately-owned apartments off campus.

■ Follow-up for the students who have completed the course

The “Nikkensei E-Newsletter” will be published annually and be sent via e-mail to all the students who have completed the program. We also keep in contact with them via our website and Facebook account.



One scene of Japanese Culture field trip

■ Contact Information

For information on program content, contact the College of Japanese Language and Culture. For information on applications, contact the Division of Student Exchange, Department of Student Affairs.

• TAKEZAWA Koichi,
Dean of the College of Japanese Language and Culture
Address: University of Tsukuba
1-1-1 Tennodai, Tsukuba, Ibaraki 305-8572
JAPAN
Phone:+81-(0)29-853-6764 Fax:+81-(0)29-853-6839
E-mail(Faculty advisor): ono.masaki.ga@u.tsukuba.ac.jp
<http://www.japanese.tsukuba.ac.jp/>
<http://www.japanese.tsukuba.ac.jp/jss/>

• YANAGITA Namiko,
Head, Department of Student Affairs,
Division of Student Exchange
Address: University of Tsukuba
1-1-1 Tennodai, Tsukuba, Ibaraki 305-8577
JAPAN
Phone:+81-(0)29-853-6090 Fax:+81-(0)29-853-6204
E-mail: isc-short-term@un.tsukuba.ac.jp



Together with Japanese tutors

上越教育大学 (新潟県)



留学生一人ひとりのニーズを尊重しながら、日本語及び日本文化に関し、体験を通して理解を深める。

■大学および上越市の紹介

①大学の特色および概要

1)特徴と歴史

上越教育大学は、1978年10月に創設された大学です。

初等中等教育教員に高度な学習と研究・研鑽の機会を提供することを趣旨とする大学院修士課程と初等中等教員を養成する学部を持ちます。本学の理念は学校教育に関する理論的・実践的な研究と教育実践の推進にあるため、理論的専門科目はもとより、各教科の実践的な実習科目に至るまで開講されています。

また、2008年(平成20年)4月1日の教職大学院制度発足に合わせ、大学院学校教育研究科に、専門職学位課程(教職大学院)を設置しました。教職に関する精深な学識を身につけ、教育現場に生起する問題や事象について即時的に判断し、対応する力量を有する教育者を育成することを目的としています。

2)教員・学生数等 (2016年5月現在)

教員数：148人

学生数：

学部学生：679人

大学院学生：624人



[雪国・上越市]

②国際交流の実績 (2016年10月現在)

・外国人留学生在籍者数：42名 (3か国)

・交流協定校：11校 (7か国)

哈爾濱師範大学、北京師範大学、内蒙古民族大学(中国)
韓国教員大学校(韓国)、
国立嘉義大学、国立新竹教育大学(台湾)、
アイオワ大学(アメリカ合衆国)、
チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学(トルコ)、
テキサス大学サンアントニオ校(アメリカ合衆国)、
カレル大学(チェコ)、ウエストミンスター・スクール(オーストラリア)

③過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績 (各年度10月現在)

2015年：留学生数34人、日本語・日本文化研修留学生2人

2014年：留学生数33人、日本語・日本文化研修留学生2人

2013年：留学生数30人、日本語・日本文化研修留学生3人

④上越市の特色

上越市は、歴史的文化財が豊富であるとともに自然環境にも恵まれ、雪国を代表する都市として有名です。

東京からは、北陸新幹線を用いて約2時間で来ることができます。

■コースの概要

①研修の目的

日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行うもの。

②コースの特色

・留学生一人ひとりのニーズを尊重しながら、日本語及び日本文化に関し、体験を通して理解を深める。
・留学生の興味・関心を考慮して、受入教員や関係教員の協力を得てカリキュラムを編成する。



正面から見た上越教育大学



- ③ 受入定員
3名(大使館推薦2名, 大学推薦1名)
- ④ 受講希望者の資格, 条件等
日本語・日本文化研修留学生となることを希望する者は, 以下の条件を満たす者とします。
- a) 資格: 来日時点で外国(日本以外)の大学の日本語・日本文化に関する教育を行なう学部・学科に在籍する者。ただし, 1年生は対象外とする。
- b) 日本語能力: 日本語能力試験N2又はJ-TEST実用日本語検定準B級に相当する日本語力を有する者。
- c) 日本語による授業を理解し, 日本語の参考文献を読み, 日本語でレポートを書き, 口頭発表を行う能力のある者。
- ⑤ 達成目標
受入教員と日本語教員の指導のもとで研究を進め, 一年間の研究成果を発表し, 修了レポートを提出する。
- ⑥ 研修期間
2017年10月1日 ~ 2018年9月30日
修了式は9月を予定
- ⑦ 研修科目の概要
- ・特別聴講学生として, 以下の科目を一般学生とともに受講し, 単位を取得することができます。
 - ・入学後, 以下の科目以外に希望する科目があれば, 追加して受講することができます。
 - ・受講科目については, 受入教員と相談のうえ決定します。



世界を語ろう
オーストラリアと
クリスマス

- 1) 必須科目
前期・後期各期15週開講する。すべて日本語での授業である。
学校教育学部開設科目:
日本語・日本文化研究セミナーA/B, 日本語・日本事情 I/II, 国際交流セミナー
日本語補講科目:
日本語レポート作成A/B, 日本語研究発表A/B, 日本語文献講読A/B
- 2) 見学, 地域交流等の参加型科目
日本語・日本文化研究セミナー
受入教員と日本語教員の指導のもとに, 各自で日本に関する研究課題を設定し, 修了レポートを作成, 発表する。
学校参観
本学の附属小学校・中学校を始めとして学校参観を実施する。
- 3) その他の講義, 選択科目等
前期・後期各期15週開講する。すべて日本語での授業である。
学校教育学部開設科目
日本事情: 日本国憲法/日本史研究/法律学文献講読
日本文化: 書の表現と文化/書写書道 I/書写書道 II/武道
国際理解: 異文化理解教育
日本の文学: 国文学講読B/国文学演習B
日本の地理・歴史: 日本史研究A/世界史研究入門
日本の教育: 国語学講読C/子どもの教育・保育概論
教科別開設科目
学校運営等: 教育学研究法/初等・中等特別活動論/学校教育相談



地域との交流
伝統芸能
「春駒」

- ⑧ 年間行事(予定)
- 10月 10月入学留学生オリエンテーション
大学祭参加
- 11月 学長と入学留学生との懇談会
世界を語ろう
J-TEST実用日本語検定受験
留学生との意見交換会
交通安全教室
- 2月 短期外国人留学生の附属学校授業参観
- 3月 国際交流のつどい
留学生スキーのつどい
- 4月 4月入学留学生オリエンテーション
留学生の花見
- 7月 七夕茶会
- 8月 日本文化・歴史体験及び地域交流に関する研修(1泊7日)
短期外国人留学生成果発表会
- 9月 短期外国人留学生修了証書授与式



留学生
の花見

⑨ 指導体制

- 担当教員 … 受入教員が、留学生一人ひとりに、研究指導・履修指導を行います。
- 日本語指導 … 本学教員及び外部講師による日本語指導により、言語能力から生じる不安を取り除きます。
- 担当事務 … 研究連携課国際交流チームの職員が、日本での生活全般の相談に応じます。1名が個別に日常生活から専門領域の研修に関しサポートを行います。

⑩ コースの修了要件

以下の修了要件を満たした者には、修了証書を授与します。

- 1) 学部開講科目の中から半期12科目以上受講し、単位を取得すること
- 2) 受入教員と日本語教員の指導のもとで進めた一年間の研究成果を発表し、修了レポートを提出すること

短期留学生 成果発表会



■ 宿 舎

キャンパス内の緑に囲まれた一面に、留学生及び外国人研究者と日本人学生との混住方式による国際学生宿舎があります。

留学生用は単身用居室15室、夫婦用居室3室となっています。

設備

単身用 (5,900円/月)

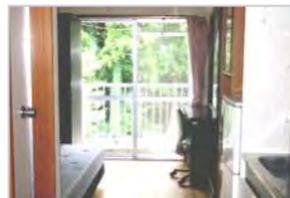
ミニキッチン、トイレ、給湯設備、冷暖房用空調設備、シングルベッド、片袖机、回転椅子、書棚、洋服ダンス、吊り書棚、食器棚、冷蔵庫、電気スタンド

夫婦用 (9,500円/月)

キッチン、ユニットバス、トイレ、給湯設備、冷暖房用空調設備、シングルベッド2、片袖机、回転椅子、書棚、応接テーブル、応接イス、食卓テーブル、食卓イス、食器棚、整理ダンス、玄関収納庫、洗濯機、乾燥機、冷蔵庫、電気スタンド、クローク



[国際学生宿舎 外観]



[国際学生宿舎 室内]

■ 修了生へのフォローアップ

○修了生へ、本学が毎月配信している「国際交流ひろば」や「留学生ネットワーク」とおして情報提供を配信している。

雪国 スキー体験



■ 問合せ先

担当部署：上越教育大学研究連携課
国際交流チーム

住所：〒943-8512
新潟県上越市山屋敷町1番地

TEL：+81-25-521-3299
FAX：+81-25-521-3621
E-mail：ryugaku@juen.ac.jp

上越教育大学ホームページ
<http://www.juen.ac.jp/>

日研生コースガイド
<http://www.juen.ac.jp/050about/030internat/040recep/index.html>



Joetsu University of Education (Niigata)



To provide overseas students with necessary training in Japanese language and culture, in accordance with each student's interests.

■ Overview of the University and Joetsu City

① Outline of Joetsu University of Education

1) Characteristics and History

In order to meet contemporary needs, Joetsu University of Education was established in 1978 as a national university which is aimed at promoting the theoretical and practical studies of school education. It consists of the Graduate School of Education, which mainly intends to provide advanced studies in school education for in-service teachers, and the College of Education, which offers undergraduate courses in teacher training.

In 2008, in accordance with the development of the Teaching Profession Graduate School System, the Professional Degree Program (Graduate School of Professional Teaching) was established in the Graduate School of Education.

This program is aimed at deepening students' knowledge and learning relating to the teaching profession, to acquire ability to deal with problems around school environments promptly.

2) Number of Teachers and Students (as for May 2016)

Teachers: 148

Students: Undergraduates: 679

Graduate: 624



Joetsu City during the winter season

② Number of international exchange (as for October 2016)

Foreign students: 42 (3countries)

Exchange agreements with overseas universities: 11 (7countries)

③ Number of students in the Japanese Studies Program

year	total	Students in the Japanese Studies Program
2015	34	2
2014	33	2
2013	30	3

④ Features of Joetsu City

Joetsu city has numerous historical and cultural assets. It is surrounded by impressive nature and is famous as one of Japan's snowy cities.

. It takes about 2 hours by Hokuriku Shinkansen: a bullet train from Tokyo.

■ Outline of the Program

① Objective:

The main objective of the training of the Program is to learn Japanese Society and Japanese Culture. In parallel, the training plays a supplementary role to encourage the improvement of Japanese language proficiency of the students in the Japanese Studies Program.

② Feature:

- To provide overseas students with necessary training in Japanese language and culture, in accordance with each student's interests.
- To provide curriculums with a cooperation of an academic advisor, considering each student's interests.



[The Front View of Joetsu University of Education]



③ **Number of students to be accepted:** 3
(students with embassy recommendation 2
students with university recommendation 1)

④ **Qualifications and conditions for applicants**

a) **Qualifications:** At the time of arrival in Japan, applicants is a student who has a enrolled in a faculty or department offering studies in the Japanese language and Japanese culture in a foreign university.

Freshmen at an above-mentioned university are not eligible to apply for this program.

b) **Japanese language proficiency:**

Applicants must be able to understand lectures, read reference materials, write papers, and make oral presentations.

The Japanese Language Proficiency Test N2 or the Practical Japanese Test Pre-B level or above.

⑤ **Flow and Goal:**

To research with under the academic advisors and Japanese language teachers, present an academic research achievements and submit an academic report.

⑥ **Period of study:**

From October 1, 2017 through September 30, 2018
Completion ceremony is scheduled for September.

⑦ **Contents:**

• Overseas students, registered as special auditors, can attend the following classes and acquire course credits after fulfilling certain requirements.

• After enrollment, students can also take other lectures not listed below, with the professor's permission.

Let's talk about the world
Christmas in Australia



1) **Required Programs:**

Each semester consists of lessons of 15 weeks. All the classes are offered in Japanese.

Subjects of College of Education:

Japanese and Japanese cultural studies Seminar A·B/Japanese and Japanese Society 1·2/Seminar in Basic Intercultural Communication

Japanese language Classes:

Report Writing in Japanese A·B /Japanese Research Announcement A·B/Japanese Literature Subscription A·B

2) **Visit, subjects such as participatory local exchange:**

Academic Research of Japanese and Japanese Culture

To set one's own research theme about Japanese language and culture under the guidance of research advisors and JSL advisors through the One-Year Japanese Studies Program., students are required to write a thesis/report on their research studies and make a presentation.

School visit

Visiting the University Attached Elementary School and Attached Junior High School, and other local schools.

3) **Other courses, electives, etc.:**

A semester consists of 15 weeks. 2 semesters par each year are offered.

Classes are all in Japanese.

Subjects of College of Education: Japanese Society : The Constitution of Japan/Japanese History/Jurisprudence Reading

Japanese Culture : Culture and Expressions of Calligraphy/Transcribed Calligraphy1·2/Martial Art

Education for International Understanding : Intercultural Communication

Japanese Literature :Japanese Literature Reading B/Japanese Literature Seminar B

Japanese Geography and History : Study of Japanese History A/Introduction of World History

Education in Japan : :Japanese Language Reading C/Introduction to Child Education and Early Childhood Care

School Subjects : School Management: Study of Pedagogy/Outline of Extracurricular Activities in Primary and Secondary Education /Counselling in school education



Cultural experience with community
Traditional performing arts
'Harukoma'

⑧ **Annual Events (Temporary)**

October

Orientation for foreign students enrolled in October

University Festival

November

Lunch meeting with the President

Let's talk about "WORLD"

Taking the practical Japanese test:J.TEST

Exchanging views and ideas with foreign students

Traffic safety lessons for foreign students

February

Classroom visitations in the University attached Schools for short-term international students

March

International Gathering

Ski experience

April

Orientation for foreign students enrolled in April

Blossom viewing

July

Tanabata: Star Festival tea ceremony

August

Field trip for Japanese culture and history

experience, cultural exchange (one-night tour)

Achievement presentation implemented by short-term international students

September

Short-term foreign students Diploma Ceremony

Blossom viewing



⑨ **Guidance**

• **Academic advisor:**

Each international student has his/her own academic advisor who gives guidance on course selection and research instructions.

• **Japanese language instructors:**

Japanese language instructors will help your difficulty in language learning and improve your Japanese.

• **Advisors:**

The staff of the international exchange office will assist you in leading a comfortable on-campus & off-campus life including your study during your stay in Joetsu.

⑩ **Completion of the Program**

For a student who completes the below completion requirements, a completion certificate will be issued.

- 1) For a students who complete more than 12 classes including required classes and electives , the certificate will be issued.
- 2) For a students who present an academic research achievements and submit an academic report, the certificate will be issued.

*Student achievement
short presentation*



■ **Accommodation**

The university has an international dormitory for foreign students, foreign researchers and Japanese students.

Fifteen one-bedroom rooms and three rooms for families are available for foreign students.

Equipment for single room :

kitchenette, toilet, hot water supply facilities, heating and cooling air conditioner, single bed, desk with drawers, swivel chair, bookcase, wardrobe, hanging bookshelf, cupboard, refrigerator and desk lamp.

Equipment for couple room :

Full kitchen, unit bathroom, toilet, hot water supply facilities, heating and cooling air conditioner, 2 single beds, desk with drawers, swivel chair, bookcase, reception table and chair, dining table and chair, cupboard, wardrobe, entrance cabinet, washing machine, dryer, refrigerator, desk lamp and closet.



[Outside view of International Dormitory]



[Inside view of Single room]

■ **Follow-up for graduates**

We provide information to all students after completion, with foreign student networks and monthly news letters.

Ski experience in Myoko Kogen



■ **Contact**

International Exchange Section of the Research Cooperation Division,
 Joetsu University of Education
 1, Yamayashiki - machi, Joetsu - shi, Niigata, Japan,
 943-8512.
 Phone : +81-25-521-3299
 Fax : +81-25-521-3621
 E-mail : ryugaku@juen.ac.jp

Joetsu University of Education Home page :
<http://www.juen.ac.jp/>

Japanese Students Course guide :
<http://www.juen.ac.jp/050about/030internat/040recep/files/2014-0129-1500.pdf>



お茶の水女子大学 (東京都)



小規模大学の特性を生かし、教員1人当たりの学生数が少ない環境できめ細かな学習指導や支援を受け、日本語及び日本文化を学ぶことができます。授業以外の日本人学生との交流プログラムも充実しています。

■大学紹介

①大学の特色及び概要

1) 特色と歴史

お茶の水女子大学は、1875年、国によって設立された日本最初の女性のための高等教育機関「東京女子師範学校」を前身としています。

すべての女性とその年齢・国籍等にかかわらずなく、個々人の尊厳と権利を保障され、自由に己の資質能力を開発し、知的欲求の促すままに自己自身の学びを進化させることを支援することを使命としています。

日本における女性教育の先達であるお茶の水女子大学は、国際的状况の中で、政治、経済、学術、文化をはじめ各界のオピニオンリーダーとなりうる女性を育成するプログラムを世界に示しています。

本学では、小規模大学の特性を生かし、教員一人あたりの学生数が少ない環境で、きめ細やかな学習指導や支援を受けることができます。

2) 学生数等 (2016年5月1日現在)

学 部：文教育学部、理学部、生活科学部

大学院：人間文化創成科学研究科

教員数：191名

学生数：学部生 2,070名 (67名)

大学院生 877名 (153名)

(注) カッコ内は留学生数

② 国際交流の実績 (2016年5月1日現在)

29か国から220名の学部生、大学院生、研究生等が在籍し、勉学に励んでいます。

大学間交流協定校数：69校

③留学生の受入数及び日本語・日本文化研修留学生 (以下、日研生)の受入れ実績

2016年度：220名 (4名)

2015年度：217名 (7名)

2014年度：240名 (9名)

(注) 過去3年間、5月1日現在

() 内は日研生で当該年度10月受入数

④東京都 (文京区) の特色

文京区は、東京23区のほぼ中央に位置し、史跡や名所の多い歴史的な町であり、伝統的な大学や多くの学校のある町として知られています。一方、みどり豊かで落ちついた住環境は、都内でも屈指のものとされています。

■コースの概要

①研修目的

日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行うもの。

②コースの特色

母国で基本的な日本語能力を習得した学生を対象とし、将来大学院で学ぶことも視野に入れて、アカデミックな日本語力の強化を行います。日研生のみを対象としたオリエンテーション、週1回の特別クラス、及び指導教員による定期的な面談など、きめ細かい指導が特色です。

また、他の学生との交流を促進するために、日研生だけのクラス編成を行わず、本学の外国人留学生を対象として開講する「外国人留学生特別科目」や日本人学生向けの科目も受講します。

③受け入れ定員

大使館推薦 6名

大学推薦 6名

④受講希望者の資格・条件等

成績優秀で、原則として日本語能力試験N2以上を保持している者。

⑤達成目標

1) 修了レポート完成

週1回の特別クラスで、1年かけて自身が興味を持つテーマについて学び、修了レポートを作成します。アカデミックな日本語力を伸ばしながら、専門知識、論文の書き方などを学びます。

2) 日本人学生と一緒に授業の履修

「日本語」「日本文化」いずれのコース希望も受け入れられますが、専門的な「日本文化」については、日本人学生向けの科目で学ぶこととなります。(外国人留学生特別科目では、日本文化の基礎的な内容のみとなります。) 留学生受入機関であるグローバル教育センターにおいて、留学生としての指導を受けながら、1年間の留学期間中に、日本人学生と共に学べるようになるのが目標です。留学生と日本人学生の両方を対象にした科目も開講されています。

また、日研究生を受け入れる指導教員全員が、大学院日本語教育コースを担当する教員でもあり、文教育学部の専門科目も担当しています。将来、日本語教育分野での活躍を目指す学生にとっては、当該分野の専門的な指導を、指導教員から受けることも可能です。

⑥研修期間

2017年10月1日 ~ 2018年9月30日

※原則として9月上旬に行われる修了式以降に帰国する。

⑦研修科目の概要：前期(10月~3月)後期(4月~9月)それぞれ8科目相当の履修を義務づけています。

1) 必修科目

週に一度日研究生を対象としたクラスがあり、基本的なアカデミック・スタディ・スキルを学び、修了レポートの作成を目指します。

2) 見学・交流などの参加型科目

留学生向けの企画として、留学生と日本人学生との交流会、国際交流の夕べ、歌舞伎鑑賞教室、茶道教室、生け花教室、着付け教室などが実施されます。

国際交流の夕べ



3) その他の講義、選択科目

・外国人留学生特別科目

日本語 I A/B ~ V A/B : (各学期5科目)

1科目 (2単位) 当たり30時間

総合的な日本語力を養います。

日本事情 I A/B ~ V A/B (各学期5科目)

1科目 (2単位) 当たり30時間

日本の歴史・社会・文化について学びます。

上記とは別に、特設日本語科目も開講されています。

・日本人学生対象の一般科目

前期(10月~3月)は、外国人留学生特別科目を中心に受講し、後期(4月~9月)は、各自の専門に応じて一般科目も受講することを基本とします。

⑧年間行事予定

<2017年>

10月 授業開始

日研究生オリエンテーション

留学生オリエンテーション

11月 大学祭

12月 ~冬休み~

<2018年>

1月 日研究生修了レポート中間発表会 (全員参加)

2月 後期授業終了 (試験・レポート)

中間レポート提出

~春休み~

4月 授業開始・留学生オリエンテーション

6月 日研究生修了レポート報告会 (全員参加)

7月 日研究生修了レポート提出

前期授業終了 (試験・レポート)

8月 ~夏休み~

9月 日研究生修了式 (必ず出席してください)

帰国

⑨指導体制

大学院人間文化創成科学研究科所属でグローバル教育センター員の下記教員4名が指導教員として指導に当たります。日研究生の受け入れ指導教員全員が、大学院日本語教育コースを担当する教員でもあり、文教育学部の専門科目も担当しています。将来、日本語教育分野での活躍を目指す学生にとっては、当該分野の専門的な指導を、指導教員から受けることも可能です。

森山 新 教授

(日本語教育学)

西川 朋美 准教授

(第二言語習得、バイリンガリズム)

加納 なおみ 助教

(リテラシー教育、バイリンガル教育)

※本林 響子 助教

(言語政策論、社会言語学)

※印が責任教員、()内は教員の専門分野

⑩コースの修了要件

1) 毎週の日研究生クラスへの出席

2) 前期・後期それぞれにおける科目履修

3) 修了レポートの提出

研修終了時に修了レポートを提出します。そのために指導教員による個別指導も行われます。

■宿 舎

①概要

名 称：国際学生宿舎

所 在 地：東京都板橋区仲町

構 造：鉄筋コンクリート5階(個室)

給 食：なし

一ヶ月寮費：4,700円

修繕積立金：1,000円

その他光熱水料等：約8,000円

対 象 学生：学部新入生、学部在學生、
外国人留学生で単身者



国際学生宿舎

②日研究生の入居状況

2016年度：4名（全員入居）

2015年度：7名（全員入居）

2014年度：9名（全員入居）

（注）宿舎は単身用です。家族と共に住みたい場合は、自身で民間アパート等を探していただきます。

■修了生へのフォローアップ

本学での日研究生プログラム修了後、本学大学院（日本語教育、ジェンダー研究など）で学ぶために再来日する学生がほぼ毎年います。本学でさらに専門的な勉強をしようと、再来日を目指す修了生には帰国後も相談に乗るなど、積極的に支援しています。

■問い合わせ先

担当部署：お茶の水女子大学国際課

住所：112-8610 東京都文京区大塚2-1-1

TEL：+81-3-5978-5143

FAX：+81-3-5978-5951

E-mail：ryugai@cc.ocha.ac.jp

WEBサイト

・大学：

<http://www.ocha.ac.jp/>

・国際本部：

<http://www.ocha.ac.jp/intl/index.html>

・グローバル教育センター：

<http://www.cf.ocha.ac.jp/gec/>



OCHANOMIZU UNIVERSITY (TOKYO)



Welcome! Our program offers a variety of small-sized, intimate classes where international students can effectively learn the Japanese language and culture. We also have various extracurricular activities in which international students have the opportunity to interact with Japanese students.

■ Introduction

① Outlines

1) Characteristics and History

Since its founding in 1875, Ochanomizu University has been embracing the dual commitments of fulfilling its function as an advanced educational institution and improving the intellectual foundations of Japan.

Ochanomizu University supports all women, regardless of age or nationality, in protecting their individual dignity and rights, freely developing their unique qualities and capabilities, and pursuing personal learning so as to satisfy their intellectual appetites.

As a pioneer of women's education in Japan, Ochanomizu University offers programs that develops women capable of being opinion leaders in politics, economics, academia, culture, and other fields on the international stage.

One notable attribute of our program is small-sized intimate classes where international students can effectively learn the Japanese language and culture.

2) Number of Students and Others

(as of May 1, 2016)

- Faculties: Faculty of Letters and Education
Faculty of Science
Faculty of Human Life and
Environmental Sciences

- Graduate Course: Graduate School of Humanities
and Sciences

- Number of Faculty Members: 191

- Number of Students:

Undergraduate: 2,070 (*67)

Postgraduate: 877 (*153)

* Number of international students

3) Number of Japanese Studies Program students:

AY2016: 4

AY2015: 7

AY2014: 9

4) The Bunkyo Ward is

- where Ochanomizu University is located. It is also geographically recognized as the heart of all 23 wards in Tokyo.

- well known for its historical sites, places of interest, universities with long-established traditions and many schools.

- a district that offers one of Tokyo's most peaceful environments with the beauty of nature.

② Actual Achievements for International Exchange

As of May 1, 2016, 220 international students are studying at Ochanomizu University. 4 of them are enrolled as Japanese Studies Students.

Number of partner universities: 69

■ Outline of the program

1. Name of the Program and Training Purposes

Japanese Studies Program

A course mainly about Japan and Japanese culture with supplementary study to improve Japanese language proficiency

2. Distinguishing Characteristics of the Program

Since Ochanomizu University is a small-sized university, we are able to provide foreign students with a friendly atmosphere that is suitable for studying the Japanese language and culture. In addition, foreign students will also have the opportunity to interact with Japanese students outside the classroom as well.

3. About the Program

① Number of students to be accepted

Students nominated by a Japanese Embassy: 6

Students nominated by Ochanomizu University: 6

② Language Requirement

Japanese Language Proficiency Test (JLPT) N2 or above.

③ Period of the Program

From October 1, 2017 to September 30, 2018*

*Students are required to attend a closing ceremony held in early September.

④ The Contents of the Program

Our program is primarily catered for students who have already mastered the basics of the Japanese language. The program begins with an orientation session and offers a weekly class, both of which are exclusive to the “Japanese Studies Students” (aka *Nikkensei*). The weekly class is called the *Nikkensei* class. Meetings with academic advisers are also offered on a regular basis, all of which are designed to help *Nikkensei* students achieve their specific learning goals within a given period. For other classes, *Nikkensei* and other foreign students together will take classes offered for the international students, which aims at providing opportunities to make new friends. Moreover, *Nikkensei* students at Ochanomizu University are, if they wish, allowed to attend regular lectures offered to Japanese students.

In the weekly *Nikkensei* classes, all *Nikkensei* students will explore a topic of their own interest and will have the chance to enhance their academic Japanese skills. They will develop a better understanding of their topic of choice by writing their final papers.

Our program offers students a chance to choose between the Japanese language and Japanese culture as their main subjects. However, since our program offers only the basics of these subjects, students who are willing to learn more in-depth about Japanese culture will be allowed to take regular classes with Japanese students as well.

The Global Education Center will assist *Nikkensei* students with their special needs and also encourage them to study with Japanese students. Some courses are cross-listed for international and Japanese students. Upon completing the program, *Nikkensei* students are expected to have some experiences in studying with Japanese students in the same classroom.

All of the academic advisers in our *Nikkensei* program also teach classes at the graduate program, “Teaching Japanese as a Second Language (*Nihongo Kyoiku*)”, and offer courses in the undergraduate program as well. Students who are interested in this area of expertise can receive guidance from the specialists.

⑤ Course requirements

1) Special Subjects for International Students

• Japanese Language: IA/B – VA/B

(5 courses per semester, 1 course/30 hours)

Students will develop their overall Japanese language proficiency.

• Japanese Culture: IA/B – VA/B

(5 courses per semester, 1 course/30 hours)

Students will learn the history, society and culture of Japan.

In addition, international students will also have the chance to take “Tokusetsu” or supplementary Japanese Language Courses.

As stated earlier, the weekly *Nikkensei* classes are offered to develop basic academic skills in Japanese. This class is mandatory, as it is specifically designed to help students write their final papers.

2) Regular Classes for Japanese Students

As a general rule, *Nikkensei* students are required to take subjects made exclusively for international students in the first semester (from October to March), and will be allowed to start taking classes of their own majors with Japanese students in the second semester (from April to September).

3) The Final Paper

Nikkensei students are required to submit a final paper at the end of the second semester to demonstrate their mastery of the program. Academic advisers will individually supervise each student.

⑥ Academic Advisers

Faculty members in the Graduate School of Humanities and Sciences/Global Education Center will individually guide the students through the program.

Professor, Shin MORIYAMA

(Teaching Japanese as a Second Language)

Associate Professor, Tomomi NISHIKAWA

(Second Language Acquisition, Bilingualism)

Assistant Professor, Naomi KANO

(Literacy Studies, Bilingual Education)

* Assistant Professor, Kyoko MOTOBAYASHI

(Language Policy, Sociolinguistics)

*Program Coordinator. The parentheses denote areas of specialization of each faculty member.

⑦ Events for International Students

We offer a variety of programs, such as International Night, KABUKI (A traditional form of Japanese theater), SADO class (Traditional Tea Ceremony), IKEBANA class (Traditional Flower Arrangement), KITSUKE class (How to wear Kimono).



International Night

⑧ Certification

Nikkensei students are required to submit their final papers and attend at least 8 classes per semester to complete this year-long program. They will receive a certificate upon completion of the program.

⑨ Credit Certification

Classes taken in this program can be certified as credits based on the evaluations of exams (including essays, theses, etc.)

■ **Housing:**

The Ochanomizu University International House in Itabashi-ku, Tokyo.

Construction: reinforced concrete, five stories (private rooms)

Meals: not provided

Rent fee: 4,700 yen a month

Reserve for repairs: 1000 yen

Public utility charges: approx. 8,000 yen

Japanese undergraduate students and international students will stay here.



International Student House

(Note) Rooms are for single use. Students who wish to live with their families should find accommodations by themselves.

■ ***Nikkensei* Experiences and Beyond**

Several *Nikkensei* students have been accepted by Ochanomizu University as graduate students after completing the *Nikkensei* Program at our university. Through private consultation, the faculty and program staff will continue to support former *Nikkensei* students who wish to pursue their academic interest as graduate students at Ochanomizu University.

■ **Contact:**

International Affairs Division
Ochanomizu University
Address: 2-1-1 Otsuka, Bunkyo-ku, Tokyo
112-8610 Japan

Phone: +81-3-5978-5143

Fax: +81-3-5978-5951

E-mail: ryugai@cc.ocha.ac.jp
websites

• University:

<http://www.ocha.ac.jp/>

• International Affairs:

<http://www.ocha.ac.jp/intl/index.html>

• Global Education Center:

<http://www.cf.ocha.ac.jp/gec/>



東京外国語大学 (東京都)



多言語・多文化キャンパスと充実した日本語教育

■大学紹介

① 大学の特色および概要

1) 特色と歴史：東京外国語大学は、世界諸地域の言語・文化・社会及び国際関係を専門とする大学として、日本の多くの大学の中で独自の地位を確立している。

外国語学部、言語文化学部、国際社会学部、大学院総合国際学研究所（博士前期・後期課程）、留学生日本語教育センター、アジア・アフリカ言語文化研究所において、世界のほぼすべての地域にわたる言語学、語学、文学、歴史学、哲学・思想、文化人類学、社会学、政治学、経済学と幅広い分野の教育・研究が行われている。日本および日本語も、対象となる地域・言語の一つである。

本学の直接の前身である東京外国語学校（明治32年(1899)創立）もまた、海外に活躍する多くの人材を養成し、異文化の受容と外国語教育の向上・普及に大きく貢献してきた。その源は安政年間の「蕃書調所」まで遡ることができる。

戦後「東京外国語大学」として新たに発足して以来、本学は「世界の言語とそれを基底とする文化一般につき、理論と実際にわたり研究教授し、国際的な活動をするために必要な高い教養を与え、言語を通して世界の諸地域に関する理解を深めることを目的とする。」の理念のもとに、国際社会の第一線で活躍する多数の有能な卒業生を社会に送り出している。

2) 教職員・学生数等（2016年5月1日現在）

学生数 外国語学部135名
言語文化学部1,854名
国際社会学部1,869名
大学院博士前期課程321名
大学院博士後期課程208名

教職員数 402名

② 国際交流の実績

本学の学生を世界に送り出すとともに、世界諸地域からの留学生を積極的に受け入れている。

・交流協定締結状況（2016年5月1日現在）
61か国・2地域／167機関

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修学生の受入れ実績

1980年に日本で最初に日研究生を受け入れた実績を持つ。
2016年：留学生数 589人、日本語・日本文化研修留学生 21人
2015年：留学生数 574人、日本語・日本文化研修留学生 33人
2014年：留学生数 524人、日本語・日本文化研修留学生 24人

④ 地域の特徴

東京西部の緑豊かな環境。新宿・渋谷へも電車で40分程度。

■コースの概要

① 研修目的

日本語能力の向上のための研修を主とし、補助的な日本事情・日本文化に関する研修を行うもの。

※なお、学生の日本語レベルに応じて対応が異なる。

② コースの特色

「多言語・多文化環境における学び」および「日本語・専門科目の充実」を特色とする。各自の専門と日本語のレベルに合わせて、コース内容が組み立てられる。「日本語」と「日本文化」の両コースを提供する。「日本語」では日本語生成文法、対照言語学、日本語・日本語教育の諸相等の科目を、「日本文化」では、現代日本社会文化論、近現代日本の文学と文化的社会的背景、クールジャパンを考える、アニメーション史から見るメディア産業の歴史等の科目を履修できる。

③ 受入定員 24名（大使館推薦17名、大学推薦7名）

④ 受講希望者の資格、条件等

日本での1年間の勉強・研修に支障のない日本語運用力を持つこと。

日本語・日本文化にかかわる興味のあるテーマを定め、1年間の研修修了時にオリジナリティの高いレポートを執筆する意欲を持つこと。

⑤ 達成目標

入学時にプレイスされた日本語レベルより1段上のレベルを修了し、質の高い修了レポートを執筆する。

⑥ 研修期間

2017年10月1日 ～ 2018年9月30日

修了式は9月を予定（2016年は9月2日）

⑦ 研修科目の概要

授業は秋学期・春学期各13週開講される。レポート執筆の仕上げ期間として夏学期も3週設定されている。日本語レベルに応じて「全学日本語プログラム」（全8レベル）で日本語を履修する。また、日研究生プログラム独自の開講科目である「専門科目」を履修し、日本語・日本文化の研修に努める。修了要件は、各自の専門に応じて、1年間の研修の成果をレポートにまとめ、修了発表会にて口頭発表を行うことである。

詳細は以下の通り。

1) 必須科目

・日本語: 400～700レベルは総合日本語（日本語レベルにより週当たりの授業数が2～5と異なる）、および文章表現。日本語レベルにより必要科目数が異なる。

・専門科目:

1. 修了レポート執筆を目標とした日本語・日本文化研究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを、それぞれ秋学期、春学期、夏学期に履修
2. 日本語と日本語教育研究、日本事情(歴史)、現代日本社会文化論の中から1科目選択

授業科目		時間数				
		秋学期	春学期	計		
全学 日本語 プログラム	日本語中級 400	中級総合日本語	150	150	300	
		技能別日本語	文法	30	30	60
			読解	30	30	60
			聴解	30	30	60
			文章	30	30	60
	口頭	30	30	60		
	日本語中上級 500	中上級総合日本語	150	150	300	
		技能別日本語	文法	30	30	60
			読解	30	30	60
			聴解	30	30	60
			文章	30	30	60
	口頭	30	30	60		
	日本語上級1 600	上級1総合日本語	90	90	180	
		技能別日本語	文法	30	30	60
			読解	30	30	60
			聴解	30	30	60
			時事	30	30	60
			文章	30	30	60
	口頭	30	30	60		
	日本語上級2 700	上級2総合日本語	60	60	120	
技能別日本語		文法	30	30	60	
		読解	30	30	60	
		聴解	30	30	60	
		時事	30	30	60	
		文章	30	30	60	
		口頭	30	30	60	
ビジネス	30	30	60			
日本語超級 800	技能別日本語	ドラマ	30	30	60	
		時事	30	30	60	
		ライティング	30	30	60	
		コミュニケーション	30	30	60	
		クリティカル・リーディング	30	30	60	
		ビジネス	30	30	60	

2) 見学・地域交流等の参加型科目
博物館見学、公立小学校・中学校訪問等の校外実習を随時実施する。

3) その他の講義、選択科目等
・日本語: 技能別日本語(次項参照)
・専門科目: 日本語・日本文化(特論) 全10科目の中から各自の専門分野および日本語レベルに合わせて選択し履修できる
・日本語力が高い(全学日本語プログラム600レベル以上) 日研究生は学部開講の授業科目も受講可能

⑧ 年間行事

11月、翌2月、7月 校外実地研修
(過去の例)

文部科学省、国会議事堂、池坊お茶の水学院で生け花実習、ジブリ美術館、国立博物館・国立科学博物館・下町風俗資料館ツアー等

12月 日本文化交流会(囲碁・将棋、生け花、着物、茶道等の体験)

7月 修了発表会

⑨ 指導体制

1) プログラム実施委員: 鈴木美加(准教授)、宮城徹(教授)、藤森弘子(教授)、春名展生(講師)、岡葉子(特任助教)

2) 指導体制: 日研究生は言語文化学部所属。指導教員(コースアドバイザー)および修了レポートのテーマ別指導教員による個別指導を実施、チューター制度あり。

⑩ コースの修了要件

所定の科目を履修した上で、修了レポート・エッセイを提出し、口頭発表を行うこと。修了要件を満たしたものは修了証書を授与する。単位取得可能。成績証明書に基づく単位互換については出身大学の判断による。

■ 宿 舎

本学敷地内に国際交流会館を設置しているが、必ずしも入居できるとは限らない。

過去3年間の日研生の宿舎入居状況
(各年度10月現在)

2016年度 本学国際交流会館21名
2015年度 本学国際交流会館33名
2014年度 本学国際交流会館24名

■ 修了生へのフォローアップ

修了生データベース構築がなされ、毎年更新している。修了生は卒業後、就職・大学院進学が主である。大学院進学のために再来日する日研生も多い。

■ 問合せ先 (担当部署)

東京外国語大学留学生課
住所 〒183-8534
東京都府中市朝日町3-11-1
東京外国語大学留学生課
Tel : +81-42-330-5184(直通)
Fax : +81-42-330-5189
E-mail : ryugakuseika@tufs.ac.jp

留学生日本語教育センターのホームページアドレス
<http://www.tufs.ac.jp/common/jlc>

東京外国語大学のホームページアドレス
<http://www.tufs.ac.jp>

日研生修了発表会



校外研修 (風鈴作り)



日本文化交流会 (生け花教室)



スキー旅行



京都・奈良旅行





Tokyo University of Foreign Studies (Tokyo)



Multi-lingual and Multi-cultural Campus & Japanese Language Education

■ University Introduction

① Features and Overview

1) History and Identity

As an established institution specializing in international relations, world languages, culture, and society, Tokyo University of Foreign Studies is unique among many universities in Japan.

The Faculty of Foreign Studies, the School of Language and Culture Studies, the School of International and Area Studies, the Graduate School of Global Studies (Master's and Doctoral Programs), the Japanese Language Center for International Students, and the Research Institute for Languages and Cultures of Asia and Africa (ILCAA) work hand in hand to realize a vast area of research specialization in a variety of fields including linguistics, languages, literature, history, philosophy, cultural anthropology, sociology, politics, and economics covering most parts of the world.

Tokyo School of Foreign Studies (established in 1899) is the University's direct predecessor. As a school of excellence, it had contributed in the training of many professionals who played an active role abroad and at the same time were the key players in the development of cross-cultural exchange and foreign language education in Japan. The university can even trace its roots back to the Ansei Era (1854-59)'s "Bansho-Shirabesho" or the branch of the government during the Edo Period, which dealt with Western learning and translation of diplomatic documents.

Undergoing new developments after World War II, the university's main goal has been to deepen understanding of foreign cultures, to offer a high level of training for international activities, and to teach both theory and practical research based on specialized knowledge of foreign languages and cultures.

Living up to its main educational philosophy, Tokyo University of Foreign Studies continues to produce highly qualified graduates with the abilities and skills necessary to be at the frontline of activities of the global community.

2) Number of Faculty Members and Students (as of May 1, 2016):

- Students	
Faculty of Foreign Studies	135
School of Language and Culture Studies	1,854
School of International and Area Studies	1,869
Master's Program	321
Doctoral Program	208
- Faculty Members	402

② International Exchange Accomplishments

TUFS sends its students to universities and institutions located all over the world, and also actively receives international students.

On-going exchange programs (as of May 1, 2016) counts 167 universities and institutions from 61 countries and 2 regions.

③ Number of Admission to Japanese Studies Students Program and In-bound International Students in Past Three Years

In 1980, TUFS became the first university in Japan to admit students to Japanese Studies Students Program.

-AY 2016: 21 admitted to the program among 589 in-bound int'l students

-AY 2015: 33 admitted to the program among 574 in-bound int'l students

-AY 2014: 24 admitted to the program among 524 in-bound int'l students

④ Location

TUFS is located in the green western part of Tokyo and has 40-minute access to Shibuya or Shinjuku by train.

■ Program Outline

① Objectives of Training Program:

Main objective is for the improvement of Japanese language ability along with Study of Current Affairs in Japan and Japanese Culture.

Programs are offered depending on the students' Japanese skill.

② Characteristics:

The program is characterized by intensive learning of the Japanese language and culture as well as by the multilingual and multicultural learning environment. Both "Japanese Language Course" and "Japanese Culture Course" are offered to students which they can modify the course curriculum based on their specialization and level of proficiency in Japanese. In the former course, students may take Modern Japanese Semantics, Japanese Generative Grammar, Contrastive Linguistics, Second Language Acquisition, and so forth.

In the latter course, they may take Socio-Cultural Studies of Contemporary Japan, Modern and Current Japanese Literature and its Cultural and Social Backgrounds, Cool Japan, History of Cartoon Films and Media Industries, and so forth.

③ Max Number of Acceptable Students: 24

(17 by the Japanese embassy recommendation and 7 by the university recommendation)

④ Qualifications & Conditions for the Participants:

Applicants must have sufficient proficiency in the Japanese language to study and do research. They are also required to have the ability and desire to write an original paper on Japanese language or culture.

⑤ The Final Objective:

Students are required to complete and pass the Japanese language course that is one rank above the originally placed level and write research papers with quality.

⑥ Course period: Oct. 1, 2017 – Sep. 30, 2018

⑦ Curriculum Outline: Classes will be given for 13 weeks each in Fall and Spring semesters. To finish the research paper, summer classes also will be given for 3 weeks. “The Japanese Language Program of TUFS” offers up to 8 levels of Japanese language classes to international students in accordance with their proficiency. Students will take “Major Subjects” which are specially prepared for Japanese Studies Students to learn Japanese language and culture. Students are required to write research papers on their major and make oral presentations to complete the program.

1) Mandatory Subjects

– Japanese Language:

Students with Japanese level 400 to 700 must take “Integrated Japanese*” and “Japanese Writing”.

*Number of classes per week ranges from 2 to 5 depending on their language ability.

– Major Subjects:

1. “Research on Japanese Language and Culture” I, II, III in fall, spring, and summer respectively to complete the research paper.

2. One subject out of “Studies in Japanese Language and Japanese Language Education”, “Japanese Studies (History)”, or “Socio-Cultural Studies of Contemporary Japan.”

2) Participatory Learning

Off-campus learning program, such as visits to museums or local elementary and middle schools, will be scheduled as needed.

3) Lectures, Optional Subjects, etc.

• Japanese Language: “Skill-Specific Japanese” (see the table on right)

• Major Subject: Any of listed 10 subjects of CURRICULAUM GUIDEBOOK in accordance with individual specialization and level of Japanese proficiency

• Students who have decent Japanese language skills (level 600 or above) are allowed to attend undergraduate.

⑧ Events:

November, next February and July: Field trip

※ Past trips: MEXT, National Diet Building, Ikebana at Ikenobo Ochanomizu Institute, Ghibli Museum and national museums in Ueno.

December: Japan Culture Exchange Event

(Igo/Shogi, Ikebana, Kimono, Tea ceremony, etc.)

July: Oral presentation

【Actual number of class subjects and class hours】 JLP conducted in 2016

Japanese Language Program Class Subjects		hours			
		Fall Semester	Spring Semester	Total	
Intermediate Japanese 400	Intermediate Comprehensive Japanese	150	150	300	
	Skill-specific Japanese	Grammar	30	30	60
		Reading	30	30	60
		Listening	30	30	60
		Writing	30	30	60
Upper Intermediate Japanese 500	Upper Intermediate Comprehensive Japanese	150	150	300	
	Skill-specific Japanese	Grammar	30	30	60
		Reading	30	30	60
		Listening	30	30	60
		Writing	30	30	60
Advanced 1 Japanese 600	Advanced 1 Comprehensive Japanese	90	90	180	
	Skill-specific Japanese	Grammar	30	30	60
		Reading	30	30	60
		Listening	30	30	60
		Current events	30	30	60
		Writing	30	30	60
Advanced 2 Japanese 700	Advanced 2 Comprehensive Japanese	60	60	120	
	Skill-specific Japanese	Grammar	30	30	60
		Reading	30	30	60
		Listening	30	30	60
		Current events	30	30	60
		Writing	30	30	60
		Oral	30	30	60
Highly Advanced Japanese 800	Skill-specific Japanese	Business	30	30	60
		Drama	30	30	60
		Current events	30	30	60
		Writing	30	30	60
		Communication	30	30	60
		Critical Reading	30	30	60

⑨ Steering committee:

- 1) Program Committee Members: SUZUKI Mika (Associate Professor), MIYAGI Tsutomu (Professor), Fujimori Hiroko (Professor), HARUNA Nobuo (Lecturer), OKA Yoko (Specially Appointed Assistant Professor)

2) Advisory System

Japanese Studies Students are affiliated to the School of Language and Culture. They will receive individual supervising from their Course Advisors and Subject Advisors for the course-completion report. Tutoring is also available.

⑩ Requirement for program completion and issuance of completion certificate:

In addition to completing all their course requirements, students must write research papers or essay, and make oral presentations of its content. Students who have completed all of these requirements will receive a program completion certificate. Credit certification and transfers are determined by the university in which the students enroll in their home countries.

■ Dormitories

Although the university has International Residence for international students on campus, not everyone may be housed there.

- Japanese Studies Student resident numbers in the past three years (as of every October):
AY2016: 21 on-campus residents
AY2015: 33 on-campus residents
AY2014: 24 on-campus residents

■ Post-Program Follow-up

A database for the alumni is now being compiled. Many students who completed the program at TUFU come back to Japan to study at the graduate school.

■ Inquiries contact:

Student Exchange Division
Tokyo University of Foreign Studies
3-11-1 Asahi-cho, Fuchu-shi, Tokyo JAPAN
Postal code: 183-8534
Tel: +81-42-330-5184
Fax: +81-42-330-5189

E-mail: ryugakuseika@tufs.ac.jp

Japanese Language Center for International Students web:

<http://www.tufs.ac.jp/common/jlc>

TUFS web: <http://www.tufs.ac.jp>

2016 Japanese Studies students



Presentation



Japanese cultural experience



東京学芸大学 (東京都)



留学生対象の授業のほか、教育学、人文・社会科学、自然科学、芸術、スポーツなどの科目が受講でき、附属学校との交流授業、伝統芸能のワークショップなどを通して、日本の社会や文化を学ぶことができます。

■大学紹介

① 大学の特色および概要

東京学芸大学は、新宿から電車で30分ほどの距離にある東京都小金井市に位置し、緑豊かで静かな環境にあります。

1949年に4つの師範学校を統合して誕生し、全国の教育界に多くの人材を送り出してきました。

1988年、教員養成課程に加えて、新たに教養系を設置し、教育以外の分野でも社会に貢献する幅広い人材の育成に努めています。

1996年、教科教育学を中心とする教育研究者養成を目的とした大学院連合学校教育学研究科（博士課程）を設置しました。

1998年、留学生に対する予備教育を含めた日本語・日本理解教育、修学上・生活上の指導・助言、日本語・日本文化研修留学生や教員研修留学生の研修プログラム等の業務を行うため、留学生センターを設置しました。



② 国際交流の実績

(2016年10月1日現在)

海外の大学との協定： 63校

留学生数： 247名

(うち、日本語・日本文化研修留学生10名)

海外の協定校で学んでいる本学学生数：31名

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2016年：留学生数 332人、日本語・日本文化研修留学生 10人

2015年：留学生数 373人、日本語・日本文化研修留学生 20人

2014年：留学生数 394人、日本語・日本文化研修留学生 21人

④ 地域の特徴

小金井市は1958年10月に、東京都で10番目の市として誕生しました。都心から25Kmという位置にあり、人口10万あまりの緑ゆたかで快適な生活のできる町です。

■コースの概要

① 研修目的

(a) 日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行うもの。

② コースの特色

(1) 日本語

日本語レベルに応じて必要な科目を受講し、日本語能力を高めます。

(2) 日本理解

日本理解に関する科目として「日本理解」や一般学生との協働学習を行う「多文化共修科目」等を受講し、日本の文化・社会に対する理解を深めます。

(3) 専門研究

研修生の希望、個人研究テーマ、日本語能力等を考慮して指導教員が認めた専門科目（一般学生対象授業）を受講します。

(4) 文化交流

本学の学生や地域住民との交流を深め、地域の文化活動など交流の場に積極的に参加します。たとえば、附属小学校との交流、伝統芸能のワークショップなどを行っています。

(5) 個人研究

指導教員のもとで自分の研究テーマについて研究し、その成果を、研修修了時までにレポートにまとめます。

③ 受入定員

25名（大使館推薦15名、大学推薦10名）

④ 受講希望者の資格、条件等

日本語能力試験N2相当以上の能力があることが望ましいです。

⑤ 達成目標

日本語を使用して、専門分野の資料を読んだり、レポートを書いたり、発表をしたりすることができるようになることが達成目標です。また、日本の文化について広く理解することも目標としています。

⑥ 研修期間

2017年10月1日 ～ 2018年8月31日
修了式は8月を予定（2016年は8月）

⑦ 研修科目の概要

1) 必須科目

日研生特別演習Ⅰ（必修）・・・15週 30時間
日研生特別演習Ⅱ（必修）・・・15週 30時間

2) 見学、地域交流等の参加型科目

日研生特別演習Ⅰ（必修）・・・15週 30時間
日研生特別演習Ⅱ（必修）・・・15週 30時間

3) その他の講義、選択科目等

- ・日本語科目・・・各科目15週 30時間
日本語（会話・講読・作文・文法・漢字・発音など）
日本語特別演習（マンガで学ぶ日本語・時事日本語・ビジネス日本語・小説・プロジェクトなど）
- ・日本理解に関する科目（選択必修）・・・各科目15週 30時間
日本理解 A～H
多文化共修科目 A～D
- ・専門科目・・・各科目15週 30時間
学部開設科目等



⑧ 年間行事

全学留学生対象のものも含め、教室での一般授業のほかに以下のような行事があります。

第1学期（秋学期：10月～2月）

防災館訪問
江戸東京たてもの園見学
附属小学校との交流授業
バス旅行
文楽鑑賞教室
大相撲観戦
日本文化体験
ジャパンセミナー など

第2学期（春学期：4月～8月）

伝統文化・芸能ワークショップ
工場見学
ジャパンセミナー など



⑨ 指導体制

日研究生は、留学生センターの所属となります。留学生センター所属の教員が指導教員として履修や研究の指導をします。

⑩ コースの修了要件

所定の科目を履修し、研究レポートを提出してその成果を指導教員が認めた留学生については、修了証書を授与します。



■ 宿 舎

入居する宿舎については、本学で割り当てを行います。渡日時に入居できる宿舎はすべて単身室です。家族連れの留学の場合は民間アパートを自分で探すことになります。

○宿舎数

国際交流会館：単身室48室
東久留米国際学生宿舎：単身室46室
一橋大学国際学生宿舎：単身室72室

○宿舎費・設備・通学時間等

国際交流会館単身室：5,900円/月
通学時間：徒歩10分
東久留米国際学生宿舎単身室：4,700円/月
通学時間：西武線約1時間
一橋大学国際学生宿舎：5,900円/月

通学時間：西武線約30分

* 上記金額には光熱水費等は含まれません。

○宿舎の設備・備品

ベッド、机、椅子など

■ 修了生へのフォローアップ

フォローアップの実績

修了生が国費研究生としての留学などを希望する場合、日研究生担当教員や元指導教員など留学生センター教員が相談に応じています。2015年度も3名の元日研究生が国費研究留学生として本学に入学しています。

また、中国（北京）、韓国（ソウル）、タイ（バンコク）にて、修了生同窓会を開催しました。

東京学芸大学修了留学生ネットワーク

<https://www.facebook.com/GisecTokyoGakugeiUniversity>

■ 問合せ先

【担当部署】

東京学芸大学
学務部 国際課 留学生支援係

住所 〒184-8501
東京都小金井市貫井北町 4-1-1
TEL +81-42-329-7763（直通）
FAX +81-42-329-7765
E-mail ryuugaku@u-gakugei.ac.jp

東京学芸大学留学生センター(GISEC)ホームページ
<http://www.u-gakugei.ac.jp/~gisec>
<https://www.facebook.com/tokyogakugei.gisec/>

東京学芸大学ホームページ
<http://www.u-gakugei.ac.jp>

東京学芸大学日研究生ホームページ
<http://www.u-gakugei.ac.jp/~gisec/program01/index.html>





Tokyo Gakugei University (Tokyo)



Tokyo Gakugei University (TGU) offers a number of subjects available for Japanese Studies Students (Nikkensei). These include courses designed for international students, as well as other specialized subjects ranging from education, humanities, social science, natural science, arts, and physical education. Students will also be able to learn Japanese society and culture through various off-campus activities such as visiting affiliated schools and attending cultural events.

■ University Overview

① Characteristics and History

TGU is located in Koganei-shi, 30 minutes by train from Shinjuku. Although the university is in Tokyo, it has an environment of lush greenery.

TGU is a university of education established in 1949 unifying four normal schools. It has produced many able educators nationwide.

In 1988, in addition to the teacher training courses, liberal arts courses were established in an attempt to train a wider range of students able to contribute to society, including in fields other than education.

In 1996, the United Graduate School of Education (doctoral course) was inaugurated with the aim of producing researchers in education, focusing on school education.

The International Student Exchange Center was established in 1998 to offer Japanese language and culture education, including preparatory language program, guidance on both daily and academic life in Japan, as well as Japan Studies Program and Teacher Training Program.



② International Exchanges

(as of Oct. 1, 2016)

Number of Institutions with exchange agreement: 63

Number of International Students: 247

(including 10 Japanese Studies Students)

Number of regular students studying at sister universities abroad: 31

③ Record of the number of international students and Japanese Studies Students (Nikkensei) accepted in the past three years

2016 : International Students 332, Nikkensei 10

2015 : International Students 373, Nikkensei 20

2014 : International Students 394, Nikkensei 21

④ Surroundings of the University

Koganei-shi was founded in 1958 as the tenth city in Tokyo.

The city is located at 25-kilometer from the center of Tokyo, with a population of about 100,000. Koganei-shi is a beautiful, comfortable city to live in.

■ Outline of the Program

① Program purpose

(a) This program's main aim of training is to deepen their understanding of Japanese affairs and Japanese culture, the secondary aim of training is to improve their Japanese skill.

② Features of the course

(1) Japanese Language

To improve Japanese language ability, students are expected to attend Japanese language classes.

(2) Japanese Culture/Society

For deeper understanding of Japanese Culture and Society, students must complete a certain number of courses entitled "Japan Studies" "Cross-Cultural Understanding" and other courses conducted primarily in Japanese.

(3) Specialized Subject

Students with highly advanced Japanese language skills are allowed to take university's regular undergraduate classes of which contents focus on Japanese cultural and social matters.

(4) Cultural Exchange

Students are expected to participate in various cultural exchange activities at TGU and events of local communities. For this purpose, TGU organizes many events, such as cultural exchange programs at TGU-affiliated primary schools and workshops of traditional performing arts of Japan.

(5) Individual Research Paper

By the time of completing the program, the students write a report of their individual study at TGU with the guidance of their academic advisor.

③ Number of Students to be Accepted: 25

Embassy recommendation 15

University recommendation 10

④ Qualifications of Applicants

The applicants are expected to be capable of passing Japanese Language Proficiency Test, N2 or higher.

⑤ Goal and Objectives

By the end of the program, students are expected to be able to read articles in their specialized fields, write a report, and make a presentation in Japanese.

Students are also expected to develop broad understanding of Japanese culture.

⑥ Period

From October 1, 2017 to August 31, 2018

The Closing Ceremony is scheduled in August. (In August, 2016)

⑦ Summary of Training Subjects

1) Compulsory Subjects

Nikkensei Tokubetsu Enshū I (Compulsory)

.....15 weeks 30 hours

Nikkensei Tokubetsu Enshū II (Compulsory)

.....15 weeks 30 hours

2) Participatory Subject

Nikkensei Tokubetsu Enshū I (Compulsory)

.....15 weeks 30 hours

Nikkensei Tokubetsu Enshū II (Compulsory)

.....15 weeks 30 hours

3) Other Subjects

Japanese Language 15 weeks, 30 hours for each subject
Japanese (Conversation, Reading, Composition, Grammar, Kanji, Pronunciation, etc.)

Japanese Special Subjects (Manga, Current Japanese, Novels, Business Japanese, Project, etc.)

Japanese Culture/Society (Compulsory choice)
..... 15 weeks, 30 hours for each subject

Japan Studies A-H

Coeducation for cross-cultural understanding A-D

Other specialized subjects

Subjects open to undergraduate students etc



⑧ Events

These following events are also planned other than for regular classes including for all international students.

1st Semester (Autumn Semester:
October–February)

Visiting the Life Safety Learning Center
Visiting the Edo-Tokyo Open Air
Architectural Museum

Cultural exchanges at affiliated primary schools
Bus trip

Visiting *bunraku* puppet theatre
Watching sumo tournament

Workshops of Japanese traditional culture
Japan seminars

2nd Semester (Spring Semester: April–August)

Workshops of Japanese traditional culture
Excursions to factories

Japan seminars



⑨ System for guidance

Japanese studies students (Nikkensei) are affiliated with the International Student Exchange Center. An academic advisor, who is a teaching staff affiliated with the center, will offer guidance for registration and research.

⑩ Certificate of Completion

Certificate of Complete is given to international students who finish the designated subjects and submit the report and are recognized the result of the research by their instructors.



■ Accommodations

International students are able to stay in university dormitories allocated by university side. Only single rooms of the dormitories are available when you come to Japan.

International students having family members need to find private apartments by their own.

- 1) International House (48 single rooms)
- 2) Higashi-Kurume International Student Dormitory (46 single rooms)
- 3) Hitotsubashi University International Student House for four national universities in western Tokyo (72 single rooms for TGU)

● Admission to university dormitories

October 2016:
Higashi-Kurume International Dormitory
(10 students)

■ Follow-up of students who have completed the courses

Results of follow-up

If students who have completed the courses wish to study as a Japanese Government Scholarship Research Student, teaching staff at the International Student Exchange Center will conduct a consultation.

In 2015, three former Nikkensei entered TGU as Japanese Government Scholarship research students.

In addition, alumni reunion was held in China (Beijing), Korea (Seoul), and Thailand (Bangkok).

Facebook page : Tokyo Gakugei University Alumni Network of International Students

<https://www.facebook.com/GisecTokyoGakugeiUniversity>

■ Contact Office

International Students Unit

Address:

International Division
Tokyo Gakugei University
4-1-1 Nukuikita-machi, Koganei-shi, Tokyo
184-8501 JAPAN

TEL: +81-42-329-7763

FAX: +81-42-329-7765

E-mail: ryuugaku@u-gakugei.ac.jp

TGU Int'l Student Exchange Center (GISEC)

Website

<http://www.u-gakugei.ac.jp/~gisec>

TGU Website

<http://www.u-gakugei.ac.jp>

TGU Nikkensei Website

<http://www.u-gakugei.ac.jp/~gisec/program01/index.html>





一橋大学 (東京都)



日本語・日本文化はもちろん、学部ゼミナールで専門的に学べます。

■大学紹介

① 大学の特色および概要

長い歴史と伝統を誇る（1875年創立）、日本で最も古い『人文社会科学の総合大学』です。伝統的な学問領域の研究だけでなく、新しい研究領域の開拓に取り組む教授陣を擁しています。また、自然環境に恵まれた美しいキャンパスを有しています。

学生数（2016年5月現在）

商学部	1,281名
経済学部	1,243名
法学部	794名
社会学部	1,090名
学部生合計	4,408名

商学研究科	277名
経済学研究科	200名
法学研究科	289名
社会学研究科	386名
言語社会研究科	248名
国際企業戦略研究科	326名
国際・公共政策教育部	118名
大学院生合計	1,844名

② 国際交流の実績

大学間交流協定数： 87（学術交流協定）
64（学生交流協定）※2016年5月現在

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2016年：留学生 734人、日本語・日本文化研修留学生 8人
2015年：留学生 732人、日本語・日本文化研修留学生 14人
2014年：留学生 727人、日本語・日本文化研修留学生 15人

④ 地域の特徴

国立市（くにたちし）はヨーロッパの学園都市をモデルにしており、本学をはじめとして多くの学園が集まる美しい町です。

■コースの概要

① 研修目的

(a) 日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行うもの

② コースの特色

- 希望者は、正規課程向けの学部ゼミナールに参加できます。
- 日本または日系企業に就職するための準備として、キャリア支援室のサービスを受けられます。
- 茶道、着物などの日本文化体験授業を実施予定です。

4. フィールドワーク（日本探訪旅行）並びに日本文化関連のクラブ活動等に参加することができます。

5. 単位認定

全学共通教育科目・学部教育科目・国際交流科目の場合、各科目の合格要件を満たせば単位が認定されます。成績は以下のとおり評価されます。
A+, A, B, C（合格）又はF（不合格）

③ 受入定員

15名（大使館推薦10名、大学推薦5名）



一橋大学図書館

④ 受講希望者の資格、条件等

日本語力上級レベルで、大学学部3・4年次に在籍する学生を対象とします（日本語能力試験1級（N1）レベル相当以上）。社会科学の基礎知識を持つ留学生にとって、日本語・日本文化だけでなく、幅広い知識が修得できるプログラムです。

⑤ 達成目標

15,000字程度の修了レポートを執筆し、その内容についてプレゼンテーションを行うこと。

⑥ 研修期間

2017年9月19日 ～ 2018年8月中旬頃

⑦ 研修科目の概要

1. Special Seminar on Japanese Language and Culture(日研生ゼミナール)(必須)
2. 日本語教育科目(選択、レベル別)
3. 全学共通教育科目、学部教育科目、国際交流科目(選択)
4. 学部ゼミナール(選択)

※注：

1. は主に日研生を対象とした授業。
2. 3. 4. は正規課程の学生とともに受講する授業。

シラバスはオンラインで公開されています。

<https://mercas.hit-u.ac.jp>

1) 必須科目

Special Seminar on Japanese Language and Culture
(日研生ゼミナール)

上記に加え、日本の文化、歴史等を理解し、日本人学生との交流を趣旨としたフィールドワークへの参加を必須とする。

2) 見学、地域交流等の参加型科目

Explore Japan Seminar(工場・企業等見学)

3) その他の講義、選択科目等

一般日本語科目：速読、学術文章表現、学術口頭表現、近代文語文講読等

専門日本語科目：経済の日本語上級、法の日本語、社会科学の日本語上級

日本事情科目：一般日本事情

全学共通教育科目：日本語研究入門、日本文化論、日本の言語文化、日本近代文学等

学部教育科目：社会と文化、日本社会史総論

国際交流科目：Japanese Corporate Management 1&2, Japanese Art 1,2&3, etc.



授業風景

⑧ 年間行事

9月中旬	秋～冬学期授業開始
10月	ウェルカムパーティー
2月	秋～冬学期授業終了
4月	春～夏学期授業開始
7月末	春～夏学期授業終了
7月	修了レポート発表会
8月	フィールドワーク



参加型授業科目



兼松講堂前にて

⑨ 指導体制

国際教育センター日本語教育担当教員が責任をもって指導し、また、生活面は国際教育センター留学生相談部門教員が担当します。

なお、学部ゼミナールに所属し専門科目教員の指導を受けることができます。

(受け入れ責任者 国際教育センター長)

⑩ コースの修了要件

必修科目合格をコースの修了要件とします。また、留学期間終了後、受講科目についての成績評価表を、申請にもとづき本人宛てに送付します。



修了式にて



クラブ活動：弓道部にて

■宿 舎

日本語・日本文化研修留学生は大学宿舎に優先的に入居できます。日本人・留学生と一緒に生活しています。

国際学生宿舎

〒187-0045

東京都小平市学園西町1-29-1 (小平キャンパス内)



■修了生へのフォローアップ

日本語・日本文化研修留学生データベースに修了者の連絡先等を蓄積し、ネットワーク構築を図っています。また、コース修了後でも、成績証明書等の発行が可能です。

■問合せ先

(担当部署)

一橋大学学務部国際課 (学生交流係)

住所 〒186-8601

東京都国立市中2-1

TEL +81-42-580-8164 (直通)

FAX +81-42-580-8167

E-mail int-gs.g3@dm.hit-u.ac.jp

一橋大学国際教育センターホームページ

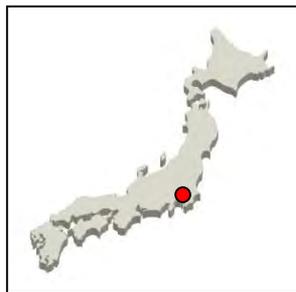
<http://international.hit-u.ac.jp/index.html>

一橋大学ホームページ

<http://www.hit-u.ac.jp/index.html>



フィールドワーク
(日本探訪旅行)



HITOTSUBASHI UNIVERSITY (Tokyo)



Enhanced Learning Experience with Seminar-Style Classes and Japanese Language and Culture

■ Overview of the University

① Feature and History

Hitotsubashi University (founded in 1875) is the oldest university in Japan to specialize exclusively in the humanities and social sciences.

Hitotsubashi has been at the forefront of Japan's economic and social progress. It has become the country's premier institution for education and research in the social sciences and has always maintained its emphasis on practical learning.

Number of Students (as of May, 2016)

<Undergraduate>

Commerce and Management	1,281
Economics	1,243
Law	794
Social Sciences	1,090
(Total)	4,408

<Graduate>

Commerce and Management	277
Economics	200
Law	289
Social Sciences	386
Language and Society	248
International Corporate Strategy	326
International and Public Policy	118
(Total)	1,844

② International Exchange and Cooperation

Number of Agreements: 87 (Academic Cooperation)
64 (Student Exchange) *as of May, 2016

③ Number of international students and program participants in the last three years.

2016: Total 734, Program Participants 8
2015: Total 732, Program Participants 14
2014: Total 727, Program Participants 15

④ Location Information

Kunitachi is a beautiful city modeled on the academic cities of Europe, and is also home to many schools aside from Hitotsubashi University.

■ Outline of the Program

① Program Aim

(a) This program mainly provides courses related to Japanese affairs and culture, and subordinately provides a training to improve Japanese language ability.

② Program Feature

1. Students can participate in a seminar with degree-seeking students.
2. The Career Support Office provides services and resources to help you to prepare to work in Japan/Japanese companies. Internship opportunities might be available.

3. Students can participate in Japanese cultural experience classes which offer learning opportunities such as tea ceremony and Kimono dress-up experience.

4. Students can join fieldwork (Explore Japan Trip) and club activities related to Japanese culture.

5. Credit recognition
For general education and undergraduate faculty courses, credits will be recognized if the requirements are met.
Academic performance is graded A+, A, B and C (passing) and F (failure).

③ Enrollment quota

15 (Embassy Recommendation: 10,
University Recommendation: 5)



In front of the library

④ Qualifications and Conditions of Applicants

We accept only 3rd and 4th year undergraduate students and applicants must have an advanced level proficiency in the Japanese language (equivalent to N1[JLPT]).

International students who already possess basic knowledge in the social sciences will find this program more useful in helping them broaden their knowledge in the fields along with the Japanese language and Japanese culture.

⑤ Goal

To write a study report with around 15,000 characters in Japanese and give a presentation.

⑥ Program Period

19/SEP/2017 – Middle of AUG/2018

⑦ Course Overview

1. Special Seminar on Japanese Language and Culture *(Compulsory)
2. Japanese Language Courses **(Elective)
3. General Education/Undergraduate Faculty Courses/Hitotsubashi University Global Education Program **(Elective)
4. Undergraduate Student Seminar in a selected field **(Optional)

* The course specifically offered to the program participants

** Courses and Classes with other Regular Students of the University

On-line syllabi are available at;
<https://merc.as.hit-u.ac.jp>

1) Compulsory Course Special Seminar on Japanese Language and Culture

In addition, students have to join the fieldwork which aims to understand Japanese culture and history, and to interact with Japanese students.

2) Courses for Inter-Cultural Understanding; Explore Japan Seminar (inter-cultural experience class), plant and company visit

3) Other Elective Classes -General Japanese Speed Reading, Advanced Reading, Writing, Speaking, Grammar, etc.

-Academic Japanese
Reading in Early Modern Japanese,
Japanese in Economics, Law and Social Sciences

-Japanese Affairs
General Information of Japan

-General Education
Introduction to the Study of the Japanese Language,
Japanese Culture, Language and Culture in Japan,
Japanese Modern Literature, etc.

-Undergraduate Faculty Courses
Society and Culture, Japanese Social History

- Hitotsubashi University Global Education Program (HGP)
Japanese Corporate Management 1 & 2,
Japanese Art 1,2 & 3, etc.



⑧ Annual Events

September: Start of 2nd Semester

October: Welcome Party

February: End of 2nd Semester

Spring: Start of 1st Semester

July: End of 1st Semester

July: Final Report Presentation

August: Fieldwork



Seminar on Inter-cultural Experience



In front of the Kanematsu Auditorium

⑨ Teaching and Supporting Staff

Japanese language teachers from the Center for Global Education will be in charge of providing this well-organized program, while teachers from the International Student Advising Office will support them in more general aspects of their life in Hitotsubashi. Members in each faculty can also assist students with enrollment of seminars for undergraduate students. The Director of the Center for Global Education is in charge of the Program.

⑩ Requirements for Course Completion

Completion requirement is to pass the compulsory course. After the end of the program, academic transcripts will be sent to each program participant upon application.



Completion ceremony



Club activity: Japanese archery

■ Accommodation

Program participants can live in the Residence Hall Ikkyo-Ryo on Kodaira campus. Japanese and International students live together.

Residence Hall Ikkyo-Ryo (Kodaira campus)

1-29-1, Gakuen-Nichi machi, Kodaira, Tokyo, 187-0045



■ Follow-Up for Alumni Students

The International Affairs Office is trying to build a database of graduated students and develop the alumni network.

We can also issue academic transcripts for students who already finished the program and returned to their home countries.

■ Contact

(Prepared)

International Affairs Office,
Hitotsubashi University

Address: 2-1, Naka, Kunitachi, Tokyo, 186-8601

Phone +81 42-580-8164 (direct)

Email int-gs.g3@dm.hit-u.ac.jp

Website:

Center for Global Education

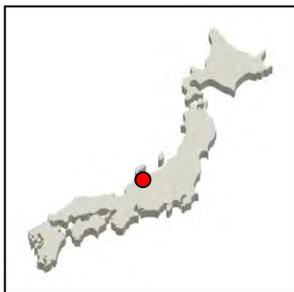
<http://international.hit-u.ac.jp/en/index.html>

Hitotsubashi University

<http://www.hit-u.ac.jp/eng/>



Explore Japan Trip



富山大学 (富山県)



一人ひとりの興味・関心を尊重しながら、日本語・日本文化に関する研修を行う。

- ①基礎的な日本語・日本文化学習の指導を受ける。
- ②日本語・日本文化に関する、より専門性の高い指導(学部の専門科目)を日本人の学生と一緒に受ける。
- ③各人のレベルや、①と②のバランスを考え、個別のカリキュラムを編成する。

■大学紹介

① 大学の特色および概要

本学は、2005年10月に富山大学(1949年設立)、富山医科薬科大学(1975年設立)及び高岡短期大学(1983年設立)の3大学が統合された、幅広く豊かな教育・研究施設を有する国立の総合大学である。

2016年5月現在、学生数9,254人(学部生及び大学院生)である。また、学術交流協定を30か国(アメリカ合衆国、イギリス、エジプト・アラブ共和国、オーストラリア、タイ王国、大韓民国、中華人民共和国、マレーシア、ロシア連邦など)112機関と結び、積極的に留学生を迎え入れており、国際交流センターを中心に受け入れ体制の整備も進んでいる。

学部:人文学部, 人間発達科学部, 経済学部, 理学部, 医学部, 薬学部, 工学部, 芸術文化学部

大学院研究科:人文科学研究科, 人間発達科学研究科, 経済学研究科, 生命融合科学教育部, 医学薬学教育部, 理工学教育部, 芸術文化学研究科

② 国際交流の実績(2016年5月現在)

大学間交流協定校: 15か国・地域 122機関

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2016年: 留学生数	314人,	日研究生数	2人
2015年: 留学生数	319人,	日研究生数	6人
2014年: 留学生数	346人,	日研究生数	6人

④ 地域の特色

富山県は、3000m級の北アルプス連峰を望み、日本海に面する自然に恵まれたところである。地理的には日本のほぼ中央に位置し、四季の移り変わりがはっきりしており、冬の雪景色も美しい。世界遺産「五箇山」の集落、全国的に有名な民謡「越中おわら節」など興味深い文化を育む場所でもある。

富山大学のある富山市は県庁所在地であり、人口約42万人をかかえる近代的な都市である。2015年3月、北陸新幹線開業により、東京へは約2時間で移動が可能となった。また、市内には富山空港(東京まで約1時間)がある。水と空気と海産物がおいしく、文化的施設の整っている便利などとして、全国的に住みやすい街の最上位にあげられている。



富山大学
(五福キャンパス)

■コースの概要

① 研修目的

- (a)日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行う。
- (b)日本語能力の向上のための研修を主とし、補助的な日本事情・日本文化に関する研修を行う。

② コースの特色

留学生を対象とした日本語・日本文化に関する授業科目と、人文学部、人間発達科学部、経済学部で開講されている幅広い日本語・日本文化に関する専門科目の中から、各自の興味とレベルにあわせて授業科目を履修する。それと同時に、指導教員(人文学部又は人間発達科学部)からの個人指導を随時受ける。個人指導の中で各々に研究課題を定め、修了レポートにまとめる。

③ 受入定員

10名(大使館推薦5名、大学推薦5名)
(人文学部5名、人間発達科学部5名)
*各学部に所属する。

④ 受講希望者の資格、条件等

このコースを受講希望する者は、以下の要件を満たす者とする。

(学歴)

渡日及び帰国時点で外国(日本国以外)の大学の学部に在学し、日本語・日本文化に関する分野を専攻している者

(日本語能力)

国際交流基金及び日本国際教育支援協会による日本語能力試験N3以上の日本語能力を有することが望ましい。

⑤ 達成目標

- ・各自が立てたカリキュラムを履修し、研究計画を進め、日本語で修了レポートを完成させる。
- ・国際交流基金及び日本国際教育支援協会による日本語能力試験N1相当の日本語能力を身につける。

⑥ 研修期間

2017年10月1日~2018年8月31日

⑦ 研修科目の概要

1)必須科目

本大学の日研生プログラムは、各々のレベルに沿ったカリキュラムを履修することになっているので、必須科目は設けていない。

2) 見学、地域交流等の参加型科目

なし。(ただし、見学、地域交流等は後述の年間行事で体験することができる。)

3) その他の講義、選択科目等

[a] 日本語・日本文化に関する授業科目(2016年度現在)
最新の情報はホームページでご確認ください。

科目名	授業時間数	
	秋	春
日本語B	60	60
日本事情 I	30	-
日本事情 II	-	30
異文化理解	30	-

総合日本語コース(上級)			総合日本語コース(中級)		
科目名	授業時間数		科目名	授業時間数	
	秋	春		秋	春
読解Ca	30	30	文法・表現Ba	60	60
読解Cb	30	30	文法・表現Bb	60	60
文法C	30	30	文法・読解Ba	60	60
作文C	30	30	文法・読解Bb	60	60
聴解C	30	30	文法B	60	60
会話C	30	30	聴解B	30	30
漢字C	30	30	会話B	30	30
表現技術C	30	30	漢字B	30	30
日本文化C	30	30			

[b] 専門科目(一般学生用)

各学部で開講される幅広い専門科目より授業科目を選択する。以下に各学部の日本語・日本文化に関連する科目のある専門分野を紹介する。

<人文学部>

日本語・日本文化に関する分野:

人間学, 言語学, 日本語教育学, 日本史, 文化人類学, 国際関係論, 国際文化論, 日本語学, 日本文学など
(*詳しくは人文学部HP参照 富山大学HP>人文学部)

<人間発達科学部>

日本語・日本文化に関する分野:

教育心理学, 教育学, 福祉, スポーツ,
日本語学, 日本文学, 日本史, 日本地理, 芸術など
(*詳しくは人間発達科学部HP参照 富山大学HP>人間発達科学部)

<その他>

日本語・日本文化に関連のある経済学部授業(経済学, 経営学, 経営法学)や教養教育科目も履修できる。

* 専門科目及び「日本語B」「日本事情」「異文化理解」は、
富山大学HP>キャンパスライフ>Webシラバス(授業案内)
総合日本語コースは、
富山大学HP>学部・大学院・施設>国際交流センター
にシラバスを掲載。



日本事情I「書道」



日本事情I「華道」「日本の民謡」



実地見学旅行

⑧ 年間行事
スタディ・エクスカージョン（富山の文化施設見学）
実地見学旅行

（日本の文化や歴史を学ぶ機会。各学部主催）

日本人学生による支援交流活動

（個別学習支援・交流会・パーティーなど）

学生等による異文化交流会

（各国の研究者、留学生、国際交流関係者の集い）

この他にも地域の協力を得て、ホームステイ／ホームビジットプログラム、スキーツアー、おわら踊り・民謡・ゆかた着付・茶道体験、新春パーティー、お花見、バーベキュー大会、ボーリング大会などが実施されており、地域の人々との交流の機会も提供されている。

⑨ 指導体制

留学生の志望する専攻分野の指導教員と、学部の留学生担当教員及び国際交流センター教員が協力して、学業及び生活面の個別指導を行う。

⑩ コースの修了要件

- 1) 所定の時間数（秋期・春期各240時間以上、合計480時間以上）を履修しているか、修了レポートを提出しているか等を当該組織が判定の上、修了証を交付する。
- 2) 受講した科目で出席・試験などの基準を満たした者には、修得した科目及び時間数を記した履修証明書を発行する。
- 3) 指導教員（人文学部又は人間発達科学部）による個人指導の中で各々の留学生の研究課題を定め、その結果を修了レポートにまとめ提出させ、修了論集として発行する。

（*過去の修了レポートの題目

富山大学HP>人文学部>国際交流>短期留学生修了論集を参照）

■ 宿 舎

大学には、国際交流会館がありますが、部屋数に限りがあります。国際交流会館に入居できない場合は、大学が宿舎を紹介し、ます。（大学の周辺にはアパートがたくさんあります。）

- ・ 国際交流会館（五福）の概要

部 屋 数： 単身室 34室

設備備品： 電磁調理器付キッチン、バス、トイレ、

エアコン、ベッド、机、いす、冷蔵庫など

その他設備： 居室でのインターネット接続が可能（有料）



春



夏



秋



冬

富山の四季

■ 修了生へのフォローアップ

・富山大学日研究生 修了後のキャリアパス（一例）

☆母国の大学で日本語を教える。

☆JETプログラム国際交流員として日本で働く。

☆富山大学大学院やその他日本の大学院に進学。

・修了後のネットワーク

☆Facebookによって近況を報告している。

■ 問合せ先

（担当部署）

富山大学国際部留学支援課

住所 〒930-8555

富山県富山市五福3190

TEL +81-76-445-6404（直通）

FAX +81-76-445-6093

E-mail ryugaku@adm.u-toyama.ac.jp

富山大学国際交流センターホームページ

<http://www.ier.u-toyama.ac.jp/>

富山大学ホームページ

<https://www.u-toyama.ac.jp/>

日研究生ホームページ

<http://www.ier.u-toyama.ac.jp/JSS/JSSjp.html>

Facebook

<http://www.facebook.com/972163439509496/>



UNIVERSITY OF TOYAMA (Toyama)



While respecting the interests and concerns of each individual student, this program offers an opportunity for in-country study of Japanese language and culture. After receiving instruction in basic Japanese language and culture, students progress to more advanced study of language and culture alongside their Japanese peers. The curriculum is tailored to the individual needs and level of each student as we try to strike a balance between foundation and advanced classes.

■ University of Toyama Overview

① Characteristics and Outline

In October 2005, three universities (Toyama University (Established in 1949), Toyama Medical and Pharmaceutical University (Established in 1975) and Takaoka National College (Established in 1983)) were integrated into the University of Toyama, a national university with a wide range of education and research facilities.

As of May 2016, there were 9,254 students (Faculties and Graduate Schools). Academic exchange agreements have been drawn up with 112 universities and institutions in 30 countries (Australia, People's Republic of China, Arab Republic of Egypt, Republic of Korea, Malaysia, Russian Federation, Thailand, United Kingdom, USA, etc.). We are eager to welcome international students, and our Center for International Education and Research plays a key role in enabling us to do so.

Faculties: Faculty of Humanities,
Faculty of Human Development,
Faculty of Economics,
Faculty of Science,
Faculty of Medicine,
Faculty of Pharmaceutical Sciences,
Faculty of Engineering,
Faculty of Art and Design

Graduate schools: Graduate School of Humanities,
Graduate School of Human Development,
Graduate School of Economics,
Graduate School of Innovative Life Science,
Graduate School of Medicine and
Pharmaceutical Sciences for Education,
Graduate School of Science and Engineering for
Education
Graduate School of Art and Design

② International Exchange (as of May 2016)

University Exchange Relationships :

122 universities/institutions in 15 countries/regions

③ The Number of International Students and Japanese Studies students

2016: Total 314, Program Participants 2

2015: Total 319, Program Participants 6

2014: Total 346, Program Participants 6

④ Toyama Prefecture

Located near the geographic heart of Japan, Toyama prefecture is beautifully situated on the Japan Sea coast against the backdrop of the majestic Japan Alps. The prefecture has four distinct seasons, and the snow-covered Toyama winter landscape is particularly beautiful. Toyama abounds in interesting vestiges of old Japan including nearby Gokayama village with steep thatched-roof houses (designated a UNESCO World Heritage Site) and the folk song tradition of *Etchu Owara Bushi* which is known and associated with Toyama throughout Japan.

The university is located in Toyama City, the prefectural capital and a modern metropolis with a population of about 420,000. Hokuriku Shinkansen started operating from March 2015. It took about two hours between Tokyo and Toyama. Blessed with clean water and air, excellent seafood, and all manner of cultural amenities, Toyama is regarded as one of the most convenient and congenial places to live in all Japan.

■ Course Outline

① The objective of study

(a) A course conducted mainly about Japan and Japanese culture with supplementary study to improve Japanese language proficiency.

(b) A course conducted mainly to improve students' Japanese language proficiency with supplementary study about Japan and Japanese culture.

② Features

International students choose from basic course offerings relating to Japanese language and culture that are designed specifically for international students, and from the wide range of more specialized course offerings, pertaining to Japanese language and culture offered through the Faculty of Humanities, Human Development, and Economics according to individual interests and proficiency levels. International students are also paired with guidance counselors from the Faculty of Humanities and Human Development. These counselors give students individual instruction and help them select interesting research topics for their final reports.

③ Maximum Number of Students

Ten students altogether, five by embassy recommendation and five by university recommendation. (Five students are admitted to the Faculty of Humanities and five to the Faculty of Human Development.)

④ Qualifications and Requirements for Admission

Students wishing to enroll in this program must meet the following requirements.

(Academic Background)

Applicants must be an undergraduate at a foreign (non-Japanese) university majoring in a field related to the Japanese language or Japanese culture at the time of arriving in and leaving Japan.

(Japanese language proficiency)

Students possessing Japanese language proficiency equivalent to N3 of the Japanese Language Proficiency Test administered by the Japan Foundation and the Japan Student Services Organization is preferable.

⑤ Achievement Objective

• Advance a research scheme according to personally designed curriculum, and complete a report in Japanese. • Acquire equivalent language skill of N1 of Japanese Language Proficiency Test.

⑥ Term

From October 1, 2017 to August 31, 2018.

⑦ Outline of Subjects

① Subjects

[a] Subjects relating to Japanese language and culture (As of 2016). For the updated information, please visit our website:

<http://www.ier.u-toyama.ac.jp/>.

Subject	hours	
	Fall	Spring
Japanese B	60	60
Japanese Culture I	30	
Japanese Culture II		30
Intercultural Understanding	30	

General Japanese Language Course (Advanced Class)		
Subject	hours	
	Fall	Spring
Reading Ca	30	30
Reading Cb	30	30
Grammar C	30	30
Composition C	30	30
Listening C	30	30
Conversation C	30	30
Kanji C	30	30
Expression Skills C	30	30
Japanese Culture C	30	30

General Japanese Language Course (Intermediate Class)

Subject	hours	
	Fall	Spring
Grammar and Expression Ba	60	60
Grammar and Expression Bb	60	60
Grammar and Reading Ba	60	60
Grammar and Reading Bb	60	60
Grammar B	60	60
Listening B	30	30
Conversation B	30	30
Kanji B	30	30



Flower arranging



Calligraphy



[b] Specialized Courses (classes for ordinary students)

Students choose from a wide range of specialized courses offered by each department. Here we provide an overview of some of the more specialized course offerings pertaining to Japanese language and culture that are available through each department.

<Faculty of Humanities>

Courses pertaining to Japanese language and culture include Human Sciences, Linguistics, Japanese as a Foreign Language, Japanese History, Cultural Anthropology, International Relations, International Cultural Studies, Japanese Language, and Japanese Literature. (Visit the Faculty of Humanities website for details at [University of Toyama HP>Faculty of Humanities](#))

<Faculty of Human Development>

Courses pertaining to Japanese language and culture include Educational Psychology, Pedagogy, Welfare, Sports, Japanese Language, Japanese History, Japanese Literature, Japanese geography, Arts (Visit the Faculty of Human Development website for details at [University of Toyama HP>Faculty of Human Development](#)).

<Courses in Other Faculties>

In addition, international students may also take classes pertaining to Japanese language and culture offered through the Faculty of Economics (Economics, Business Administration, and Business Law), and other liberal arts education subjects taught at the university.

* Syllabus for Specialized Courses, the *Japanese B*, the *Japanese Culture* and the *Intercultural Understanding* are available at

[University of Toyama HP>International Students>Web syllabus](#) (Only in Japanese)

The syllabus for the *General Japanese Language Course* is available at

[University of Toyama HP>International Admissions>Center for International Education and Research](#)

⑧ Field Trips and Events

Many field trips and events are offered, including events organized and arranged especially for the international students. There are study trips to culturally significant Toyama sites, and trips providing opportunities to learn about Japanese culture and history sponsored by the relevant departments. There are many support and exchange activities organized by the Japanese students (small individual study groups, exchange get-togethers, and parties), including an always well-attended intercultural exchange party that provides an opportunity for researchers from around the globe and international students to get together .

Our students also have numerous opportunities to meet and interact with local people through home stay and home visit programs, and through the many cultural and recreational activities that are offered. These include ski tours, the famous Toyama summer *Owara* folk festival with singing and dancing and the opportunity to wear the informal summer *yukata*. Students can experience a genuine tea ceremony, New Year's parties, cherry-blossom viewing in the spring, barbecues, bowling, and many other activities.

⑨ Counseling Support System

Guidance counselors in the student's area of study, in the department through which the class is offered, and in the Center for International Education and Research work together to provide students with individual guidance regarding both academic and non-academic concerns.

⑩ Certificate of Completion and Credit Transfer

1) After the judgment, students who complete the required 480 hours (240 hours each semester) and submit a final report are issued a Certificate of Completion.

2) Students who satisfy the attendance, testing, and other requirements of the University of Toyama program are issued a Certificate of Completion detailing the subjects and number of classes completed.

3) Guidance counselors with the Faculty of Humanities and Faculty of Human Development work together on a one-to-one basis with international students to help them select an interesting research topic to address in their final reports.

These final reports are compiled as a collection of final papers. The titles of former reports can be perused online at University of Toyama HP>Faculty of Humanities>International Exchange> Journals of Study by Short-term International Students

■ Housing

University of Toyama has an accommodation facility for International students, International House on its campus. In case the number of vacant rooms is not enough to accommodate all of prospective students, at the university Coop the list of real estate agents for the apartment houses and flats in the campus neighborhood is available, and also the university staff will assist students so that they may make a smooth transition.

The International House (Gofuku) has 34 individual rooms. The lodgings cost 5,900 yen monthly. The room has a bathroom and a kitchen with a cooker and refrigerator. Moreover, the room has a heater/ air conditioner, bed, table, and chair. Each room also has a dedicated Internet connection. An application and monthly charge are required for the use.



Study trip



■ Follow-up for the Graduates

• Examples of the Japanese Studies Program students after completion of the program

☆ Teach Japanese in their country

☆ Work as a coordinator for JET Program

☆ Proceed study at Graduate School in University of Toyama or other Academic facility in Japan.

☆ Work at Japanese company

• Network of the Japanese Studies Program students after Completion of the program

☆ Keep in touch with each other on Facebook.

■ For further information, please contact

Study-Abroad Support Division,
International Affairs Department,
University of Toyama

3190 Gofuku, Toyama 930 - 8555, Japan

Tel: +81- 76 - 445 - 6404

Fax: +81- 76 - 445 - 6093

E-mail: ryugaku@adm.u-toyama.ac.jp

Center for International Education and Research HP:

<http://www.ier.u-toyama.ac.jp/>

University of Toyama HP:

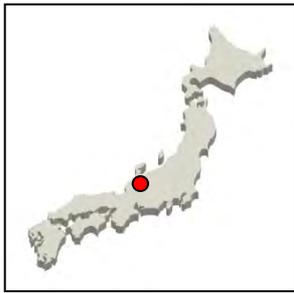
<https://www.u-toyama.ac.jp/>

Program's HP:

<http://www.ier.u-toyama.ac.jp/JSS/JSSjp.html>

Facebook

<http://www.facebook.com/972163439509496/>



金沢大学 (石川県)



日本社会・文化の研究、日本伝統文化体験、日本人学生との合同調査などの「日本探求」を通じた実践的日本語力が習得できます。

■大学紹介

① 大学の特色および概要

1) 特色と歴史

金沢大学は、1862年の加賀藩種痘所を源流とし、1949年に新制の総合大学として設立されました。現在 3学域、16学類（(1)人間社会学域：人文学類、法学類、経済学類、学校教育学類、地域創造学類、国際学類、(2)理工学域：数物科学類、物質化学類、機械工学類、電子情報学類、環境デザイン学類、自然システム学類、(3)医薬保健学域：医学類、薬学類、創薬科学類、保健学類）及び、5研究科（教育学研究科、人間社会環境研究科、自然科学研究科、医薬保健学総合研究科、法務研究科）から構成されている総合大学として、幅広い分野での教育・研究活動の拠点となっています。金沢大学は、全国の大学に先駆けて、1956年から外国の大学との交流協定を締結して、学術文化の国際交流並びに、留学生交流を推進してきました。

2) 教員・学生数等 (2016年5月1日現在)

【教員数】1,041名、【学生数】10,267名(学域・学部生：7,895名、大学院生：2,341名、その他、非正規生：252名)

② 国際交流の実績 (2016年5月1日現在)

交流協定校数：218機関(43ヶ国、1地域)
大学間交流協定：157機関(37ヶ国、1地域)
部局間交流協定：61機関(20ヶ国、1地域)
留学生在籍数：557名

日本語・日本文化研修生合計受け入れ数：
290名(平成28年度受入れの22期生を含みます)

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

	受入れ実数
2016年度	11名(大使館推薦1名、大学推薦9名、私費1名)
2015年度	18名(大使館推薦4名、大学推薦13名、私費1名)
2014年度	17名(大使館推薦4名、大学推薦11名、私費2名)

■コースの概要

① 研修目的

日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行うもの

② コースの特色

金沢大学日本語・日本文化研修プログラムは参加学生の日本語能力の向上、及び日本社会・文化に対する理解を促進することを目的とした全学習を日本語で行う1年間のプログラムです。

③ 受入定員

15名(大使館推薦：5名、大学推薦：10名)

④ 受講希望者の資格、条件等

本プログラムの受講を出願する者は、以下の要件を満たす者としてします。

日本語能力：日常生活に必要な日本語能力(日本語能力試験N2合格程度)を有し、平易な文章の読み書きができる者

所属学部・学科：海外の大学において、日本語・日本文化に関

する分野を専攻している者

学年：海外の大学において3,4年次に在学中の者

学習姿勢：日本研究に対し意欲的であり、1年間積極的な姿勢で

本コースの学習に専念する意志を有する者

⑤ 達成目標

修了時点で日本語能力検定N1レベルの日本語力、ならびに大学院進学に必要な研究能力の習得を目指します。

⑥ 研修期間

2017年10月1日～2018年8月31日

授業期間：

10月～2月(秋学期)、4月～7月(春学期)

修了研究(発表練習、レポート作成)期間：

8月1日～8月31日

修了式は8月末を予定

⑦ 研修科目の概要

本プログラムの構成は次のとおりです。なお、1科目は15回（1回90分）の講義から成ります。

必修授業科目	授業時間数		
	秋学期	春学期	合計
日本語	90	90	180
技能別日本語	30	30	60
漢字	30	30	60
日本文化演習 I	30	30	60
日本文化演習 II	30	30	60
日本文化体験実習	30	選択	30
調査実習	30	選択	30
修了研究演習	30	30	60
修了研究レポート及び研究発表	-	60	60
合計	300	300	600

1) 必須科目

1. 日本文化科目(各学期開講)

本プログラム専用の日本文化科目として日本文演習 I、II 及び日本文化体験実習の3科目を開講しています。これらの授業科目は日本社会・文化について総合的に学習しながら、直接日本文化に触れることにより、日本に対する自らの見方を形成する機会を与えることを目的としたものです。

(a) 日本文化演習 I

日本文化演習 I では、社会、生活、政治、経済、教育、ジェンダー、若者の文化等の観点から日本社会・文化について概観します。現代日本社会の有り方を考察しつつ、それを手掛かりに自国の社会や「自己」そのものの客観的な捉え方を試みます。学内外の専門家が日本文化の諸局面について講義を行う形で授業を構成しています。

(b) 日本文化演習 II

この科目は前述の日本文化演習 I と連結する形で構成しています。日本文化演習 I で扱った各テーマに関して、演習形式による発表・ディスカッションを行います。演習 I がインプットであることに対し、演習 II はアウトプットに相当することから、演習 I で習得した知見をもとに、「自己」への理解、および日本社会の構造、諸問題についての理解を深めることを目的とします。

(c) 日本文化体験実習(秋学期必修科目、春学期選択科目)

金沢の豊かな伝統文化を直接体験することや実地見学を通して現代日本社会について学ぶことがこの授業の目的です。各分野の第一線で活躍している芸術家・伝統工芸職人に学びながら、その人生観や生き方に触れる貴重な機会を設けています。地域の協力の下、九谷焼体験、輪島塗・蒔絵体験、加賀友禅体験、紙漉き体験、金箔工芸体験、加賀料理体験、和菓子作り体験、茶道体験、坐禅体験、華道体験、琴弾き体験、能楽体験、俳句作り、古い町並み散策、学校訪問、工場見学等の体験を予定しています。

2. 調査実習(秋学期必修科目、春学期選択科目)

日本人学生と合同で少グループを形成し、比較文化的な観点から日本社会・文化についての合同調査・研究を行います。研究方法論を段階的に学びながら、その実践によって研究を進めていきます。実習や訓練を通して、研究方法論や日本語によるプレゼンテーションスキルの習得を目指します。また、日本人学生とのインタビュー調査や討論会なども行います。このような日本人学生との共同学習を通して、より日常的なレベルにおける日本社会に対する理解を深め、それと同時に自国文化の再確認を試みます。この授業は金沢大学の日本人学生との国際交流も主眼においた学生参加型授業です。

3. 修了研究演習(各学期開講)

この授業科目は各自の修了研究に対する個別指導を行うために開講しています。調査実習科目で学んだ研究方法論を応用して、個人の修了研究を段階的に進めながら、定期的に報告を行います。

4. 修了研究レポート及び研究発表(春学期開講)

参加学生は日本に関わるテーマについて、1年間に渡って研究を行い、プログラム終了時に15分間の口頭研究発表を行い、同テーマについてA4用紙15枚以上のレポートを作成し、提出しなければなりません。大学院進学ステップとなるようなオリジナリティーのある卒業論文相当の研究が要求されます。なお、中間発表会を行うために4月初旬に合宿を行います。

5. 日本語科目(各学期5コマ必修)

日本語科目は、金沢大学留学生センター総合日本語プログラムで開講されている授業を履修し、それぞれのレベルに応じて、他の留学生と共に受講します。日本語・日本文化研修生はD～Fレベルのクラスを受講することが最も一般的です。メインコースに加えて、漢字及び技能別日本語の授業を履修します。技能別日本語は読解、聴解、作文及びアカデミック・ライティング、口頭発表、日本人学生との討論等の科目が用意されており、その中で各学生のレベルに合ったものを1学期1つ、ないし2つ履修します。

2) 見学、地域交流等の参加型科目(課外活動)

1. 日本文化体験及び実地見学旅行等の行事

日本文化体験実習の一環として実施する16種類の文化体験及び実地研修の他、プログラムの行事として和服体験、陶芸体験、キリコ祭り参加・能登巡り等を行います。また、他の留学生との合同企画としての研修旅行等にも参加できます。

2. 里親交流プログラム

本プログラムの一環として、1年間に渡って各学生が地域の里親家族と交流を行う「里親交流プログラム」を実施しています。このプログラムでは全体の行事として対面式、文化祭参加、日本料理教室、日帰りバス旅行、各国料理会などを行います。里親との交流を通じて、日本の家庭生活を直接体験しながら、日本人のものの見方・考え方を知ることができます。



授業の様子



能登旅行

3. その他の講義、選択科目等

1. 正規授業科目の履修

それぞれの専攻に関連する関心のあるテーマについて、担当教員の許可を得て、日本人学生向けに開講している一般授業科目の履修が可能です。各学期の初めに一般授業科目履修ガイダンスを行います。



加賀友禅体験



スキー研修

⑧ 年間行事

- 10月 開講式
里親対面式
能登研修旅行
- 12月 里親とのバス旅行
- 2月 修了研究構想発表会
- 4月 中間発表合宿
- 8月 修了研究発表会
能登の祭り参加
修了式

⑨ 指導体制

指導教員：

- 山本 洋 (国際機構留学生センター・准教授,
専門：歴史学, 文学)
- 峯 正志 (国際機構留学生センター・教授,
専門：言語学)

本プログラムの参加学生は留学生センターに所属し、プログラム担当教員が指導教員として学生の学業・生活指導に当たります。研究指導、発表及びレポート作成指導を定期的に個別・全体の両レベルにおいて実施します。なお、様々な専攻の学生の受入を可能にするために、研究指導を行う際に、人間社会学域等のその専門に応じた教員の協力を得ることもあります。日本語担当教員及び日本文化科目の講義担当の学内教員の合計数は約30名にも上ります。

⑩ コースの修了要件

必修授業科目の履修・合格、並びにプログラム終了時の修了研究の口頭発表及びレポート提出が修了要件です。本研修プログラム修了者に修了証書を授与します。また、履修した授業科目、成績評価及び単位数が記載された成績証明書を交付します。

■ 宿 舎

本プログラムの参加学生は以下のいずれかの宿舎に居ることができます。

- 1) 金沢大学国際交流会館
(キャンパス内にある金沢大学の留学生及び外国人研究者用の居住施設。単身者に限ります)
寄宿料, 光熱水費: 月額約3万円
- 2) 金沢大学学生留学生宿舎「先魁」
(キャンパス内にある金沢大学の学生及び留学生及の居住施設。単身者に限ります)
寄宿料, 光熱水費: 月額約3万円

■ 修了生へのフォローアップ

本プログラムの修了生は、所属大学に戻り学位を取得後、例年半数程度が本学もしくは日本国内の他大学の大学院へ進学している。その他、母国で通訳や日系企業に就職するなど、ほとんどの修了生が日本とかかわりのある仕事に就いている。

■ 問合せ先

金沢大学国際機構支援室留学生係
〒920-1192 石川県金沢市角間町

TEL : +81-76-264-5293

FAX : +81-76-234-4043

E-mail: st-exch@adm.kanazawa-u.ac.jp

金沢大学ホームページ

<http://www.kanazawa-u.ac.jp/>

金沢大学留学生センターホームページ

<http://www-isc.ge.kanazawa-u.ac.jp/>

日研ホームページ

<http://www-isc.ge.kanazawa-u.ac.jp/jp/program/nikken/index.html>

指導教員連絡先 E-mail:

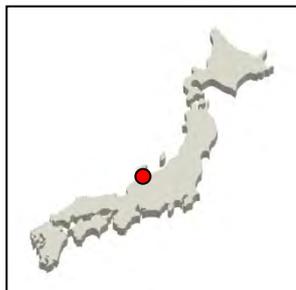
yama@staff.kanazawa-u.ac.jp

mmine@staff.kanazawa-u.ac.jp



兼六園





KANAZAWA UNIVERSITY (ISHIKAWA PREFECTURE)



ACQUISITION OF JAPANESE LANGUAGE PROFICIENCY THROUGH INDIVIDUAL RESEARCH, JOINT STUDIES AND HANDS-ON EXPERIENCES WITH JAPANESE SOCIETY AND CULTURE

◇ University Overview

① Outline of Kanazawa University

1) History and Features

Kanazawa University was founded in 1949 as one of the new national universities, by uniting and reorganizing eight of the high education institutions then in operation, including Kanazawa Medical College, which dates back to 1862. The university has continued to expand since, and now has a total of 3 colleges and 16 schools on its two campuses (Kakuma and Takaramachi): (1) College of Human and Social Sciences consisting of the School of Humanities, School of Law, School of Economics, School of Teacher Education, School of Regional Development Studies and School of International Studies, (2) College of Science and Engineering consisting of the School of Mathematics and Physics, School of Chemistry, School of Mechanical Engineering, School of Electrical and Computer Engineering, School of Environmental Design and School of Natural System, (3) College of Medical, Pharmaceutical and Human Sciences consisting of the School of Medicine, School of Pharmacy, School of Pharmaceutical Sciences and School of Health Sciences. It also has five graduate schools offering degrees in Education, Medical Science, Human and Socio-Environmental Studies, Natural Science and Technology and Law.

2) Number of Academic Staff and Students

(As of May 1, 2016)

[Number of Academic Staff]: 1,041

[Number of Students]: 10,267

(Undergraduate: 7,895, Graduate: 2,341,

Other and Non-degree: 252)

② International Links (As of May 1, 2016)

Partner Institutions: 218 (43 countries, 1 region)

;University-Level: 157, Department-Level: 61,

Number of international students: 557

Total number of Japanese Language and Culture Program students accepted: 290(including students of year 2016)

③ Number of Japanese Language and Culture Program students

	Accepted students
2016	11 (Embassy nominees:1, University nominees:9, Non-scholarship students:1)
2015	18 (Embassy nominees:4, University nominees:13, Non-scholarship students:1)
2014	17 (Embassy nominees:4, University nominees:11, Non-scholarship students:2)

④ Features of the city

Kanazawa is one of the largest cities on the Japan Sea coast, which still retains the calm atmosphere of an old castle town through its old architecture and rich traditional culture. It is well known for its traditional arts and crafts, classical performing arts and for the famous Japanese garden at Kenrokuen. The four seasons adorn Kanazawa, with the surrounding sea and mountains further emphasizing its natural beauty.

◇ Program Outline

Name of the Program: Japanese Language and Culture Program, Kanazawa University

① purpose of the course

A course mainly about Japan and Japanese culture with supplementary study to improve Japanese language proficiency.

② Unique aspects of the course

This program aims to provide students from overseas with an opportunity to improve their proficiency in Japanese language and to deepen their understanding of Japanese culture and society. It is a one year program conducted solely in Japanese.

③ Number of Students to be accepted : 15

(Embassy nominees:5, University nominees:10)

④ Qualifications and Requirements for Application

Applicants must satisfy the following conditions:

(1) Applicants must have sufficient Japanese language ability to converse, read and write basic Japanese (a level equal to that of Japanese Language Proficiency Test Level N2).

(2) Applicants should be majoring in a field relevant to Japanese language or culture in their home university.

(3) Applicants must be a junior or a senior student at their home university.

(4) Applicants should be prepared to devote themselves to studies of this program throughout the year. Enthusiasm regarding research work and class participation is a must.

⑤ Aim of the Course

Students should strive to master their field of research and have an aptitude in Japanese equivalent to N1 at the completion of their stay.

⑥ Course Duration

From October 1, 2017 to August 31, 2018 (including the independent research period)

Semesters :

October - February (Autumn Semester)

April - July (Spring Semester)

Oral Presentation Practice and Report Writing Period :

August 1 - August 31

⑦ Outline of Courses Offered

(length of 1 course = 15 weeks, length of one lecture = 90minutes)

COMPULSORY COURSES	Class Hours		
	Autumn	Spring	Total
Japanese	90	90	180
Specific Skills in Japanese	30	30	60
Kanji	30	30	60
Japanese Culture Seminar I	30	30	60
Japanese Culture Seminar II	30	30	60
Workshop on Japanese Culture Seminar	30	Elective	30
Survey and Training Seminar	30	Elective	30
Completion Research Seminar	30	-	60
Completion Research Paper and Presentation	-	60	60
Total	300	300	600

1. Compulsory Courses

1) Japanese Culture Courses

(a) Japanese Culture Seminar I (Autumn and Spring)

This course provides the students with a general view of Japanese society and culture, ranging from politics, economics, education and gender issues to the youth culture of today. Lessons take the form of lectures given by specialists from each respective field.

This course aims to not only provide students with firsthand knowledge of present day Japan, but also to have them attain an objective view of society at large which would be applicable to their own countries of origin and, also, to themselves as members of those societies.

Since each section consists of a presentation session followed by a debate, active class participation is a prerequisite.

(b) Japanese Culture Seminar II (Autumn and Spring)

This course is linked with the Japanese Culture Seminar I. It consists of presentations and discussions centered around each of the themes presented by the previous seminars.

The goal of the course is to deepen students' understanding of the composition of Japanese society and the various social issues that affect it. Whereas the initial Culture classes are intended to impart the necessary information to the students, this second stage is geared towards solidifying this knowledge on a more personal basis. Namely, by shaping it through the own personal beliefs and cultural background of each student during discourse with other class members.

(c) Workshop in Japanese Culture

(Autumn: Compulsory, Spring: Elective)

This course provides students with 'hands-on' experiences with Japanese culture. Students will have the opportunity to learn from experts in each respective field, who have devoted their lives to the perfection of their skills, and to give the students a glimpse at the philosophy governing their lives. Through experiencing Kutani pottery, Makie art of Wajima lacquer ware, Kaga Yuzen silk-dyeing, Japanese paper craft, gold leaf, traditional Kaga cuisine and the making of Japanese rice cakes, tea ceremony, Ikebana, Zen meditation, Noh drama, Koto, Haiku poetry, visits to Japanese schools and ateliers etc. students will hopefully acquire a firsthand knowledge of the culture.

2) Survey and Training Seminar

(Autumn: Compulsory, Spring: Elective)

Students will conduct joint research relating to the Japanese language or culture, in mixed groups with Japanese students. Guidance is provided on research methodology and on improving presentation skills. Furthermore, interview surveys will be held with Japanese students leading up to discussions on current issues. Through joint surveys and research projects, this course aims to enhance the level of international exchange with the Japanese students.

3) Completion Research Seminar (Autumn and Spring)

Students will give presentations on a regular basis on their own research topics, in accordance with a set research plan enabling them to conduct their research step by step.

4) Completion Research Paper and Presentation (Spring only)

Students are required to conduct a research paper on a topic concerning Japan and to give a 15 minute-oral presentation along with submitting a 15 A-4 sized research paper on the same topic for the completion of the program. Guidance on research methodology will be given in the Survey and Training seminar in addition to individual advice given at the Completion Research seminar. The final oral presentation on students' respective topics will be held in August.

Furthermore, a two day camping trip will be held during early April where each student will give an interim report on their respective research.

5) Japanese Language Course (5 classes per week)

Students will take Japanese courses offered by the Integrated Japanese Language Program with other international students according to their levels. In most cases, students of this program are assigned to D, E or F levels and they are required to take comprehensive classes and Kanji class.

Also, they will choose one or two classes from skill-specific classes including reading, writing/academic writing, oral presentation and discussion.

2. Field Trip and Cultural Exchange (Extra-curricular)

1) Cultural Activities and Field Trips

In addition to cultural activities conducted as part of the Workshop in Japanese Culture, dressing up in kimono, Noh theater, calligraphy, pottery, participation in festivals, bus trips with Sato-oya families, etc. are arranged.

2) Exchange Activities with Sato-oya Families

Each Student will be introduced to a Japanese family who will serve as his/her 'Kanazawa Family' throughout the year. This program enables students to view Japanese lifestyle from an insider's perspective, and experience Japanese ways of thinking.



Class



Festival in Noto

3. Elective Courses

1) Courses offered by other faculties

In addition to the aforementioned compulsory courses, students are encouraged to take courses related to their field of research regularly offered by various faculties to the Japanese students. At the beginning of each semester guidance will be given on the registration procedures for these courses.



KagaYuzenshi k-dyeing



Skiing in Hakusan

⑦ Events

October: Opening Ceremony

Meeting with Sato-oya,

Field Trip to Noto

December: Bus Trip with Sato-oya

February: Presentation of Research Plan

April: Interim Presentation Camp

August: Oral Presentation of Completion Research

Trip to Festivals in Noto

Closing Ceremony

⑧ Advisory System

Hiroshi Yamamoto

(Associate Professor, International Student Center,
Organization of Global Affairs, specialty : History, literature)

Masashi Mine

(Professor, International Student Center, Organization of
Global Affairs, specialty : Linguistics)

Supporting Academic Staff: 30 (Japanese teaching staff and
members of other faculties giving lectures in Culture
Seminars)

The chief coordinator of the program serves as the academic
supervisor and provides the students with guidance and
academic advice on carrying out their respective research,
preparing for presentations and writing their reports.

Assistance of faculty members from the College of Human
and Social Sciences might be obtained in giving academic
advice on certain research topics. Individual guidance is also
provided on selecting elective courses each semester.

The chief coordinator of the program can provide the
students with advice on student life. Furthermore, they are
able to use the counseling system available to all international
students.

⑨ Conditions for Completion of the program, and Completion Certificates

In order to complete the program successfully, students must
pass all compulsory courses, give a public oral presentation at
the end of the program on their respective research topics,
and submit a research paper on the same topic.

A completion certificate will be issued to those who have
successfully fulfilled the aforementioned conditions. In addition
to this certificate, students will be provided with an academic
transcript in which their grades for Japanese Language
classes and compulsory courses of the program and other
courses taken will be recorded.

◇ Follow-up

Every year, after obtaining a degree at their home universities,
about half of the students who have completed this program
come back to Japan and enroll in a graduate school of
Kanazawa University or other universities. Also, most of the
other students find a job as a translator or as an employee in
a Japanese company.

◇ Accommodation

Students will stay in one of the two accommodation
facilities given below.

1) Kanazawa University International House
Located within the campus, accommodating
international students and researchers studying at
Kanazawa University (only single rooms are
available).

Rent and Utility fees : Approx. ¥30,000

2) Kanazawa University Student/International
Student Dormitory "SAKIGAKE"
Located within the campus, accommodating
international students and researchers studying at
Kanazawa University (only single rooms are
available).

Rent and Utility fees : Approx. ¥30,000

◇ Contacts

Kanazawa University, International Student Section,
Global Affairs Support Office

Address: Kakuma-machi, Kanazawa 920-1192, Japan

TEL : +81-76-264-5293

FAX : +81-76-234-4043

E-mail: st-exch@adm.kanazawa-u.ac.jp

Kanazawa University Homepage

<http://www.kanazawa-u.ac.jp/e>

Kanazawa University International Student
Center Homepage

[http://www-isc.ge.kanazawa-
u.ac.jp/eg/index.html](http://www-isc.ge.kanazawa-u.ac.jp/eg/index.html)

NIKKEN Homepage

[http://www-isc.ge.kanazawa-
u.ac.jp/eg/program/nikken/index.html](http://www-isc.ge.kanazawa-u.ac.jp/eg/program/nikken/index.html)

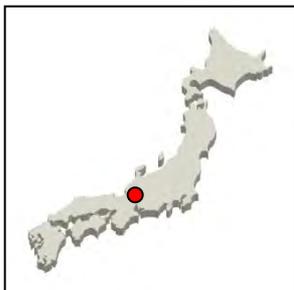
E-mail Address of the Program Coordinators:

yama@staff.kanazawa-u.ac.jp

mmine@staff.kanazawa-u.ac.jp



Kenroku-en Garden



福井大学 (福井県)



充実した個別指導と学生のニーズに即したカリキュラムの作成

■大学紹介

① 大学の特色および概要

1) 概要

福井大学は、教育学部、医学部、工学部、国際地域学部の4学部、および大学院教育学研究科、大学院医学系研究科、大学院工学研究科の3研究科からなる。

2) 教員・学生数 (2016年5月時点)

学生数 (正規生) :	学部生	4,083名
	大学院生	994名
教員数 :		539名

② 国際交流の実績 (2016年10月時点)

留学生在籍数 : 200名 (24カ国・地域)
学術交流協定数 : 50 (大学間)、52 (部局間)

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2016年	留学生数	188人
	日本語・日本文化研修留学生数	1人
2015年	留学生数	175人
	日本語・日本文化研修留学生数	2人
2014年	留学生数	196人
	日本語・日本文化研修留学生数	3人

④ 福井市の特色

福井市は、日本のほぼ中央に位置し、美しい自然と豊かな文化遺産に恵まれたところである。日本海に面し、古くは大陸諸国と都を結ぶ玄関口として重要な位置を占め、その長い歴史と伝統、そして四季折々の変化に富んだ美しい自然は、日本の典型的な風情を漂わせている。

■コースの概要

① コースの特色

- ・日本語能力を向上させ、日本文化について理解を深めることを目的とする。
- ・本学の他のクラスの留学生や日本人学生と同じように共通教育科目及び専門科目に出席し、単位の取得を目指す。
- ・各学期7科目以上受講すること。
- ・授業科目 : 日本語・日本文化研修留学生のための特別な授業科目はない。

② 受入定員

5名 (大使館推薦3名、大学推薦2名)

③ 受講希望者の資格、条件等

このコースを受講希望するには、以下の条件を満たすことが望ましい。

1) 日本語能力

- ・日本語能力検定試験N2以上

2) 日本研究学習歴、専攻

- ・日本語・日本文化・教育などに関心があること。
- ・関心のある分野での研究学習歴があること。

④ 達成目標

コース修了時には、日本語能力検定試験N1程度の能力を有することを旨とする。

⑤ 研修期間

2017年10月1日～2018年9月30日



【文京キャンパス】

⑥ 研修科目の概要

授業は原則として、前期・後期各15週開講する。以下の必須科目および選択科目から、各学期7科目以上受講すること。各科目の内容は変更となる場合がある。

1) 必須科目

【日本事情A（春期）】

(2単位/30時間)

日本社会の現状（生活、少子高齢化、等）について述べられた文章（日本語）を読み、その大意を理解し（読む力）、テーマについて意見を述べ（話す力）、かつ意見文を書く（書く力）という3つの能力の向上に努めることによって、日本社会に関する教養を深める。

【日本事情B（秋期）】

(2単位/30時間)

福井大学で学ぶ留学生が福井県に興味関心を持ち、福井県に関する知識教養を深める。そこで得た知見に基づいて、留学生の視点から福井県の魅力を発掘し、それを世界に向けて発信できるようにすることを目標とする。

2) 選択科目

【日本語A（中級）】（1単位/30時間）

大学の専門科目の授業で要求されるレポート執筆に必要な語彙・表現を学び、論旨の明確な文章を書くことができるようになる。

【日本語B（中級）】（1単位/30時間）

日本語で十分にコミュニケーションがとれるように、日本語として自然な会話の流れを作ったり、場面に応じた適切な言い方ができたりするようにするとともに、コミュニケーションの前提にある、最低限必要な知識を得ることができる。

【日本語C（中級）】（1単位/30時間）

初級文型を習得した学習者を対象とする。初級で学んだ文型表現の様々なバリエーションを学び、具体的な状況を想定した会話練習を行うことで、場面に応じた適切な会話ができるようになることを目標とする。

【日本語D（中級）】（1単位/30時間）

日本語で書かれたエッセイ、評論文など、内容のあるまとまった分量の読み物を読んで、読解する能力を養うことを目的とする。

【日本語E（上級）】（1単位/30時間）

日本語で書かれた著名な小説、エッセイ、評論文など、内容のあるまとまった分量の読み物を読んで、読解する能力を養うことを目的とする。

【日本語F（上級）】（1単位/30時間）

新聞記事や雑誌、ネット上の書き込み、ニュースなど、生の日本語教材の読解を行い、それについて自分の意見をまとめて書くあるいは話す訓練を行う。特に、予測して読む技術を習得し、効率よく読めるようになることを目標とする。

【日本語G（上級）】（1単位/30時間）

依頼、許可、謝罪、誘う、申し出、助言、不満、ほめるなど、それぞれの場面で、相手に応じた表現を使って目的を達成できるようにする。

【日本語H（上級）】（1単位/30時間）

講義やゼミなどで自分の意見、主張等をパワーポイントや図表を用いながら、わかりやすい日本語で論理的に示すことができる。

【応用日本語I（上級）】（2単位/30時間）

読み物を通して、日本企業における職場のマナーやコミュニケーションを学ぶ。また、それを通して、現代日本の社会や文化を理解する視点を養う。同時に、語彙力、表現力の向上を図る。

【応用日本語II（上級）】（2単位/30時間）

番組作成（ビデオまたは音声）を通じて、わかりやすい日本語で情報を発信したり、日本語による情報収集を行う技術を身につけたりする。また、自分の興味があることや独自の視点を掘り下げることににより、それらについて理解を深める。さらに、話し方や情報の出し方を客観視することにより、それらを改善していく。

【日本の文化】（2単位/30時間）

この授業では日本家庭にホームステイした留学生が巻き起こす出来事を描いたマンガを通して、日本人の考え方や季節感、現代日本の家族関係など、日本についての理解を深める。

【多文化コミュニケーションA】

【多文化コミュニケーションB】

【多文化コミュニケーションC】

(各2単位/30時間)

国境を越えて多面的な交流が進むグローバル化時代には、異なる価値観や世界観を互いに理解し、認め合い、互いが協力して諸問題を解決し、仕事を組み立てられる人材が求められる。このクラスでは、その基礎となる力を育む。

【共通教育科目・専門科目】

本人の希望により、その他の共通教育科目、および教育学部・工学部・国際地域学部の特設科目の中から適宜受講できる。

⑦ 年間行事

- 1月 留学生と教職員との交歓会
- 1～2月 留学生向けスキー旅行
- 8月 サマーキャンプ
- 12月 見学旅行

その他、各種学生イベントを実施している。
また、地方自治体や民間団体主催の見学会・
交流活動等も随時実施されている。



【スキー旅行】

⑧ 指導体制

- 1) プログラム実施機関
国際センター

2) 指導体制

留学生一人一人に受入教員をつけ学業面の指導
を行う。生活面については国際課が支援する。

⑨ コースの修了要件

必修科目2科目、選択科目8科目を含む20単
位以上を修得すること。

■宿 舎

留学生会館

- 部屋数 29室（単身用：25、夫婦用：2、家族用：2）
- 宿舎費月額
単身用： 5,900円、夫婦用：11,900円、家族用：14,200円
共益費： 3,000円
（水道光熱費、洗濯機使用料含まず）
（インターネット使用の場合別途契約）
- 宿舎設備・備品
ミニキッチン、ユニットバス、トイレ、机、イス、ベッド、
冷蔵庫、本棚、スタンド、空調機等

国際交流学生宿舎

- 部屋数 209室（日本人学生との混住）
- 宿舎費月額
単身用のみ：5,700円（共益費込）
（水道・電気料、洗濯機使用料含まず）
（インターネット使用の場合別途契約）
- 宿舎設備・備品
ミニキッチン、トイレ、机、イス、ベッド、冷蔵庫、本棚、
空調機等
- 共用設備
シャワー、洗濯機、乾燥機（各1回100円）

宿舎周辺の生活情報・通学時間

キャンパスまでは歩いて5分。周辺には、電車の駅や、
スーパーマーケット等がある。
大学宿舎の入居期間は1年のみ。
空室が少ないため、希望者全員が入居できるとは限らない。
入居できない場合は民間アパートに入居。その費用について
は、各自負担。
（参考：市内のアパート家賃月額 30,000～40,000円）

■修了生へのフォローアップ

本学では、留学生同窓会をアジアを中心に
現在までに15支部を設立し、各国支部と
連携している。
その活動を推進するために、国際センター
ネットワーク誌「こころねっと」を発行
し、帰国留学生と情報交換を行っている。

■問合せ先

（担当部署）

福井大学学務部国際課

住所 〒910-8507

福井県福井市文京3丁目9番1号

TEL +81-776-27-8406（直通）

FAX +81-776-27-9715

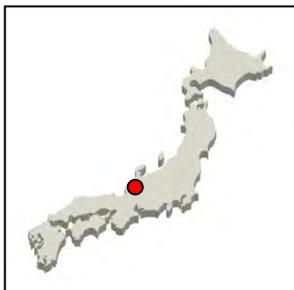
E-mail grryugaku-k@ad.u-fukui.ac.jp

福井大学国際センターホームページ

<http://ryugaku.isc.u-fukui.ac.jp/>

福井大学ホームページ

<http://www.u-fukui.ac.jp/>



University of Fukui



Fruitful instruction and flexible curriculums that satisfy each student

■ Overview of University of Fukui

① Organization

University of Fukui has four schools: the School of Education, the School of Medical Science, the School of Engineering, and the School of Global and Community Studies.

It also has three Graduate Schools: the Graduate School of Education, the Graduate School of Medical Sciences, and the Graduate School of Engineering

Number of Degree-Seeking Students and Academic Staff

(as of May 2016)

- Undergraduates:	4,083
- Graduates:	994
- Academic Staff:	539



[Bunkyo Campus]

② International Exchange (as of October 2016)

- International Students: 200 (24 countries/regions)
- Academic Exchange Agreements: 50 (university level)
52 (faculty level)

③ Number of International Students and Japanese Studies Students

2016	International Students	188
	Japanese Studies Students	1
2015	International Students	175
	Japanese Studies Students	2
2014	International Students	196
	Japanese Studies Students	3

④ Environmental Features

University of Fukui is located in the center of Fukui City, the biggest city in Fukui Prefecture. Fukui City is situated in the central part of Japan and is blessed with both natural beauty and rich cultural heritage. Facing the Sea of Japan, Fukui played an important role in ancient times as a gateway to and from continental Asian countries, and it still retains many relics that reflect its long history and tradition. Fukui is a beautiful place which changes its appearance in each season.

■ Outline of the Program

① Outline

- This program is designed to improve your proficiency in Japanese and to deepen your understanding of Japanese culture.
- You shall take courses in specialized and/or interdisciplinary fields on campus and gain credits.
- You shall take seven courses or more in each semester.
- We offer no course specially designed for the students of this program.

② Number of students to be accepted: 5

- (3 Embassy recommended students and
2 University recommended students)

③ Qualifications of applicants for the program

It is expected that applicants meet the following conditions:

(1) Proficiency in Japanese Language

- Applicants shall have proficiency in Japanese equivalent to or above level 2 of the Japanese Language Proficiency Test.

(2) Academic Background, Majors

- Applicants shall have interests in Japanese language, culture, education, and other related fields of study.
- Applicants shall have research/study background in the fields of interest.

④ Program goal

It is expected that program participants have Japanese ability at about N1 level of the JLPT at the end of the program.

⑤ Period of the program

October 1, 2017 – September 30, 2018

⑥ Course outline

Each semester (Fall and Spring) offers 15-week courses. Program participants shall take seven courses or more from the following compulsory and elective courses in each semester. The course outlines are subject to change.

(1) Compulsory courses

Japanese Affairs A – Spring Semester
(2credits/30hours)

The course is designed to improve reading, speaking and writing skills in Japanese and to deepen students' understanding in Japanese society by reading about life in Japan, aging society, etc.

Japanese Affairs B – Fall Semester
(2credits/30hours)

The course is designed to draw students' interest in Fukui prefecture and extend their knowledge about it. By doing so, students will be able to find something attractive about Fukui from each student's point of view and send this message to the world.

(2) Elective courses

Japanese A (Intermediate) (1credits/30hours)

The objectives of this course are to acquire vocabulary and expressions necessary in writing academic reports and to be able to compose with clear points of argument.

Japanese B (Intermediate) (1credits/30hours)

The course is designed for students to be able to create smooth flow of conversation, use appropriate expression in each context, and acquire knowledge necessary in communicating in Japanese.

Japanese C (Intermediate) (1credits/30hours)

The course is designed for students who have learned beginner level sentence patterns. The objective of the course is to learn variations of sentence patterns and apply them in conversation in different situations.

Japanese D (Intermediate) (1credits/30hours)

The focus of the course is to improve students' reading skills by reading substantial readings such as essays and reviews.

Japanese E (Advanced) (1credits/30hours)

The focus of the course is to improve students' reading skills by reading substantial readings such as famous novels, essays, and reviews.

Japanese F (Advanced) (1credits/30hours)

In this course students will read materials used in the real world such as news and magazine articles, comments on the Internet, and TV news, and practice building their opinions and expressing them orally as well as in writing. At the end of the course, students are expected to acquire effective reading skills that allow them to predict what is written ahead while reading.

Japanese G (Advanced) (1credits/30hours)

The objective of the course is to be able to use appropriate expression in different situations such as requesting, giving approval, apologizing, inviting, offering, advising, complaining, and praising, depending on the person one is speaking to.

Japanese H (Advanced) (1credits/30hours)

The objectives of the course is to express students' opinion in Japanese in clear and logical manner while using PowerPoint and chart, etc.

Applied Japanese I (Advanced) (2credits/30hours)

Students will learn business manner and way of communication in Japanese companies through readings. By doing so they will not only cultivate their view point of understanding modern Japanese society and culture, but also improve their vocabulary and expression skills.

Applied Japanese II (Advanced) (2credits/30hours)

Students will learn how to gather information and send effective and clear message in Japanese through creating audio program (video or sound). Also through this activity, students will look more deeply at, and deepen their understanding of, their interest and view points.

Japanese Culture (2credits/30hours)

The teaching material for this course is a Japanese cartoon about stories of an international student who home stays in a Japanese family. Using this material, students will deepen their understanding in Japanese culture such as Japanese ways of thinking, sense of season, and relationship between family members.

Multicultural Communication A

Multicultural Communication B

Multicultural Communication C

(2credits each/30hours)

The globalized society seeks human resources who understand and respect cultural differences in values and world views, and cooperate each other to solve problems in their jobs. This course is designed to cultivate such competence and prepare students for the globalized society.

Interdisciplinary courses and specialized courses

You may take other interdisciplinary courses as well as specialized courses offered by the Faculty of Education, Faculty of Engineering, and Faculty of Global and Community Studies.

⑦ Tours, events, etc.

January Get-together Party with University Faculty Members and Staff
January – February Ski Trip
August Summer Camp
December Day Trip

There are also various student-organized activities as well as other programs/events organized by the local government and volunteer groups.



[Ski trip]

⑧ Supervision

1) Program Committee
International Center

2) Supervision

A faculty member will be assigned to each student as academic advisor, while the staff in the International Affairs Division supports students in various aspects of their lives in Japan.

⑨ Completion of the Program

In order to complete the program you shall earn twenty or more credits, including the credits of two compulsory courses and eight selective courses.

■ Accommodations

Overseas Student House

- Number of rooms: 29
(Single room: 25, Couple room: 2, Family room: 2)
- Expense
 - Monthly rent
Single room: 5,900 JPY, Couple room: 11,900 JPY,
Family room: 14,200 JPY
 - Monthly administrative fee: 3,000 JPY
 - Other expense: use of washing machine, utility, and internet contract will be charged individually.
- Facilities
Mini-kitchen, unit bath, toilet, desk, chair, bed, refrigerator, book shelf, air conditioner, etc.

UF Student Dormitory (for Japanese and International Students)

- Number of rooms: 209
- Monthly rent
Single room: 5,700 JPY (administrative fee included)
(Utility and use of washing machine excluded)
(Internet contract can be charged individually)
- Facilities
Mini-kitchen, toilet, desk, chair, bed, refrigerator, shelf, clock air conditioner, etc.

Information for Daily Life

Overseas Student House and UF Student Dormitory are located within five-minute walk from the university campus.

There are a local train station and supermarket near the accommodation.

We cannot assure you the accommodation in the above facilities due to the limited number of rooms. The term of residence is limited to one year.

In case students are not provided with above rooms, they need to find an private apartment. Students are responsible for paying the apartment rent (approximate monthly rent is 30,000 to 40,000 JPY).

■ Follow-up for graduates

University of Fukui has established 15 Alumni Branches around the world to promote stronger alumni networks. The alumni magazine, *Kokoro-net*, is published annually to maintain and foster mutual interactions with UF graduates.

■ Contact

Address : 3-9-1 Bunkyo, Fukui-shi
Fukui 910-8507, Japan

Department : International Affairs Division

TEL : +81-776-27-8406

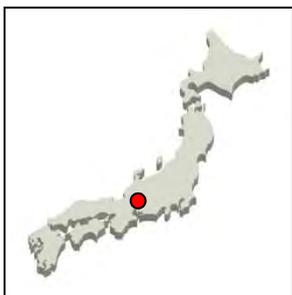
FAX : +81-776-27-9715

E-mail : grryugaku-k@ad.u-fukui.ac.jp

International Center URL:

<http://ryugaku.isc.u-fukui.ac.jp/>

University URL: <http://www.u-fukui.ac.jp>



岐阜大学 (岐阜県)



日本語をみがく秋学期、日本文化に親しみ論文に集中する春学期

■大学紹介

① 大学の特色および概要

●岐阜大学は、5学部、8大学院研究科、学内共同教育研究支援施設、全国共同利用施設、図書館、医学部附属病院などからなる総合大学です。本学は「大学院教育改革支援プログラム」「戦略的大学連携支援事業」に採択されるなど、広い分野にわたって質の高い教育・研究が行われています。

●岐阜大学のある岐阜市は、東京から約2時間（新幹線利用）、大阪や京都から約1時間（同）、名古屋から約20分という交通の便に恵まれた地方都市です。キャンパスのある柳戸地区は、岐阜駅からバスで約30分、自然豊かな田園地帯にあります。静かな環境に恵まれ、落ち着いた雰囲気の中で勉学に集中することができます。

●学部及び学生数等（平成28年5月現在）

○学部＝教育学部・地域科学部・医学部・工学部・応用生物科学部

○大学院＝教育学研究科・地域科学研究科・医学系研究科・工学研究科・応用生物科学研究科・連合農学研究科・連合獣医学研究科・連合創薬医療情報研究科

○教員 849名

○学生 学部生 5,707名 大学院生 1,589名
研究生・聴講生 126名 合計 7,422名

② 国際交流の実績（平成28年10月現在）

●現在、17か国46大学1機関と学術交流協定を結んでおり、活発な国際交流を行っています。

●留学生在籍数 366名（約7割が大学院生、29か国から）

●外国人研究者在籍数 14名

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績（平成28年10月現在）

2016年：留学生数 366人、日本語・日本文化研修留学生 4人

2015年：留学生数 350人、日本語・日本文化研修留学生 10人

2014年：留学生数 326人、日本語・日本文化研修留学生 10人

④ 地域の特徴

●岐阜県は、日本のちょうど中央にあります。北部には高い山々が連なり、南部には清らかな川が流れています。日本の美しい自然と古き良き文化が残っており、伝統と現代とが調和した生活が見られる地域です。織田信長が城を構えた地としても有名です。

●岐阜県には、高山・郡上など、全国的に有名な観光地があります。岐阜市でも、中央を流れる長良川では伝統的な鵜飼が行われ、そのほか多くの文化資源に恵まれています。

●岐阜市は、人口約40万人の中規模都市です。大都市より物価が安く、地域コミュニティー間の交流も活発なので、留学生生活を送るのに適した地域です。



■コースの概要

① 研修目的

日本語能力の向上のための研修を主とし、補助的に日本事情・日本文化に関する研修を行う約1年間のコース(b)です。

② コースの特色

●日本語能力のレベルに応じて、日本語クラスを受講することができます。そのため、段階的で効果的な日本語能力の向上が可能となっています。

●多彩な日本文化科目を開講しています。受講生の興味・関心に従ってこれらの科目を受講することになります。

●1年間(秋期・春期)で効果的な学習ができるよう、本コース受講生対象のクラスを設けています。

●能・狂言・歌舞伎・相撲の鑑賞、茶道実習、博物館見学などを行い、伝統文化に触れます。

●岐阜県内(郡上市・土岐市など)および近県へ数回、見学や実習の旅行に行きます。

●岐阜大学留学生対象の旅行にも参加することができます。

●日本人学生と交流するクラスも設置しています。また、日本人学生および学部留学生用の授業を履修することも可能です。

●日研生をサポートするチューターがいます。

●本コース修了後、日本の大学院に再留学する修了生も少なくありません。

●修了生の感想をぜひごらんください：

[http://www1.gifu-](http://www1.gifu-u.ac.jp/~isc/jp/international/jp_program/voice/)

[u.ac.jp/~isc/jp/international/jp_program/voice/](http://www1.gifu-u.ac.jp/~isc/jp/international/jp_program/voice/)

③ 受入定員

10名（大使館推薦5名、大学推薦5名）

※大使館推薦の学生は優先的に受け入れます。

④ 受講希望者の資格、条件等

●在籍大学において日本語・日本文化を主専攻とする学部学生（2年生以上）であること。

●日本語能力試験N2合格以上、あるいはそれに相当する日本語力を有していること。



⑤ 達成目標

●日本語能力の向上を目指すとともに（日本語能力試験N1合格以上）、実体験を通して日本文化についての広い知識を学びます。

●修了論文作成を通して、研究および論文執筆の基礎を身につけます。

⑥ 研修期間

2017年10月1日 ～ 2018年8月31日

修了式は8月末を予定（2017年は8月23日）

⑦ 研修科目の概要

●授業は秋期・春期原則各15週開講されます。

●必要単位数は42単位です。

●授業科目名は変更される場合があります。

1) 必須科目

●一週間あたりのコマ数(1コマ=90分)は下記のとおりです。

【授業科目及び授業コマ数・単位数】

授業科目	秋期	春期	計
総合日本語	5 (5単位)	—	5 (5単位)
全学共通教育科目	—	2 (4単位)	2 (4単位)
日本語読解演習	1 (2単位)	1 (2単位)	2 (4単位)
日本語文章表現	1 (2単位)	1 (2単位)	2 (4単位)
日本語口頭表現	1 (2単位)	1 (2単位)	2 (4単位)
日本語聴解演習	1 (2単位)	1 (2単位)	2 (4単位)
現代日本の社会	1 (2単位)	—	1 (2単位)

近代化と日本人	1 (2単位)	—	1 (2単位)
クロスカルチャーコミュニケーション	1 (2単位)	—	1 (2単位)
日本の表象文化	1 (2単位)	—	1 (2単位)
地域実見	1 (2単位)	—	1 (2単位)
岐阜の地域文化	—	1 (2単位)	1 (2単位)
論文指導	—	1 (1単位)	1 (1単位)
修了論文	—	4 (4単位)	4 (4単位)
合計	14 (23単位)	8 (19単位)	22 (42単位)

【日本語科目】

●「総合日本語」

中上級レベルの文法・語彙・口頭表現・文章表現など、総合的な日本語能力の向上をはかります。

●「日本語読解演習」「日本語文章表現」「日本語口頭表現」「日本語聴解演習」
個別の日本語能力の上達をめざします。

【日本文化科目】

●「現代日本の社会」「近代化と日本人」「日本の表象文化」「地域実見」「岐阜の地域文化」

日本の社会と文化を学び、自国の社会と文化との相違を認識します。これらは本コース受講生のために設定されている科目です。

●「クロスカルチャーコミュニケーション」

日本人学生とのディスカッションを通して、多文化社会についての理解を深めます。

【論文指導】

問題意識を高めた上で、論文の作成に進みます。論文完成後、岐阜大学サテライトキャンパスで論文発表会を開催します。

●2016年度日本語・日本文化研修生の修了論文テーマ

- ・日本独特のマスク文化
- ・なぜスマートフォン・ゲームに課金するのか
- ・人間と塩の関係
- ・キリスト教の視点から見る日本
- ・中国の美容美髪所と日本の理容美容所における問題点と特徴
- ・在日朝鮮語における発音分析
- ・日タイにおける障がいをもつ学生への対応
- ・日本における公共広告

2) 見学、地域交流等の参加型科目

秋期には、県内見学旅行、伝統衣装装着体験が、春期には、能楽ワークショップ、茶道実習、陶芸体験、大相撲観戦、歌舞伎鑑賞等が予定されています。「地域実見」では、岐阜城や博物館の訪問、柿狩体験や岐阜和傘製作も行います。

3) その他の講義、選択科目等

大学の全学共通科目を選択して、日本語・日本文化研修コースの一部として履修することも可能です。ただし、十分な日本語能力と担当教員の許可が必要です。

⑧ 年間行事

10月：秋学期ガイダンス・開講式

11月：大学祭、県内見学旅行

12月：論文テーマ決定、日本の伝統衣装

4月：春学期ガイダンス・茶道実習（～7月）

5月：郡上踊りワークショップ

6～7月：陶芸体験・大相撲観戦・能楽ワークショップ

7月：歌舞伎鑑賞

8月：修了論文提出・修了論文発表会・論文審査・成績判定・修了式



⑨ 指導体制

- 留学生センター教員が責任教員（指導教員）となり、責任をもって勉学・生活面の指導をします。
- 責任教員のほかに、留学生の専門分野や興味・関心をもつ分野の関係教員が、協力教員として指導にあたります。

【責任教員】

氏名	所属	職名	専攻
森田晃一	留学生センター	教授	日本文化史
土谷桃子	留学生センター	准教授	日本文学

【協力教員】

他の留学生センター教員、地域科学部・教育学部の教員、非常勤講師など

⑩ コースの修了要件

- 日本語・日本文化研修コースで規定されている講義科目を受講し、出席率を満たした上で、一定の成績を修めて必要単位を取得すること、修了論文を執筆し口頭発表することが修了要件です。
- 単位認定・単位互換は、在籍大学との交渉を通じて可能です。在籍大学に確認してください。



■ 宿 舎

- 岐阜大学には、大学内に外国人留学生・研究者用の宿泊施設である国際交流会館があります。
- 日本語・日本文化研修コース受講生は、この宿舎が優先的に提供されます。過去の本コース受講生は、全員本宿舎に入居しています。



【国際交流会館】

鉄筋コンクリート4階建（A棟）・5階建（B棟）
部屋数 単身室69室・夫婦室14室・家族室7室
(単身室A棟5,900円/月・B棟4,700円/月)



■ 修了生へのフォローアップ

- 岐阜大学の日研生コース修了者の特色は、再来日し日本の大学院に入る学生が多いことです。日本への再留学を希望する学生には、随時進路相談に乗っています。
- 過去には、岐阜大学をはじめ、全国各地の国立大学の大学院に進学しています。
- 大学院修了後、日本で就職した学生、帰国して日系企業に就職した学生がいます。
- 本コース修了生がたびたび岐阜大学を訪問してくれることを、とても嬉しく思っています。Facebookでも継続的に交流しています。

■ 問合せ先

担当部署：岐阜大学学術国際部国際企画課
留学生支援係

住所：〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1番1

Phone： +81-58-293-2146（直通）

Fax： +81-58-293-2143

Email: direct@gifu-u.ac.jp

担当教員：

森田晃一： moritak@gifu-u.ac.jp

土谷桃子： momokot@gifu-u.ac.jp

岐阜大学留学生センターホームページ

<http://www1.gifu-u.ac.jp/~isc/jp/index.html>

（Facebookもご覧ください）

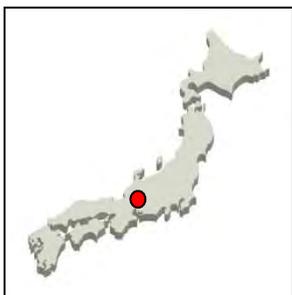
岐阜大学ホームページ

<http://www.gifu-u.ac.jp/>

日本語・日本文化研修コースホームページ

http://www1.gifu-u.ac.jp/~isc/jp/international/jp_program/





Gifu University (Gifu)



Polish up Your Japanese Language in Autumn,

Indulge Yourselves in Japanese Culture and Dedicate Yourselves to Theses in Spring

■ Overview of Gifu University

① Gifu University:

●Gifu University is a national university that maintains 5 faculties (Education, Regional Studies, Medicine, Engineering, and Applied Biological Sciences) and 8 graduate schools. There are a number of search and education centers (International Student Center, Information and Multimedia Center, Library, etc.). The University offers a high quality education and research in many areas, and has been selected as one of the “Good Practice” for its teaching and research.

●Gifu City is conveniently situated only 2 hours to Tokyo and 1 hour to Osaka and Kyoto by bullet train, and 20 minutes to Nagoya. The main campus is in *Yanagido*, a suburb of Gifu City, 30 minutes from Gifu Station. Away from city bustles and noise and surrounded by rice fields and mountain forests, the campus is an ideal place to study in tranquility.

●Faculties and Student/Staff Numbers
(as of May 2016)

○Faculties (Undergraduate): Education, Regional Studies, Medicine, Engineering, Applied Biological Sciences

○Graduate Schools: Education, Regional Studies, Medicine, Engineering, Applied Biological Sciences, United Graduate School of Agricultural Science, United Graduate School of Veterinary Sciences, United Graduate School of Drug Discovery and Medical Information Sciences

●Academic Staff: 849

●Students: 5,707 undergraduates,
1,589 post-graduates,

126 non-degree seeking students; Total: 7,422

② International Exchange (as of October 2016) :

●Gifu University promotes international exchange, and has agreements with 46 universities and 1 organization in 16 countries for academic and student exchange.

●Number of International Students: 366 (Approximately 70% are postgraduates, from 29 countries)

●Number of International Researchers: 14

③ Number of International students and this course students in the last three years (as of October 2016):

2016: International Students 366, This Course students 4

2015: International Students 350, This Course students 10

2014: International Students 326, This Course students 10

④ Special Features of Gifu Prefecture:

●Gifu Prefecture is situated in the center of Japan, surrounded by high mountains in the north, and with many rivers and water falls in the south. It is blessed with scenic beauty and traditional culture combined with a modern lifestyle. Gifu is also known as a city where *ODA NOBUNAGA* built his castle.

●There are many famous places for tourism in the prefecture such as *Takayama*, *Gujo*. The *Nagara* River runs through Gifu City where the century-old practice of cormorant fishing is observable as another cultural attractions.

●Studying at Gifu University offers a variety of advantages to international students of Japanese language and culture: exposure to the traditional culture of Japan in a medium-sized city of 400,000 people, opportunities to mix with friendly local communities, a low cost living, and a spacious and natural environment.



■ Course Outline

① Purpose of the Course

This is a one-year course intended mainly to improve Japanese language proficiency with supplementary study about Japan and Japanese culture.

② Characteristics of the Course:

●The students are placed in the most appropriate level of Japanese class according to their language ability. Therefore a progressive and effective development of their Japanese proficiency can be expected.

●A variety of culture classes are offered to suit the students' research interest.

●Classes in this course are designed for Japanese Language and Culture Studies students and to provide the most effective training/learning experience during their one-year stay at Gifu University.

●The course includes practice of Tea ceremony, field trips to see performing arts (*Noh*, *Kyogen*, *Kabuki*), sports (*Sumo*), to museums in order to appreciate traditional culture of Japan.

●Several field trips within Gifu Prefecture (*Gujo*, *Toki*, etc.) and to nearby prefectures are included in the course to deepen students' understanding and appreciate Japanese culture.

●The university also offers a field trip for overseas students during the summer break.

●The program also includes a cross-cultural communication class that provides students opportunities to mix with Japanese students.

●Classes for Japanese students can be taken.

●Tutors (Japanese students) willingly assist your study and life.

● Not a few students who finished this course came back to Japan to study through Master course.

● Please read comments from our graduates:

[http://www1.gifu-](http://www1.gifu-u.ac.jp/~isc/en/international/jp_program/messages/)

[u.ac.jp/~isc/en/international/jp_program/messages/](http://www1.gifu-u.ac.jp/~isc/en/international/jp_program/messages/)

③ Number of students accepted: 10

(Embassy recommendation: 5, University recommendation: 5)

※ Students with embassy recommendation will be given the first priority.

④ Qualifications and Conditions for Application:

● Applicants must be regular students (second year or above) in an undergraduate program at their home university.

● Applicants must be majoring or double-majoring in Japanese language and Japanese studies at their university.

● Applicants must have passed N2 Japanese Language Proficiency Test or demonstrate equivalent proficiency in Japanese.

⑤ Objectives:

● The objective of this course is to develop their Japanese language proficiency (JLPT N1 Level), and to provide basic knowledge about Japanese culture through real experiences.

● Students also learn a basis of research method and academic writing skills.

⑥ Period of the course:

October 1, 2017~ August 31, 2018

(Conferment ceremony will be given at the end of August. In 2017, it was on August 23.)



⑦ Outline of the subjects:

● Each semester (Autumn, Spring) consists of 15 weeks.

● Required credits: 42

● Subjects' titles are subject to change.

1) Compulsory subjects:

● The following are compulsory subjects per week (one class is for 90 minutes).

【Subjects and class number (credits)】

Subject	Autumn	Spring	Subtotal
Japanese (Regular)	5 (5)	-	5 (5)
General Subjects for Japanese Students	-	2 (4)	2 (4)
Japanese (Reading)	1 (2)	1 (2)	2 (4)
Japanese (Writing)	1 (2)	1 (2)	2 (4)
Japanese (Oral)	1 (2)	1 (2)	2 (4)
Japanese (Listening)	1 (2)	1 (2)	2 (4)
Contemporary Japanese Society	1 (2)	-	1 (2)
Modernization and the Japanese	1 (2)	-	1 (2)
Cross-Cultural Communication	1 (2)	-	1 (2)
Japanese Culture and Representation	1 (2)	-	1 (2)
Experiencing Japanese Culture: Gifu city	1 (2)	-	1 (2)
Culture in Gifu	-	1 (2)	1 (2)
Thesis Supervision		1 (1)	1 (1)
Thesis		(4)	(4)
Total	14 (23)	8 (19)	22 (42)

【Japanese Language Subjects】

● Regular Japanese classes: develop the student's overall proficiency in intermediate and advanced levels of Japanese including grammar, vocabulary, communication, and writing skills.

● Independent classes: focus on reading comprehension skills, academic and thesis writing skills, oral presentation skills and listening skills for discussion and seminar presentation.

【Japanese Culture Subjects】

● Culture Subjects: Contemporary Japanese Society, Modernization and the Japanese, Japanese Culture and Representation, Local Field Study and Culture in Gifu aim for the students to learn about various aspects of Japanese culture. The students are encouraged to compare Japanese culture with their own cultures in order to appreciate the differences and similarities between different cultures. These subjects are specially designed for this course students.

● Cross-cultural Communication: Recognition of cultural differences and similarities can be further enhanced by discussion with Japanese students in the Cross-cultural Communication class.

【Thesis Supervision】

The awareness of the importance of cultural understanding will lead to the selection of a thesis topic. Final thesis presentations will be held at Gifu University Satellite Campus.



【Thesis topics in 2016】

- Japanese Mask Culture
- Why people pay for smartphone game apps?
- Men and Salt – Differences of faith in and expressions of salt in Europe and Japan
- Japan seen through the lens of Christianity
- Challenges and Characteristics of Hairdressing in Japan and China
- Pronunciation Analysis of Korean spoken by Korean Residents in Japan
- Public Advertisement in Japan

2) Excursion, Field trip

Field trip in Gifu prefecture and traditional Japanese costume experience (in the autumn semester), *Nohgaku* workshop, practice of Tea ceremony, pottery experience, watching *Sumo* and *Kabuki* (in the spring semester) are planned. You visit Gifu castle and Museum, pick Kaki fruits and make Japanese umbrella in “Local Field Study” Class.

3) Elective Subjects

Apart from the above-mentioned subjects, the University offers subjects for degree-seeking overseas students, and general subjects for Japanese students can be taken in place of this program's subjects, depending on the student's Japanese proficiency and subject to the approval of the student's supervisor.

⑧ Events and Schedule

- Oct. Guidance for autumn semester, Opening ceremony, Class start
- Nov. Field trip, University Campus festival
- Dec. Selection of a thesis topic, Japanese traditional Kimono
- Apr. Guidance for spring semester, Practice of Tea ceremony (until July)
- May. Gujo Dance Workshop



Jun.~Jul. Pottery, *Sumo*, and *Nohgaku*
Jul. *Kabuki* watching
Aug. Thesis submission, Thesis presentation, Conferment ceremony

⑨ Supervision

•The following academic staff of the International Student Center (ISC) offer individual supervision on academic matters and the students' welfare at Gifu University.
•If necessary, depending on the students' research topic, other academic staff members of the Center and Faculties will support the supervision.

【Chief Supervisors】

Name	Center	Position	Expertise
MORITA Koichi	ISC	Professor	History of Japanese Culture
TSUCHIYA Momoko	ISC	Associate Professor	Japanese Literature

【Supporting Staff】

Other academic staff of the International Student Center, and the Faculties of Regional Studies and Education are included as supporting staff.

⑩ Requirements for Completion of the Course

- To complete the course, you must take all compulsory and some elective subjects with satisfactory attendance and results, write a thesis and make a presentation.
- Credit points for transfer can be arranged by negotiation with the students' home universities.



■ Accommodation

- Gifu University International House is established to provide accommodation for international students.
- Accommodation at the International House will be provided to all students of this course.

【Gifu University International House】

4 floors (Building A), 5 floors (Building B)
Number of Rooms: 69 single rooms, 14 rooms for married couples, 7 rooms for couples with children.
(Single room Building A: ¥ 5,900 per month, Building B: ¥ 4,700 per month)

■ Follow up for Graduates

- Not a few graduates of this course come back to Japan to study at graduate courses. We are happy to support the students who wish to do so.
- In the past, our graduates enters graduate courses of Gifu University and other national universities in Japan.
- After finishing graduate courses, they are employed in Japanese company in Japan and in their home countries.
- Graduates who visit us are always welcomed! We enjoy talking with them. We also constantly contact graduates through Facebook.

■ Contact Address

International Student Support Section, Gifu University
Address: 1-1 Yanagido, Gifu city, 501-1193 JAPAN
Phone: +81-58-293-2146 (Direct)
Fax: +81-58-293-2143
E-mail: direcent@gifu-u.ac.jp

Course coordinators

Prof. MORITA, Koichi: moritak@gifu-u.ac.jp
Asso. Prof. TSUCHIYA, Momoko:
momokot@gifu-u.ac.jp

Gifu Univ. ISC URL:

<http://www1.gifu-u.ac.jp/~isc/jp/index.html>

(Also try our Facebook page)

Gifu Univ. URL: <http://www.gifu-u.ac.jp/>

Special site for this course:

http://www1.gifu-u.ac.jp/~isc/en/international/jp_program/